西東京市
第５期障害福祉計画・第１期障害児福祉計画策定のための
アンケート調査　結果報告書
（案）

※その他の自由記述、自由記述形式の問、事業所・団体ヒアリング結果については、
　現在、整理中です。
※現在掲載中のグラフや数表、コメントについては、変更する場合もあります。

平成 29 年 11 月

（表紙裏）

目次

Ⅰ　西東京市第５期障害福祉計画・第１期障害児福祉計画策定のためのアンケート調査実施概要.....1
１　調査目的.....1
２　調査対象.....1
３　調査時期.....1
４　調査方法.....1
５　回収状況.....1
６　調査項目.....2
Ⅱ　調査結果.....7
１　身体障害者.....7
（１）基本的な属性.....7
（２）障害状況.....9
（３）介助・援助の状況.....11
（４）日中の過ごし方や外出の状況・社会参加状況.....13
（５）将来の希望.....19
（６）雇用・就労について.....21
（７）障害者施設・施策について.....26
（８）相談や情報入手方法.....27
（９）福祉サービス認知・利用状況.....30
（10）災害対策について.....35
（11）障害・障害者への理解.....38
（12）障害者施策、市への要望等.....40
２　知的障害者.....43
（１）基本的な属性.....43
（２）障害状況.....45
（３）介助・援助の状況.....47
（４）日中の過ごし方や外出の状況・社会参加状況.....48
（５）将来の希望.....53
（６）雇用・就労について.....55
（７）障害者施設・施策について.....59
（８）相談や情報入手方法.....60
（９）福祉サービス認知・利用状況.....62
（10）災害対策について.....66
（11）障害・障害者への理解.....68
（12）障害者施策、市への要望等.....70
３　精神障害者.....73
（１）基本的な属性.....73
（２）障害状況.....74
（３）介助・援助の状況.....76

（４）日中の過ごし方や外出の状況・社会参加状況 77
（５）将来の希望 82
（６）雇用・就労について 84
（７）障害者施設・施策について 88
（８）相談や情報入手方法 88
（９）福祉サービス認知・利用状況 91
（10）災害対策について 95
（11）障害・障害者への理解 97
（12）障害者施策、市への要望等 99
４　難病患者 101
（１）基本的な属性 101
（２）障害状況 102
（３）介助・援助の状況 104
（４）日中の過ごし方や外出の状況・社会参加状況 106
（５）将来の希望 111
（６）雇用・就労について 113
（７）障害者施設・施策について 117
（８）相談や情報入手方法 118
（９）福祉サービス認知・利用状況 120
（10）災害対策について 125
（11）障害・障害者への理解 128
（12）障害者施策、市への要望等 130
５　施設入所者 133
（１）基本的な属性 133
（２）障害・入所状況 134
（３）日中の過ごし方や外出の状況・社会参加状況 135
（４）将来の希望 140
（５）雇用・就労について 142
（６）障害者施設・施策について 143
（７）相談や情報入手方法 144
（８）障害・障害者への理解 145
（９）障害者施策、市への要望等 147
６　児童 149
（１）基本的な属性 149
（２）障害状況 151
（３）介助・援助の状況 152
（４）日中の過ごし方や外出の状況・社会参加状況 153
（５）将来の希望 158
（６）通園・通学等について 160
（７）雇用・就労について 164

（８）障害者施設・施策について……165
（９）相談や情報入手方法……166
（10）福祉サービス認知・利用状況……169
（11）災害対策について……173
（12）障害・障害者への理解……175
（13）障害者施策、市への要望等……176
７　特別支援教室・通級指導学級……179
（１）基本的な属性……179
（２）障害状況……180
（３）外出の状況・社会参加状況……180
（４）通園・通学等について……181
（５）障害者施設・施策について……182
（６）相談や情報入手方法……183
（７）福祉サービス認知・利用状況……185
（８）災害対策について……188
（９）障害・障害者への理解……189
（10）障害者施策、市への要望等……191
８　相談支援機関利用者……193
（１）基本的な属性……193
（２）障害状況……194
（３）介助・援助の状況……196
（４）日中の過ごし方や外出の状況・社会参加状況……196
（５）将来の希望……200
（６）通園・通学等について……202
（７）雇用・就労について……204
（８）障害者施設・施策について……206
（９）相談や情報入手方法……207
（10）福祉サービス認知・利用状況……209
（10）災害対策について……210
（11）障害・障害者への理解……211
（12）障害者施策、市への要望等……214
Ⅲ　事業所・団体ヒアリング結果……217
Ⅳ　資料……219

Ⅰ　西東京市第５期障害福祉計画・第１期障害児福祉計画策定のためのアンケート調査実施概要

１　調査目的

西東京市第５期障害福祉計画・第１期障害児福祉計画策定の基礎資料とするため、市内に在住する障害者および児童、特別支援教室・通級指導学級に通う生徒・児童、相談支援機関利用者の福祉サービス利用状況・利用意向等を把握する。

２　調査対象

身体障害者調査	市内在住の身体障害者手帳所持者／無作為抽出
知的障害者調査	市内在住の愛の手帳（療育手帳）所持者／無作為抽出
精神障害者調査	市内在住の精神障害者保健福祉手帳所持者／無作為抽出
難病患者調査	市内在住の難病医療費等助成対象者／無作為抽出
施設入所者調査	西東京市に住所登録があり市内外の障害者施設入所者／無作為抽出
児童調査	市内在住の障害手帳所持児童・難病医療費等助成対象児童／無作為抽出
特別支援教室・通級指導学級調査	市内の特別支援教室・通級指導学級に通う児童・生徒／学校配布
相談支援機関利用者調査	市内相談支援機関利用者（●か所）／窓口配布

※いずれの対象者とも平成 29 年７月時点での抽出・配布

３　調査時期

平成 29 年７月～9 月

４　調査方法

郵送配付・郵送回収　※特別支援教室・通級指導学級に通う児童・生徒には学校を通じて配布し、郵送回収。相談支援機関利用者には、相談機関に来所した際、調査協力に賛同した者のみに配布し、郵送回収。

５　回収状況

調査種類	発送数	有効回収票数	有効回収率
身体障害者調査	910	456	50.1%
知的障害者調査	215	96	44.7%
精神障害者調査	240	86	35.8%
難病患者調査	220	104	47.3%
施設入所者調査	85	53	62.4%
児童調査	330	149	45.2%
特別支援教室・通級指導学級調査	100	46	46.0%
相談支援機関利用者調査	100	52	52.0%
合　　計	2,200	1,042	47.4%

6　調査項目

設問	回答形式	身体障害	知的障害	精神障害	難病	施設入所	児童	通級等に通う児童・生徒	相談支援機関利用者等
調査票記入者	単一	問１	問１	問１	問１	問１	問１	問１	問１
相談支援機関相談対象者	―	―	―	―	―	―	―	―	問２
性別	単一	問２	問２	問２	問２	問２	問２	問２	問３
年齢	数値	問３	問３	問３	問３	問３	問３	問３	問４
暮らしている場所	単一	問４	問４	問４	問４	―	問４	―	―
同居者	複数	問５	問５	問５	問５	―	問５	―	―
通級指導学級に通うきっかけ		―	―	―	―	―	―	問４	―
障害者手帳記載の障害種類・等級など	複数・単一	問６	問６	問６	―	―	―	―	―
その他の障害の状況	複数	問７	問７	問７	問６	問４	問６	問５	問５
発達障害診断の有無		―	―	―	―	―	―	―	問６
【発達障害診断有】日常生活上での支障	自由	―	―	―	―	―	―	―	問７
【発達障害診断有】日常生活上での支障の際に必要な支援	自由	―	―	―	―	―	―	―	問８
要介護認定状況・介護度	単一	問８	問８	―	問７	―	―	―	―
手当･年金の使いみち	単一	問９	問９	問８	問８	―	問７	―	―
特定医療費受給者証記載の難病名	自由	―	―	―	問９	―	―	―	―
難病治療のための通院頻度	単一	―	―	―	問 10	―	―	―	―
医療的ケアの状況	複数	―	―	―	問 11	―	―	―	―
日常生活での困りごと	複数	―	―	―	―	―	―	―	問９
介助・援助を受けている内容	複数	問 10	問 10	問９	問 12	―	問８	―	―
主な介助・援助者	単一	問 11	問 11	問 10	問 13	―	問９	―	―
外出頻度	単一	問 12	問 12	問 11	問 14	問７	問 10	―	―
外出の際の支援の必要性	単一	問 13	問 13	問 12	問 15	―	―	―	―
外出時に困っていること	複数	問 14	問 14	問 13	問 16	問８	問 11	問６	問 10
直近１年間に行った活動	複数	問 15	問 15	問 14	問 17	問９	問 12	―	問 11
【スポーツ活動有】スポーツ活動の内容	複数	問 17	問 17	問 16	問 18	問 11	問 13	―	―
【選挙投票経験有】選挙の投票の際の困りごとや改善してほしいこと	自由	問 16	問 16	問 15	問 19	問 10	―	―	―

設問	回答形式	身体障害	知的障害	精神障害	難病	施設入所	児童	通級等に通う児童・生徒	相談支援機関利用者等
【活動有】活動するために移動支援等のヘルパー利用の有無	単一	問 18	問 18	問 17	問 20	―	問 14	―	―
今後、行いたい活動	複数	問 19	問 19	問 18	問 21	問 12	問 15	―	問 12
活動するために必要な支援	複数	問 20	問 20	問 19	問 22	問 13	問 16	―	問 13
日中の主な過ごし方	単一	問 21	問 21	問 20	問 23	問 14	問 17	―	問 14
入所期間	単一	―	―	―	―	問 5	―	―	―
入所を決めた理由	複数	―	―	―	―	問 6	―	―	―
地域生活についての意向	単一	―	―	―	―	問 20	―	―	―
【地域生活希望者】退所後の不安	複数	―	―	―	―	問 21	―	―	―
退所後に必要となる支援	自由	―	―	―	―	問 22	―	―	―
【施設生活継続希望者】施設での生活を継続したい理由	複数	―	―	―	―	問 23	―	―	―
通園・通学先	単一	―	―	―	―	―	問 18	―	問 15
幼稚園・学校などに通っていて困っていること	複数	―	―	―	―	―	問 19	問 7	問 16
学童クラブ利用状況	単一	―	―	―	―	―	問 20	問 9	―
【学童クラブ利用者】利用で困ること	複数	―	―	―	―	―	問 21	問 10	―
放課後や長期休業中の過ごし方	複数	―	―	―	―	―	問 22	―	―
放課後や長期休業中に希望する過ごし方	複数	―	―	―	―	―	問 23	―	―
学校教育に望むこと	複数	―	―	―	―	―	問 24	問 8	問 17
収入を伴う仕事の有無	単一	問 22	問 22	問 21	問 24	問 15	―	―	問 18
【収入を伴う仕事有】就職活動時の支援の有無	複数	問 23	問 23	問 22	問 25	―	―	―	―
【収入を伴う仕事有】仕事の形態	単一	問 24	問 24	問 23	問 26	―	―	―	問 19
【収入を伴う仕事有】1ヵ月当たりの平均的給与・賃金	数値	問 25	問 25	問 24	問 27	―	―	―	問 20
【収入を伴う仕事有】仕事をするうえで困っていること	複数	問 26	問 26	問 25	問 28	―	―	―	問 21
【収入を伴う仕事無】働いていない理由	単一	問 27	問 27	問 26	問 29	―	―	―	問 22

＜Ⅰ　調査結果概要＞

設問	回答形式	身体障害	知的障害	精神障害	難病	施設入所	児童	通級等に通う児童・生徒	相談支援機関利用者等
働くために整備されていることが望ましい環境	複数	―	―	―	―	―	問 25	―	―
雇用促進のために不足していると思われるサービスや取組み	複数	問 28	問 28	問 27	問 30	―	―	―	―
【収入を伴う仕事無】今後の就労意向	単一	―	―	―	―	問 16	―	―	―
ﾌﾚﾝﾄﾞﾘｰ認知状況	単一	問 29	問 29	問 28	問 31	―	問 26	問 11	問 23
市の各福祉施設の利用状況（５施設）	単一	問 30	問 30	問 29	問 32	問 17	問 27	問 12	問 24
市の障害福祉施策の認知度	複数	問 31	問 31	問 30	問 33	問 18	問 28	問 13	問 25
家族や親せき以外の相談先	複数	問 32	問 32	問 31	問 34	―	問 29	問 14	問 26
【相談者、相談するところ無】相談できるところがない理由	複数	問 33	問 33	問 32	問 35	―	問 30	―	―
家族や親せき以外に希望する相談先、相談するためにと取っているとよい体制	自由	―	―	―	―	―	―	問 15	―
障害福祉サービスの情報入手先	複数	問 34	問 34	問 33	問 36	問 19	問 31	問 16	問 27
【視覚・聴覚】コミュニケーションや情報入手で困ること	複数	問 35	―	―	―	―	―	―	―
【視覚・聴覚】コミュニケーションや情報入手に際あるとよいサービス	自由	問 36	―	―	―	―	―	―	―
障害福祉サービスの利用に関する相談先	複数	―	―	―	―	―	問 32	―	―
地域で生活していく上で必要なもの	複数	―	―	問 34	―	―	―	―	―
利用したことがあるサービス	複数	問 37	問 35	問 35	問 37	―	問 33	問 17	問 28
【児童発達支援利用者】個別計画の共有	単一	―	―	―	―	―	問 33	―	―
【利用有】利用サービスの利用感想	自由	問 38	問 36	問 36	問 38	―	問 34	問 18	―

設問	回答形式	身体障害	知的障害	精神障害	難病	施設入所	児童	通級等に通う児童・生徒	相談支援機関利用者等
十分、利用できていないと思うサービス	複数	問 39	問 37	問 37	問 39	―	問 35	―	―
【利用不十分者】十分利用できていない理由	複数	問 40	問 38	問 38	問 40	―	問 36	問 19	―
今後利用したいサービス	複数	問 41	問 39	問 39	問 41	―	問 37	問 20	―
今後充実させてほしいサービス	複数	―	―	―	―	―	―	問 21	―
【65 歳以上】過去１年間での介護保険サービスの利用状況	複数	問 42	問 40	―	問 42	―	―	―	―
【障害福祉サービス、介護保険サービス利用有】必要なサービス利用状況	複数	問 43	問 41	―	問 43	―	―	―	―
必要サービスを利用しやすくするために必要な情報や相談先、利用するためにあるよい支援	自由	問 44	問 42	問 40	問 44	―	問 38	問 22	―
新たなサービスの利用意向（4 項目）	単一	問 45	問 43	問 41	問 45	―	問 39	―	―
避難場所の認知状況	単一	問 46	問 44	問 42	問 46	―	問 40	問 23	問 29
福祉避難施設の認知状況	単一	問 47	問 45	問 43	問 47	―	問 41	―	―
災害時要援護者登録の認知状況	単一	問 48	問 46	問 44	問 48	―	問 42	問 24	問 30
災害時支援のための個人情報提供意向	単一	問 49	問 47	問 45	問 49	―	問 43	―	―
災害時の自力避難可否	単一	問 50	問 48	問 46	問 50	―	問 44	問 25	問 31
災害が起こった際の不安	複数	問 51	問 49	問 47	問 51	―	問 45	問 26	問 32
災害にそなえた必要な対策	複数	問 52	問 50	問 48	問 52	―	問 46	問 27	問 33
今後希望する日中の過ごし方	複数	問 53	問 51	問 49	問 53	―	問 47	―	問 34
将来希望する暮らし方（居住場所等）	複数	問 54	問 52	問 50	問 54	―	問 48	―	問 35
成年後見制度の認知状況	単一	問 55	問 53	問 51	問 55	問 24	問 49	―	問 40
成年後見制度の活用意向	単一	問 56	問 54	問 52	問 56	問 25	問 50	―	問 41
差別や人権侵害、虐待を受けていると感じることの有無	単一	問 57	問 55	問 53	問 57	問 26	問 51	問 28	問 36

設問	回答形式	身体障害	知的障害	精神障害	難病	施設入所	児童	通級等に通う児童・生徒	相談支援機関利用者等
障害者差別解消法の認知	単一	問 58	問 56	問 54	問 58	問 27	―	―	―
障害、障害者の理解	単一	問 59	問 57	問 55	問 59	問 28	問 52	問 29	問 37
障害、障害者の理解の深化に必要なこと	複数	問 60	問 58	問 56	問 60	問 29	問 53	問 30	問 39
地域や社会へ参加するために大切なこと	複数	―	―	―	―	―	―	―	問 38
施策推進にあたり市に充実を求めるもの	複数	問 61	問 59	問 57	問 61	問 30	問 54	問 31	問 42
西東京市の障害者施策の総合満足度	単一	問 62	問 60	問 58	問 62	―	問 55	―	―
5 年前と比べた障害サービス	単一	問 63	問 61	問 59	問 63	―	問 56	―	問 43
5 年前と比べた障害サービス回答理由	自由	問 64	問 62	問 60	問 64	―	問 57	―	問 44
西東京市での継続居住意向	単一	問 65	問 63	問 61	問 65	問 31	問 58	問 32	問 45
意見、要望、計画に盛り込みたいこと	自由	問 66	問 64	問 62	問 66	問 32	問 59	問 33	問 46

【報告書における調査結果の見方】

○ 調査結果の数値は、回答率(%)で表示している。回答率(%)の母数は、その質問項目に該当する回答者の総数であり、その数は TOTAL 及び n で示している。

○ 回答率(%)については、小数点第２位を四捨五入し、小数点第１位までを表示している。このため、その合計数値は必ずしも 100%とはならない場合がある。

○ 回答には、単一回答（○は１つ）と複数回答（○はいくつでも）の２種類がある。複数回答の場合、その回答率(%)の合計は 100%を超える場合がある。

○ 調査結果を示した図表においては、表側から「無回答」等の項目を省略している場合がある。このような場合、「無回答」の人数（割合）は TOTAL のみに計上されているため、各項目の合計値は必ずしも 100%とならない場合がある。

○ 図表の問のタイトル及び、回答の選択肢は、簡略化して表現している場合がある。正式な問のタイトル及び、回答の選択肢は、調査票を参照されたい。

○ 自由回答を掲載する場合は、性別・年齢・障害の種類（身体障害者調査のみ）も掲載しているが、紙面の都合上、以下のように省略して表記している。

「視覚障害」→「視覚」／「聴覚障害」→「聴覚」／「平衡機能障害」→「平衡」／「音声機能・言語機能・そしゃく機能の障害」→「音声」／「肢体不自由（上肢、下肢、体幹）」→「肢体不自由」／「内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、肝臓の機能の障害）」→「内部」

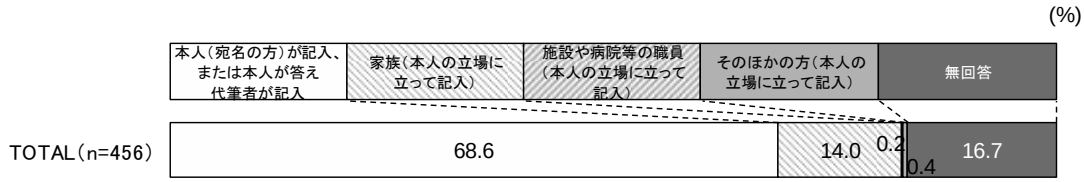
Ⅱ　調査結果

1　身体障害者

（1）基本的な属性

問１　この用紙（調査票）に記入されるのはどなたですか。（○は１つ）

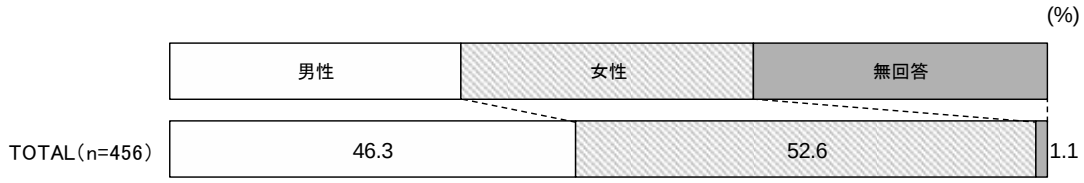
調査票記入者は「本人（宛名の方）が記入、または本人が答え代筆者が記入」が 68.6%。



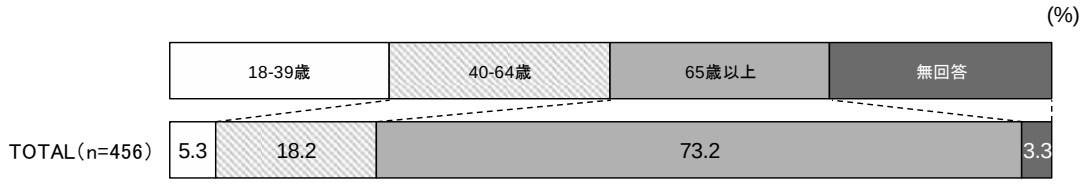
問２　あなたの性別をお答えください。（○は１つ）

問３　年齢（８月１日現在）を記入してください。

性別は、男性が 46.3%、女性が 52.6%。



年齢は、65 歳以上が 73.2%で平均年齢は 71.5 歳。



（%）

TOTAL	19 歳以下	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳以上	無回答	平均年齢
n=456	0.2	2.6	2.4	4.6	7.9	17.3	61.6	3.3	71.5 歳

問４　現在、あなたはどこで暮らしていますか。（○は１つ）

居住形態は、「持ち家（分譲マンションを含む）」が 65.1%で最も多く、次いで、賃貸住宅（アパート、賃貸マンション、借家）」が 27.6%である。

（%）

TOTAL	持ち家（分譲マンションを含む）	賃貸住宅（アパート、賃貸マンション、借家）	グループホーム、ケアホーム、福祉ホーム	福祉施設（障害者支援施設、高齢者支援施設）	入院している	その他	無回答
n=456	65.1	27.6	1.1	2.6	1.3	0.7	1.5

<＜Ⅱ　1　身体障害者調査＞

問５　どなたと一緒に暮らしていますか。（○はいくつでも）

同居者は、「配偶者（夫または妻）」が 51.8%で最も高く、「子ども（子どもの配偶者も含む）」が 31.1%で続いている。

年代別にみると、40 代の 28.6%、60 代の 26.6%が「自分ひとりだけで暮らしている」と回答しており、他の年代に比べ高い。50 代以上では「配偶者（夫または妻）」が半数を超えている。

（%）

	n=	自分ひとりだけで暮らしている	配偶者（夫または妻）	子ども（子どもの配偶者も含む）	父親	母親	祖父	祖母	兄弟、姉妹	その他の親せき	福祉施設の職員や仲間	その他	無回答
TOTAL	456	19.1	51.8	31.1	5.5	8.6	0.7	0.4	4.8	1.1	3.1	1.3	1.5
19 歳以下	1	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20 代	12	8.3	0.0	0.0	83.3	83.3	25.0	16.7	50.0	0.0	8.3	0.0	0.0
30 代	11	0.0	54.5	27.3	45.5	45.5	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0
40 代	21	28.6	28.6	33.3	19.0	28.6	0.0	0.0	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0
50 代	36	16.7	55.6	30.6	5.6	27.8	0.0	0.0	8.3	5.6	0.0	0.0	0.0
60 代	79	26.6	59.5	31.6	1.3	6.3	0.0	0.0	5.1	1.3	0.0	0.0	0.0
70 歳以上	281	18.1	54.1	33.1	0.4	0.4	0.0	0.0	1.8	0.7	4.3	2.1	1.1
無回答	15	13.3	33.3	20.0	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	26.7

（2）障害状況

問6　身体障害者手帳に記載されている障害は次のどれですか。あてはまるものに○をつけてください。（○はいくつでも）また記載されている障害の程度（等級）をお答えください。

身体障害者手帳記載の障害は、視覚障害が 6.6%、聴覚障害が 9.2%、平衡機能障害が 1.5%、音声・言語・そしゃく機能の障害が 2.4%、肢体不自由（上肢、下肢、乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害）が 38.8%、肢体不自由（体幹）が 10.5%、内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の機能の障害）が 30.5%、内部障害（免疫、肝臓の機能の障害）が 1.3%である。

（%）

	n=456		1級	2級	3級	4級	5級	6級	等級不明
視覚障害	30	6.6	33.3	16.7	10.0	10.0	16.7	10.0	3.3
聴覚障害	42	9.2	―	21.4	9.5	16.7	―	35.7	16.7
平衡機能障害	7	1.5	―	―	71.4	―	14.3	―	14.3
音声・言語・そしゃく	11	2.4	―	―	63.6	27.3	―	―	9.1
肢体不自由（上肢、下肢等）	177	38.8	6.8	14.7	18.1	35.0	14.1	7.9	3.4
肢体不自由（体幹）	48	10.5	29.2	14.6	27.1	―	27.1	―	2.1
内部障害（心臓、じん臓等）	139	30.5	66.2	―	9.4	15.1	―	―	9.4
内部障害（免疫、肝臓の機能の障害）	6	1.3	33.3	50.0	0.0	16.7	―	―	0.0
わからない	9	2.0	―	―	―	―	―	―	―
無回答	24	5.3	―	―	―	―	―	―	―

※等級は、各障害に対する割合である。障害等級がないものは「ー」としている。

問7　次のうち、あてはまるものに○をつけてください。（○はいくつでも）

身体障害者手帳以外の障害との重複状況をみると、「国または東京都が指定する難病医療費等助成対象疾病を患っている」が 14.7%である。

（%）

	n=	愛の手帳（療育手帳）を持っている	精神障害者保健福祉手帳を持っている	国または東京都が指定する難病医療費等助成対象疾病を患っている	高次脳機能障害と診断されたことがある	発達障害と診断されたことがある	訪問看護などの医療的ケアを受けている	あてはまるものはない	無回答
TOTAL	456	5.0	1.5	14.7	2.2	0.4	6.8	55.7	16.4
19 歳以下	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20 代	12	50.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	41.7	8.3
30 代	11	9.1	0.0	27.3	9.1	0.0	18.2	45.5	27.3
40 代	21	9.5	4.8	28.6	0.0	0.0	9.5	52.4	4.8
50 代	36	0.0	0.0	22.2	5.6	2.8	0.0	61.1	8.3
60 代	79	0.0	1.3	16.5	2.5	0.0	5.1	63.3	12.7
70 歳以上	281	4.3	1.8	12.1	1.4	0.0	7.8	55.9	18.5
無回答	15	6.7	0.0	20.0	6.7	0.0	6.7	26.7	33.3

<Ⅱ　1　身体障害者調査>

問８　あなたは、介護保険の介護認定を受けていますか。受けている場合、あてはまる要介護度に○をつけてください。（○は１つ）

<回答対象者：40 歳以上>

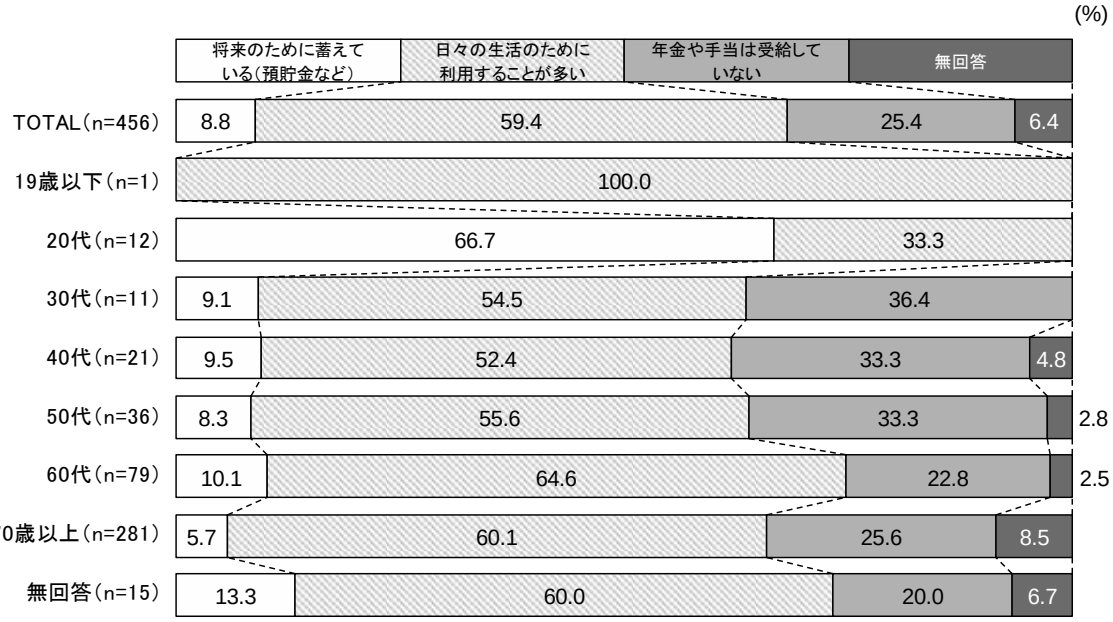
介護認定状況は、40～64 歳、65 歳以上とも「認定は受けていない」が最も高いが、65 歳以上の 9.3%が要支援、34.1%が要介護の認定を受けている。

(%)

	n=	認定は受けていない	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	わからない	無回答
TOTAL	417	53.0	4.3	3.8	10.1	6.0	5.3	4.1	3.6	1.9	7.9
40-64 歳	21	81.9	1.2	2.4	3.6	1.2	2.4	1.2	0.0	2.4	3.6
65 歳以上	281	45.8	5.1	4.2	11.7	7.2	6.0	4.8	4.5	1.8	9.0

問９　あなたは、障害者支援の手当や年金を主にどのように利用していますか。（○は１つ）

障害者支援の手当や年金の利用状況は、「将来のために蓄えている（預貯金など）」が 8.8%、「日々の生活のために利用することが多い」が 59.4%、「年金や手当は受給していない」が 25.4%である。

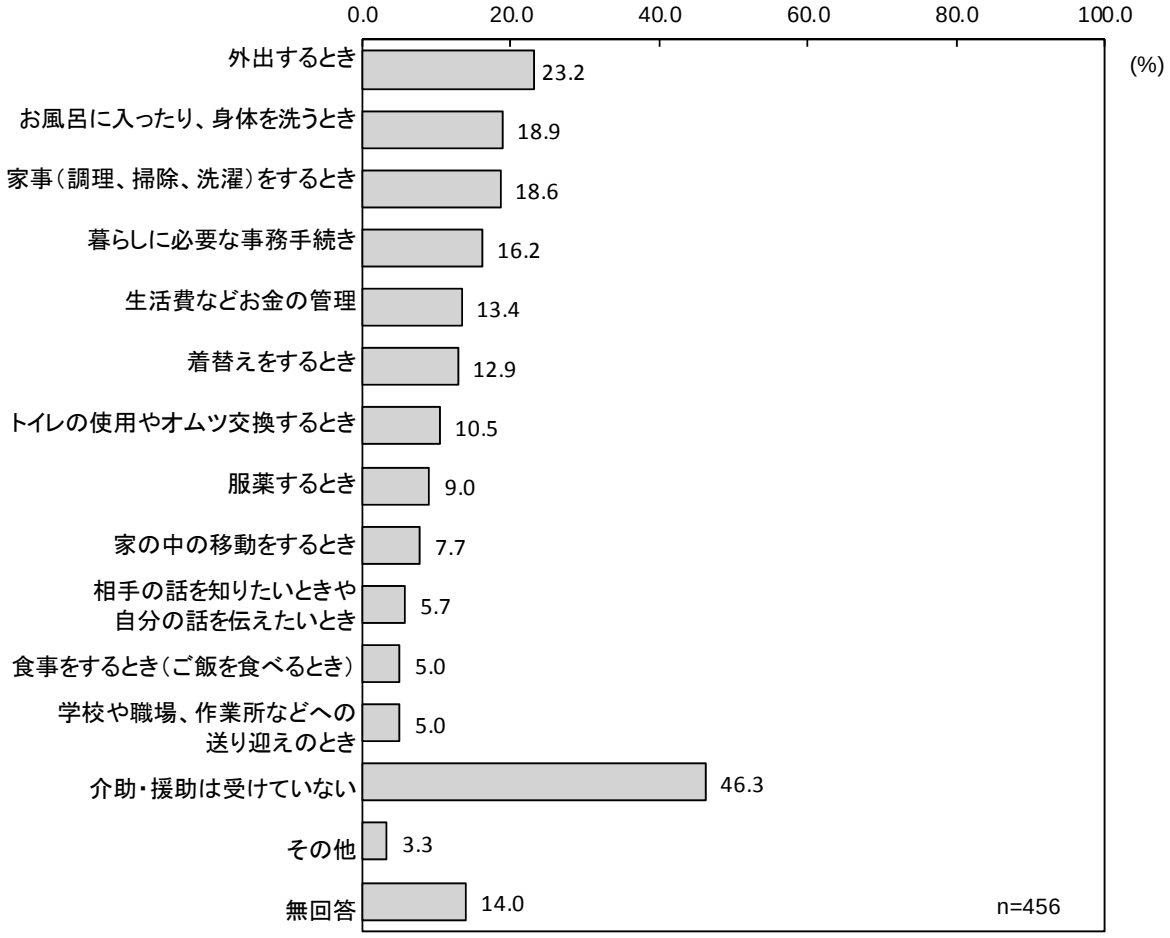


※0.0 は非表示

（3）介助・援助の状況

問 10　あなたは、どのようなときに介助・援助を受けていますか。（○はいくつでも）

46.3%の人が「介助・援助は受けていない」と回答しているが、介助・援助を受けている場面としては、「外出するとき」が 23.2%で最も高く、次いで、「お風呂に入ったり、身体を洗うとき」が 18.9%である。



問 11　ふだん、あなたを主に介助・援助しているのはどなたですか。（○は１つ）

ふだん、主に介助・援助している人は「配偶者（夫、妻）」が 34.3%で最も高く、次いで、「子ども、子どもの配偶者」が 24.9%、「ホームヘルパー等の在宅サービス事業者」が 15.5%である。

年代別にみると、70 歳以上では「配偶者（夫、妻）」が高い。

（%）

	n=	配偶者（夫、妻）	子ども、子どもの配偶者	父親	母親	祖父	祖母	兄弟、姉妹	その他の親せき	近所の人、友人・知人	ホームヘルパー等の在宅サービス事業者	その他	無回答
TOTAL	181	34.3	24.9	3.3	6.1	0.0	0.0	2.2	2.2	0.6	15.5	8.3	2.8
19歳以下	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	7	0.0	0.0	14.3	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0
30代	6	50.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
40代	8	25.0	12.5	12.5	37.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
50代	11	27.3	9.1	9.1	18.2	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	27.3	0.0	0.0
60代	19	47.4	21.1	5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	15.8	5.3	0.0
70歳以上	119	35.3	29.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	2.5	0.0	17.6	10.9	3.4
無回答	10	30.0	40.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0

（4）日中の過ごし方や外出の状況・社会参加状況

問 21　あなたは、平日（月曜日～金曜日）の日中を主にどのように過ごしていますか。（○は１つ）

平日の日中の過ごし方は、「自宅にいることが多い」が 48.0%、「働いている」が 16.7%である。

年代別にみると、20 代では「福祉施設、作業所などに通っている」が 41.7%、「働いている」が 50.0%である。70 歳以上の 8.2%が「入所・入院している施設や病院などで過ごしている」と回答しており、他の年代に比べ高い。

(%)

	n=	幼稚園や保育園、学校などに通っている	福祉施設、作業所などに通っている	病院などのデイケアに通っている	リハビリテーションを受けている	働いている	入所・入院している施設や病院などで過ごしている	自宅にいることが多い	その他	無回答
TOTAL	456	0.0	4.6	6.6	6.6	16.7	5.7	48.0	6.6	5.3
19 歳以下	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20 代	12	0.0	41.7	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	8.3	0.0
30 代	11	0.0	9.1	0.0	0.0	54.5	0.0	36.4	0.0	0.0
40 代	21	0.0	4.8	9.5	0.0	38.1	4.8	42.9	0.0	0.0
50 代	36	0.0	2.8	5.6	2.8	44.4	0.0	30.6	11.1	2.8
60 代	79	0.0	1.3	0.0	11.4	24.1	2.5	45.6	7.6	7.6
70 歳以上	281	0.0	2.8	8.5	6.4	7.1	8.2	54.8	6.8	5.3
無回答	15	0.0	20.0	13.3	13.3	6.7	0.0	33.3	0.0	13.3

問 12　あなたは、どのくらい外出しますか。通所、通学、通勤、買い物、日常の散歩など、すべてを含めてお答えください。（○は１つ）

外出頻度は、「週に 5 日以上」が 34.2%、「週に 3～4 日」が 28.9%、「週に 1～2 日」が 20.8%である。「ほとんど外出しない」と回答した人は 9.0%となっている。

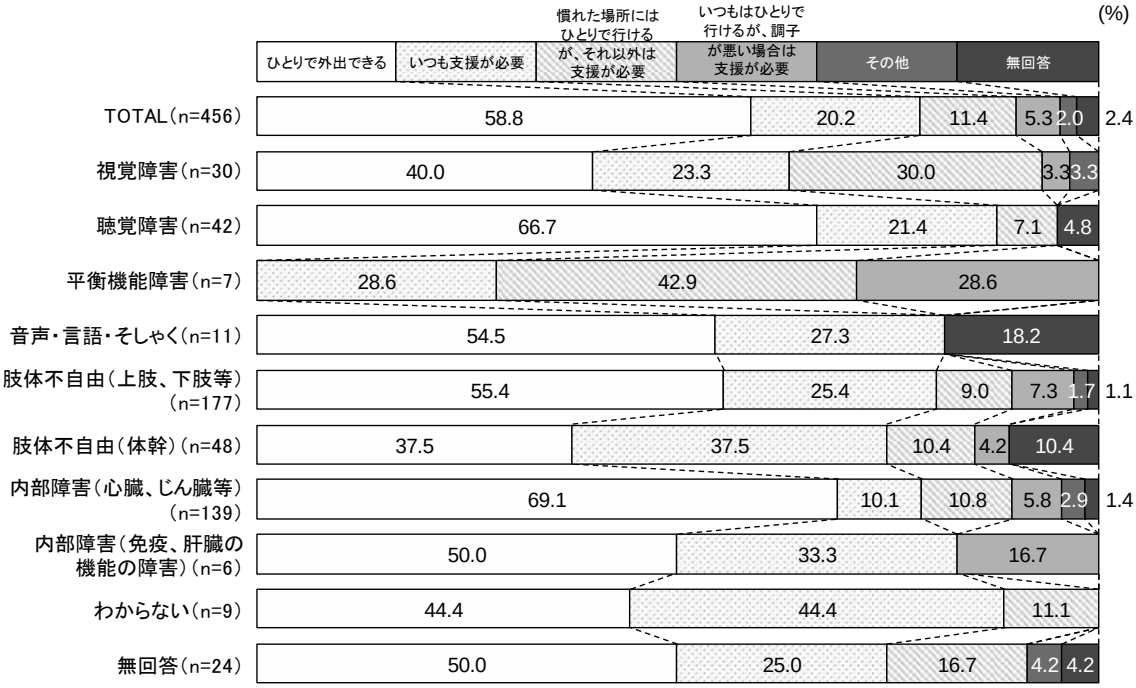
(%)

<＝Ⅱ　1　身体障害者調査＞

問 13　あなたは、外出をするときに支援が必要ですか。（○は１つ）

外出時の支援の必要性は、58.8%の人が「ひとりで外出できる」と回答している。「いつも支援が必要」は 20.2%である。

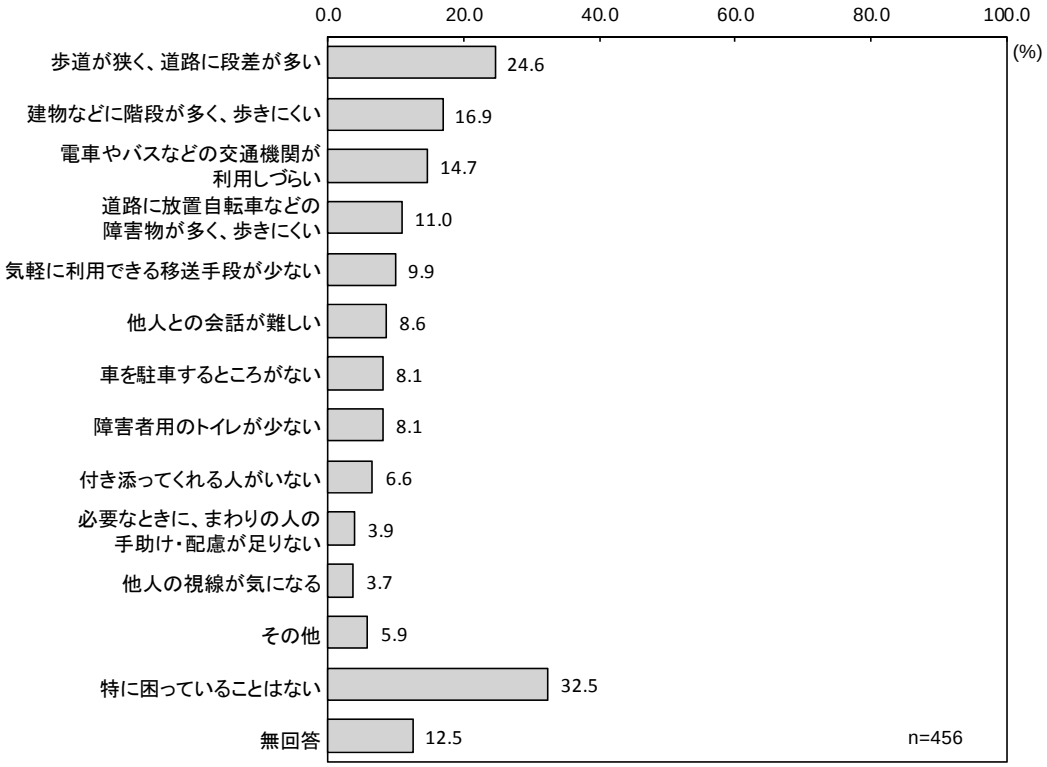
障害の種類別にみると、肢体不自由（体幹）では、37.5%が「いつも支援が必要」としている。視覚障害では、３割の人が「慣れた場所にはひとりで行けるが、それ以外は支援が必要」と回答している。



※0.0 は非表示

問 14　外出の際に困っていることはありますか。（○はいくつでも）

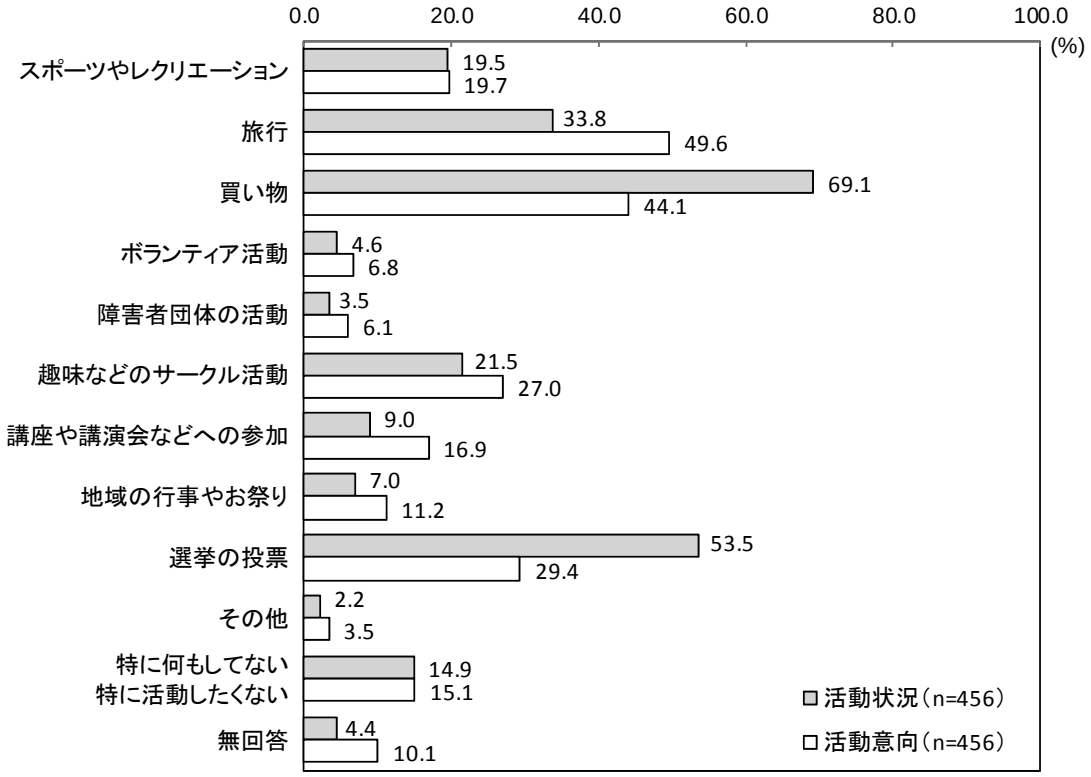
外出の際に困っていることとしては、「歩道が狭く、道路に段差が多い」との回答が 24.6%で最も高い。次いで、「建物などに段差が多く、歩きにくい」（16.9%）、「電車やバスなどの交通機関が利用しづらい」（14.7%）、「道路に放置自転車等の障害物が多く、歩きにくい」（11.0%）となっており、ハード面での困りごとが上位になっている。



問 15　あなたは、この１年くらいの間に、次のような活動をしましたか。（○はいくつでも）：活動状況
問 19　これからどのような活動をしたいと思いますか。（○はいくつでも）：活動意向

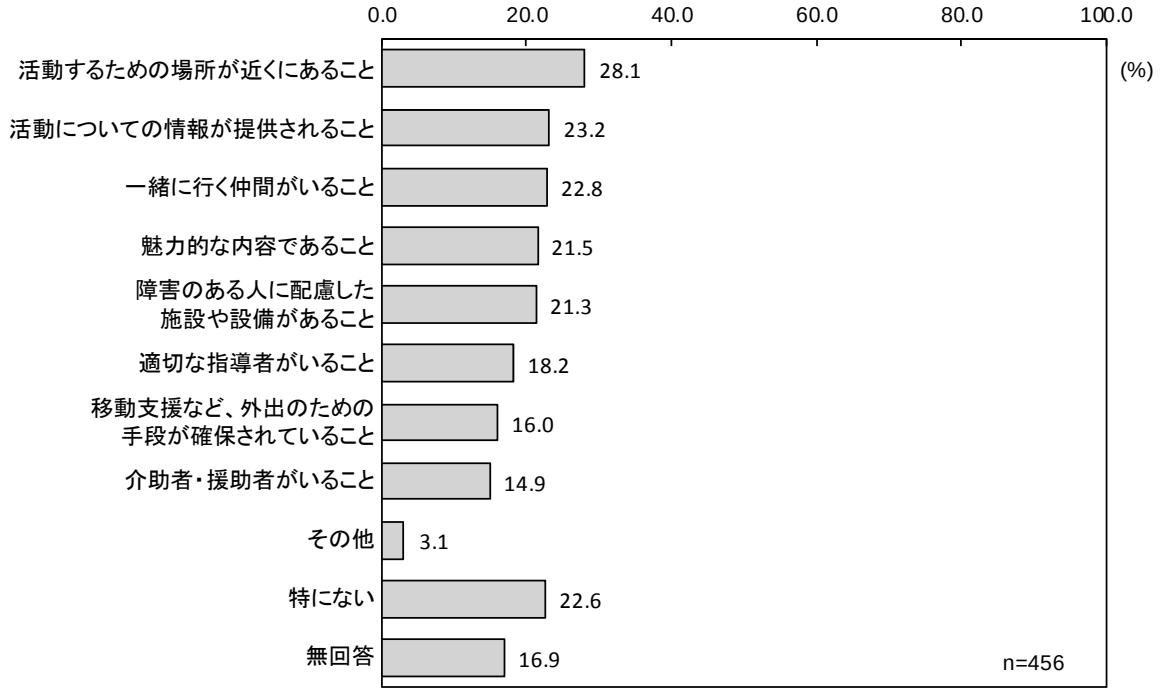
活動状況と活動意向を比べると、「旅行」は実際の活動状況が 33.8%、活動意向は 49.6%となっており、意向が約 16 ポイント高い。

実際の活動状況では、「買い物」（69.1%）、「選挙の投票」（53.5%）が高く、活動意向では、「旅行」（49.6%）、「買い物」（44.1%）が高い。



問 20　問 19 のような活動をするために、どのような支援が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

活動のために必要な支援としては、「活動するための場所が近くにあること」が 28.1%で最も高く、次いで、「活動についての情報が提供されること」（23.2%）、「一緒に行く仲間がいること」（22.8%）が続いている。



問 16　選挙の投票の際、困ったことや改善してほしいことはありましたか。（自由記述）

＜回答対象者：問 15 で「選挙の投票」と回答した人＞

整理中

<Ⅱ　1　身体障害者調査>

問 17　スポーツ活動をした方は、どのようなスポーツ活動をしましたか。あてはまるものに○をつけてください。（○はいくつでも）

<回答対象者：問 15 で「スポーツやレクリエーション」と回答した人>

スポーツ活動の内容は、以下の通りである。

（%）

n=	卓球	ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ	ボッチャ	ダンス	ボウリング	ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ	水泳	その他	無回答
89	6.7	3.4	2.2	4.5	4.5	1.1	27.0	58.4	4.5

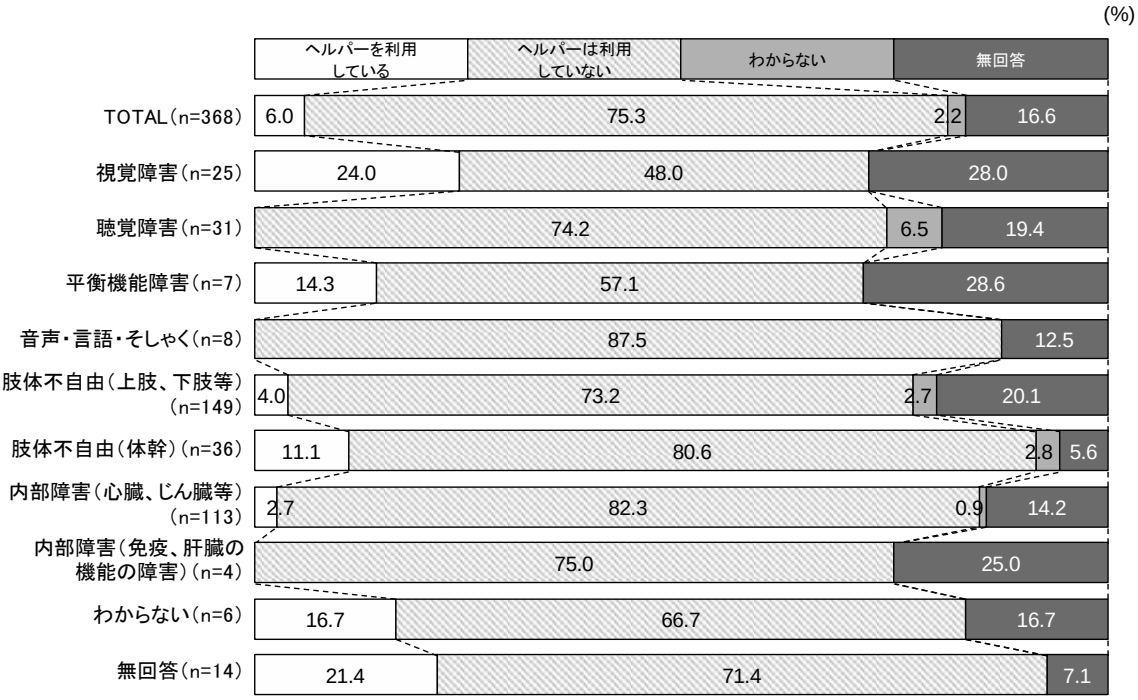
「その他」（58.4%）として以下の記述があった。　**整理中**

問 18　活動のために外出する際に「同行援護」「行動援護」「移動支援」等のヘルパーを利用していますか。（○は１つ）

<回答対象者：問 15 で何らかの活動をしている人>

活動のためのヘルパー利用状況は、「ヘルパーを利用している」が 6.0%、「ヘルパーは利用していない」は 75.3%である。

障害の種類別にみると、視覚障害では 25 人のうち 6 人（24.0%）が「ヘルパーを利用している」と回答している。



※0.0 は非表示

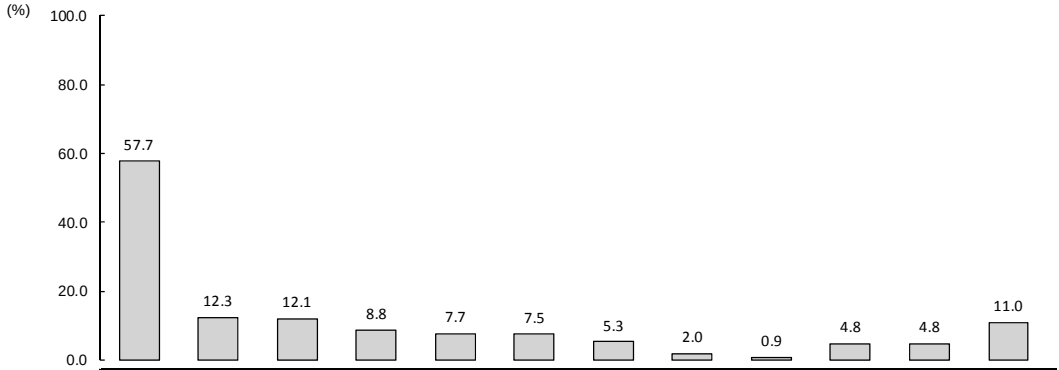
（5）将来の希望

問 53　あなたは、今後、どのように日中を過ごしたいと思いますか。（○はいくつでも）

今後、希望する日中の過ごし方は、「自宅でのんびり過ごしたい」が 57.7%で最も高く、次いで「自立した日常生活ができるよう、一定期間、身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を受けたい」が 12.3%で続いている。

平日の日中の過ごし方別にみると、福祉施設、作業所などに通っている人では「一般企業などで働きたい」、「一般企業での就労は難しいと思うが働きたいと思うので、施設内で就労したり、生産活動をしながら過ごしたい」がそれぞれ 14.3%である。

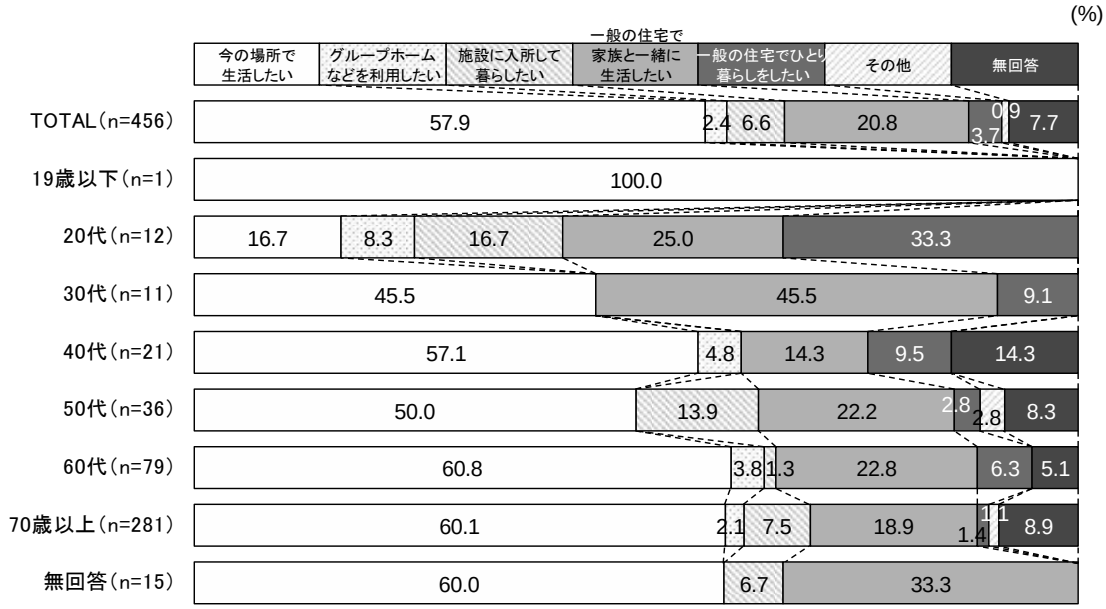
＜平日の日中の過ごし方別・今後、希望する過ごし方＞



	n=	自宅でのんびり過ごしたい	自立した日常生活ができるよう、一定期間、身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を受けたい	創作活動や社会との交流などを行ったりするところで過ごしたい	医療機関で、機能訓練、看護、介護、日常生活の世話などを受けながら過ごしたい	施設で、入浴、排せつ、食事の介護を受けながら、創作的活動などを行いたい	一般企業などで働きたい	一般企業等での就労は難しいと思うが働きたいと思うので、施設内で就労したり、生産活動をしながら過ごしたい	施設や企業で作業や実習などを行い、職場探しや職場定着のための支援を受けたい	学校に通いたい	その他	わからない	無回答
TOTAL	456	57.7	12.3	12.1	8.8	7.7	7.5	5.3	2.0	0.9	4.8	4.8	11.0
福祉施設、作業所などに通っている	21	33.3	19.0	38.1	4.8	38.1	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	4.8	4.8
病院などのデイケアに通っている	30	56.7	16.7	13.3	6.7	13.3	0.0	3.3	0.0	0.0	3.3	6.7	10.0
リハビリテーションを受けている	30	53.3	30.0	20.0	40.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	6.7
働いている	76	55.3	6.6	11.8	1.3	1.3	28.9	6.6	0.0	1.3	6.6	6.6	10.5
入所・入院している施設や病院などで過ごしている	26	23.1	11.5	0.0	26.9	34.6	3.8	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	7.7
自宅にいることが多い	219	67.1	9.6	9.1	5.5	4.1	3.2	5.0	1.8	0.0	3.7	5.0	10.0
その他	30	50.0	23.3	16.7	6.7	0.0	3.3	6.7	6.7	0.0	13.3	0.0	20.0
無回答	24	54.2	8.3	12.5	12.5	4.2	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	4.2	25.0

問 54　あなたは、将来、どこで生活したいと思いますか。（○は１つ）

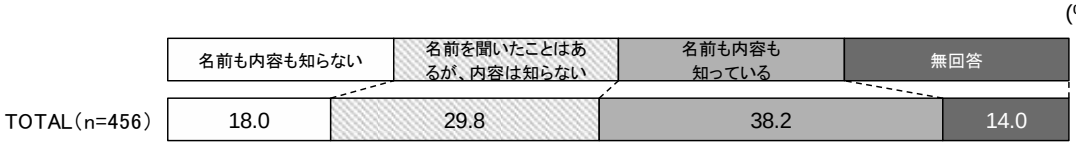
将来、生活したいところは、「今の場所で生活したい」が 57.9%、「グループホームなどを利用したい」が 2.4%、「施設に入所して暮らしたい」が 6.6%、「一般の住宅で家族といっしょに生活したい」が 20.8%、「一般の住宅でひとり暮らしをしたい」が 3.7%である。



※0.0 は非表示

問 55　成年後見制度とは、知的障害や精神障害などの理由により、判断能力が十分でない方の財産などの権利を守る制度です。あなたは、成年後見制度について知っていますか。（○は１つ）

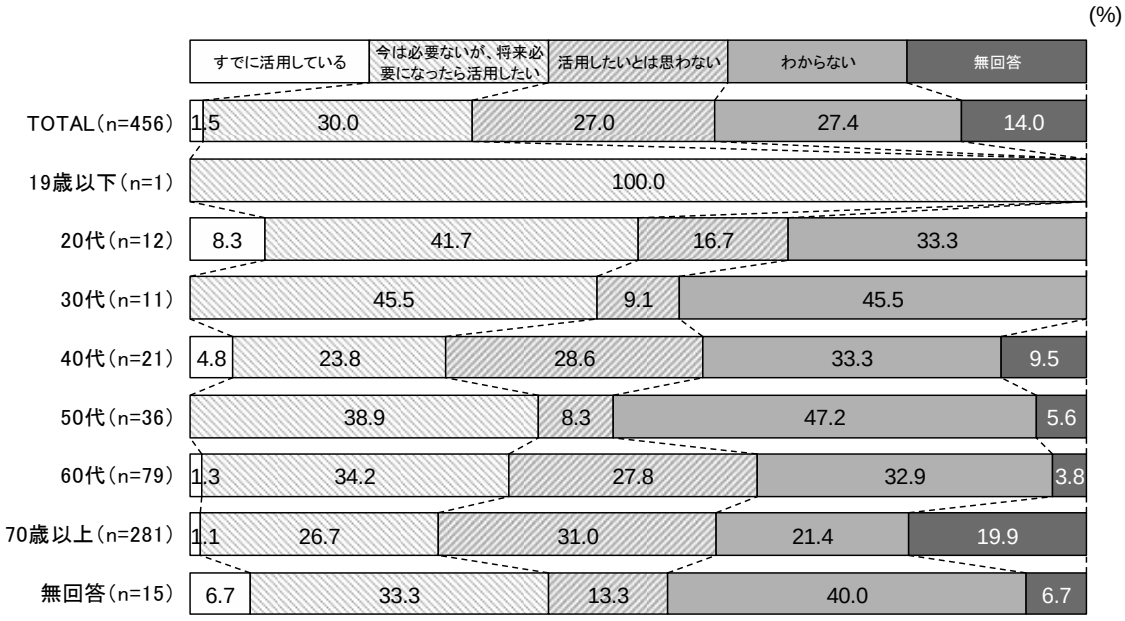
成年後見制度について、「名前も内容も知っている」人は 38.2%、「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」人は 29.8%である。18.0%の人が「名前も内容も知らない」と回答している。



問 56　あなたは、成年後見制度を活用したいと思いますか。（○は１つ）

成年後見制度を「すでに活用している」人は 1.5%である。「今は必要ないが、将来必要になったら活用したい」と考える人は 30.0%である。

年代別にみると、「すでに活用している」人は、20 代、40 代、60 代以上である。20 代、30 代では「今は必要ないが、将来必要になったら活用したい」がそれぞれ 40%を超えている。70 歳以上では、「活用したいと思わない」人が 31.0%である。

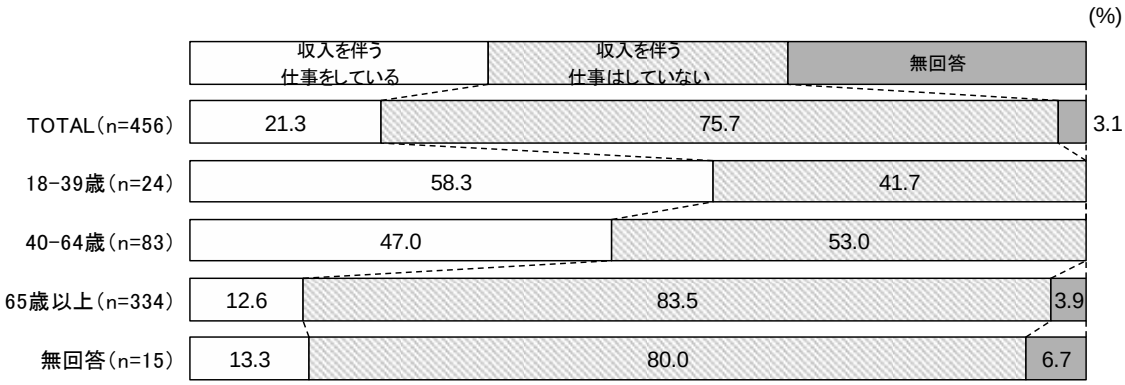


※0.0 は非表示

（６）雇用・就労について

問 22　現在、あなたは収入を伴う仕事をしていますか。（○は１つ）

収入を伴う仕事している人の割合は、18-39 歳で 58.3%、40-64 歳で 47.0%、65 歳以上で 12.6%である。



※0.0 は非表示

<Ⅱ　1　身体障害者調査>

<問 23～問 26 回答対象者：収入を伴う仕事をしている人>

問 23　どなたかの支援を受けて現在の仕事に就きましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

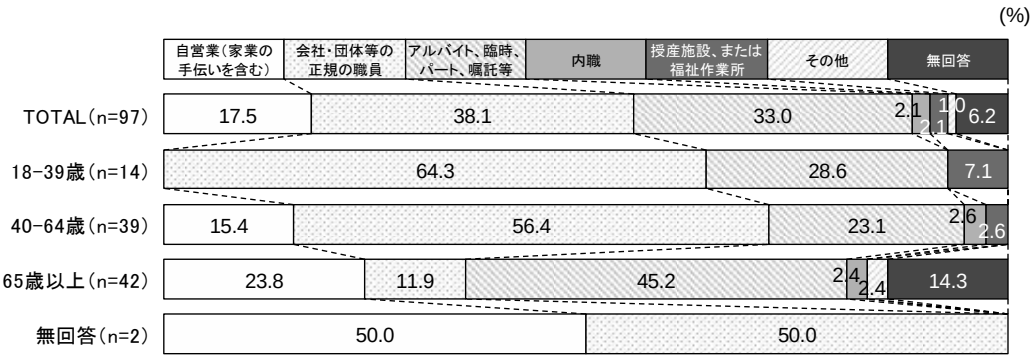
就労の際の支援については、52.6%の人が「支援は受けなかった」と回答しているが、あげられた支援先としては、「ハローワーク」が 8.2%と最も高くなっている。

（%）

n=	ハローワーク	障害者就労支援センター（一歩）	就労移行支援事業所（さくらの園）	学校	家族	友人・知人	その他	支援は受けなかった	無回答
97	8.2	0.0	1.0	4.1	7.2	4.1	10.3	52.6	12.4

問 24　仕事の形態は次のうちどれですか。（○は１つ）

就労形態は、「会社・団体等の正規の職員」が 38.1%、「アルバイト、臨時、パート、嘱託等」が 33.0%、「自営業（家業の手伝いを含む）」が 17.5%である。



※0.0 は非表示

問 25　あなたご自身の１ヶ月当たりの平均的な給与・賃金・工賃はいくらですか。

全体でみると、1 ヶ月当たりの平均的な給与・賃金・工賃は、平均 171,303 円である。

就労形態別にみると、1 ヶ月当たりの平均的な給与・賃金・工賃は、「自営業（家業の手伝いを含む）」185,769 円、「会社・団体等の正規職員」248,387 円、「アルバイト、臨時、パート、嘱託等」115,185 円となっている。

（%）

	n=	50,000 円未満	100,000 円未満	150,000 円未満	200,000 円未満	250,000 円未満	400,000 円未満	400,000 円以上	無回答	平均（円）
TOTAL	97	10.3	15.5	10.3	13.4	16.5	8.2	7.2	18.6	171,303
自営業（家業の手伝いを含む）	17	5.9	23.5	0.0	11.8	5.9	17.6	11.8	23.5	185,769
会社・団体等の正規の職員	37	0.0	0.0	8.1	16.2	35.1	13.5	10.8	16.2	248,387
アルバイト、臨時、パート、嘱託等	32	9.4	31.3	21.9	12.5	6.3	0.0	3.1	15.6	115,185
内職	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22,500
授産施設、または福祉作業所	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4,000
その他	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15,000

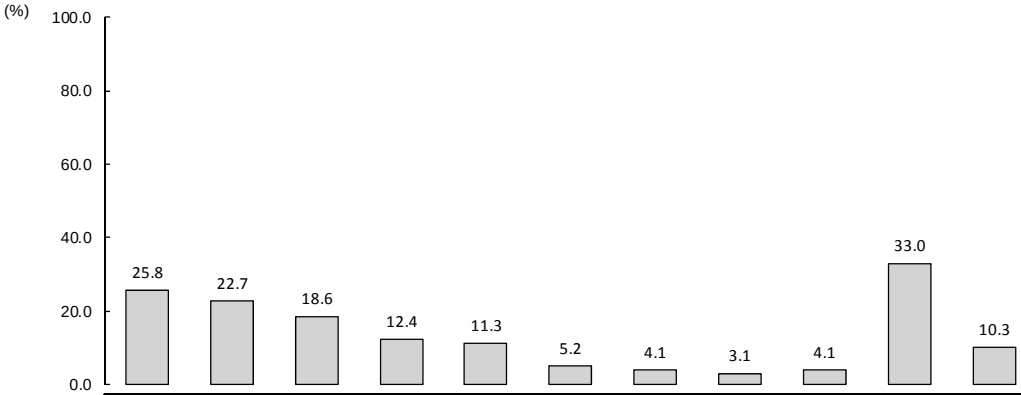
<＜Ⅱ　1　身体障害者調査＞

問 26　仕事をする上で困っていることは何ですか。（○はいくつでも）

仕事をするうえで困っていることとして、「通勤が大変」との回答が 25.8%と最も高い。次いで、「給与・工賃などの収入が少ない」（22.7%）、「勤務時間、日数が多く体力的に不安」（18.6%）が続く。

身体障害者手帳記載の障害の種類別にみると、「通勤が大変」との回答は、肢体不自由（上肢、下肢等）で 28.3%、内部障害で 31.0%である。

就労形態別にみると、「給与・工賃などの収入が少ない」との回答は、アルバイト、臨時、パート、嘱託等で 25.0%、「障害に対する職場の理解不足」は、会社・団体等の正規の職員で 21.6%である。



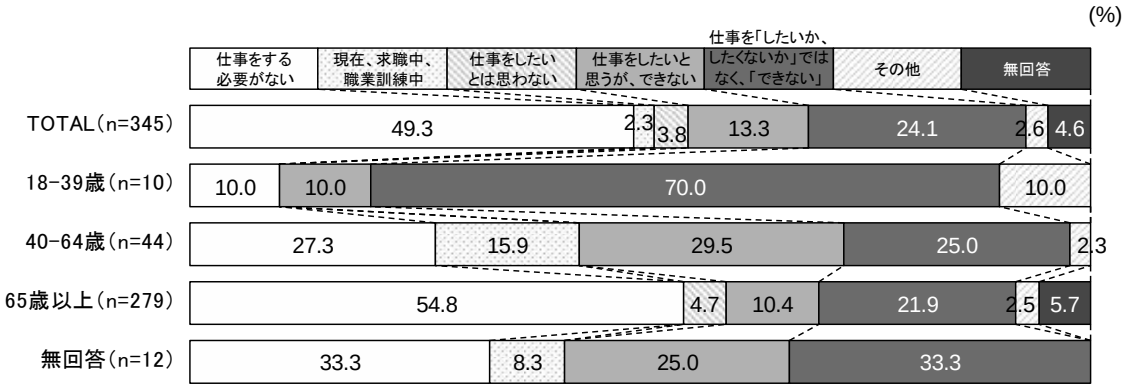
＜身体障害者手帳記載の障害の種類別＞	n=	通勤が大変	給与・工賃などの収入が少ない	勤務時間、日数が多く体力的に不安	障害に対する職場の理解不足	職場の人間関係	職場の設備が障害に対応していない	職場外で相談相手がいない	業務内容が合わない	その他	特に困っていることはない	無回答
TOTAL	97	25.8	22.7	18.6	12.4	11.3	5.2	4.1	3.1	4.1	33.0	10.3
視覚障害	7	14.3	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	57.1	0.0
聴覚障害	7	14.3	14.3	0.0	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0	42.9	14.3	14.3
音声・言語・そしゃく	2	0.0	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
肢体不自由（上肢、下肢等）	46	28.3	21.7	23.9	13.0	8.7	10.9	2.2	0.0	0.0	32.6	15.2
肢体不自由（体幹）	5	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0
内部障害（心臓、じん臓等）	29	31.0	17.2	24.1	6.9	20.7	0.0	6.9	6.9	0.0	31.0	6.9
内部障害（免疫、肝臓の機能の障害）	2	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
無回答	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
＜就労形態別＞												
自営業（家業の手伝いを含む）	17	5.9	11.8	5.9	5.9	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	58.8	17.6
会社・団体等の正規の職員	37	51.4	18.9	35.1	21.6	13.5	10.8	8.1	5.4	8.1	18.9	0.0
アルバイト、臨時、パート、嘱託等	32	9.4	25.0	12.5	9.4	18.8	0.0	3.1	3.1	3.1	37.5	15.6
内職	2	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
授産施設、または福祉作業所	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
無回答	6	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3

問 27　仕事をしていない主な理由は何ですか。（○は１つ）

<回答対象者：収入を伴う仕事をしていない人>

仕事をしていない主な理由として、「仕事をする必要がない」が 49.3%で最も高い。

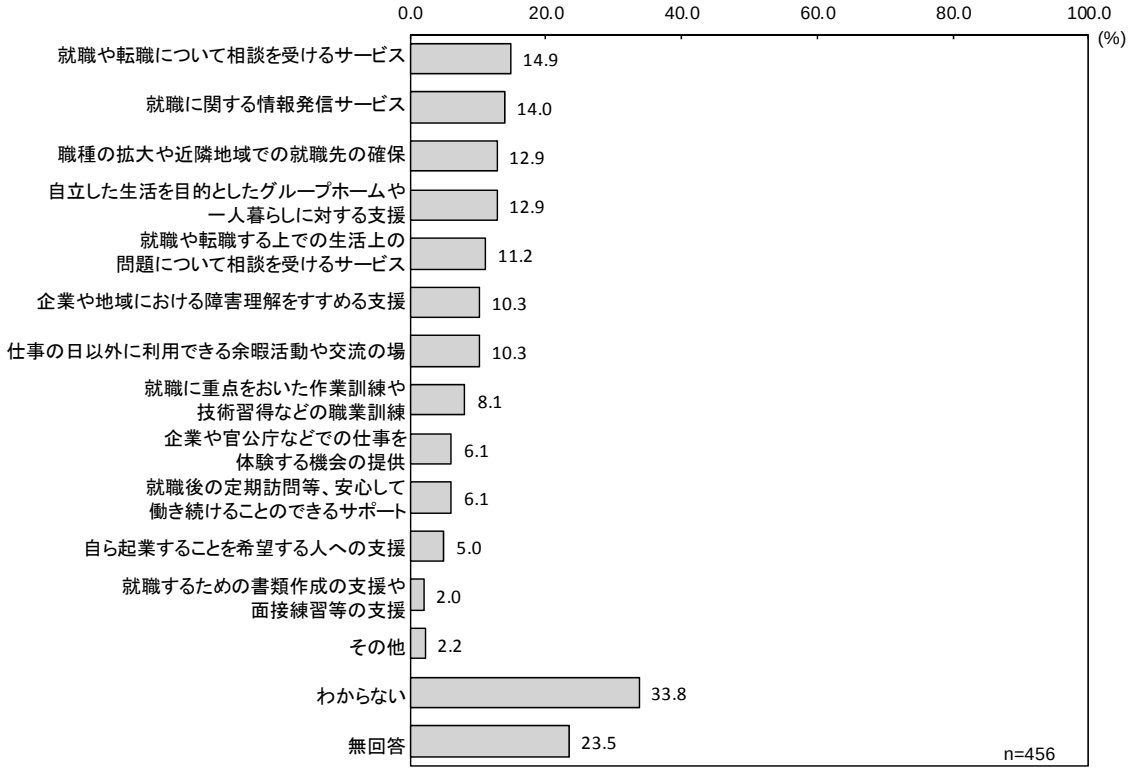
40-64 歳の 29.5%が「仕事をしたいと思うが、できない」と回答している。



※0.0 は非表示

問 28　あなたは、障害のある方の雇用を促進するために、市内で不足していると思われるサービスや取組みは何だと思いますか。（○はいくつでも）

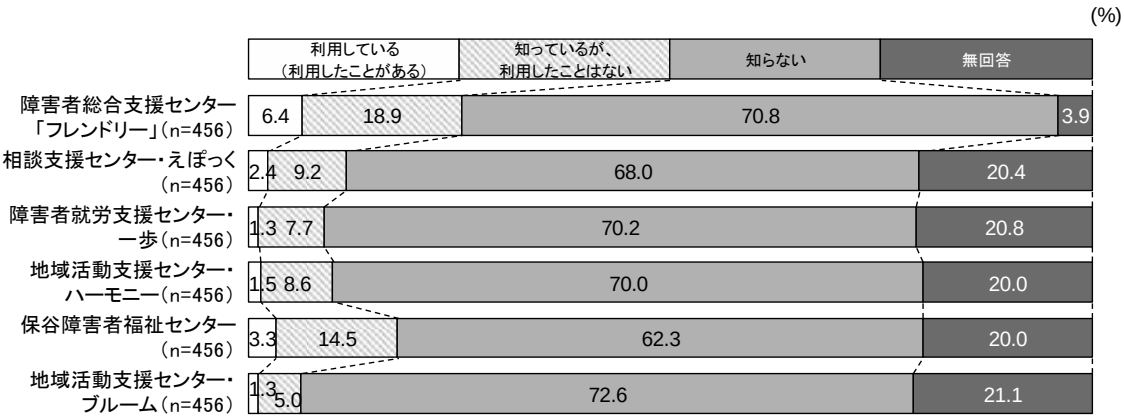
障害のある人の雇用促進のために、不足していると思われるサービスや取組みは、「就職や転職について相談を受けるサービス」が 14.9%で最も高く、次いで「就職に関する情報発信サービス」が 14.0%で続く。



（7）障害者施設・施策について

問 29　あなたは、西東京市の障害者総合支援センター「フレンドリー」を知っていますか。（○は１つ）
問 30　あなたは、西東京市にある次の施設を利用したことがありますか。また、知っていますか。（○は１つ）

市内施設を利用したことがある人は、障害者総合支援センター「フレンドリー」が 6.4%、相談支援センター・えぽっくが 2.4%、障害者就労支援センター・一歩が 1.3%、地域活動支援センター・ハーモニーが 1.5%、保谷障害者福祉センターが 3.3%、地域活動支援センター・ブルームが 1.3%である。



問 31　あなたは、次の講座や事業等を知っていますか。（○はいくつでも）

市開催の講座や事業等の認知状況は、以下の通りである。

（%）

n=	サポーター養成講座	ヘルプカード	スポーツ支援事業	障害者水泳教室	講座や事業等は知らない	無回答
456	8.3	21.1	5.7	6.4	58.6	15.8

（8）相談や情報入手方法

問 32　あなたは、悩みごとや心配ごとがあるとき、家族や親せき以外に、どのようなところに相談していますか。（○はいくつでも）

家族や親せき以外の相談先としては、「知人・友人」をあげる人が 27.4%と最も高く、次いで「病院・診療所」（18.6%）、「市役所の福祉相談窓口」（15.8%）と続いている。一方で、23.2%が「相談できるところは特にない」と回答している。

（%）

n=	友人・知人	病院・診療所	市役所の福祉相談窓口	福祉施設や作業所の職員	生活保護の担当職員	保谷障害者福祉センター	民生委員・児童委員	幼稚園・保育園・学校の先生や職場の仲間	社会福祉協議会の職員	地域活動支援ｾﾝﾀｰ・ハーモニー
456	27.4	18.6	15.8	3.7	2.6	1.1	1.1	1.1	1.1	0.9
	障害者団体	相談支援センター・えぽっく	地域活動支援センター・ブルーム	保健師	障害者就労支援センター・一歩	児童相談所	その他	誰かに相談することはまれである	相談できるところは特にない	無回答
	0.9	0.7	0.7	0.7	0.4	0.0	5.9	16.4	23.2	10.1

問 33　相談できるところは特にないと回答した理由は何ですか。（○はいくつでも）

＜回答対象者：「相談できるところは特にない」と回答した人＞

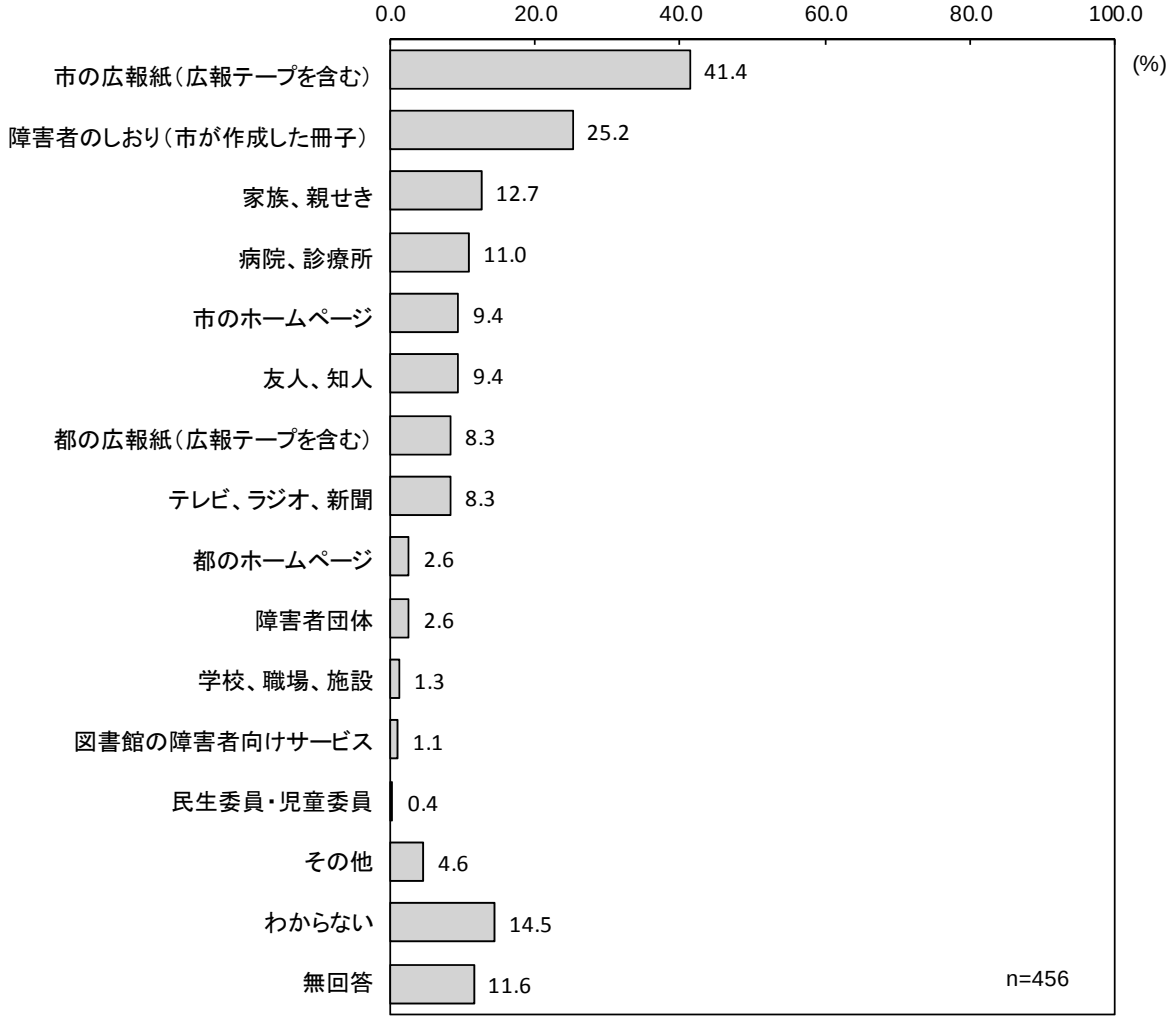
35.8%は「どこに相談したらよいかわからないから」と回答している。

（%）

n=	相談するほどでもない・必要がない	相談したくないから	どこに相談したらよいかわからないから	その他	無回答
106	51.9	8.5	35.8	4.7	0.9

問 34　あなたは、障害福祉サービスなどの情報を主にどこから得ていますか。（○はいくつでも）

情報の入手先として、「市の広報紙（広報テープを含む）」が 41.4%で最も高く、次いで、「障害者のしおり（市が作成した冊子）」（25.2%）、「家族、親せき」（12.7%）と続いている。情報入手先が「わからない」と回答した人は 14.5%である。



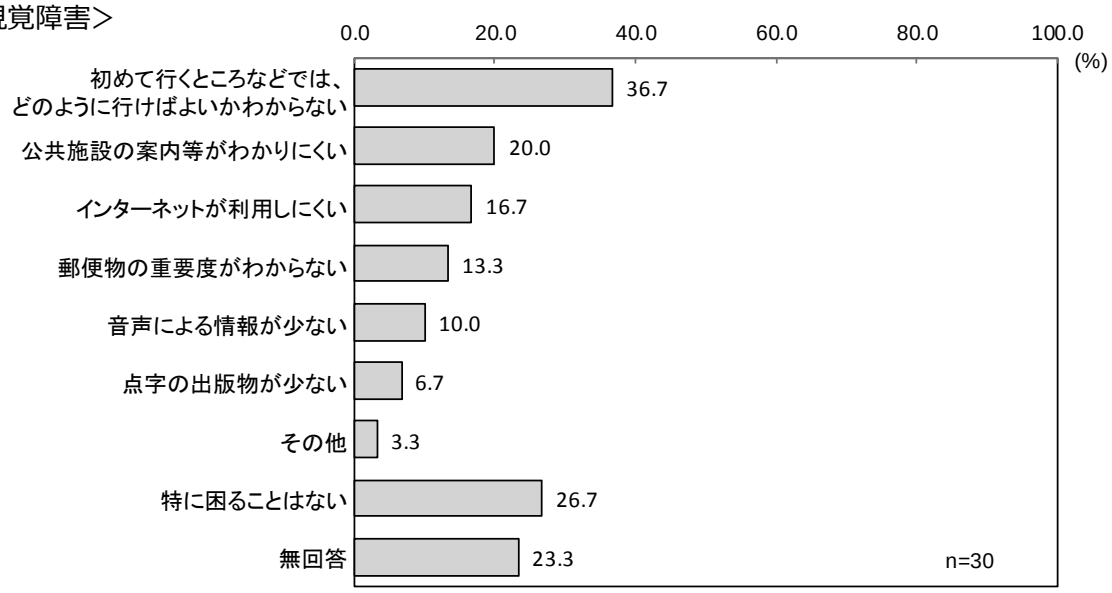
＜問 35、問 36 回答対象者：視覚障害または聴覚障害のある人＞

問 35　コミュニケーションや情報取得をする上で困ることはどのようなことですか。（○はいくつでも）

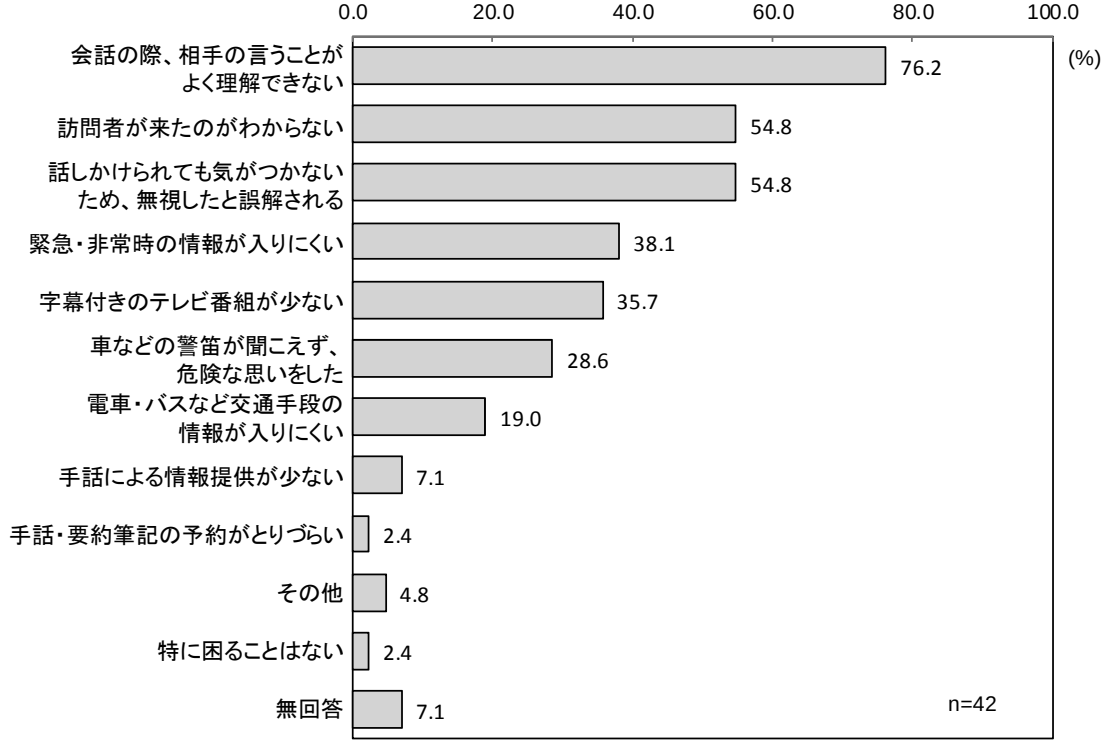
視覚障害のある人の、コミュニケーションや情報取得をするうえで困っていることは、36.7%の人が「初めて行くところなどでは、どのように行けばよいかわからない」、20.0%が「公共施設の案内等がわかりにくい」と回答している。

また聴覚障害のある人では、76.2%の人が「会話の際、相手の言うことがよく理解できない」と回答している。また「訪問者が来たのがわからない」、「話しかけられても気がつかないため、無視したと誤解される」ことをあげる人がそれぞれ 54.8%である。

＜視覚障害＞



＜聴覚障害＞



<Ⅱ　1　身体障害者調査>

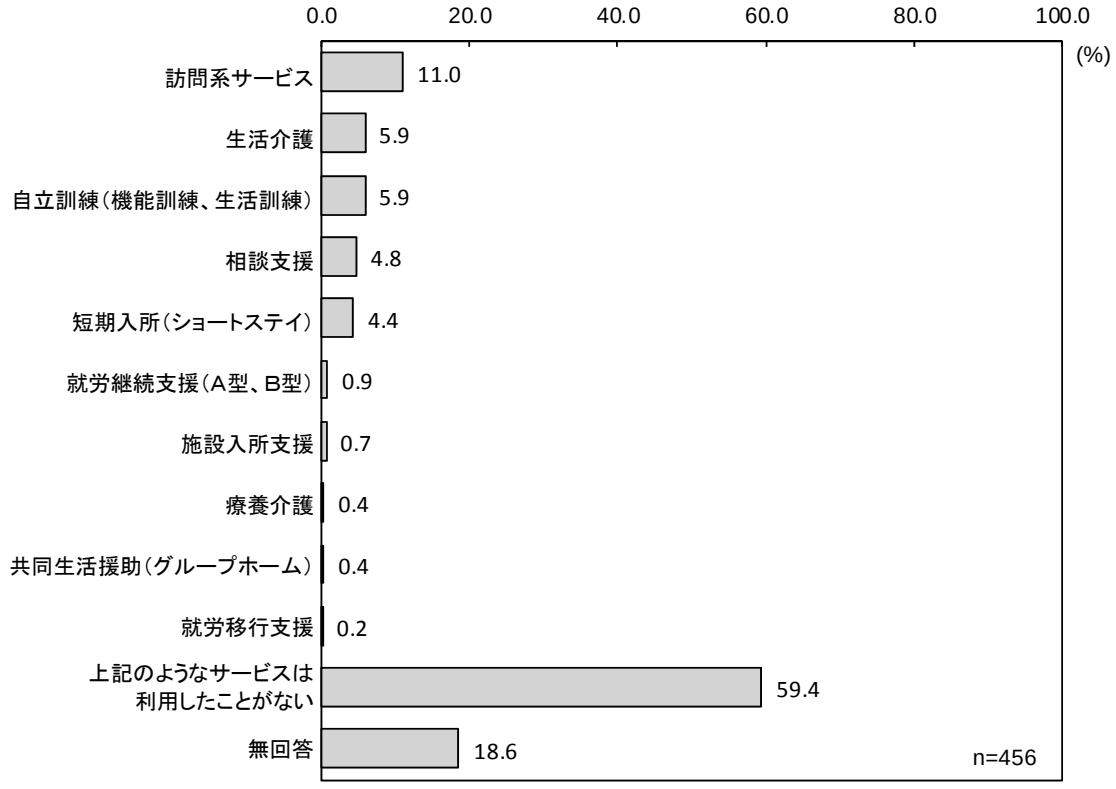
問 36　コミュニケーションや情報取得の際、あるとよいサービスはどのようなものですか。(自由記述)

整理中

（9）福祉サービス認知・利用状況

問 37　あなたは、次のような障害福祉サービスを、過去 1 年の間に利用したことがありますか。利用したことがあるサービスに○をつけてください。(○はいくつでも)

以下の障害福祉サービスのうち、過去 1 年間での利用経験が最も高いのは、「訪問系サービス（居宅介護、同行援護等)」で 11.0%である。次いで、「生活介護」(5.9%)、「自立訓練（機能訓練、生活訓練)」(5.9%)、「相談支援」(4.8%）が続く。



問 38　サービスに対する、感想やご意見があれば自由にご記入ください。(自由記述)
※サービス名、利用の際に困っていること、サービス利用で改善してほしい点など。

<回答対象者：何らかの障害福祉サービス利用経験者>

整理中

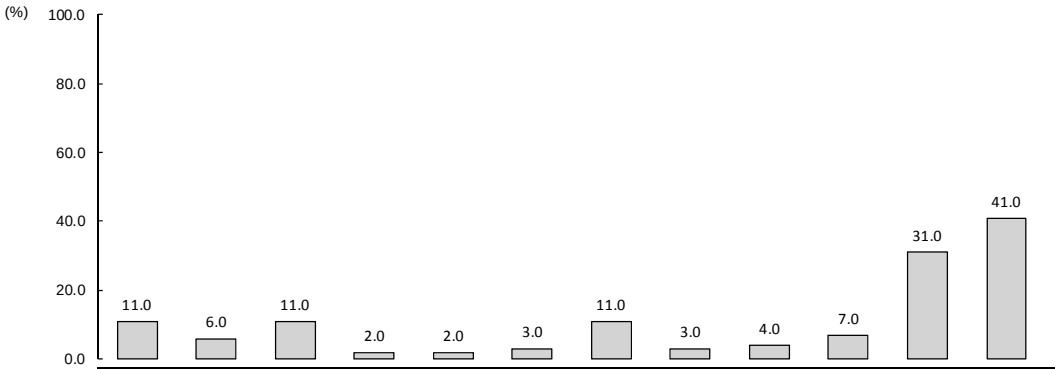
問 39　あなたが、「十分利用できていない」と思う障害福祉サービスはどのサービスですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

＜回答対象者：何らかの障害福祉サービス利用経験者＞

サービス利用経験者の 31.0%が「必要なサービスを利用できている」と回答しているが、「十分利用できていない」と思うサービスでは、「訪問系サービス」、「自立訓練（機能訓練、生活訓練）」、「短期入所（ショートステイ）」をあげる人がそれぞれ 11.0%いる。

利用したことがあるサービス別に十分利用できていないサービスをみると、実際に訪問系サービスを利用している人の 16.0%は「十分利用できていない」と感じている。また、短期入所（ショートステイ利用者では、35.0%が「十分利用できていない」と感じている。

＜利用したことがあるサービス別・十分利用できていないサービス＞



利用したことがあるサービス〉	n=	訪問系サービス	生活介護	自立訓練（機能訓練、生活訓練）	就労移行支援	就労継続支援（A型、B型）	療養介護	短期入所（ショートステイ）	共同生活援助（グループホーム）	施設入所支援	相談支援	必要なサービスを利用できている	無回答
TOTAL	100	11.0	6.0	11.0	2.0	2.0	3.0	11.0	3.0	4.0	7.0	31.0	41.0
訪問系サービス	50	16.0	10.0	8.0	0.0	0.0	6.0	10.0	6.0	4.0	8.0	36.0	36.0
生活介護	27	18.5	18.5	18.5	3.7	0.0	3.7	18.5	7.4	7.4	22.2	29.6	22.2
自立訓練（機能訓練、生活訓練）	27	25.9	14.8	25.9	3.7	3.7	7.4	7.4	3.7	3.7	11.1	18.5	37.0
就労移行支援	1	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
就労継続支援（A型、B型）	4	0.0	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
療養介護	2	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
短期入所（ショートステイ）	20	5.0	5.0	15.0	0.0	0.0	0.0	35.0	10.0	10.0	20.0	40.0	25.0
共同生活援助（グループホーム）	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
施設入所支援	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
相談支援	22	13.6	9.1	9.1	4.5	4.5	0.0	22.7	9.1	4.5	13.6	18.2	50.0

<＜Ⅱ　1　身体障害者調査＞

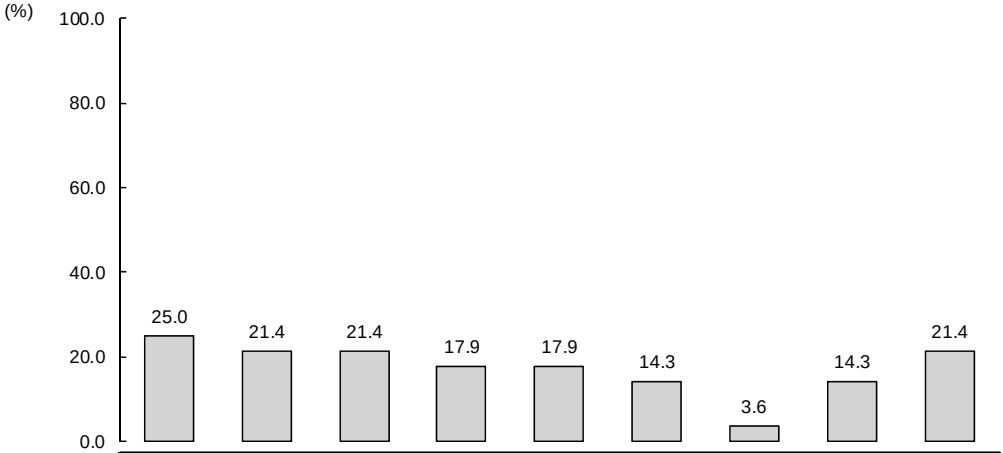
問 40　必要だと思うサービスを、十分、利用できていない理由は何ですか。（○はいくつでも）

<回答対象者：障害福祉サービスを十分利用できていないと感じている人>

利用サービスを「十分利用できていない」と感じている人に、理由をたずねたところ、「自己負担が大きく、利用できないから」が 25.0%で最も高く、次いで、「サービス利用に予約が必要で、いつも予約がいっぱいだから」「自分が利用したい時間や時期とあわないから」（ともに 21.4%）、「支給量が足りないから」「通うのが大変だから」（ともに 17.9%）が続く。

十分利用できていないと思うサービス別にみると、「自己負担が大きく、利用できないから」との回答は訪問系サービスで 36.4%、生活介護で 50.0%である。

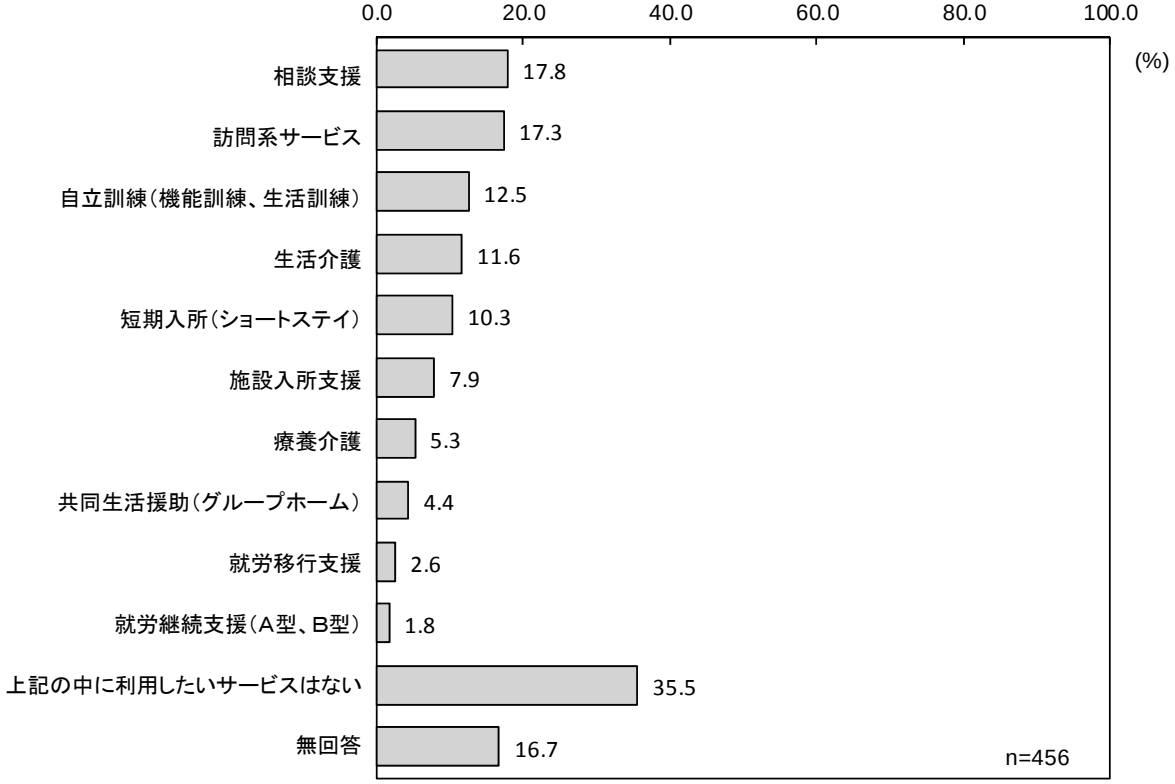
<十分利用できていないと思うサービス別・十分利用できていない理由>



十分利用できていないと思うサービス	n=	自己負担が大きく、利用できないから	サービス利用に予約が必要で、いつも予約がいっぱいだから	自分が利用したい時間や時期とあわないから	支給量が足りないから	通うのが大変だから	使いたいサービスの定員がいっぱいだから	その他	わからない	無回答
TOTAL	28	25.0	21.4	21.4	17.9	17.9	14.3	3.6	14.3	21.4
訪問系サービス	11	36.4	18.2	18.2	36.4	9.1	18.2	9.1	9.1	27.3
生活介護	6	50.0	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7	0.0	16.7	16.7
自立訓練（機能訓練、生活訓練）	11	18.2	27.3	45.5	9.1	27.3	27.3	0.0	0.0	36.4
就労移行支援	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
就労継続支援（A型、B型）	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
療養介護	3	0.0	66.7	33.3	0.0	66.7	33.3	0.0	33.3	0.0
短期入所（ショートステイ）	11	9.1	45.5	27.3	9.1	27.3	36.4	9.1	18.2	9.1
共同生活援助（グループホーム）	3	0.0	100.0	66.7	0.0	33.3	100.0	33.3	0.0	0.0
施設入所支援	4	25.0	50.0	25.0	0.0	50.0	50.0	25.0	0.0	0.0
相談支援	7	28.6	57.1	42.9	14.3	14.3	42.9	0.0	14.3	14.3

問 41　今後、どのような障害福祉サービスを引き続き、あるいは新たに利用したいと思いますか。（○はいくつでも）

引き続き、あるいは新たに利用したいサービスは、「相談支援」が 17.8%、「訪問系サービス」が 17.3%、「自立訓練（機能訓練、生活訓練）」が 12.5%である。



問 42　あなたは、次のような介護保険のサービスを、過去 1 年の間に利用したことがありますか。（○はいくつでも）

＜回答対象者：65 歳以上＞

65 歳以上の人に、利用したことがある介護保険のサービスをたずねたところ、32.3%の人が介護保険のサービスを利用したことがあり、通所介護（デイサービス）の利用が最も高い。

（%）

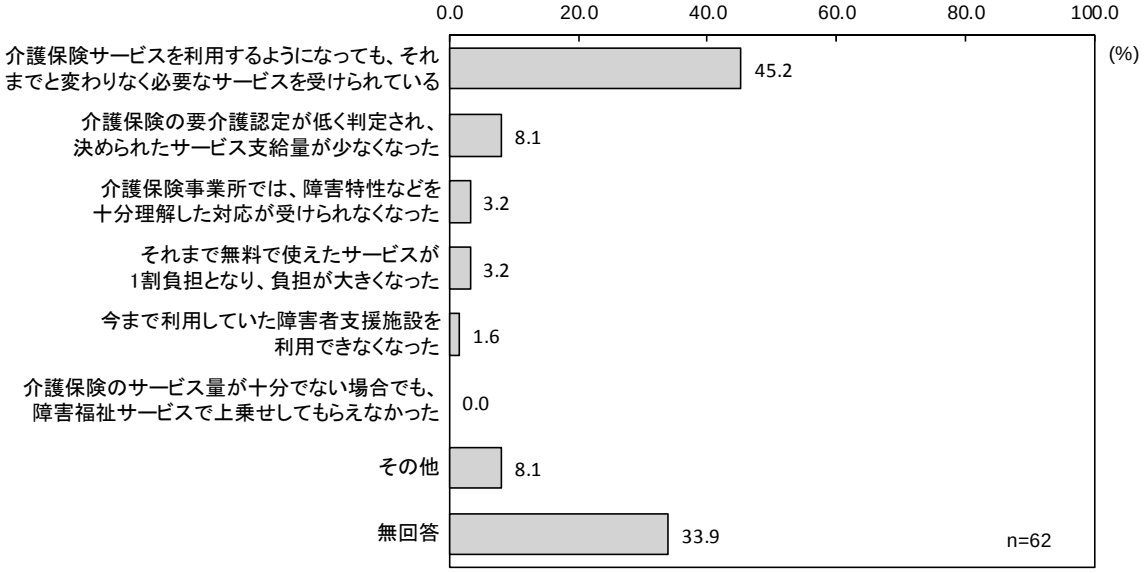
n=	介護保険のサービスは利用していない	訪問介護（ホームヘルパー）	通所介護（デイサービス）	短期入所（ショートステイ）	その他	無回答
334	38.3	14.1	20.4	5.4	5.1	29.3

<Ⅱ　1　身体障害者調査>

問 43　現在、必要なサービス（障害福祉サービス、介護保険サービス）を受けることができていますか。（○はいくつでも）

<回答対象者：障害福祉サービスと介護保険サービス利用経験者>

障害福祉サービスの利用経験があり、介護保険サービスを利用している人に必要なサービスの利用状況をたずねたところ、「介護保険サービスを利用するようになっても、それまでと変わりなく必要なサービスを受けられている」が 45.2%で最も高くなっている。「その他」（8.1%）として、・・・などの記述があった。　**整理中**

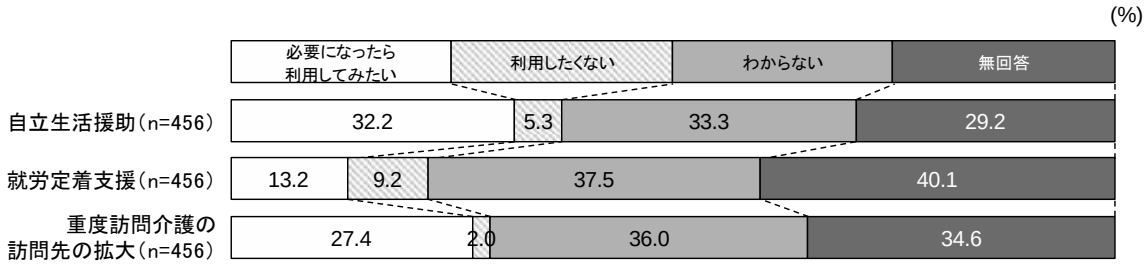


問 44　障害福祉サービスをより利用しやすくするためには、どのような情報提供や相談先が必要ですか。また、サービスを利用するためにあるとよい支援はどのようなものですか。（自由記述）

整理中

問 45　障害者総合支援法の改正により、新たに導入される次のようなサービスをあなたは利用してみたいと思いますか。　※平成 30 年 4 月から創設される予定の新しいサービスです。サービスの詳細は変更する可能性もあります。

平成 30 年 4 月から導入予定のサービスの利用意向について、「必要になったら利用してみたい」と考えるサービスは、「自立生活支援」が 32.2%、「就労定着支援」が 13.2%、「重度訪問介護の訪問先の拡大」が 27.4%である。



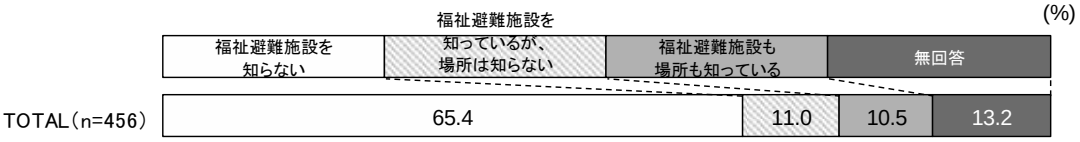
（10）災害対策について

問 46　あなたは、お住まいの地域の避難所を知っていますか。（○は１つ）

地域の避難場所を「知っている」人は 61.8%である。

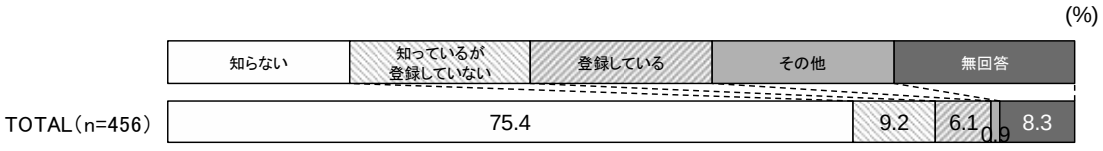
問 47　福祉避難施設とは、自宅や避難施設で生活している高齢者や障害者の方等に対し、状況に応じて介護等の必要なサービスを提供する社会福祉施設等のことです。西東京市には障害者総合支援センター「フレンドリー」をはじめ、約 30 ヶ所の福祉避難施設があります。あなたは、西東京市にある福祉避難施設を知っていますか。（○は１つ）

福祉避難施設については、65.4%が「知らない」と回答している。「福祉避難施設も場所も知っている」人は 10.5%である。



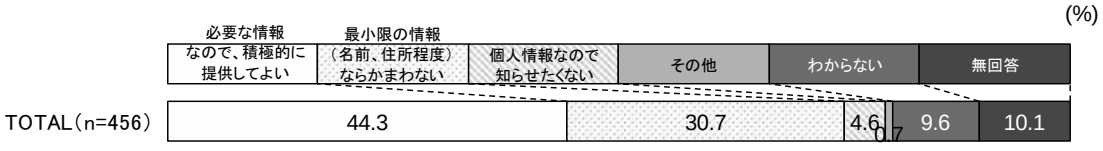
問 48　あなたは、災害時要援護者登録を知っていますか。（○は１つ）

災害時要援護者登録については、75.4%が「知らない」と回答している。「登録している」人は 6.1%である。



問 49　災害時に行政や地域などから支援を受けるため、あらかじめ個人情報（名前、住所、世帯の状況、障害の状況、緊急連絡先等）を市に提供することについて、どう思いますか。（○は１つ）

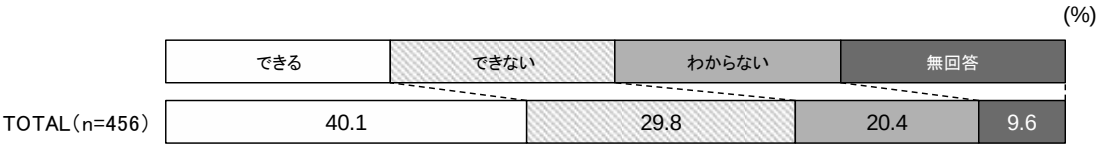
災害時の支援を受けるために個人情報を提供することについては、「必要な情報なので、積極的に提供してよい」が 44.3%、「最小限の（名前、住所程度）ならかまわない」が 30.7%である。



<＝Ⅱ　1　身体障害者調査＞

問 50　あなたは、地震や台風などの災害時にひとりで避難できますか。（○は１つ）

災害時にひとりで避難が「できる」人は 40.1%、「できない」人は 29.8%である。



問 51　地震や台風などの災害が起こった際の不安は何ですか。（○はいくつでも）

地震や台風などの災害が起こった際の不安としては、「避難先での不安」が 55.9%で最も高く、次いで「避難する際の不安」（47.4%）、「災害の状況が伝わってこない場合の不安」（45.0%）が続く。

障害の種類別にみると、聴覚障害の 59.5%が「災害の状況が伝わってこない場合の不安」と回答しており、他の障害に比べ高い。

（%）

	n=	災害の状況が伝わってこない場合の不安	避難する際の不安	避難先での不安	その他	特にない	わからない	無回答
TOTAL	456	45.0	47.4	55.9	6.1	7.2	5.7	9.6
視覚障害	30	33.3	60.0	60.0	0.0	20.0	3.3	6.7
聴覚障害	42	59.5	52.4	61.9	2.4	2.4	11.9	7.1
平衡機能障害	7	42.9	42.9	85.7	0.0	0.0	0.0	0.0
音声・言語・そしゃく	11	54.5	36.4	36.4	0.0	0.0	18.2	0.0
肢体不自由（上肢・下肢等）	177	52.5	53.1	60.5	9.0	5.6	4.5	4.5
肢体不自由（体幹）	48	39.6	54.2	58.3	6.3	0.0	8.3	14.6
内部障害（心臓、じん臓等）	139	36.7	36.7	48.2	6.5	9.4	6.5	13.7
内部障害（免疫等）	6	33.3	50.0	66.7	0.0	16.7	0.0	16.7
わからない	9	33.3	55.6	66.7	22.2	11.1	11.1	0.0
無回答	24	29.2	45.8	41.7	0.0	8.3	0.0	29.2

問 52　災害に備えて、または災害時に、どのような対策が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

必要な災害対策としては、「避難しやすい避難所を整備する」ことをあげる人が 50.2%で最も高い。次いで、「治療や服薬を継続するための医療を確保する」が 46.3%、「災害時に障害者用設備（トイレ、ベッドなど）を配置する」が 42.1%で続く。

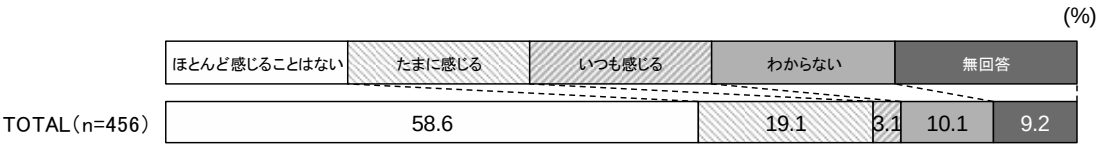
	n=	避難しやすい避難所を整備する	治療や服薬を継続できるための医療を確保する	災害時に障害者用設備（トイレ、ベッドなど）を配置する	日頃から避難方法のアドバイスや情報提供を行う	障害に配慮した避難所の設置や福祉避難所を確保する	地域で助け合える体制を整備する	緊急通報システムを整備する	災害時に介助人などを確保する
TOTAL	456	50.2	46.3	42.1	33.1	33.1	30.7	29.4	26.5
視覚障害	30	43.3	20.0	30.0	26.7	26.7	23.3	16.7	40.0
聴覚障害	42	52.4	31.0	28.6	33.3	26.2	33.3	33.3	19.0
平衡機能障害	7	42.9	57.1	71.4	28.6	57.1	14.3	28.6	57.1
音声・言語・そしゃく	11	63.6	27.3	36.4	27.3	36.4	18.2	27.3	9.1
肢体不自由（上肢、下肢等）	177	57.6	53.1	55.9	37.3	44.1	36.7	35.0	35.0
肢体不自由（体幹）	48	50.0	43.8	56.3	33.3	43.8	37.5	18.8	31.3
内部障害（心臓、じん臓等）	139	45.3	50.4	30.2	33.8	19.4	23.7	28.1	17.3
内部障害（免疫、肝臓の機能の障害）	6	33.3	50.0	33.3	33.3	16.7	33.3	50.0	16.7
わからない	9	44.4	44.4	66.7	22.2	33.3	22.2	22.2	44.4
無回答	24	33.3	33.3	29.2	16.7	33.3	25.0	8.3	20.8

	入院や施設入所者の避難施設を確保する	災害時に視覚障害者や聴覚障害者に配慮した情報提供を行う	災害時に人工透析や在宅酸素など生命安全・維持装置を確保する	避難訓練などに参加できるようにする	災害時に手話通訳者、ガイドヘルパーなどを確保する	その他	特にない	無回答
TOTAL	26.5	24.3	21.5	16.7	12.3	2.0	3.7	11.6
視覚障害	23.3	46.7	3.3	10.0	13.3	0.0	10.0	13.3
聴覚障害	19.0	64.3	16.7	14.3	14.3	0.0	2.4	4.8
平衡機能障害	28.6	28.6	28.6	28.6	14.3	0.0	0.0	14.3
音声・言語・そしゃく	9.1	18.2	9.1	9.1	0.0	9.1	18.2	0.0
肢体不自由（上肢、下肢等）	32.8	23.2	20.9	18.1	14.7	2.3	4.0	6.8
肢体不自由（体幹）	31.3	22.9	25.0	10.4	12.5	2.1	6.3	12.5
内部障害（心臓、じん臓等）	23.7	10.1	28.1	17.3	7.2	2.2	1.4	14.4
内部障害（免疫、肝臓の機能の障害）	33.3	0.0	16.7	33.3	0.0	0.0	16.7	16.7
わからない	33.3	55.6	33.3	22.2	44.4	0.0	11.1	11.1
無回答	8.3	8.3	8.3	16.7	8.3	4.2	4.2	37.5

（11）障害・障害者への理解

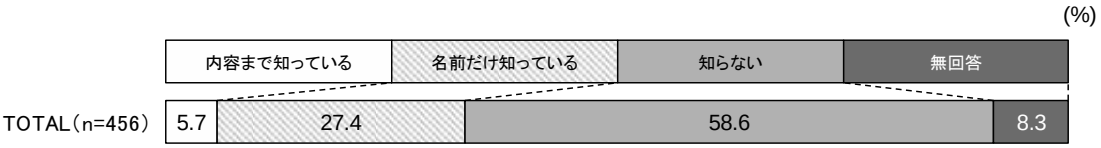
問 57　障害があることで、差別や人権侵害、虐待を受けていると感じることがありますか。（○は１つ）

差別や人権侵害、虐待については、58.6%の人は「ほとんど感じることはない」が、3.1%は「いつも感じる」、19.1%は「たまに感じる」と回答している



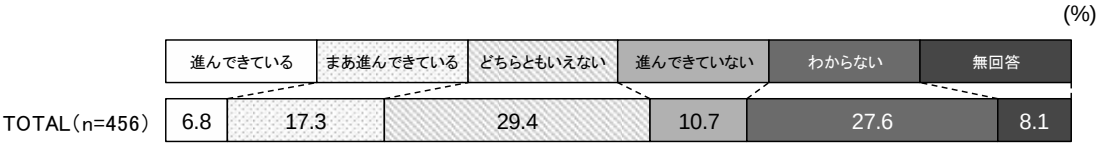
問 58　障害のある方々への差別をなくすことを目的として、平成 28 年４月１日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、このことを知っていますか。（○は１つ）

障害者差別解消法について、「内容まで知っている」人は 5.7%、「知らない」人は 58.6%である。



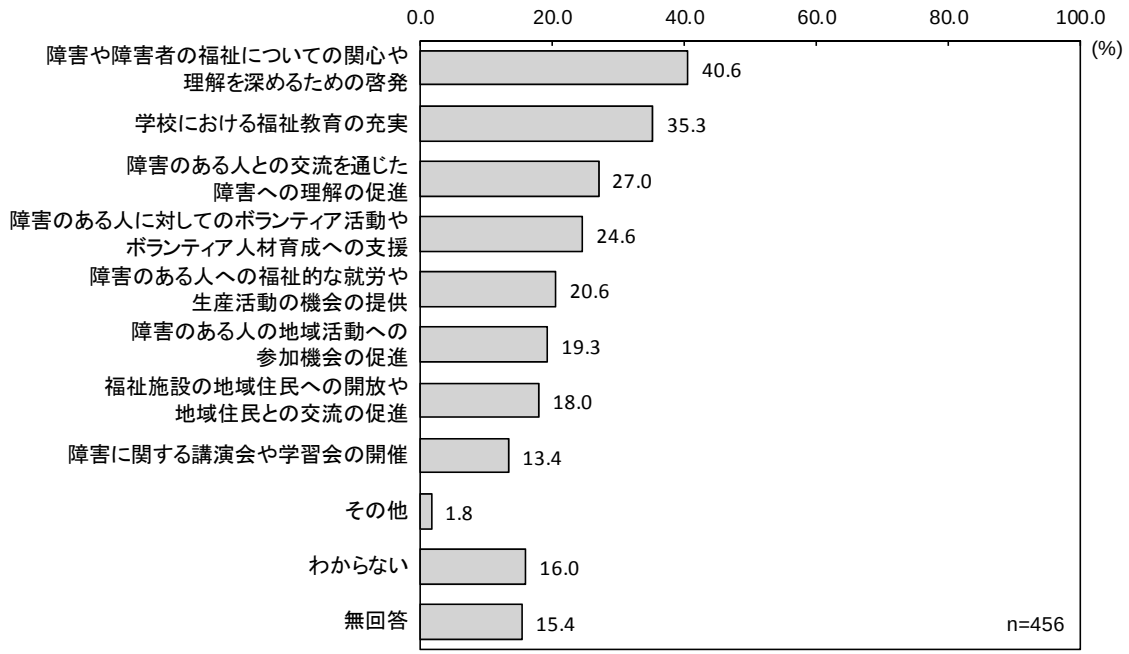
問 59　障害や障害のある方々に対する市民の理解は進んできていると思いますか。（○は１つ）

障害や障害のある人に対する市民の理解が「進んできている」と考えている人は 6.8%、「まあ進んできている」（17.3%）をあわせると、24.1%の人は市民の理解が進んできていると感じている。



問 60　障害や障害のある市民への理解を深めるためには、何が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

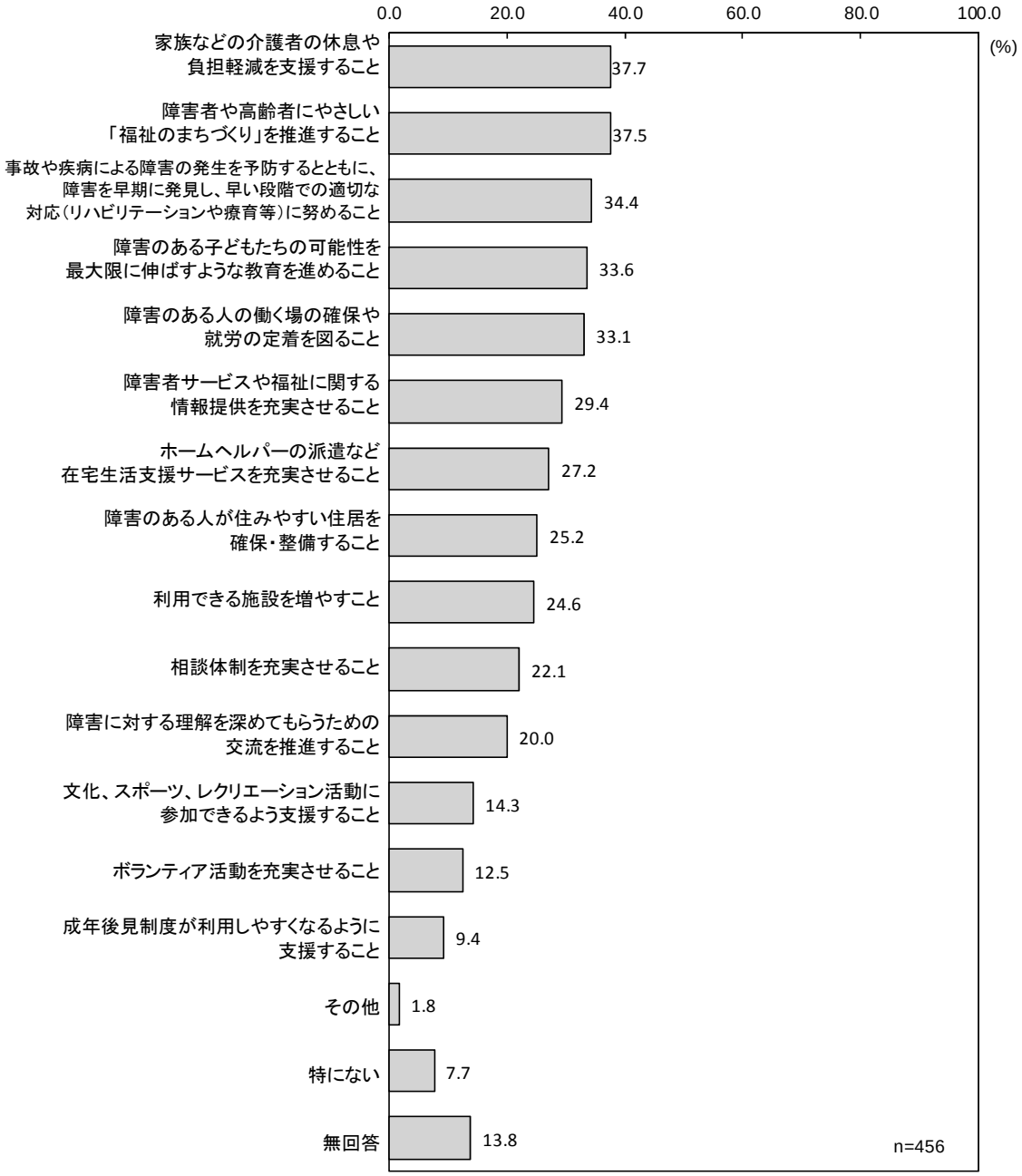
障害や障害のある人への理解に必要なこととして、「障害や障害者の福祉についての関心や理解を深めるための啓発」が 40.6%で最も高く、次いで、「学校における福祉教育の充実」（35.3%）、「障害のある人との交流を通じた障害への理解の促進」（27.0%）が続いている。



（12）障害者施策、市への要望等

問 61　今後、障害者施策を進めていくにあたって、市は特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。（○はいくつでも）

今後、市が充実させていくべき障害者施策としては、「家族などの介護者の休息や負担軽減を支援すること」が 37.7%と最も高く、次いで、「障害者や高齢者にやさしい「福祉のまちづくり」を推進すること」が 37.5%、「事故や疾病による障害の発生を予防するとともに、障害を早期に発見し、早い段階での適切な対応に努めること」が 34.4%で続いている。



問 62　問 61 のような西東京市の障害者施策全般について、総合的に満足していますか。（○は１つ）

西東京市の障害者施策全般について、「満足している」人は 8.8%で、「やや満足」（13.8%）とあわせると、22.6%の人は満足していると感じている。

問 63　約５年前（平成 24 年）と比べて、障害者のサービスはどのように変わったと思いますか。（○は１つ）

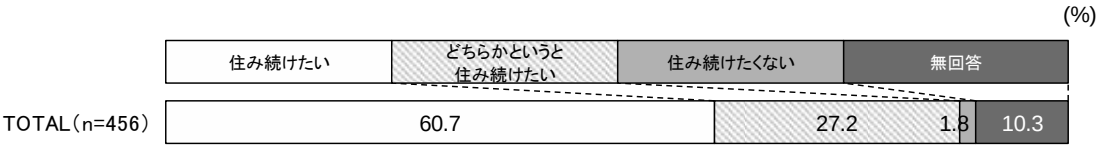
５年前（平成 24 年）と比べて障害者サービスは「変わらない」（43.6%）と感じている人が多いが、「良くなった」が 21.3%で「悪くなった」（4.8%）を上回っている。

問 64　そのようにお答えになったのは、どのような理由からですか。（自由記述）

整理中

問 65　あなたは、今後も西東京市に住み続けたいと思いますか。（○は１つ）

60.7%の人が今後も西東京市に「住み続けたい」と回答している。



問 66　最後に、この調査を通じて、選択肢や自由記述欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望などがありましたら、自由にお書きください。（自由記述）

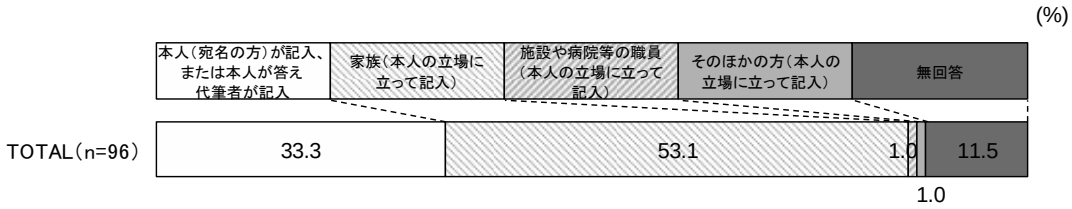
整理中

2　知的障害者

（1）基本的な属性

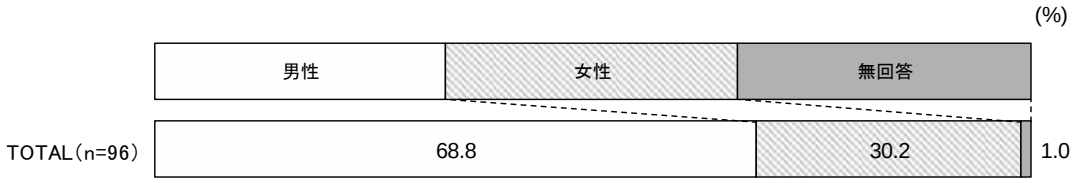
問１　この用紙（調査票）に記入されるのはどなたですか。（○は１つ）

調査票記入者は「本人（宛名の方）が記入、または本人が答え代筆者が記入」が 33.3%、「家族（本人の立場に立って記入）」が 53.1%。

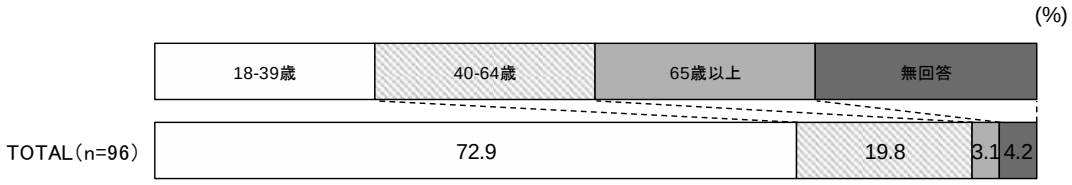


問２　あなたの性別をお答えください。（○は１つ）
問３　年齢（８月１日現在）を記入してください。

性別は、男性が 68.8%、女性が 30.2%。



年齢は、18-39 歳が 72.9%で平均年齢は 32.5 歳。



（%）

n=	19 歳以下	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳以上	無回答	平均年齢
96	14.6	33.3	25.0	14.6	4.2	3.1	1.0	4.2	32.5 歳

問４　現在、あなたはどこで暮らしていますか。（○は１つ）

居住形態は、「持ち家（分譲マンションを含む）」が 52.1%で最も多く、次いで、賃貸住宅（アパート、賃貸マンション、借家）」が 30.2%である。

（%）

n=	持ち家（分譲マンションを含む）	賃貸住宅（アパート、賃貸マンション、借家）	グループホーム、ケアホーム、福祉ホーム	福祉施設（障害者支援施設、高齢者支援施設）	入院している	その他	無回答
96	52.1	30.2	8.3	2.1	2.1	1.0	4.2

問５　どなたと一緒に暮らしていますか。（○はいくつでも）

同居者は、「母親」が 80.2%で最も高く、次いで「父親」が 64.6%で続いている。

年代別にみると、19 歳以下の 14.3%が「福祉施設の職員や仲間」と暮らしている。「自分ひとりだけで暮らしている」人は、40 代の 14.3%のみとなっている。

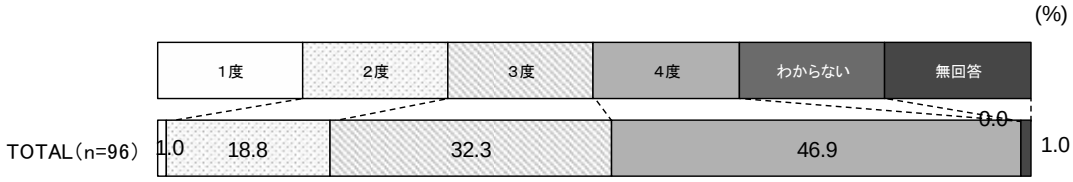
（%）

	n=	自分ひとりだけで暮らしている	配偶者（夫または妻）	子ども（子どもの配偶者も含む）	父親	母親	祖父	祖母	兄弟、姉妹	その他の親せき	福祉施設の職員や仲間	その他	無回答
TOTAL	96	2.1	3.1	3.1	64.6	80.2	2.1	7.3	37.5	3.1	9.4	0.0	2.1
19 歳以下	14	0.0	0.0	0.0	71.4	78.6	7.1	7.1	50.0	0.0	14.3	0.0	0.0
20 代	32	0.0	0.0	3.1	78.1	96.9	0.0	9.4	56.3	0.0	0.0	0.0	0.0
30 代	24	0.0	8.3	4.2	70.8	79.2	4.2	12.5	20.8	0.0	8.3	0.0	4.2
40 代	14	14.3	0.0	0.0	50.0	71.4	0.0	0.0	28.6	14.3	14.3	0.0	0.0
50 代	4	0.0	25.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0
60 代	3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0
70 歳以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	4	0.0	0.0	0.0	50.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0

（2）障害状況

問6　愛の手帳に書かれている障害の程度をお答えください。（○は1つ）

愛の手帳（療育手帳）に記載されている障害程度は、1度が 1.0%、2度が 18.8%、3度が 32.3%、4度が 46.9%。



問7　次のうち、あてはまるものに○をつけてください。（○はいくつでも）

愛の手帳（療育手帳）以外の障害者手帳所持状況・疾病状況をみると、「発達障害と診断されたことがある」人は 34.4%。

20 代以下では、「発達障害と診断されたことがある」人が、半数を超えている。

（%）

	n=	身体障害者手帳を持っている	精神障害者保健福祉手帳を持っている	国または東京都が指定する難病医療費等助成対象疾病を患っている	高次脳機能障害と診断されたことがある	発達障害と診断されたことがある	訪問看護などの医療的ケアを受けている	あてはまるものはない	無回答
TOTAL	96	17.7	14.6	7.3	1.0	34.4	2.1	26.0	11.5
19 歳以下	14	21.4	14.3	7.1	0.0	57.1	0.0	21.4	0.0
20 代	32	12.5	9.4	9.4	0.0	50.0	3.1	18.8	6.3
30 代	24	16.7	12.5	4.2	0.0	20.8	4.2	33.3	20.8
40 代	14	28.6	14.3	14.3	7.1	28.6	0.0	28.6	7.1
50 代	4	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0
60 代	3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
70 歳以上	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	4	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0

<Ⅱ　2　知的障害者調査>

問８　あなたは、介護保険の介護認定を受けていますか。受けている場合、あてはまる要介護度に○をつけてください。（○は１つ）

<回答対象者：40 歳以上>

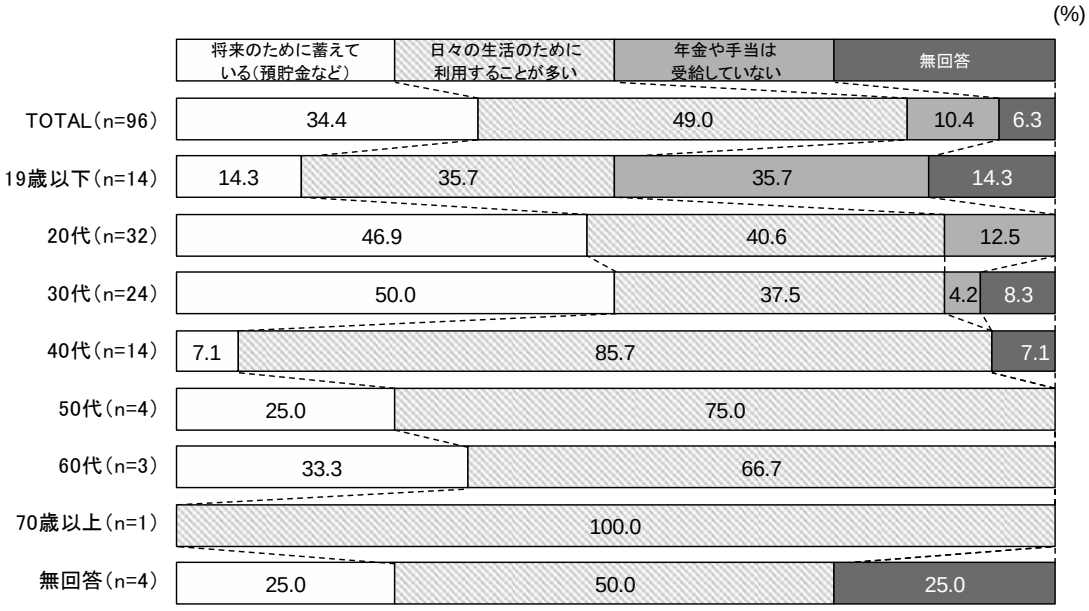
介護認定状況は、どの年代も「認定は受けていない」が最も高い。

（%）

	n=	認定は受けていない	要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	わからない	無回答
TOTAL	22	54.5	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	27.3
40 代	14	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	7.1	35.7
50 代	4	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
60 代	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0
70 歳以上	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問９　あなたは、障害者支援の手当や年金を主にどのように利用していますか。（○は１つ）

障害者支援の手当や年金の利用状況は、「将来のために蓄えている（預貯金など）」が 34.4%、「日々の生活のために利用することが多い」が 49.0%、「年金や手当は受給していない」が 10.4%である。

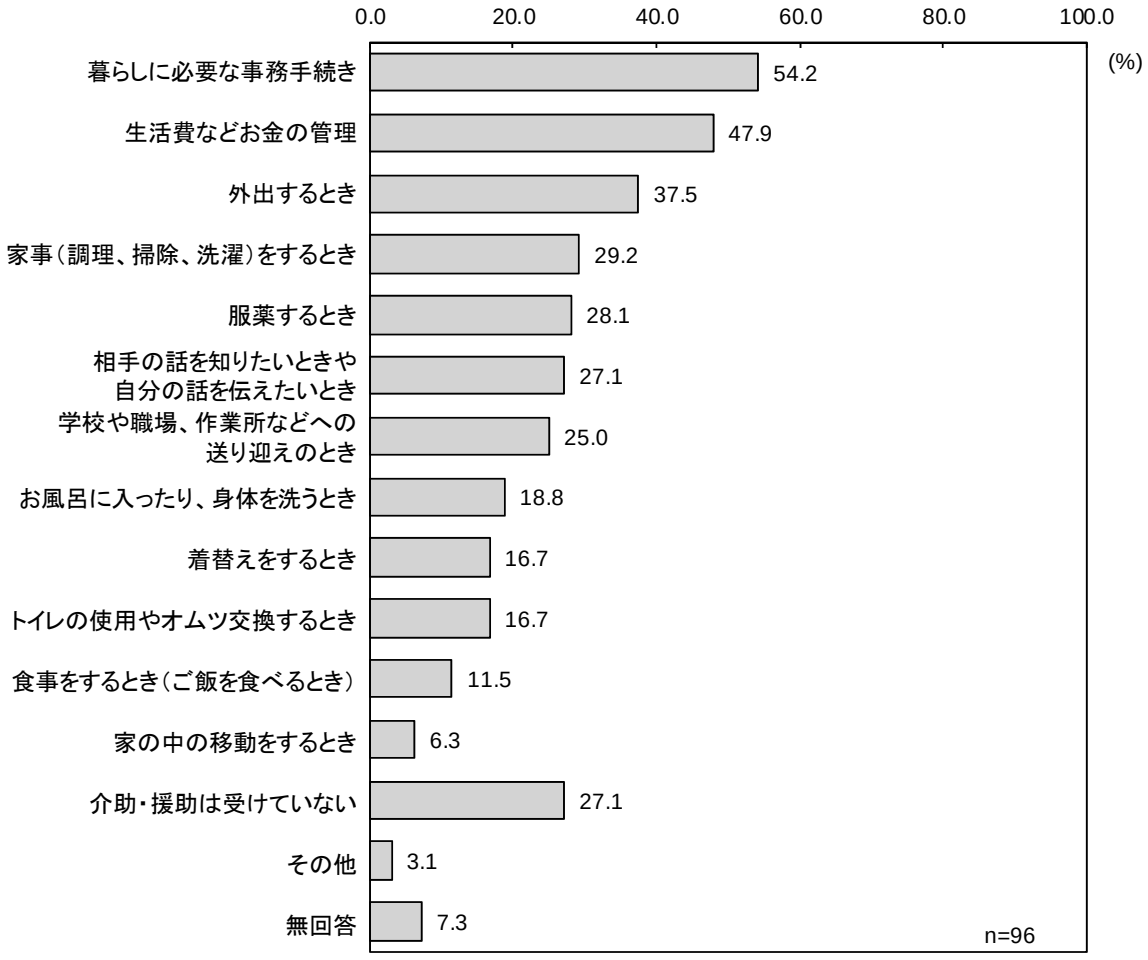


※0.0 は非表示

（3）介助・援助の状況

問 10　あなたは、どのようなときに介助・援助を受けていますか。（○はいくつでも）

介助・援助を受けている場面としては、「暮らしに必要な事務手続き」が 54.2%で最も高く、次いで、「生活費などお金の管理」（47.9%）、「外出するとき」（37.5%）と続く。「介助・援助は受けていない」人は 27.1%である。



<Ⅱ　2　知的障害者調査>

問 11　ふだん、あなたを主に介助・援助しているのはどなたですか。（○は１つ）

ふだん、主に介助・援助している人は「母親」が 54.0%で最も高く、次いで、「父親」が 23.8%、である。

30 代の「その他」（23.1%）として、・・・・などの記述があった。

(%)

	n=	配偶者（夫、妻）	子ども、子どもの配偶者	父親	母親	祖父	祖母	兄弟、姉妹	その他の親せき	近所の人、友人・知人	ホームヘルパー等の在宅サービス事業者	その他
TOTAL	63	3.2	0.0	23.8	54.0	0.0	0.0	6.3	1.6	0.0	1.6	9.5
19歳以下	10	10.0	0.0	10.0	70.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0
20 代	22	0.0	0.0	36.4	54.5	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	4.5
30 代	13	0.0	0.0	23.1	53.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.1
40 代	11	0.0	0.0	27.3	63.6	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0
50 代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
60 代	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0
70歳以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（４）日中の過ごし方や外出の状況・社会参加状況

問 21　あなたは、平日（月曜日～金曜日）の日中を主にどのように過ごしていますか。（○は１つ）

平日の日中の過ごし方として、「福祉施設、作業所などに通っている」が 41.7%で最も高く、次いで、「働いている」が 35.4%である。

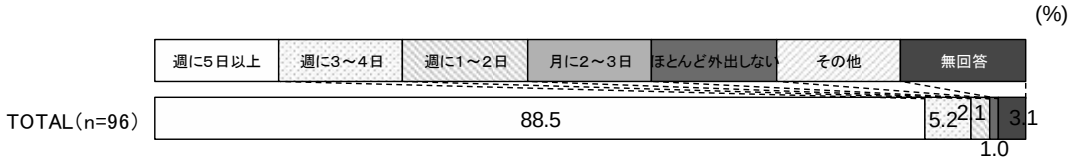
年代別にみると、「福祉施設、作業所などに通っている」割合は、20 代では 43.8%、30 代では 33.3%、40 代では 71.4%である。

(%)

	n=	幼稚園や保育園、学校などに通っている	福祉施設、作業所などに通っている	病院などのデイケアに通っている	リハビリテーションを受けている	働いている	入所・入院している施設や病院などで過ごしている	自宅にいることが多い	その他	無回答
TOTAL	96	9.4	41.7	1.0	0.0	35.4	2.1	8.3	1.0	1.0
19 歳以下	14	50.0	28.6	0.0	0.0	21.4	0.0	0.0	0.0	0.0
20 代	32	0.0	43.8	3.1	0.0	40.6	0.0	12.5	0.0	0.0
30 代	24	8.3	33.3	0.0	0.0	50.0	0.0	8.3	0.0	0.0
40 代	14	0.0	71.4	0.0	0.0	21.4	0.0	7.1	0.0	0.0
50 代	4	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0
60 代	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0
70 歳以上	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	4	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0

問 12　あなたは、どのくらい外出しますか。通所、通学、通勤、買い物、日常の散歩など、すべてを含めてお答(こた)えください。（○は１つ）

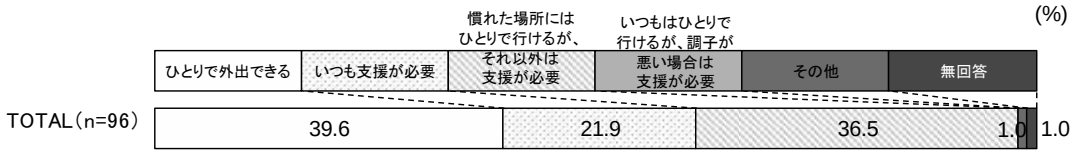
外出頻度は、「週に 5 日以上」が 88.5%、「週に 3 ～ 4 日」が 5.2%、「週に 1 ～2 日」が 2.1%である。「ほとんど外出しない」と回答した人は 1.0%となっている。



※0.0 は非表示

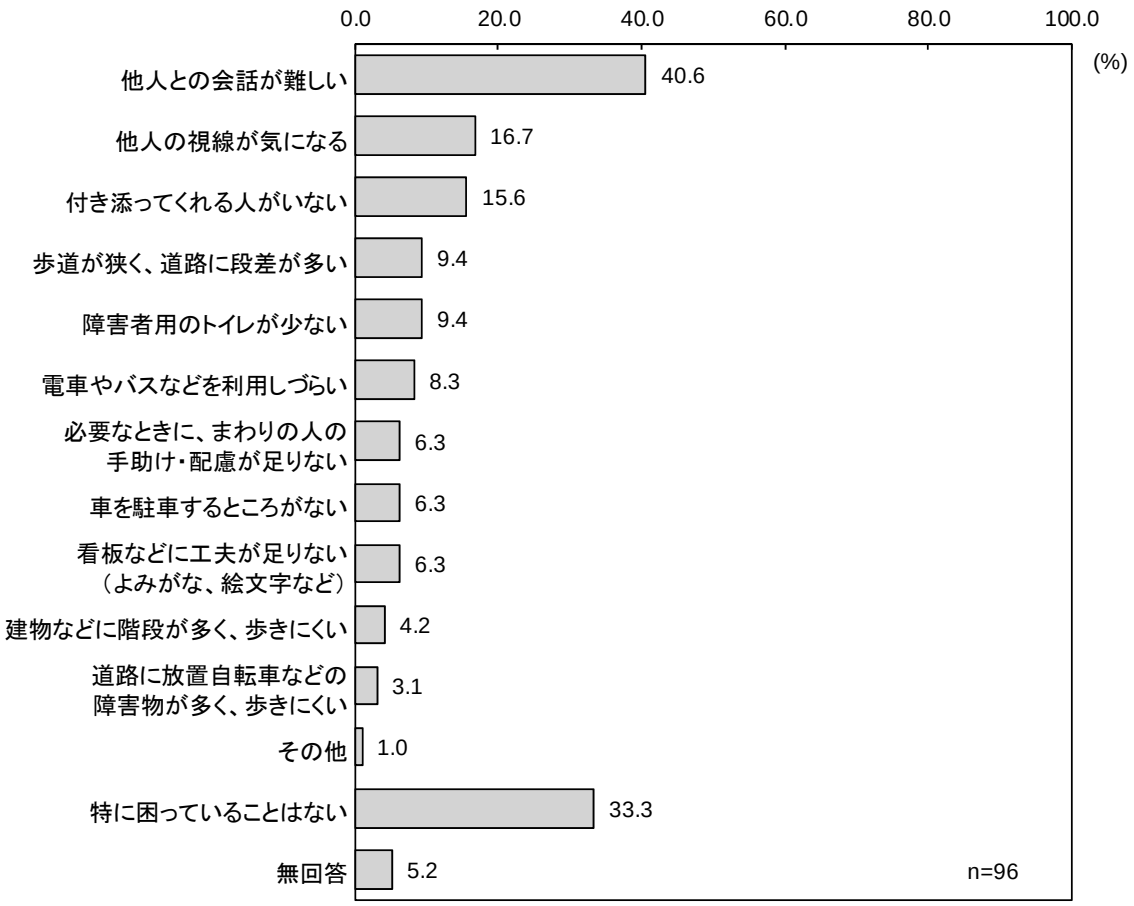
問 13　あなたは、外出をするときに支援が必要ですか。（○は１つ）

外出時の支援の必要性は、39.6%の人が「ひとりで外出できる」と回答している。「いつも支援が必要」は 21.9%、「慣れた場所にはひとりで行けるが、それ以外は支援が必要」は 36.5%である。



問 14　外出の際に困っていることはありますか。（○はいくつでも）

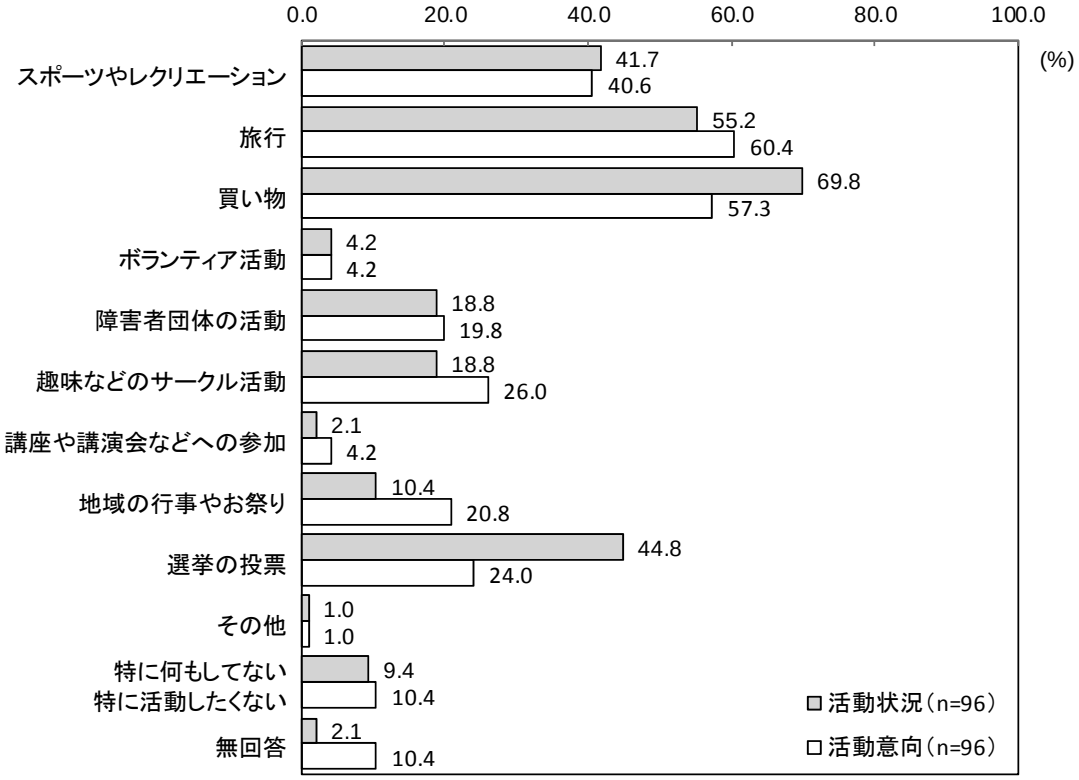
外出の際に困っていることとしては、「他人との会話が難しい」ことをあげる人が 40.6%で最も高い。次いで、「他人の視線が気になる」（16.7%）、「付き添ってくれる人がいない」（15.6%）と続く。33.3%の人は「特に困っていることはない」と回答している。



問 15　あなたは、この１年くらいの間に、次のような活動をしましたか。（○はいくつでも）：活動状況
問 19　これからどのような活動をしたいと思いますか。（○はいくつでも）：活動意向

活動状況と活動意向を比べると、「地域の行事やお祭り」は実際の活動状況が 10.4%、活動意向は 20.8%となっており、意向が約 10 ポイント高い。

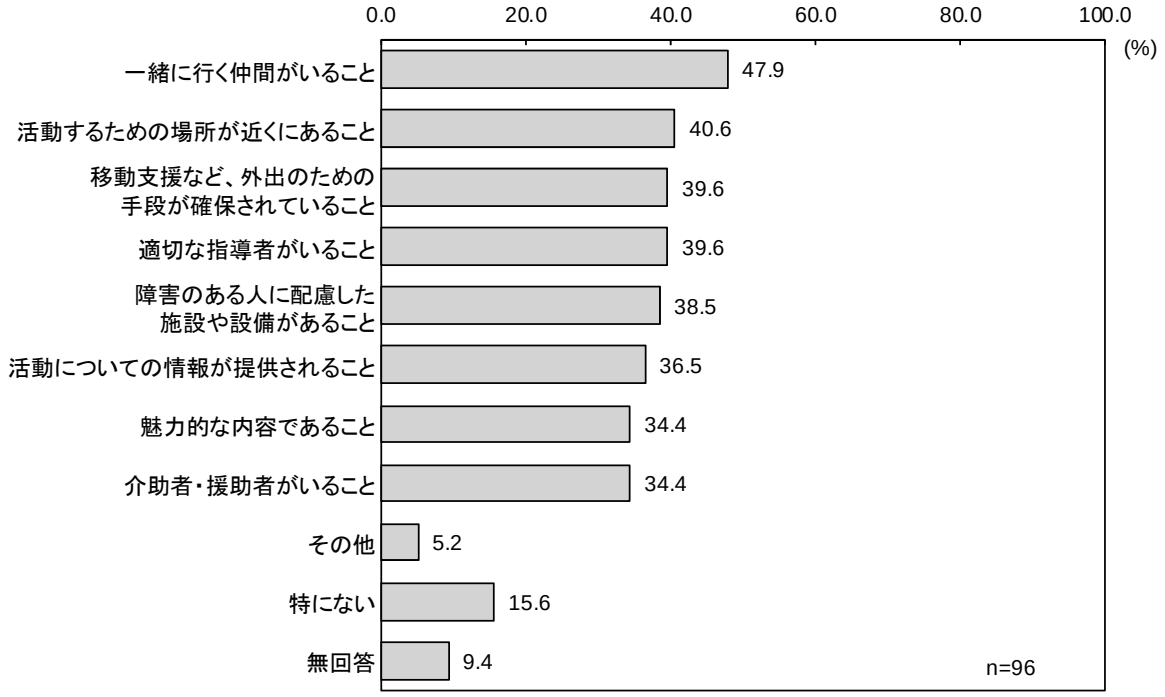
実際の活動状況では、「買い物」（69.8%）、「旅行」（55.2%）が高く、活動意向では、「旅行」（60.4%）、「買い物」（57.3%）が高い。



<Ⅱ　2　知的障害者調査>

問 20　問 19 のような活動をするために、どのような支援が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

活動のために必要な支援として、「一緒に行く仲間がいること」が 47.9%で最も高く、次いで、「活動するための場所が近くにあること」（40.6%）、「移動支援など、外出のための手段が確保されていること」（39.6%）、「適切な指導者がいること」（39.6%）が続いている。



問 16　選挙の投票の際、困ったことや改善してほしいことはありましたか。（自由記述）

<回答対象者：問 15 で「選挙の投票」と回答した人>

整理中

問 17　スポーツ活動をした方は、どのようなスポーツ活動をしましたか。あてはまるものに○をつけてください。（○はいくつでも）

<回答対象者：問 15 で「スポーツやレクリエーション」選択者>

スポーツ活動の内容は、以下の通りである。

（%）

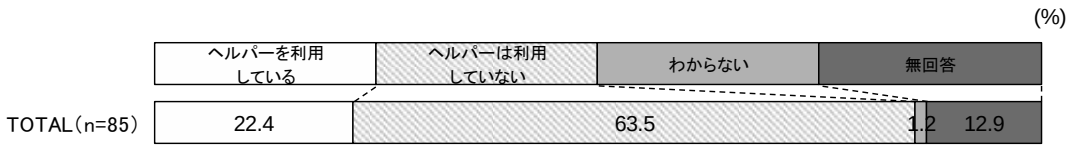
n=	卓球	ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ	ボッチャ	ダンス	ボウリング	ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ	水泳	その他	無回答
40	22.5	7.5	5.0	7.5	20.0	10.0	32.5	52.5	7.5

「その他」（52.5%）として以下の記述があった。　**整理中**

問 18　活動のために外出する際に「同行援護」「行動援護」「移動支援」等のヘルパーを利用していますか。（○は１つ）

＜回答対象者：問 15 で何らかの活動をしている人＞

活動のためのヘルパー利用状況は、「ヘルパーを利用している」が 22.4%、「ヘルパーは利用していない」は 63.5%である。



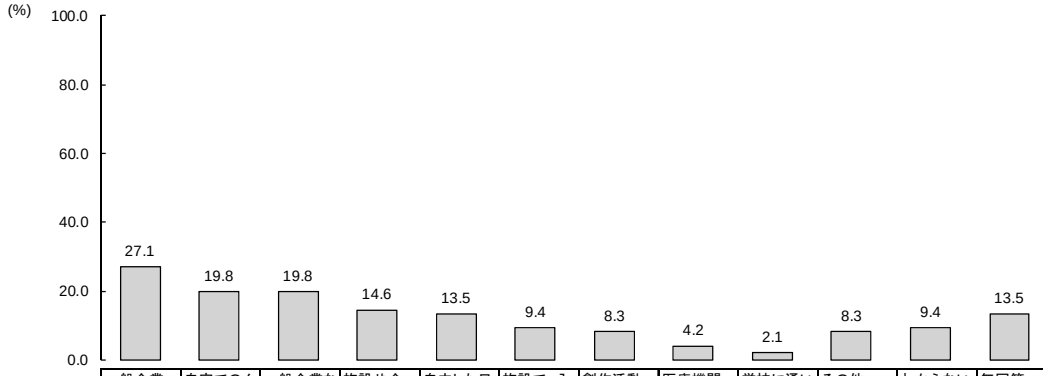
（５）将来の希望

問 51　あなたは、今後、どのように日中を過ごしたいと思いますか。（○はいくつでも）

今後、希望する日中の過ごし方は、「一般企業等での就労は難しいと思うが働きたいと思うので、施設内で就労したり、生産活動をしながら過ごしたい」が 27.1%で最も高く、次いで、「自宅でのんびり過ごしたい」、「一般企業などで働きたい」がそれぞれ 19.8%で続いている。

平日の日中の過ごし方別にみると、福祉施設、作業所などに通っている人の 17.5%が「施設や企業で作業や実習などを行い、職場探しや職場定着のための支援を受けたい」と考えている。

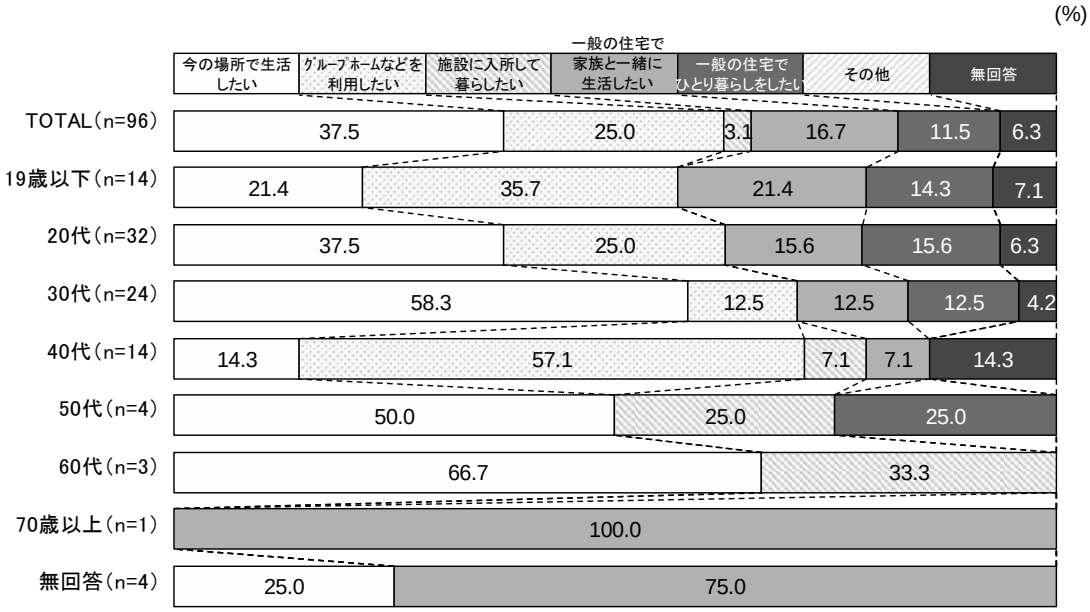
＜平日の日中の過ごし方別・今後希望する日中の過ごし方＞



	n=	一般企業等での就労は難しいと思うが働きたいと思うので、施設内で就労したり、生産活動をしながら過ごしたい	自宅でのんびり過ごしたい	一般企業などで働きたい	施設や企業で作業や実習などを行い、職場探しや職場定着のための支援を受けたい	自立した日常生活ができるよう、一定期間、身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を受けたい	施設で、入浴、排せつ、食事の介護を受けながら、創作的活動などを行いたい	創作活動や社会との交流などを行ったりするところで過ごしたい	医療機関で、機能訓練、看護、介護、日常生活の世話などを受けながら過ごしたい	学校に通いたい	その他	わからない	無回答
TOTAL	96	27.1	19.8	19.8	14.6	13.5	9.4	8.3	4.2	2.1	8.3	9.4	13.5
幼稚園や保育園、学校などに通っている	9	11.1	11.1	33.3	44.4	11.1	0.0	22.2	11.1	11.1	11.1	0.0	22.2
福祉施設、作業所などに通っている	40	55.0	15.0	5.0	17.5	15.0	22.5	10.0	5.0	0.0	5.0	0.0	10.0
病院などのデイケアに通っている	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
働いている	34	0.0	23.5	35.3	2.9	11.8	0.0	2.9	0.0	2.9	8.8	20.6	20.6
入所・入院している施設や病院などで過ごしている	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
自宅にいることが多い	8	37.5	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0
その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 52　あなたは、将来、どこで生活したいと思いますか。（○は１つ）

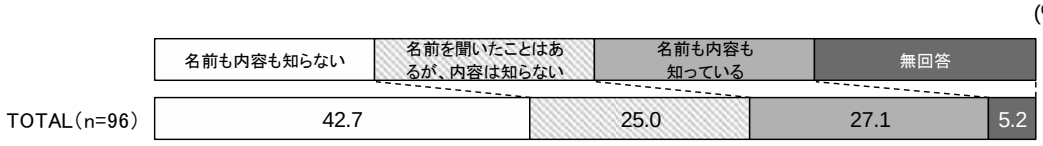
将来、生活したいところは、「今の場所で生活したい」が 37.5%、「グループホームなどを利用したい」が 25.0%、「施設に入所して暮らしたい」が 3.1%、「一般の住宅で家族といっしょに生活したい」が 16.7%、「一般の住宅でひとり暮らしをしたい」が 11.5%である。



※0.0 は非表示

問 53　成年後見制度とは、知的障害や精神障害などの理由により、判断能力が十分でない方の財産などの権利を守る制度です。あなたは、成年後見制度について知っていますか。（○は１つ）

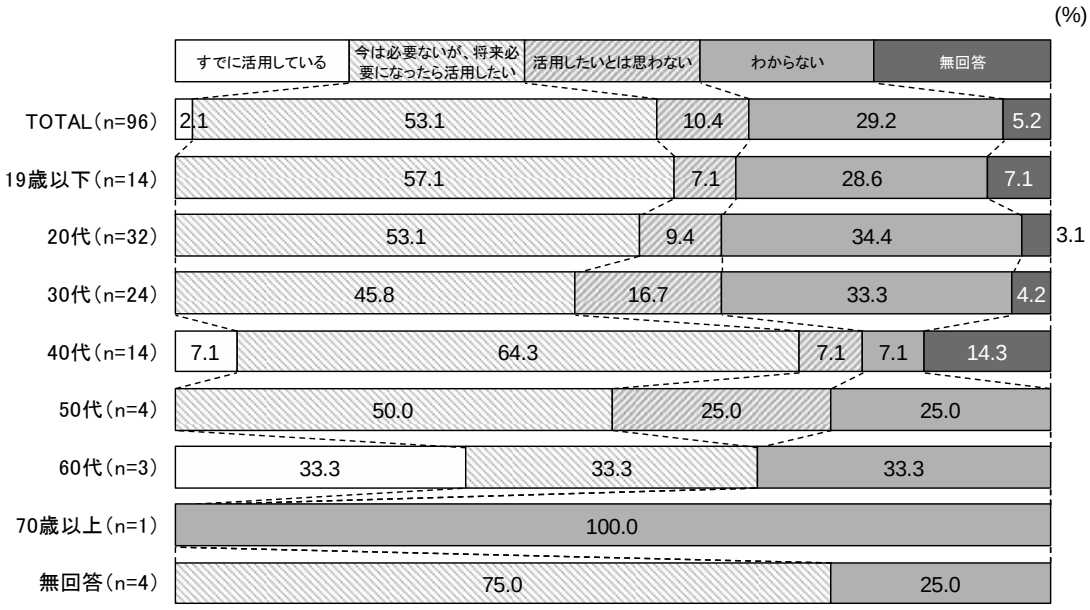
成年後見制度について、「名前も内容も知っている」人は 27.1%、「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」人は 25.0%である。42.7%の人が「名前も内容も知らない」と回答している。



問 54　あなたは、成年後見制度を活用したいと思いますか。（○は１つ）

成年後見制度を「すでに活用している」人は 2.1%である。「今は必要ないが、将来必要になったら活用したい」と考える人は 53.1%である。

年代別にみると、「すでに活用している」人は、40 代、60 代である。50 代以下では「今は必要ないが、将来必要になったら活用したい」との回答が高い。

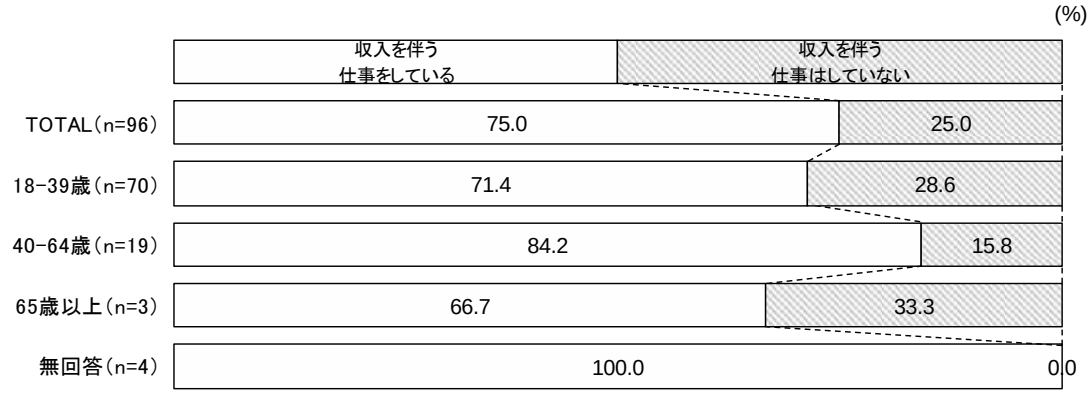


※0.0 は非表示

（6）雇用・就労について

問 22　現在、あなたはお金をもらう仕事をしていますか。（○は１つ）

収入を伴う仕事している人の割合は、18-39 歳で 71.4%、40-64 歳で 84.2%である。



<Ⅱ　2　知的障害者調査>

<問 23～問 26 回答対象者：収入を伴う仕事をしている人>

問 23　どなたかの支援を受けて現在の仕事に就きましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

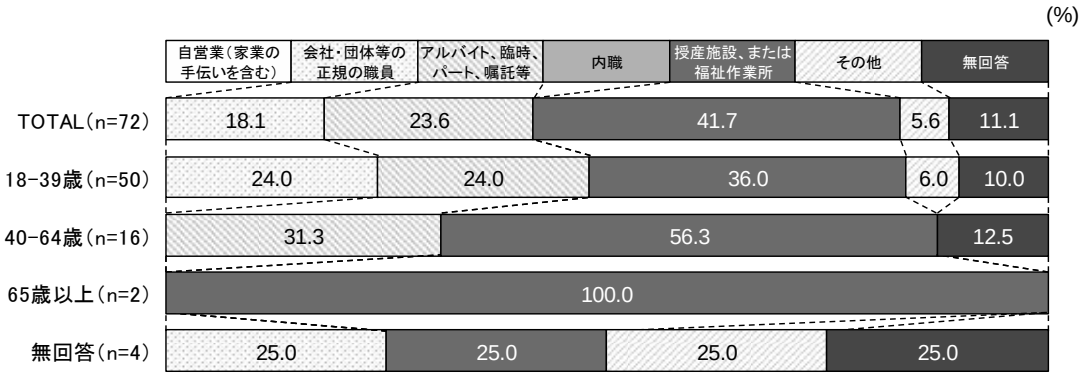
就労の際の支援については、「学校」が 41.7%と最も高く、次いで「家族」（25.0%）、「障害者就労支援センター（一歩）」（11.1%）と続く。「支援は受けなかった」人は 9.7%である。

（%）

n=	ハローワーク	障害者就労支援センター（一歩）	就労移行支援事業所（さくらの園）	学校	家族	友人・知人	その他	支援は受けなかった	無回答
72	9.7	11.1	8.3	41.7	25.0	5.6	4.2	9.7	12.5

問 24　仕事の形態は次のうちどれですか。（○は１つ）

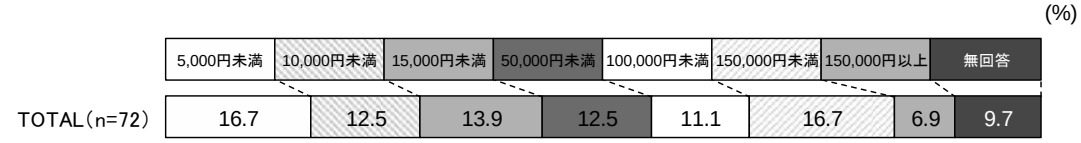
就労形態は、「授産施設、または福祉作業所」が 41.7%、「アルバイト、臨時、パート、嘱託等」が 23.6%、「会社・団体等の正規職員」が 18.1%である。



※0.0 は非表示

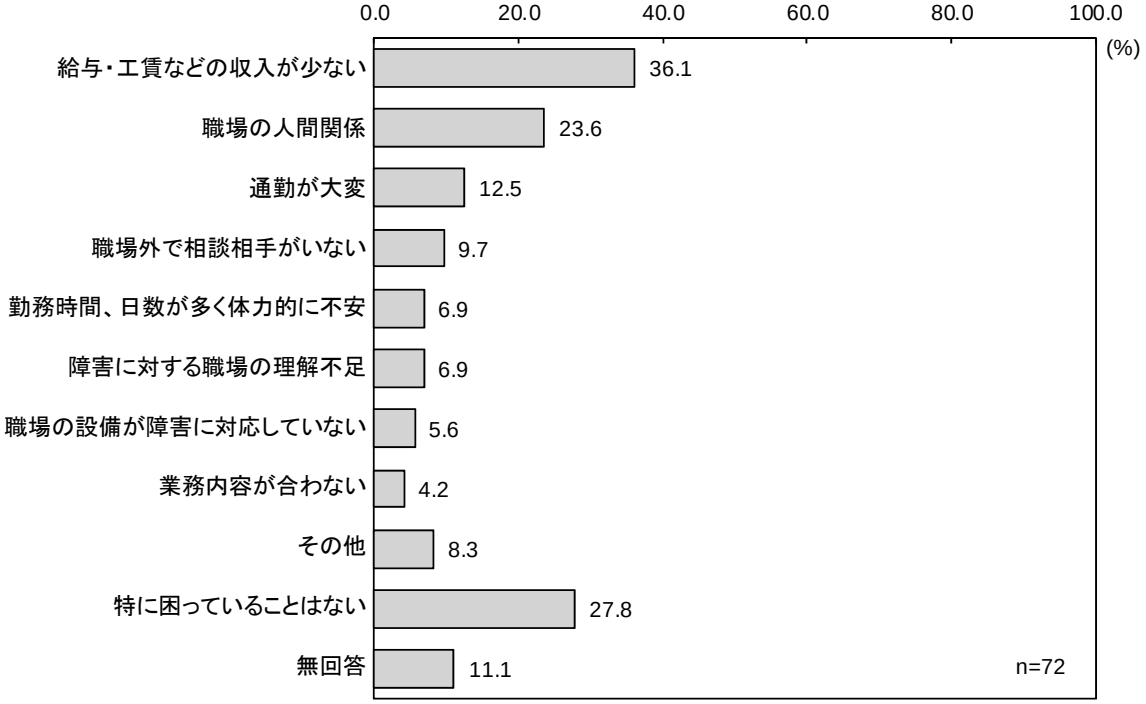
問 25　あなたご自身の１ヶ月当たりの平均的な給与・賃金・工賃はいくらですか。

１ヶ月当たりの平均的な給与・賃金・工賃は、平均 49,175.6 円である。



問 26　仕事をする上で困っていることは何ですか。（○はいくつでも）

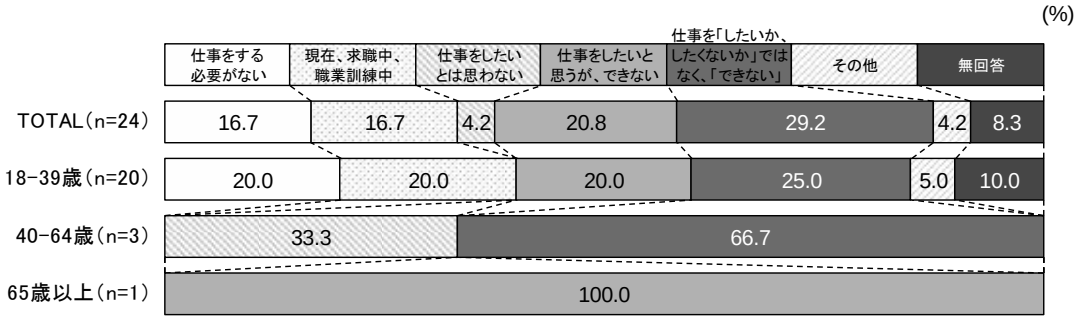
仕事をするうえで困っていることとして、「給与・工賃などの収入が少ない」との回答が 36.1%で最も高い。次いで、「職場の人間関係」（23.6%）、「通勤が大変」（12.5%）が続く。「特に困っていることはない」と回答した人は 27.8%である。



問 27　仕事をしていない主な理由は何ですか。（○は１つ）

<回答対象者：収入を伴う仕事をしていない人>

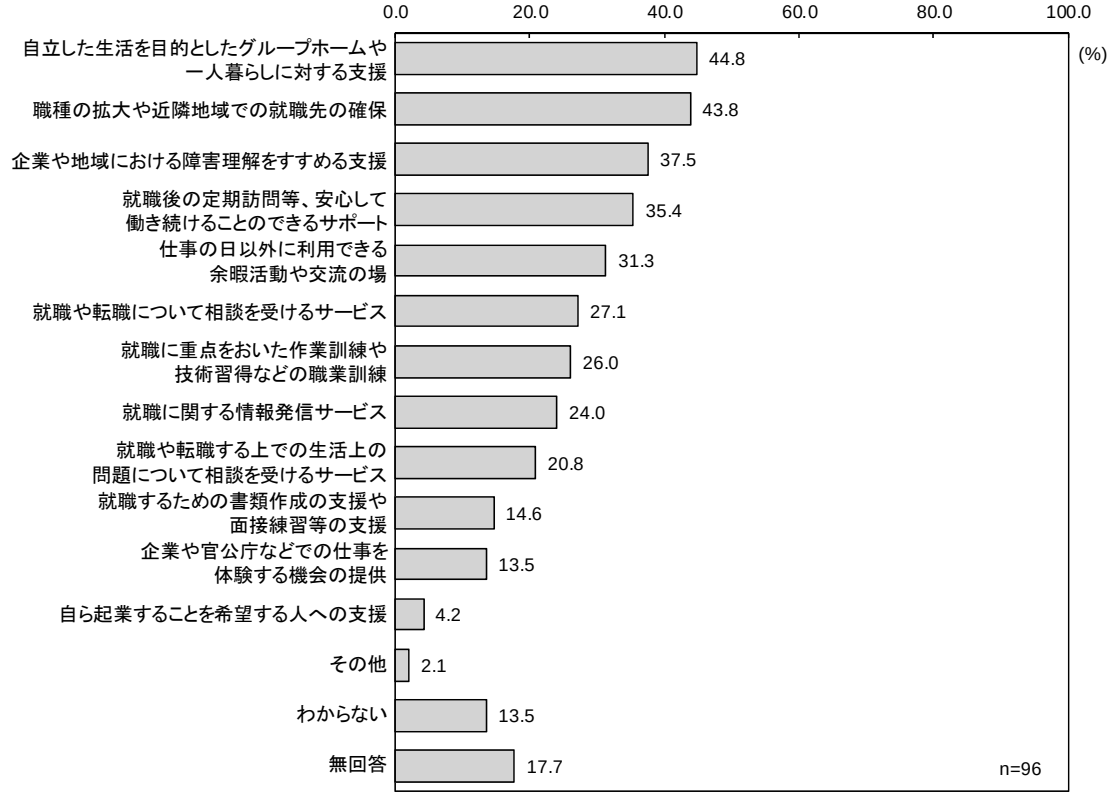
仕事をしていない主な理由として、「仕事を「したいか、したくないか」ではなく、「できない」」が 29.2%で最も高い。



※0.0 は非表示

問 28　あなたは、障害のある人が仕事につけるようにするために、市内で不足していると思われるサービスや取組みは何だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

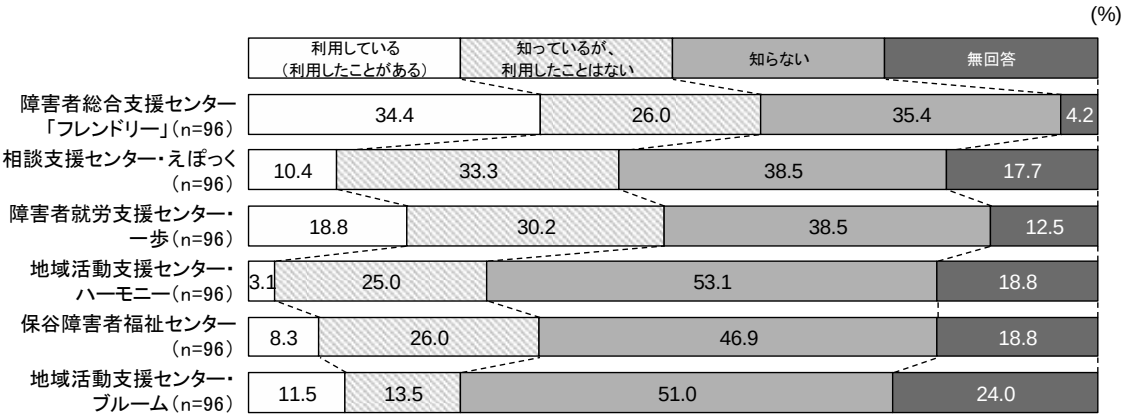
障害のある人の雇用促進のために、不足していると思われるサービスや取組みは、「自立した生活を目的としたグループホームや一人暮らしに対する支援」が 44.8%で最も高く、次いで、「職種の拡大や近隣地域での就職先の確保」（43.8%）、「企業や地域における障害理解をすすめる支援」（37.5%）と続く。



（7）障害者施設・施策について

問 29　あなたは、西東京市の障害者総合支援センター「フレンドリー」を知っていますか。（○は１つ）
問 30　あなたは、西東京市にある次の施設を利用したことがありますか。また、知っていますか。（○は１つ）

市内施設を利用したことがある人は、障害者総合支援センター「フレンドリー」が 34.4%、相談支援センター・えぽっくが 10.4%、障害者就労支援センター・一歩が 18.8%、地域活動支援センター・ハーモニーが 3.1%、保谷障害者福祉センターが 8.3%、地域活動支援センター・ブルームが 11.5%である。



問 31　あなたは、次の講座や事業等を知っていますか。（○はいくつでも）

市開催の講座や事業等の認知状況は、以下の通りである。

（%）

n=	サポーター養成講座	ヘルプカード	スポーツ支援事業	障害者水泳教室	講座や事業等は知らない	無回答
96	15.6	41.7	17.7	14.6	40.6	11.5

（8）相談や情報入手方法

問 32　あなたは、悩みごとや心配ごとがあるとき、家族や親せき以外に、どのようなところに相談していますか。（○はいくつでも）

家族や親せき以外の相談先としては、「福祉施設や作業所の職員」をあげる人が 33.3%と最も高く、次いで、「知人・友人」（22.9%）、「病院・診療所」（21.9%）と続いている。一方で、15.6%が「相談できるところは特にない」と回答している。

（%）

n=	福祉施設や作業所の職員	友人・知人	病院・診療所	市役所の福祉相談窓口	幼稚園・保育園・学校の先生や職場の仲間	障害者就労支援センター・一歩	地域活動支援センター・ブルーム	相談支援センター・えぽっく	児童相談所	生活保護の担当職員
96	33.3	22.9	21.9	15.6	13.5	9.4	5.2	3.1	3.1	3.1

保谷障害者福祉センター	地域活動支援ｾﾝﾀｰ・ハーモニー	障害者団体	保健師	民生委員・児童委員	社会福祉協議会の職員	その他	その他誰かに相談することはまれである	相談できるところは特にない	無回答
2.1	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	3.1	9.4	15.6	4.2

問 33　相談できるところは特にないと回答した理由は何ですか。（○はいくつでも）

＜回答対象者：「相談できるところは特にない」と回答した人＞

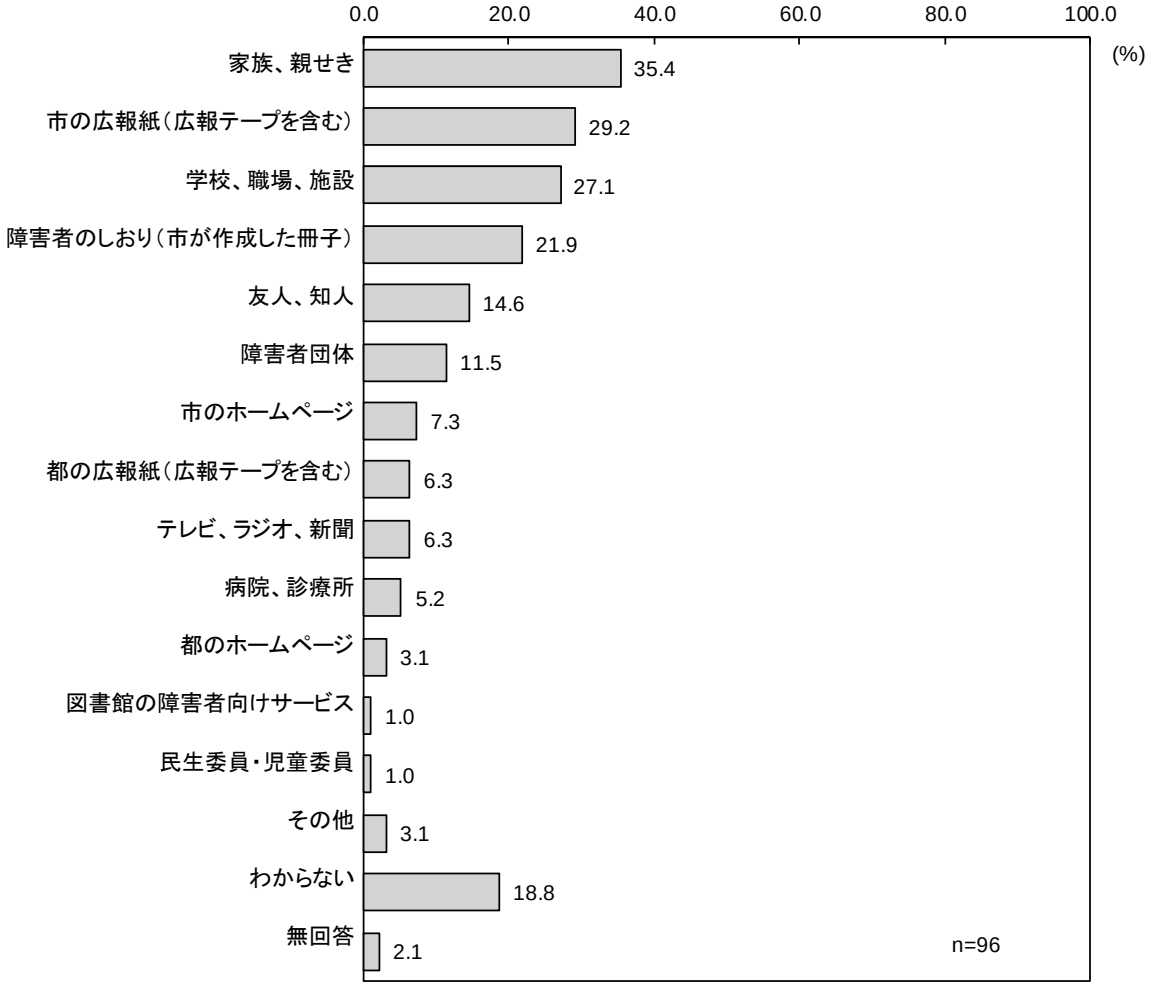
66.7%は「どこに相談したらよいかわからないから」と回答している。

（%）

n=	相談するほどでもない・必要がない	相談したくないから	どこに相談したらよいかわからないから	その他	無回答
15	33.3	6.7	66.7	0.0	6.7

問 34　あなたは、障害福祉サービスなどの情報を主にどこから得ていますか。（○はいくつでも）

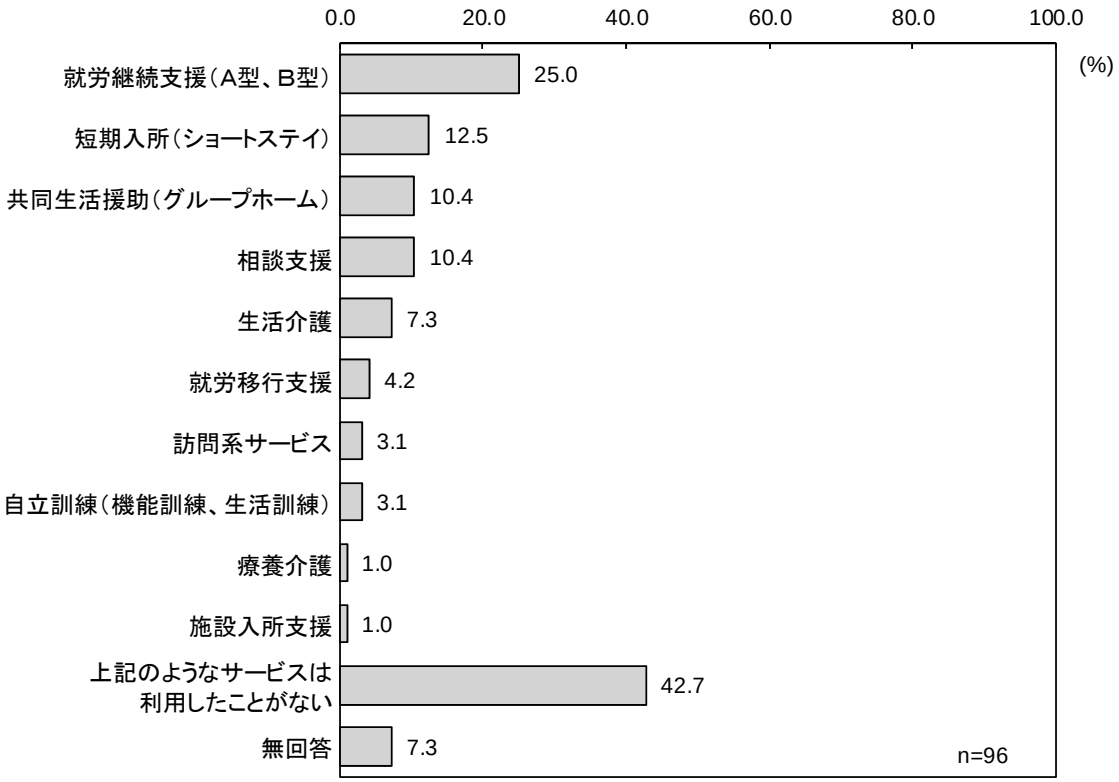
情報の入手先として、「家族、親せき」が 35.4%で最も高く、次いで、「市の広報紙（広報テープを含む）」（29.2%）、「学校、職場、施設」（27.1%）、と続いている。情報入手先が「わからない」と回答した人は 18.8%である。



（9）福祉サービス認知・利用状況

問 35　あなたは、次のような障害福祉サービスを、この 1 年のあいだに利用したことがありますか。利用したことがあるサービスに○をつけてください。（○はいくつでも）

以下の障害福祉サービスのうち、過去 1 年間での利用経験が最も高いのは、「就労継続支援（A 型、B 型）」で 25.0%である。次いで、「短期入所（ショートステイ）」（12.5%）、「共同生活援助（グループホーム）」（10.4%）、「相談支援」（10.4）が続く。



問 36　サービスに対する、感想やご意見があれば自由にご記入ください。（自由記述）
※サービス名、利用の際に困っていること、サービス利用で改善してほしい点など。

＜回答対象者：何らかの障害福祉サービス利用経験者＞

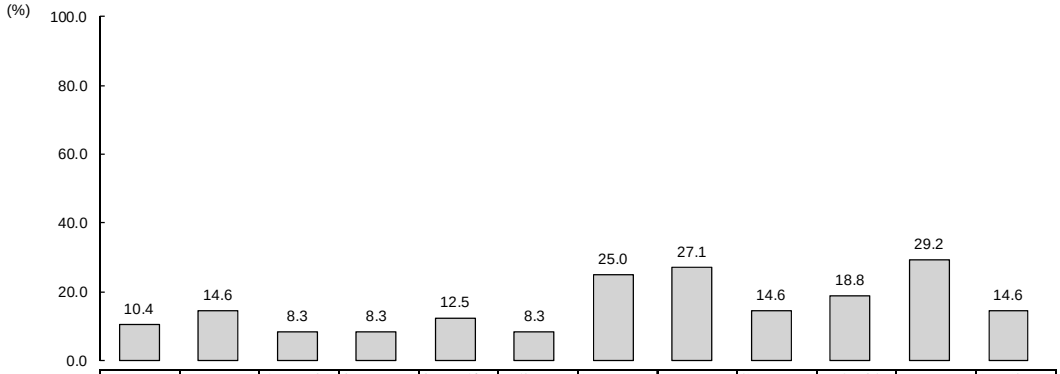
整理中

問 37　あなたが、「十分利用できていない」と思う障害福祉サービスはどのサービスですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

＜回答対象者：何らかの障害福祉サービス利用経験者＞

サービス利用経験者の 29.2%が「必要なサービスを利用できている」と回答しているが、「十分利用できていない」と思うサービスでは、「共同生活援助（グループホーム）」（27.1%）、「短期入所（ショートステイ）」（25.0%）をあげる人が多い。

＜利用したことがあるサービス別・十分利用できていないサービス＞



利用したことがあるサービス〉	n=	訪問系サービス	生活介護	自立訓練（機能訓練、生活訓練）	就労移行支援	就労継続支援（A型、B型）	療養介護	短期入所（ショートステイ）	共同生活援助（グループホーム）	施設入所支援	相談支援	必要なサービスを利用できている	無回答
TOTAL	48	10.4	14.6	8.3	8.3	12.5	8.3	25.0	27.1	14.6	18.8	29.2	14.6
訪問系サービス	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
生活介護	7	0.0	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0	28.6	14.3	0.0	14.3	57.1	0.0
自立訓練（機能訓練、生活訓練）	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3
就労移行支援	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0
就労継続支援（A型、B型）	24	16.7	16.7	8.3	16.7	25.0	12.5	37.5	37.5	20.8	29.2	29.2	0.0
療養介護	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
短期入所（ショートステイ）	12	0.0	16.7	8.3	0.0	8.3	8.3	41.7	33.3	33.3	16.7	16.7	8.3
共同生活援助（グループホーム）	10	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	50.0	20.0
施設入所支援	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
相談支援	10	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	20.0	20.0	20.0	40.0	30.0

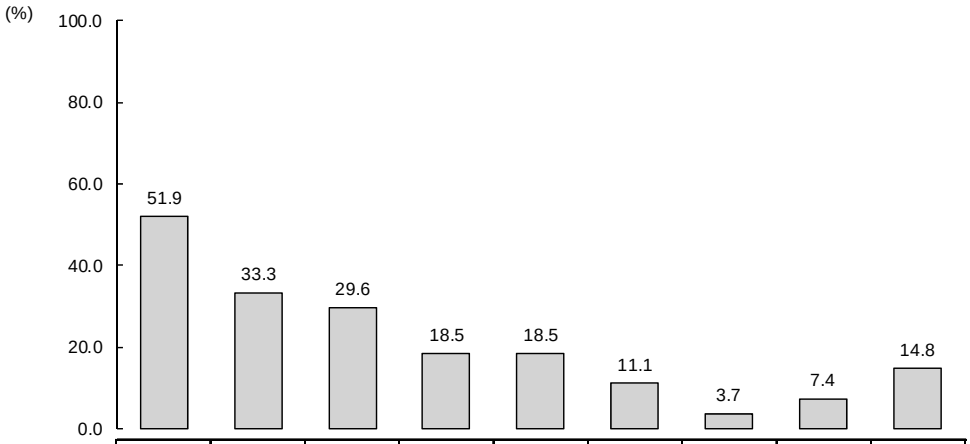
<Ⅱ　2　知的障害者調査>

問 38　必要だと思うサービスを、十分、利用できていない理由は何ですか。（○はいくつでも）

<回答対象者：障害福祉サービスを十分利用できていないと感じている人>

利用サービスを「十分利用できていない」と感じている人に、理由をたずねたところ、「使いたいサービスの定員がいっぱいだから」が 51.9%で最も高く、次いで、「自分が利用したい時間や時期とあわないから」（33.3%）、「サービス利用に予約が必要で、いつも予約がいっぱいだから」（29.6%）が続く。

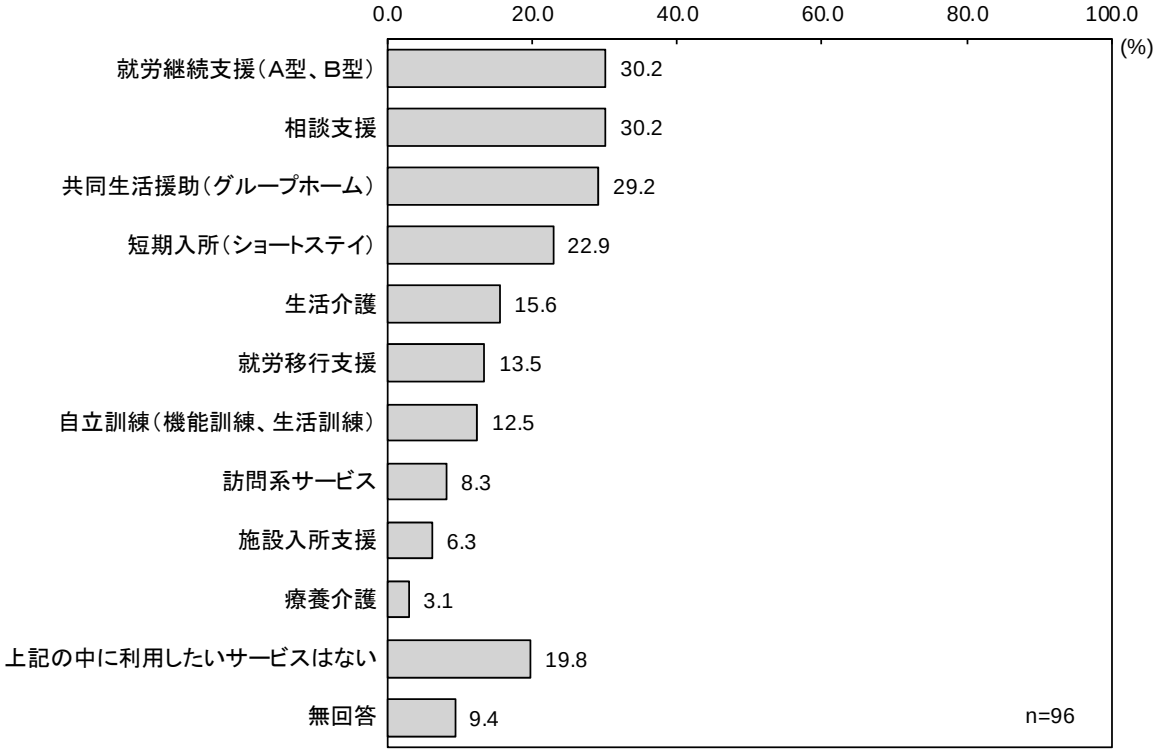
<十分利用できていないと思うサービス別・十分利用できていない理由>



十分利用できていないと思うサービス	n=	使いたいサービスの定員がいっぱいだから	自分が利用したい時間や時期とあわないから	サービス利用に予約が必要で、いつも予約がいっぱいだから	自己負担が大きく、利用できないから	支給量が足りないから	通うのが大変だから	その他	わからない	無回答
TOTAL	27	51.9	33.3	29.6	18.5	18.5	11.1	3.7	7.4	14.8
訪問系サービス	5	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	0.0	0.0	40.0	0.0
生活介護	7	71.4	57.1	71.4	42.9	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0
自立訓練（機能訓練、生活訓練）	4	75.0	50.0	50.0	50.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0
就労移行支援	4	50.0	50.0	75.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0
就労継続支援（A型、B型）	6	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	50.0
療養介護	4	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
短期入所（ショートステイ）	12	58.3	25.0	50.0	16.7	8.3	16.7	8.3	8.3	16.7
共同生活援助（グループホーム）	13	76.9	23.1	30.8	23.1	23.1	15.4	7.7	7.7	7.7
施設入所支援	7	57.1	42.9	42.9	28.6	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0
相談支援	9	44.4	55.6	44.4	22.2	11.1	11.1	0.0	11.1	22.2

問 39　今後、どのような障害福祉サービスを引き続き、あるいは新たに利用したいと思いますか。（○はいくつでも）

引き続き、あるいは新たに利用したいサービスは、「就労継続支援（A 型、B 型）」、「相談支援」がそれぞれ 30.2%、「共同生活援助（グループホーム）」が 29.2%である。



問 40　あなたは、次のような介護保険のサービスを、過去 1 年の間に利用したことがありますか。（○はいくつでも）

＜回答対象者：65 歳以上＞

利用したことがある介護保険のサービスは以下の通りである。※サンプル数が少ないため、参考値とされたい。

（%）

n=	介護保険のサービスは利用していない	訪問介護（ホームヘルパー）	通所介護（デイサービス）	短期入所（ショートステイ）	その他
3	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0

<Ⅱ　2　知的障害者調査>

問 41　現在、必要なサービス（障害福祉サービス、介護保険サービス）を受けることができていますか。（○はいくつでも）

<回答対象者：障害福祉サービスと介護保険サービス利用経験者>

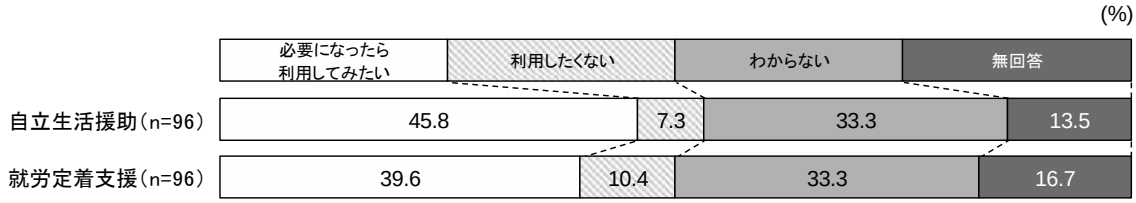
回答者対象者は 1 名で、無回答であった。

問 42　障害福祉サービスをより利用しやすくするためには、どのような情報提供や相談先が必要ですか。また、サービス利用するためにあるとよい支援はどのようなものですか。（自由記入）

整理中

問 43　障害者総合支援法の改正により、新たに導入される次のようなサービスをあなたは利用してみたいと思いますか。　※平成 30 年 4 月から創設される予定の新しいサービスです。サービスの詳細は変更する可能性もあります。

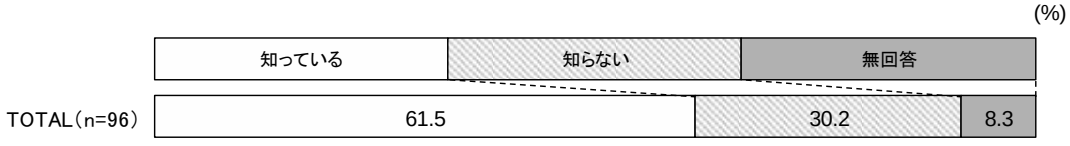
平成 30 年 4 月から導入予定のサービスの利用意向について、「必要になったら利用してみたい」と考えるサービスは、「自立生活支援」が 45.8%、「就労定着支援」が 39.6%である。



（10）災害対策について

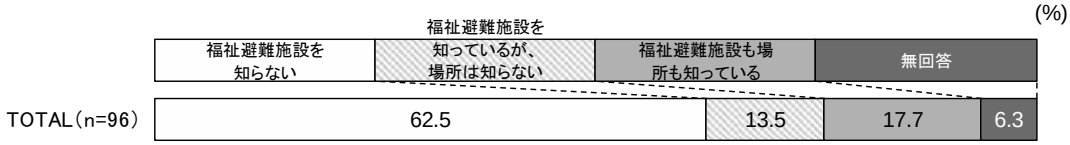
問 44　あなたは、お住まいの近くの避難所を知っていますか。（○は 1 つ）

避難場所を「知っている」人は 61.5%である。



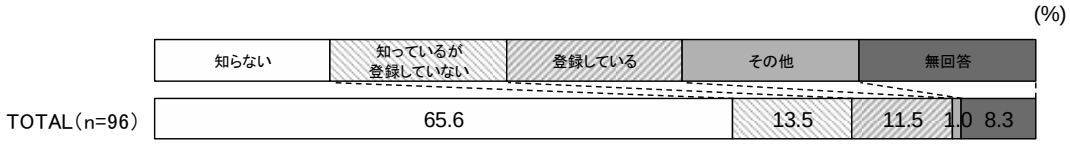
問 45　福祉避難施設とは、自宅や避難施設で生活している高齢者や障害者の方等に対し、状況に応じて介護等の必要なサービスを提供する社会福祉施設等のことです。西東京市には障害者総合支援センター「フレンドリー」をはじめ、約 30 ヶ所の福祉避難施設があります。あなたは、西東京市にある福祉避難施設を知っていますか。（○は１つ）

福祉避難施設については、62.5%が「知らない」と回答している。「福祉避難施設も場所も知っている」人は 17.7%である。



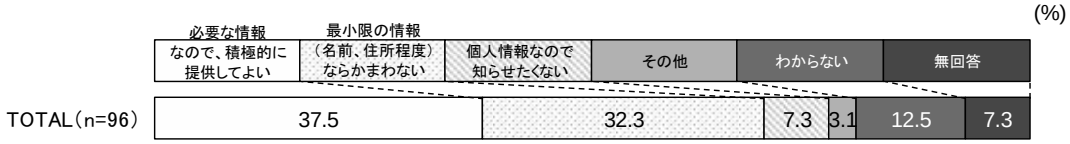
問 46　あなたは、災害時要援護者登録を知っていますか。（○は１つ）

災害時要援護者登録については、65.6%が「知らない」と回答している。「登録している」人は 11.5%である。



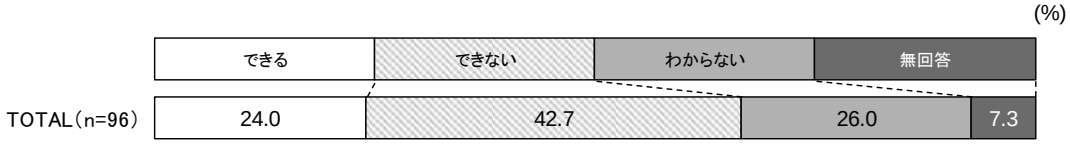
問 47　地震や台風のときに行政や地域などから支援を受けるため、あらかじめ個人情報（名前、住所、世帯の状況、障害の状況、緊急連絡先等）を市に提供することについて、どう思いますか。（○は１つ）

災害時の支援を受けるために個人情報を提供することについては、「必要な情報なので、積極的に提供してよい」が 37.5%、「最小限の（名前、住所程度）ならかまわない」が 32.3%である。



問 48　あなたは、地震や台風などの災害時にひとりで避難できますか。（○は１つ）

災害時にひとりで避難が「できる」人は 24.0%、「できない」人は 42.7%である。



問 49　地震や台風などの災害が起こった際の不安は何ですか。（○はいくつでも）

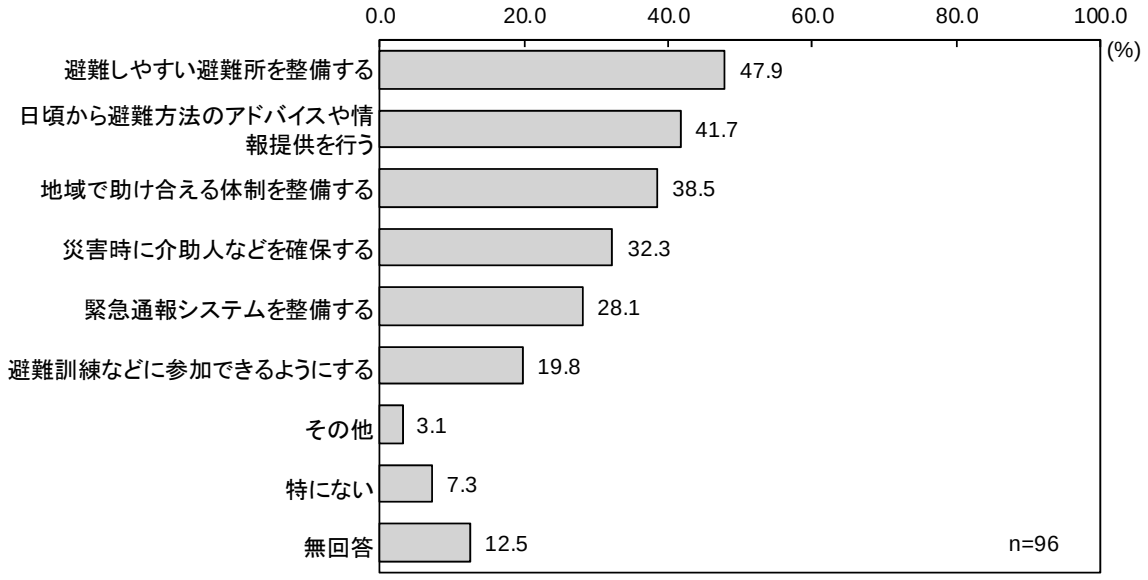
地震や台風などの災害が起こった際の不安としては、「避難先での不安」が 62.5%で最も高く、次いで、「避難する際の不安」（54.2%）、「災害の状況が伝わってこない場合の不安」（42.7%）が続く。

（%）

n=	災害の状況が伝わってこない場合の不安	避難する際の不安	避難先での不安	その他	特にない	わからない	無回答
96	42.7	54.2	62.5	7.3	4.2	9.4	8.3

問 50　地震や台風に備えて、または災害時に、どのような対策が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

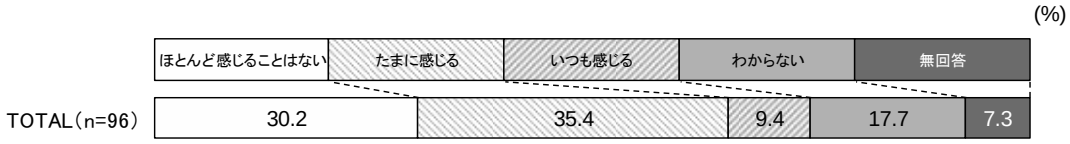
必要な災害対策としては、「避難しやすい避難所を整備する」ことをあげる人が 47.9%で最も高い。



（11）障害・障害者への理解

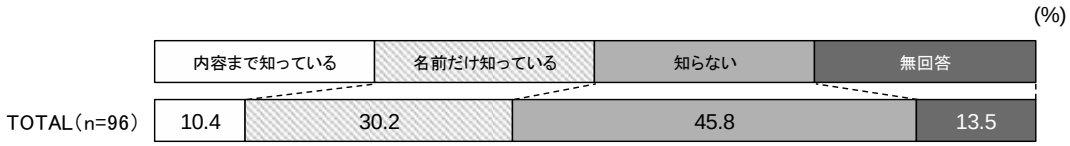
問 55　障害があることで、差別や人権侵害、虐待を受けていると感じることがありますか。（○は１つ）

差別や人権侵害、虐待については、30.2%の人は「ほとんど感じることはない」が、9.4%は「いつも感じる」、35.4%は「たまに感じる」と回答している。



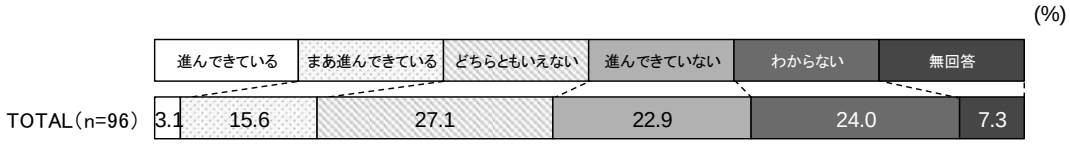
問 56　障害のある方々への差別をなくすことを目的として、平成 28 年４月１日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、このことを知っていますか。（○は１つ）

障害者差別解消法について、「内容まで知っている」人は 10.4%、「知らない」人は 45.8%である。



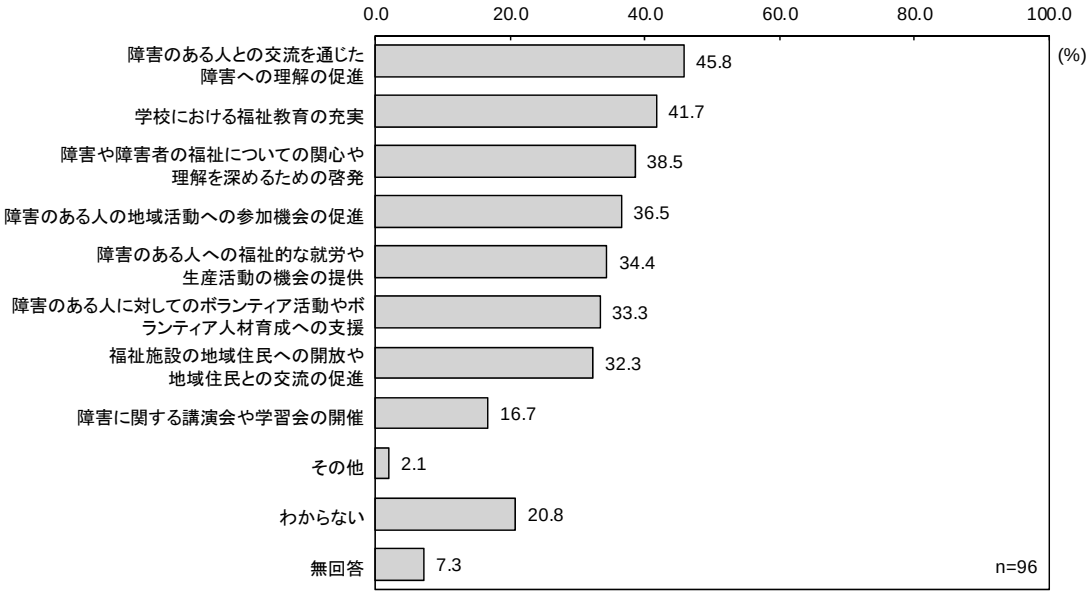
問 57　障害や障害のある方々に対する市民の理解は進んできていると思いますか。（○は１つ）

障害や障害のある人に対する市民の理解が「進んできている」と考えている人は 3.1%、「まあ進んできている」（15.6%）をあわせると、18.7%の人は市民の理解が進んできていると感じている。



問 58　障害や障害のある市民への理解を深めるためには、何が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

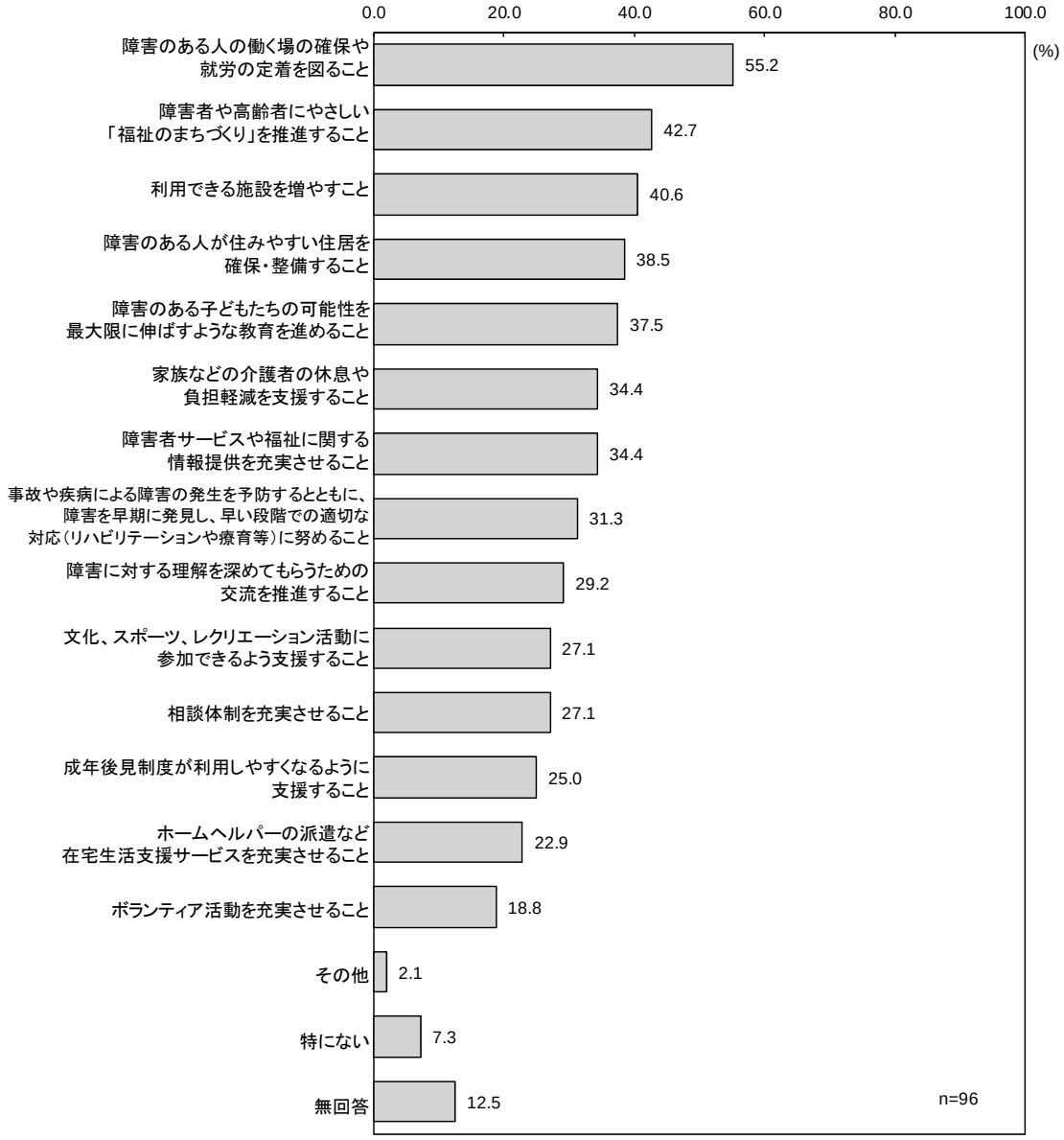
障害や障害のある人への理解に必要なこととして、「障害のある人との交流を通じた障害への理解の促進」が 45.8%で最も高く、次いで、「学校における福祉教育の充実」（41.7%）、「障害や障害者の福祉についての関心や理解を深めるための啓発」（38.5%）が続いている。



（12）障害者施策、市への要望等

問 59　今後、障害者施策を進めていくにあたって、市は特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。（○はいくつでも）

今後、市が充実させていくべき障害者施策としては、「障害のある人の働く場の確保や就労の定着を図ること」が 55.2%と最も高く、次いで「障害者や高齢者にやさしい「福祉のまちづくり」を推進すること」が 42.7%、「利用施設を増やすこと」が 40.6%で続いている。



問 60　問 59 のような西東京市の障害者施策全般について、総合的に満足していますか。（○は１つ）

西東京市の障害者施策全般について、「満足している」人は 5.2%で、「やや満足」（13.5%）とあわせると、18.7%の人は満足していると感じている。

問 61　約５年前（平成 24 年）と比べて、障害者のサービスはどのように変わったと思いますか。（○は１つ）

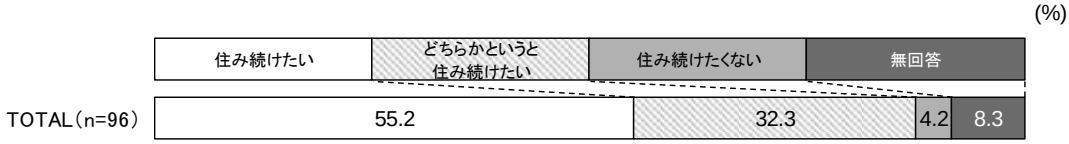
５年前（平成 24 年）と比べて障害者サービスは「変わらない」（53.1%）と感じている人が多いが、「良くなった」が 22.9%で「悪くなった」（6.3%）を上回っている。

問 62　そのようにお答えになったのは、どのような理由からですか。（自由記入）

整理中

問 63　あなたは、今後も西東京市に住みつづけたいと思いますか。（○は１つ）

55.2%の人が今後も西東京市に「住み続けたい」と回答している。



問 64　最後に、この調査を通じて、選択肢や自由記入欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望などがありましたら、自由にお書きください。（自由記入）

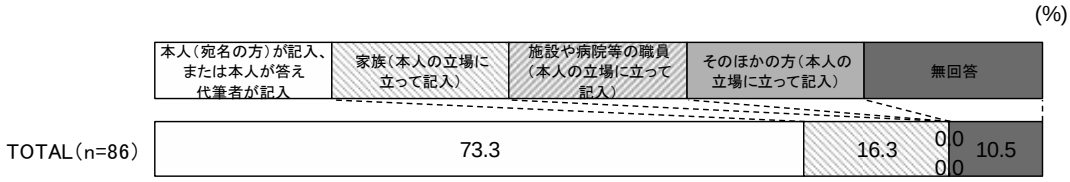
整理中

3　精神障害者

（1）基本的な属性

問1　この用紙（調査票）に記入されるのはどなたですか。（○は1つ）

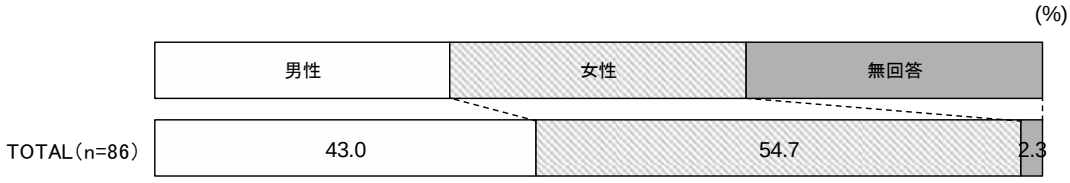
調査票記入者は「本人（宛名の方）が記入、または本人が答え代筆者が記入」が 73.3%。



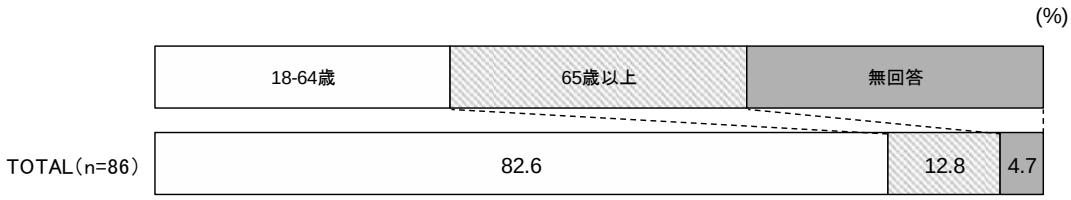
問2　あなたの性別をお答えください。（○は1つ）

問3　年齢（8月1日現在）を記入してください。

性別は、男性が 43.0%、女性が 54.7%。



年齢は、18-64 歳が 82.6%、65 歳以上が 12.8%で平均年齢は 47.9 歳。



（%）

n=	19 歳以下	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳以上	無回答	平均年齢
86	0.0	7.0	17.4	30.2	23.3	12.8	4.7	4.7	47.9 歳

問4　現在、あなたはどこで暮らしていますか。（○は1つ）

居住形態は、「持ち家（分譲マンションを含む）」が 51.2%で最も多く、次いで、「賃貸住宅（アパート、賃貸マンション、借家）」が 36.0%である。

（%）

n=	持ち家（分譲マンションを含む）	賃貸住宅（アパート、賃貸マンション、借家）	グループホーム、ケアホーム、福祉ホーム	福祉施設（障害者支援施設、高齢者支援施設）	入院している	その他	無回答
86	51.2	36.0	4.7	0.0	3.5	1.2	3.5

<＜Ⅱ　3　精神障害者調査＞

問５　どなたと一緒に暮らしていますか。（○はいくつでも）

同居者は、「母親」が 40.7%で最も高く、「配偶者（夫または妻）」が 27.9%で続いている。

年代別にみると、50 代以上では「自分ひとりだけで暮らしている」人が 20%を超えている。60 代以上では「配偶者（夫または妻）」が半数を超えている。

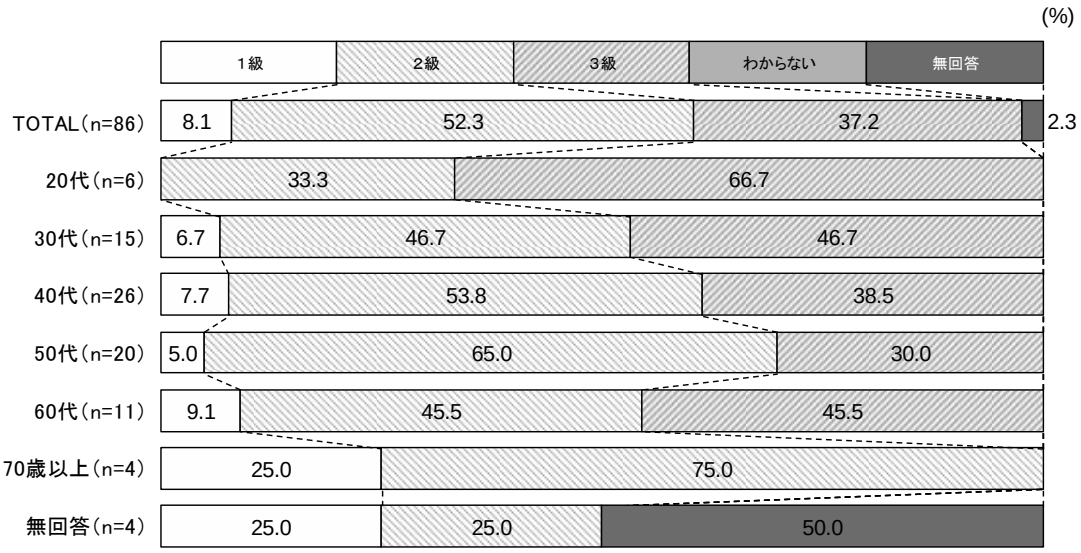
（%）

	n=	自分ひとりだけで暮らしている	配偶者（夫または妻）	子ども（子どもの配偶者も含む）	父親	母親	祖父	祖母	兄弟、姉妹	その他の親せき	福祉施設の職員や仲間	その他	無回答
TOTAL	86	16.3	27.9	12.8	23.3	40.7	0.0	0.0	18.6	2.3	2.3	2.3	5.8
20 代	6	33.3	0.0	0.0	66.7	66.7	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30 代	15	0.0	26.7	6.7	46.7	73.3	0.0	0.0	46.7	0.0	0.0	0.0	0.0
40 代	26	11.5	26.9	15.4	26.9	46.2	0.0	0.0	11.5	7.7	3.8	3.8	0.0
50 代	20	25.0	25.0	15.0	10.0	40.0	0.0	0.0	15.0	0.0	0.0	5.0	0.0
60 代	11	27.3	54.5	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1
70 歳以上	4	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

（２）障害状況

問６　あなたは、精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。お持ちの場合には、手帳に書かれている障害の程度に○をつけてください。（○は１つ）

精神障害者保健福祉手帳の等級は、１級が 8.1%、２級が 52.3%、３級が 37.2%である。



※0.0 は非表示

問７　次のうち、あてはまるものに○をつけてください。（○はいくつでも）

精神障害者保健福祉手帳以外の障害との重複状況をみると、「身体障害者手帳を持っている」人が15.1%、「愛の手帳（療育手帳）を持っている」人が 5.8%である。「発達障害と診断されたことがある」人は 11.6%である。

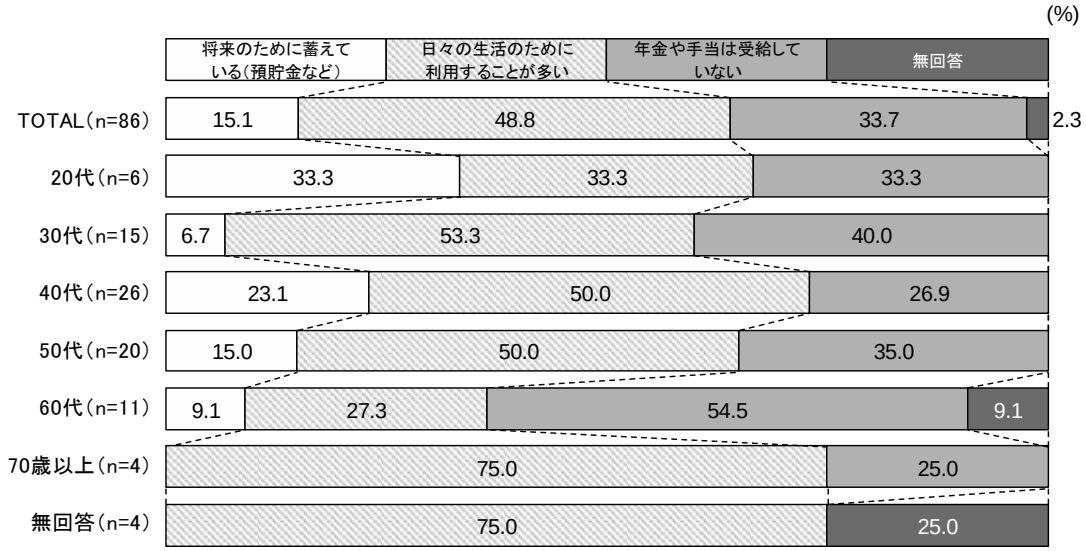
30 代以下では、「発達障害と診断されたことがある」との回答が、他の年代に比べ高い。

（%）

	n=	身体障害者手帳を持っている	愛の手帳（療育手帳）を持っている	国または東京都が指定する難病医療費等助成対象疾病を患っている	高次脳機能障害と診断されたことがある	発達障害と診断されたことがある	訪問看護などの医療的ケアを受けている	あてはまるものはない	無回答
TOTAL	86	15.1	5.8	2.3	3.5	11.6	4.7	47.7	16.3
20 代	6	0.0	16.7	16.7	0.0	50.0	0.0	0.0	16.7
30 代	15	0.0	0.0	6.7	0.0	20.0	0.0	60.0	20.0
40 代	26	19.2	7.7	0.0	7.7	11.5	3.8	50.0	11.5
50 代	20	20.0	5.0	0.0	5.0	5.0	5.0	55.0	10.0
60 代	11	18.2	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1	45.5	18.2
70 歳以上	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0
無回答	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	50.0

問８　あなたは、障害者支援の手当や年金を主にどのように利用していますか。（○は１つ）

障害者支援の手当や年金の利用状況は、「将来のために蓄えている（預貯金など）」が 15.1%、「日々の生活のために利用することが多い」が 48.8%、「年金や手当は受給していない」が 33.7%である。

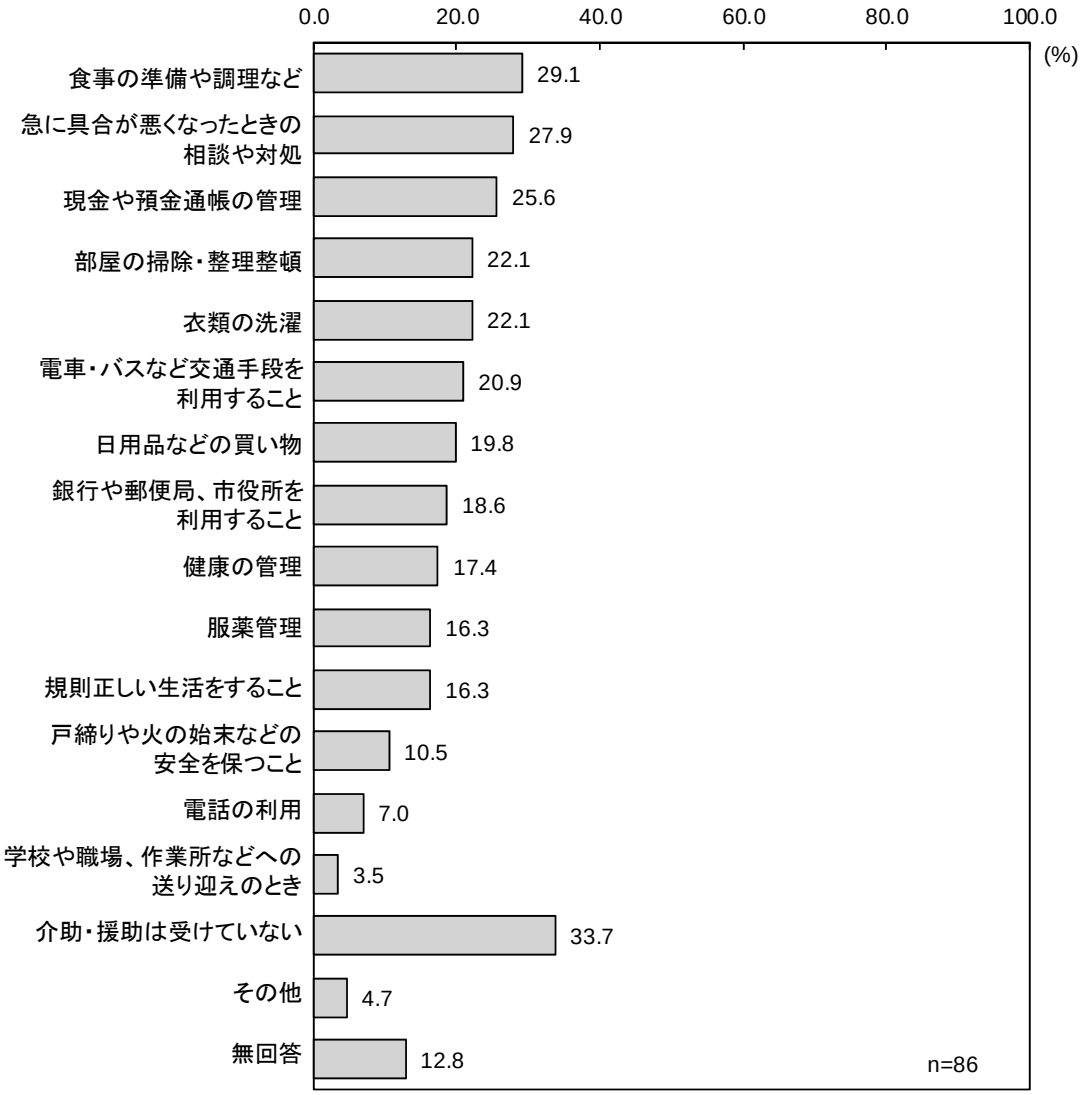


※0.0 は非表示

（3）介助・援助の状況

問9　あなたは、どのようなときに介助・援助を受けていますか。（○はいくつでも）

介助・援助を受けている場面としては、「食事の準備や調理など」が 29.1%で最も高く、次いで、「急に具合が悪くなったときの相談や対処」（27.9%）、「現金や預金通帳の管理」（25.6%）で続く。「介助・援助は受けていない」人は 33.7%となっている。



問 10　ふだん、あなたを主に介助・援助しているのはどなたですか。（○は１つ）

ふだん、主に介助・援助している人は「母親」が 41.3%で最も高く、次いで、「配偶者（夫、妻）」が 26.1%である。「その他」（10.9%）として、・・・との記述があった。　**整理中**

（%）

	n=	配偶者（夫、妻）	子ども、子どもの配偶者	父親	母親	祖父	祖母	兄弟、姉妹	その他の親せき	近所の人、友人・知人	ホームヘルパー等の在宅サービス事業者	その他	無回答
TOTAL	46	26.1	4.3	2.2	41.3	0.0	0.0	6.5	0.0	0.0	6.5	10.9	2.2
20 代	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30 代	11	36.4	0.0	0.0	54.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0
40 代	13	7.7	7.7	0.0	61.5	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0
50 代	11	18.2	0.0	0.0	36.4	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	18.2	9.1
60 代	6	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7	0.0
70 歳以上	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（４）日中の過ごし方や外出の状況・社会参加状況

問 20　あなたは、平日（月曜日～金曜日）の日中を主にどのように過ごしていますか。（○は１つ）

平日の日中の過ごし方として、「自宅にいることが多い」が 44.2%、「働いている」が 18.6%である。

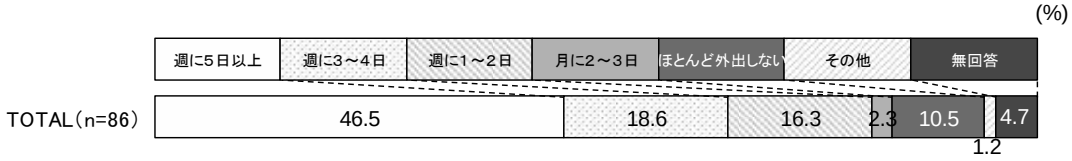
年代別にみると、30 代を除く年代で「自宅にいることが多い」が半数以上となっている。60 代の 18.2%が「入所・入院している施設や病院などで過ごしている」と回答しており、他の年代に比べ高い。

（%）

	n=	幼稚園や保育園、学校などに通っている	福祉施設、作業所などに通っている	病院などのデイケアに通っている	リハビリテーションを受けている	働いている	入所・入院している施設や病院などで過ごしている	自宅にいることが多い	その他	無回答
TOTAL	86	1.2	9.3	11.6	0.0	18.6	5.8	44.2	4.7	4.7
20 代	6	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	50.0	0.0	0.0
30 代	15	0.0	6.7	13.3	0.0	20.0	0.0	53.3	6.7	0.0
40 代	26	0.0	15.4	3.8	0.0	38.5	7.7	34.6	0.0	0.0
50 代	20	0.0	5.0	15.0	0.0	10.0	5.0	50.0	10.0	5.0
60 代	11	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	18.2	54.5	9.1	0.0
70 歳以上	4	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
無回答	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0

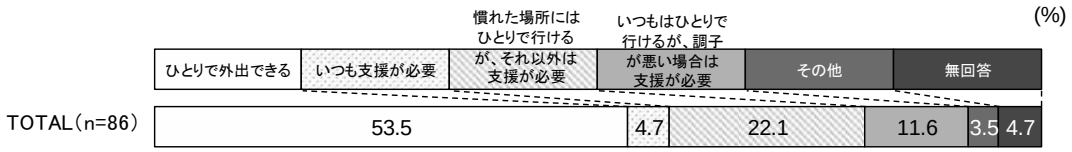
問 11　あなたは、どのくらい外出しますか。通所、通学、通勤、買い物、日常の散歩など、すべてを含めてお答えください。（○は１つ）

外出頻度は、「週に 5 日以上」が 46.5%、「週に 3 ～ 4 日」が 18.6%、「週に 1 ～2 日」が 16.3%である。「ほとんど外出しない」と回答した人は 10.5%となっている。



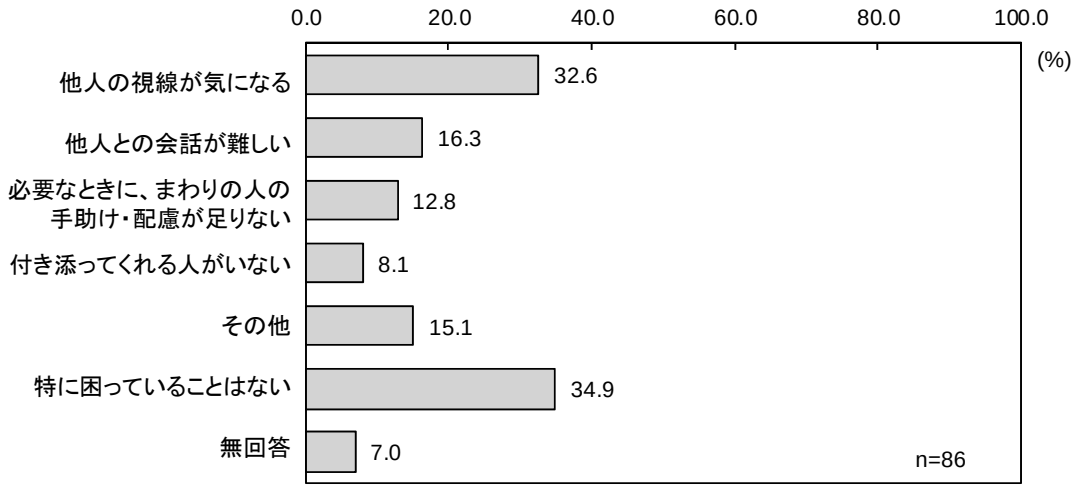
問 12　あなたは、外出をするときに支援が必要ですか。（○は１つ）

外出時の支援の必要性は、53.5%の人が「ひとりで外出できる」と回答している。「いつも支援が必要」は 4.7%である。



問 13　外出の際に困っていることはありますか。（○はいくつでも）

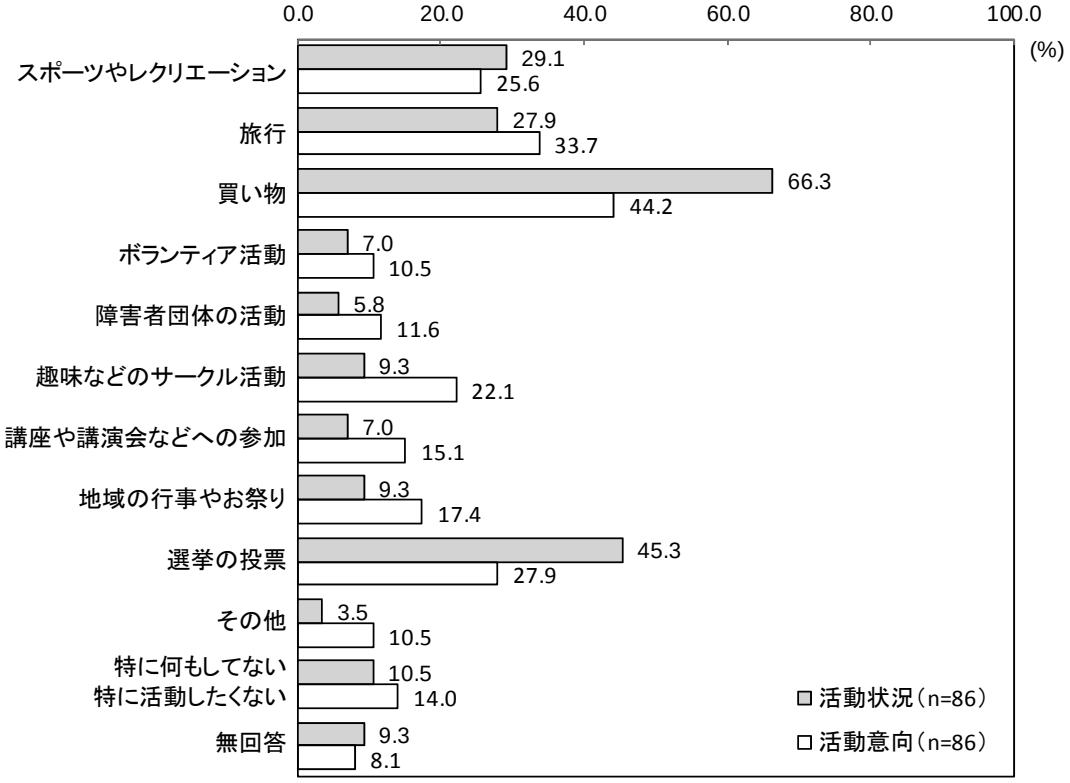
外出の際に「特に困っていることはない」人は 34.9%だが、外出の際に困っていることとしては、「他人の視線が気になる」との回答が 32.6%で最も高い。次いで、「他人との会話が難しい」（16.3%）、「必要なときに、まわりの人の手助け・配慮が足りない」（12.8%）で続いている。



問 14　あなたは、この１年くらいの間に、次のような活動をしましたか。（○はいくつでも）：活動状況
問 18　これからどのような活動をしたいと思いますか。（○はいくつでも）：活動意向

活動状況と活動意向を比べると、「趣味などのサークル活動」は実際の活動状況が 9.3%、活動意向は 22.1%となっており、意向が約 13 ポイント高い。

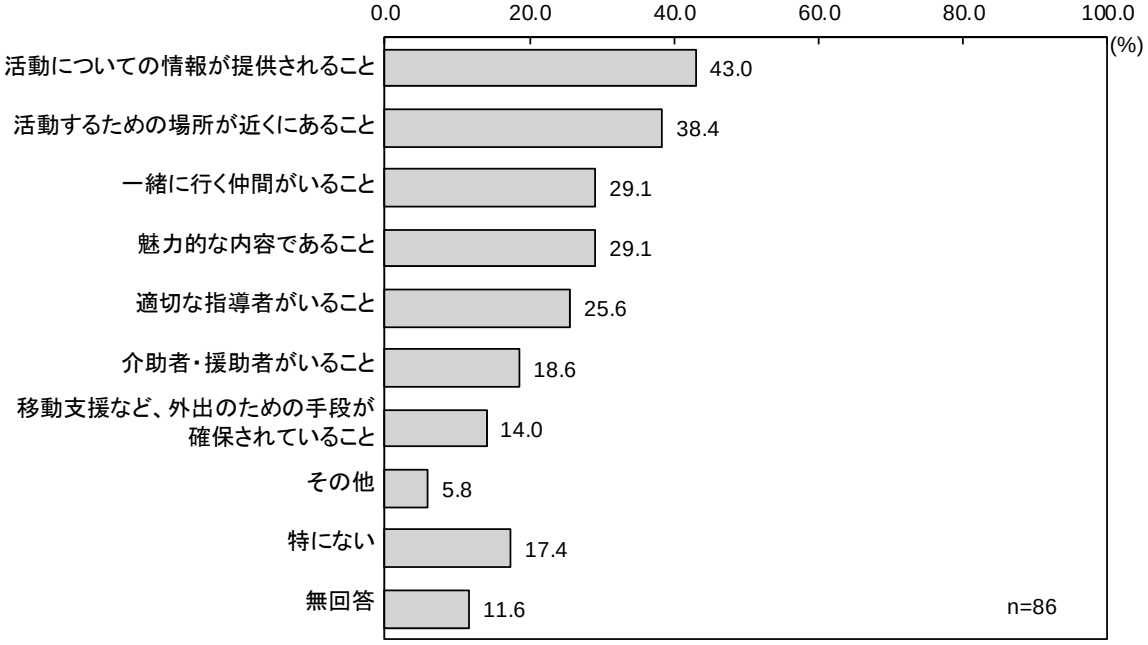
実際の活動状況では、「買い物」（66.3%）、「選挙の投票」（45.3%）が高く、活動意向では、「買い物」（44.2%）、「旅行」（33.7%）が高い。



<Ⅱ　3　精神障害者調査>

問 19　問 18 のような活動をするために、どのような支援が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

活動のために必要な支援として、「活動についての情報が提供されること」が 43.0%で最も高く、次いで、「活動するための場所が近くにあること」（38.4%）、「一緒に行く仲間がいること」（29.1%）、「魅力的な内容であること」（29.1%）が続いている。



問 15　選挙の投票の際、困ったことや改善してほしいことはありましたか。（自由記述）

<回答対象者：問 14 で「選挙の投票」と回答した人>

整理中

問 16　スポーツ活動をした方は、どのようなスポーツ活動をしましたか。あてはまるものに○をつけてください。（○はいくつでも）

<回答対象者：問 14 で「スポーツやレクリエーション」選択者>

スポーツ活動の内容は、以下の通りである。

（%）

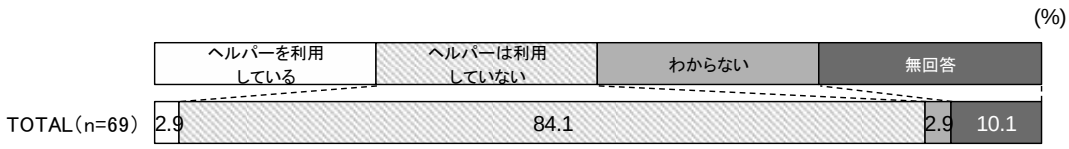
n=	卓球	ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ	ボッチャ	ダンス	ボウリング	ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ	水泳	その他	無回答
25	8.0	0.0	0.0	8.0	4.0	12.0	16.0	64.0	4.0

「その他」（64.0%）として以下の記述があった。　**整理中**

問 17　活動のために外出する際に「同行援護」「行動援護」「移動支援」等のヘルパーを利用していますか。（○は１つ）

＜回答対象者：問 14 で何らかの活動をしている人＞

活動のためのヘルパー利用状況は、「ヘルパーを利用している」が 2.9%、「ヘルパーは利用していない」は 84.1%である。



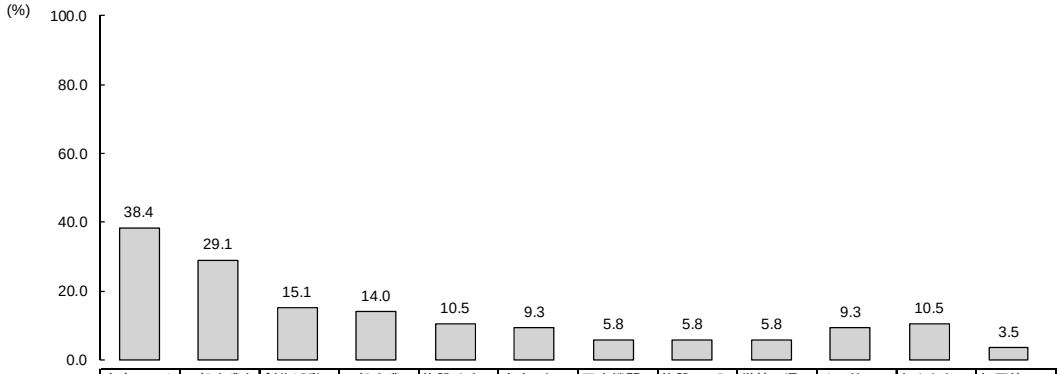
（5）将来の希望

問 49　あなたは、今後、どのように日中を過ごしたいと思いますか。（○はいくつでも）

今後、希望する日中の過ごし方は、「自宅でのんびり過ごしたい」が 38.4%で最も高く、次いで「一般企業などで働きたい」が 29.1%、「創作活動や社会との交流などを行なったりするところで過ごしたい」が 15.1%で続いている。

平日の日中の過ごし方別にみると、福祉施設、作業所などに通っている人の 37.5%が「一般企業などで働きたい」と回答している。自宅にいることが多い人では、今後も「自宅でのんびり過ごしたい」と思う人が 47.4%だが、「一般企業等での就労は難しいと思うが働きたいと思うので、施設内で就労したり、生産活動をしながら過ごしたい」、「一般企業などで働きたい」と考える人がそれぞれ 18.4%である。

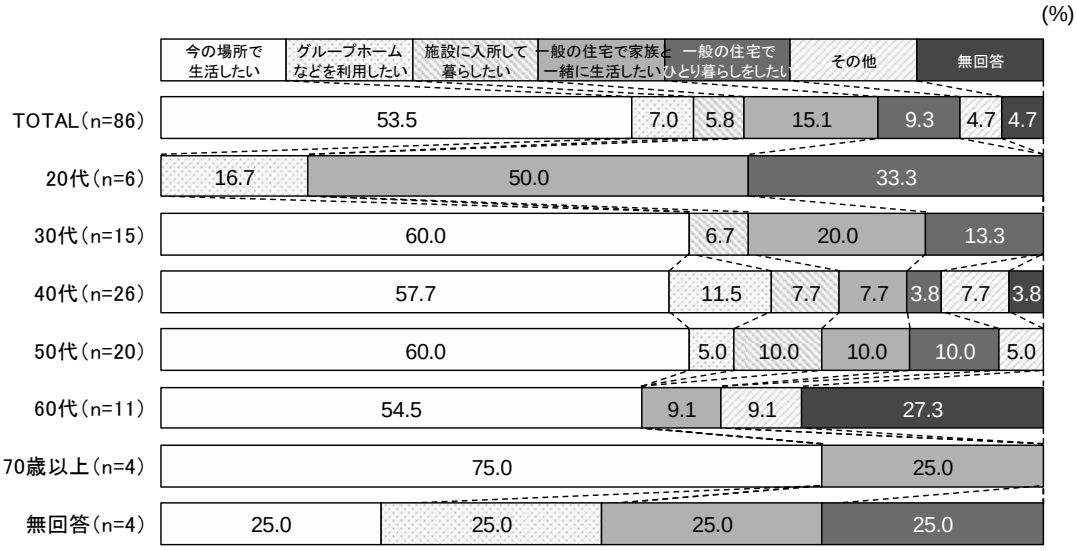
＜平日の日中の過ごし方別。今後、希望する過ごし方＞



	n=	自宅でのんびり過ごしたい	一般企業などで働きたい	創作活動や社会との交流などを行ったりするところで過ごしたい	一般企業等での就労は難しいと思うが働きたいと思うので、施設内で就労したり、生産活動をしながら過ごしたい	施設や企業で作業や実習などを行い、職場探しや職場定着のための支援を受けたい	自立した日常生活ができるよう、一定期間、身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を受けたい	医療機関で、機能訓練、看護、介護、日常生活の世話などを受けながら過ごしたい	施設で、入浴、排せつ、食事の介護を受けながら、創作的活動などを行いたい	学校に通いたい	その他	わからない	無回答
TOTAL	86	38.4	29.1	15.1	14.0	10.5	9.3	5.8	5.8	5.8	9.3	10.5	3.5
幼稚園や保育園、学校などに通っている	1	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
福祉施設、作業所などに通っている	8	25.0	37.5	12.5	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5
病院などのデイケアに通っている	10	50.0	0.0	40.0	20.0	10.0	0.0	10.0	10.0	10.0	20.0	0.0	0.0
働いている	16	37.5	56.3	12.5	0.0	6.3	0.0	6.3	6.3	0.0	0.0	6.3	0.0
入所・入院している施設や病院などで過ごしている	5	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0
自宅にいることが多い	38	47.4	18.4	13.2	18.4	5.3	7.9	5.3	5.3	0.0	10.5	15.8	2.6
その他	4	50.0	75.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0
無回答	4	0.0	50.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0

問 50　あなたは、将来、どこで生活したいと思いますか。（○は１つ）

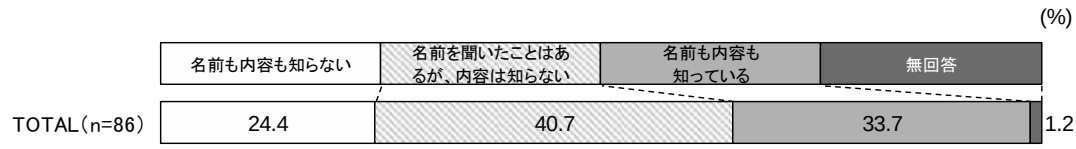
将来、生活したいところは、「今の場所で生活したい」が 53.5%、「グループホームなどを利用したい」が 7.0%、「施設に入所して暮らしたい」が 5.8%、「一般の住宅で家族と一緒に生活したい」が 15.1%、「一般の住宅でひとり暮らしをしたい」が 9.3%である。



※0.0 は非表示

問 51　成年後見制度とは、知的障害や精神障害などの理由により、判断能力が十分でない方の財産などの権利を守る制度です。あなたは、成年後見制度について知っていますか。（○は１つ）

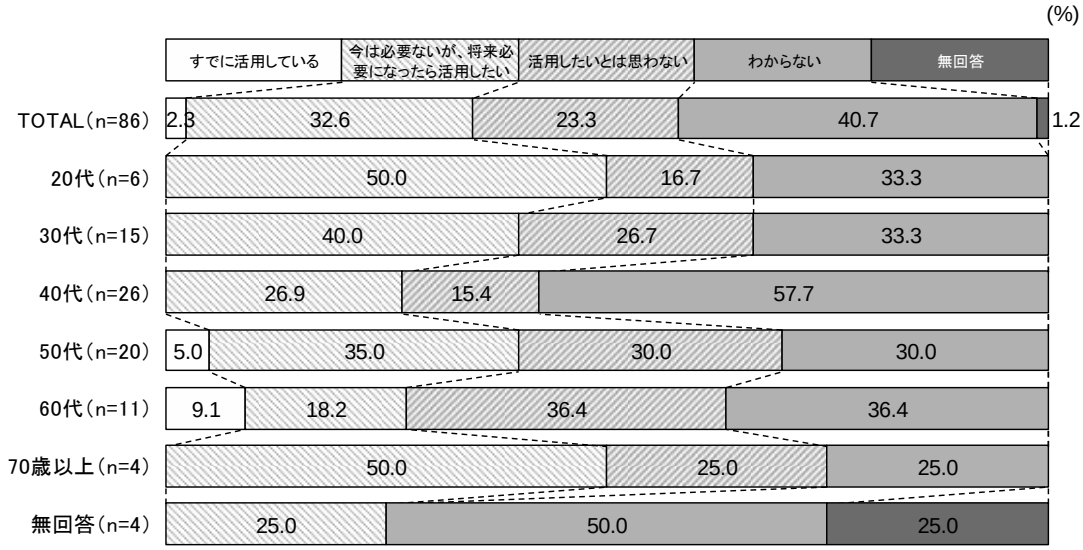
成年後見制度について、「名前も内容も知っている」人は 33.7%、「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」人は 40.7%である。24.4%の人が「名前も内容も知らない」と回答している。



問 52　あなたは、成年後見制度を活用したいと思いますか。（○は１つ）

成年後見制度を「すでに活用している」人は 2.3%である。「今は必要ないが、将来必要になったら活用したい」と考える人は 32.6%である。

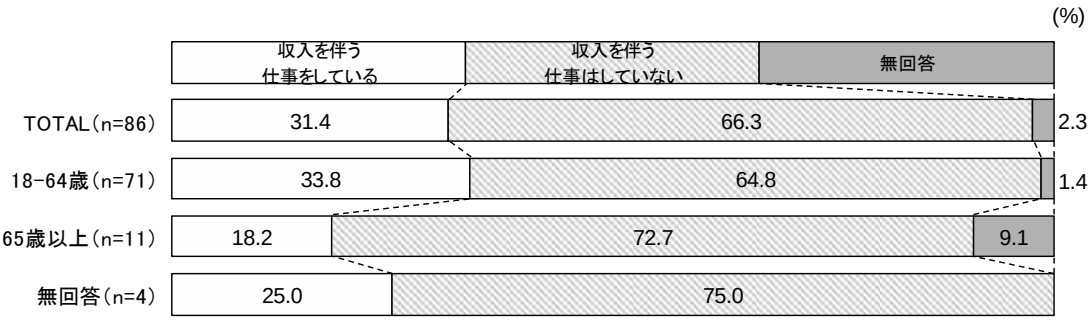
年代別にみると、「すでに活用している」人は、50 代、60 代である。



（６）雇用・就労について

問 21　現在、あなたは収入を伴う仕事をしていますか。（○は１つ）

収入を伴う仕事している人の割合は、18-39 歳で 33.8%、65 歳以上で 18.2%である。



※0.0 は非表示

<問 22～問 25 回答対象者：収入を伴う仕事をしている人>

問 22　どなたかの支援を受けて現在の仕事に就きましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

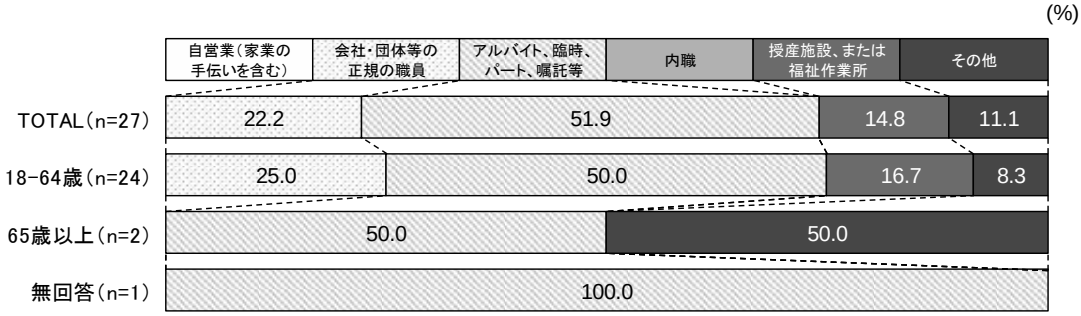
就労の際の支援については、40.7%の人が「支援は受けなかった」と回答しているが、支援とあげられた項目としては、「ハローワーク」が 18.5%である。「その他」（40.7%）として、・・・との記述があった。　**整理中**

（%）

n=	ハローワーク	障害者就労支援センター（一歩）	就労移行支援事業所（さくらの園）	学校	家族	友人・知人	その他	支援は受けなかった	無回答
27	18.5	0.0	3.7	3.7	0.0	3.7	40.7	40.7	3.7

問 23　仕事の形態は次のうちどれですか。（○は１つ）

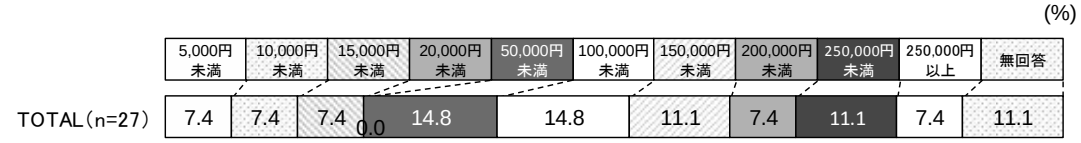
就労形態は、「会社・団体等の正規の職員」が 22.2%、「アルバイト、臨時、パート、嘱託等」が 51.9%、「授産施設、または福祉作業所」が 14.8%である。



※0.0 は非表示

問 24　あなたご自身の１ヶ月当たりの平均的な給与・賃金・工賃はいくらですか。

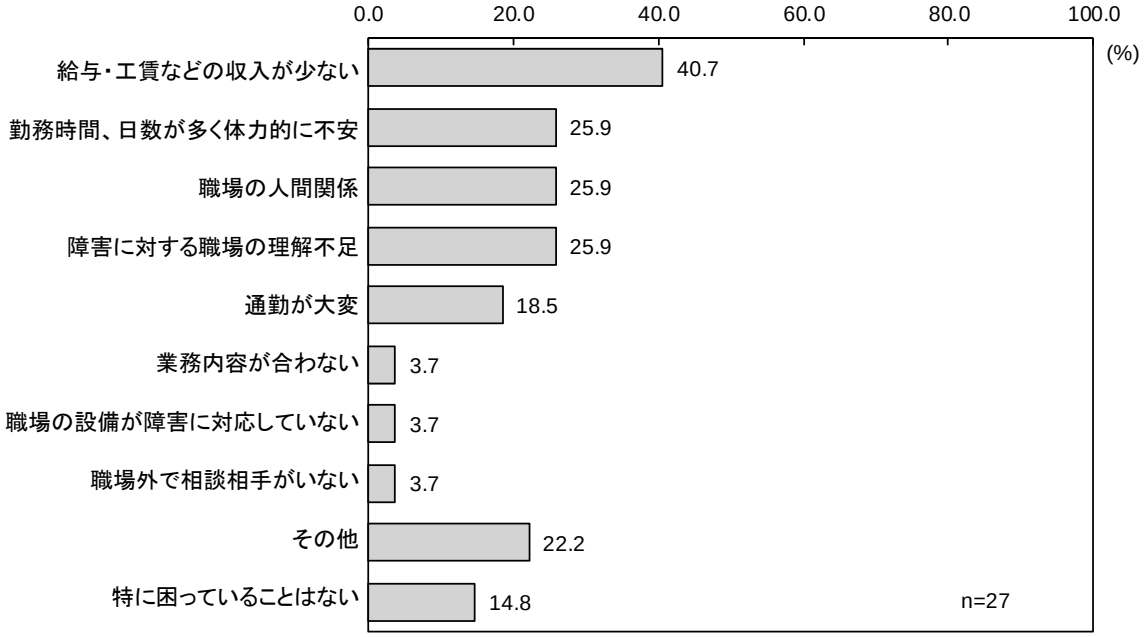
１ヶ月当たりの平均的な給与・賃金・工賃は、平均 99,191.78 円である。



<Ⅱ　3　精神障害者調査>

問 25　仕事をする上で困っていることは何ですか。（○はいくつでも）

仕事をするうえで困っていることとして、「給与・工賃などの収入が少ない」との回答が 40.7%で最も高い。次いで、「勤務時間、日数が多く体力的に不安」、「職場の人間関係」、「障害に対する職なの理解不足」がそれぞれ 25.9%である。「その他」（22.2%）として、・・・との記述があった。 **整理中**

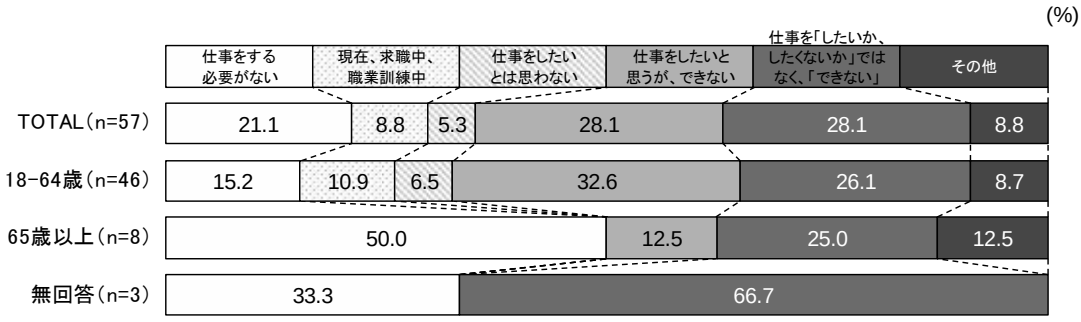


問 26　仕事をしていない主な理由は何ですか。（○は１つ）

<回答対象者：収入を伴う仕事をしていない人>

仕事をしていない主な理由として、「仕事をしたいと思うが、できない」「仕事を「したいか、したくないか」ではなく、「できない」」がそれぞれ 28.1%で最も高い。

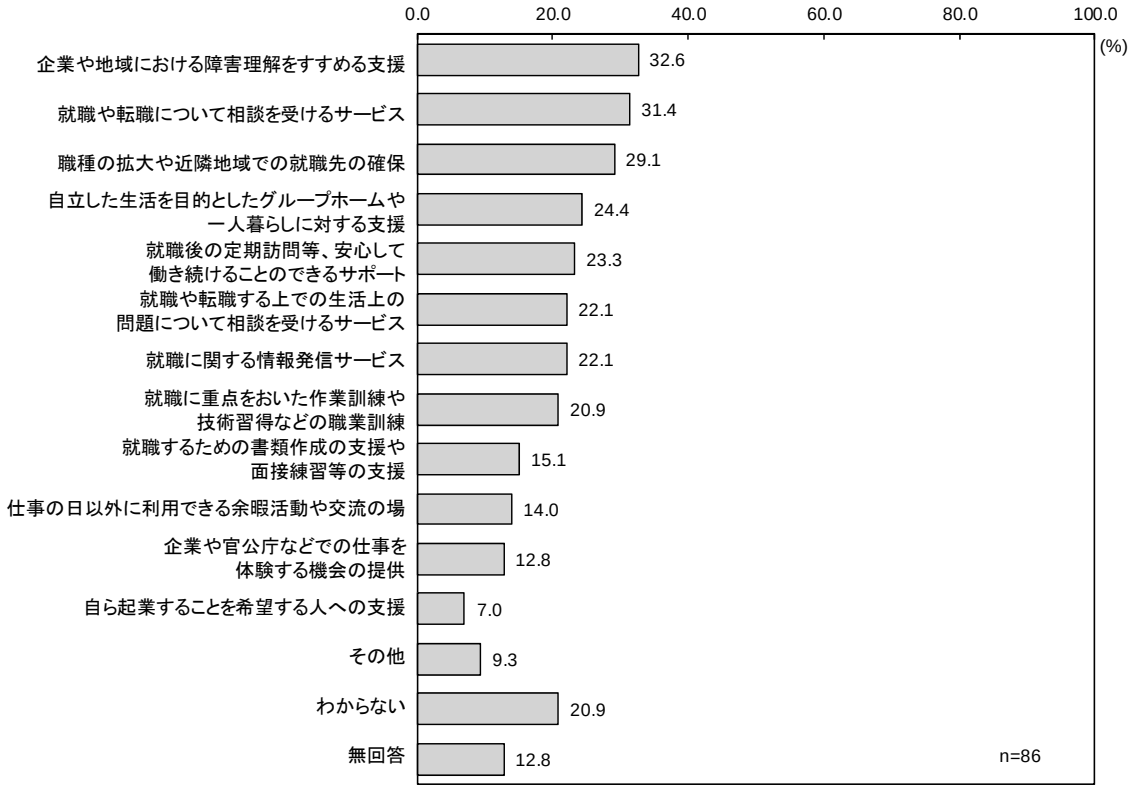
18-64 歳の 32.6%が「仕事をしたいと思うが、できない」と回答している。



※0.0 は非表示

問 27　あなたは、障害のある方の雇用を促進するために、市内で不足していると思われるサービスや取組みは何だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

障害のある人の雇用促進のために、不足していると思われるサービスや取組みは、「企業や地域における障害理解をすすめる支援」が 32.6%で最も高く、次いで、「就職や転職について相談を受けるサービス」（31.4%）、「職種の拡大や近隣地域での就職先の確保」（29.1%）が続く。

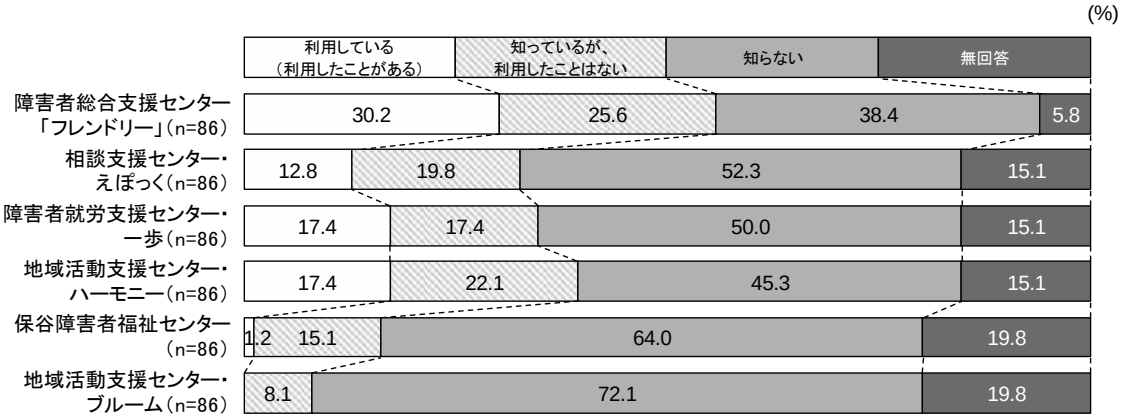


<Ⅱ　3　精神障害者調査>

（7）障害者施設・施策について

問 28　あなたは、西東京市の障害者総合支援センター「フレンドリー」を知っていますか。（○は１つ）
問 29　あなたは、西東京市にある次の施設を利用したことがありますか。また、知っていますか。

市内施設を利用したことがある人は、障害者総合支援センター「フレンドリー」が 30.2%、相談支援センター・えぽっくが 12.8%、障害者就労支援センター・一歩が 17.4%、地域活動支援センター・ハーモニーが 17.4%、保谷障害者福祉センターが 1.2%である。



問 30　あなたは、次の講座や事業等を知っていますか。（○はいくつでも）

市開催の講座や事業等の認知状況は、以下の通りである。

（%）

n=	サポーター養成講座	ヘルプカード	スポーツ支援事業	障害者水泳教室	講座や事業等は知らない	無回答
86	10.5	45.3	4.7	7.0	46.5	7.0

（8）相談や情報入手方法

問 31　あなたは、悩みごとや心配ごとがあるとき、家族や親せき以外に、どのようなところに相談していますか。（○はいくつでも）

家族や親せき以外の相談先としては、「病院・診療所」をあげる人が 54.7%と最も高く、次いで、「知人・友人」（19.8%）、「市役所の福祉相談窓口」（8.1%）と続いている。一方で、16.3%が「相談できるところは特にない」と回答している。

（%）

n=	病院・診療所	友人・知人	市役所の福祉相談窓口	障害者就労支援センター・一歩	地域活動支援センター・ハーモニー	福祉施設や作業所の職員	相談支援センター・えぽっく	生活保護の担当職員	保谷障害者福祉センター	地域活動支援センター・ブルーム
86	54.7	19.8	8.1	7.0	7.0	5.8	2.3	2.3	1.2	1.2

保健師	幼稚園・保育園・学校の先生や職場の仲間	児童相談所	民生委員・児童委員	社会福祉協議会の職員	障害者団体	その他	誰かに相談することはまれである	相談できるところは特にない	無回答
1.2	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	11.6	10.5	16.3	4.7

問 32　相談できるところは特にないと回答した理由は何ですか。（○はいくつでも）

＜回答対象者：「相談できるところは特にない」と回答した人＞

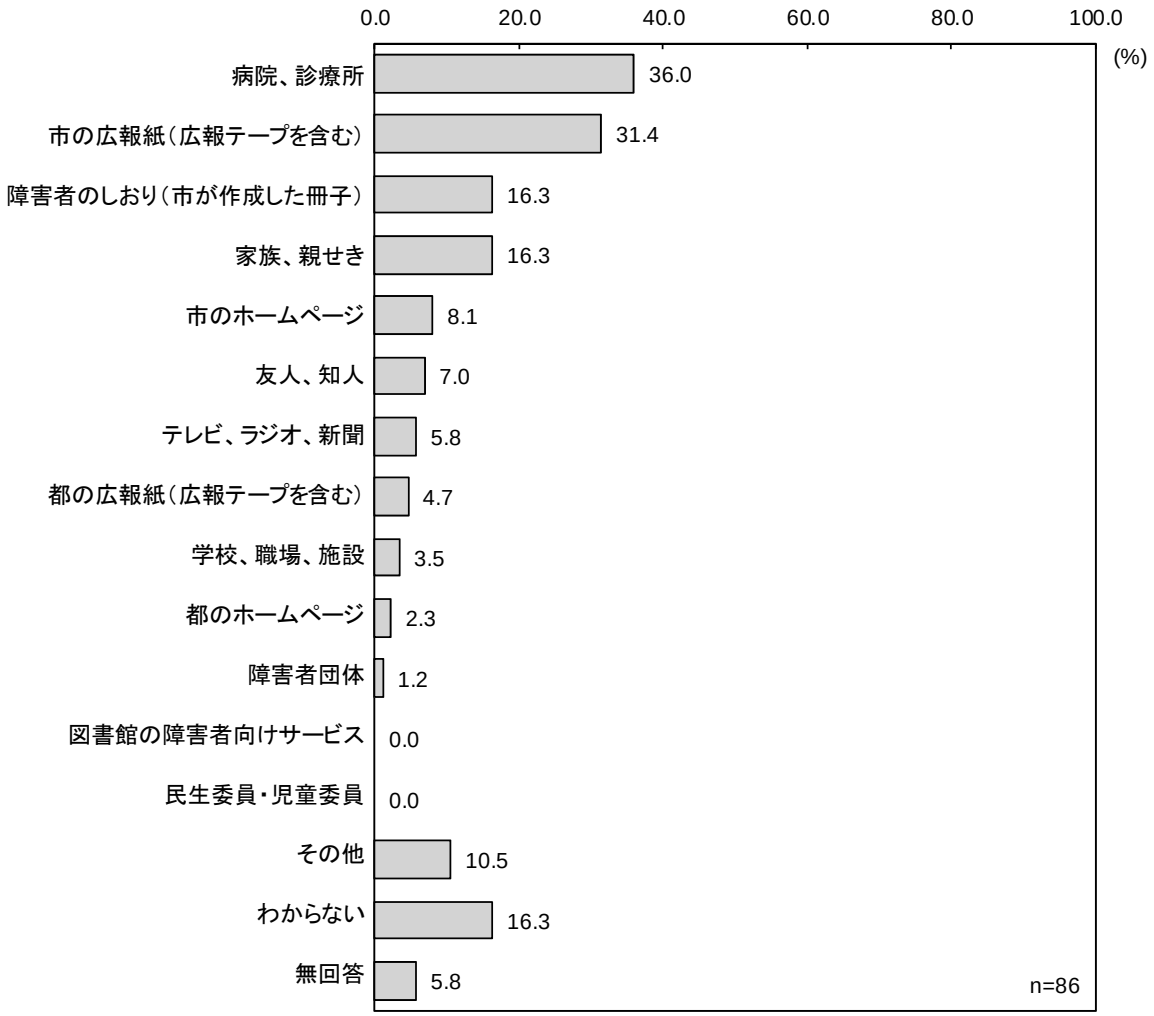
50.0%の人が「どこに相談したらよいかわからないから」と回答している。

（%）

n=	相談するほどでもない・必要がない	相談したくないから	どこに相談したらよいかわからないから	その他
14	14.3	7.1	50.0	28.6

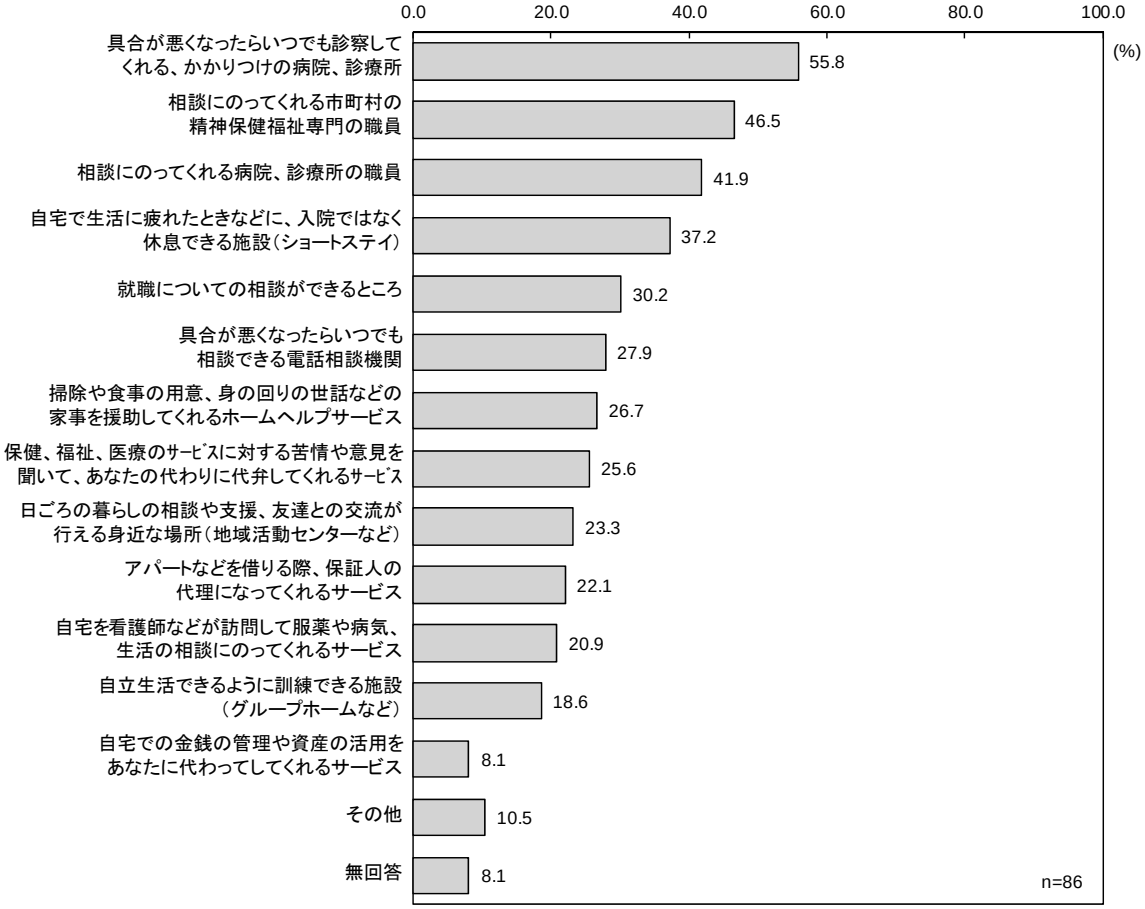
問 33　あなたは、障害福祉サービスなどの情報を主にどこから得ていますか。（○はいくつでも）

情報の入手先として、「病院、診療所」が 36.0%で最も高く、次いで、「市の広報紙（広報テープを含む）」（31.4%）、「障害者のしおり（市が作成した冊子）」（16.3%）、「家族、親せき」（16.3%）と続いている。情報入手先が「わからない」と回答した人は 16.3%である。



問 34　あなたが、地域で生活していく上で必要だと思うものはなんですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

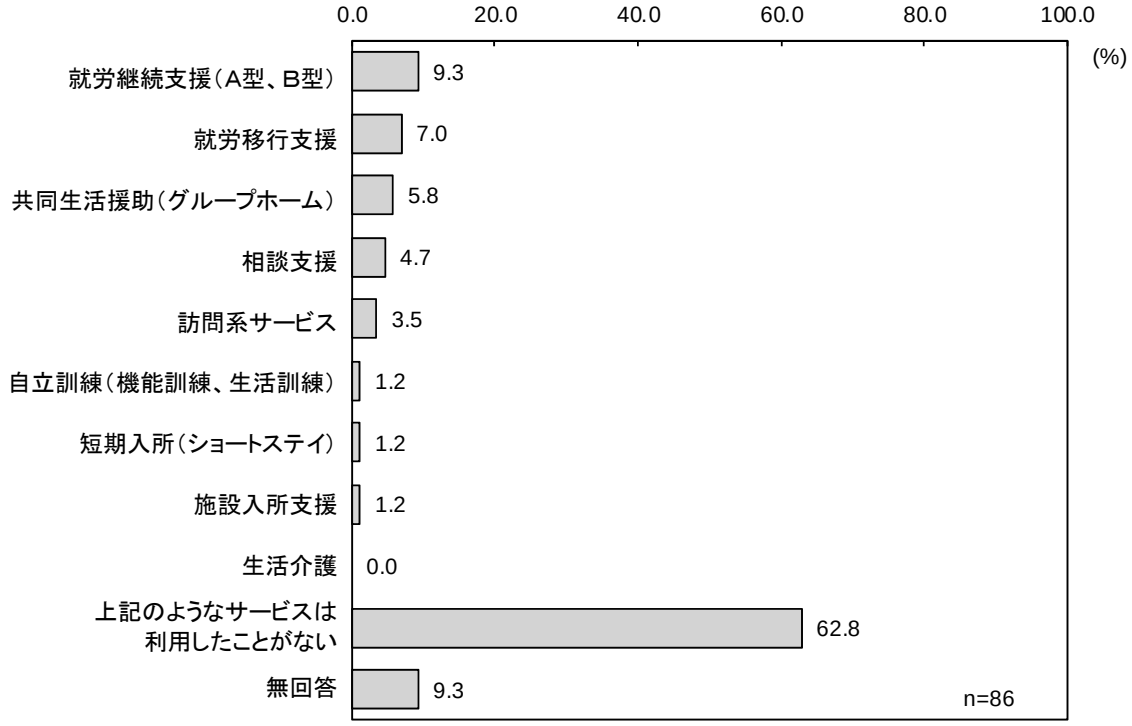
地域で生活していく上で必要なものとして、「具合が悪くなったらいつでも診察してくれる、かかりつけの病院、診療所」が 55.8%で最も高く、次いで、「相談にのってくれる市町村の精神保健福祉専門の職員」（46.5%）、「相談にのってくれる病院、診療所の職員」（41.9%）と続いており、体調等に不安がある際の対応先や、相談先をあげる人が多い。



（9）福祉サービス認知・利用状況

問 35　あなたは、次のような障害福祉サービスを、過去 1 年の間に利用したことがありますか。利用したことがあるサービスに○をつけてください。（○はいくつでも）

以下の障害福祉サービスのうち、過去 1 年間での利用経験が最も高いのは、「就労継続支援（A 型、B 型）」で 9.3%である。次いで、「就労移行支援」（7.0%）、「共同生活援助（グループホーム）」(5.8%)、が続く。一方で「障害福祉サービスを利用したことがない」人は 62.8%となっている。



問 36　サービスに対する、感想やご意見があれば自由にご記入ください。（自由記述）
※サービス名、利用の際に困っていること、サービス利用で改善してほしい点など。

＜回答対象者：何らかの障害福祉サービス利用経験者＞

整理中

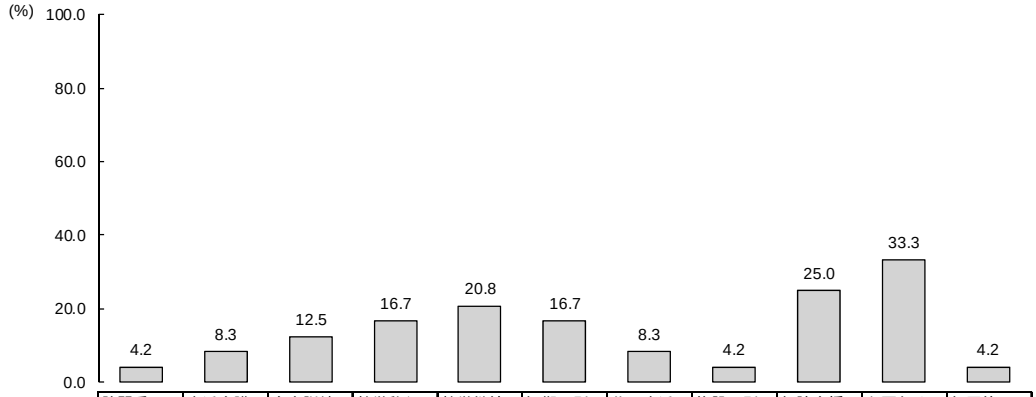
<Ⅱ　3　精神障害者調査>

問 37　あなたは、「十分利用できていない」と思うサービスはどのサービスですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

<回答対象者：何らかの障害福祉サービス利用経験者>

サービス利用経験者の 33.3%が「必要なサービスを利用できている」と回答しているが、「十分利用できていない」と思うサービスでは、「相談支援」をあげる人が 25.0%である。次いで、「就労継続支援（Ａ型、Ｂ型）」（20.8%）、「就労移行支援」（16.7%）、「短期入所」（16.7%）が続く。

<利用したことがあるサービス別・十分利用できていないサービス>

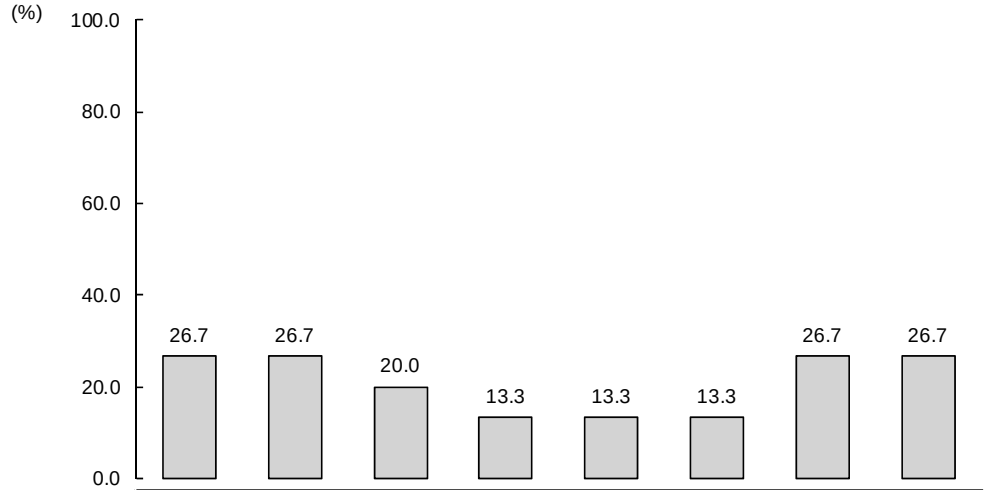


利用したことがあるサービス	n=	訪問系サービス	生活介護	自立訓練（機能訓練、生活訓練）	就労移行支援	就労継続支援（A型、B型）	短期入所（ショートステイ）	共同生活援助（グループホーム）	施設入所支援	相談支援	必要なサービスを利用できている	無回答
TOTAL	24	4.2	8.3	12.5	16.7	20.8	16.7	8.3	4.2	25.0	33.3	4.2
訪問系サービス	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
自立訓練（機能訓練、生活訓練）	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
就労移行支援	6	0.0	16.7	16.7	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7	0.0
就労継続支援（A型、B型）	8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5	12.5	0.0	0.0	62.5	0.0
短期入所（ショートステイ）	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
共同生活援助（グループホーム）	5	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0
施設入所支援	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
相談支援	4	0.0	25.0	25.0	25.0	75.0	25.0	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0

問 38　必要だと思うサービスを、十分、利用できていない理由は何ですか。（○はいくつでも）

＜回答対象者：障害福祉サービスを十分利用できていないと感じている人＞

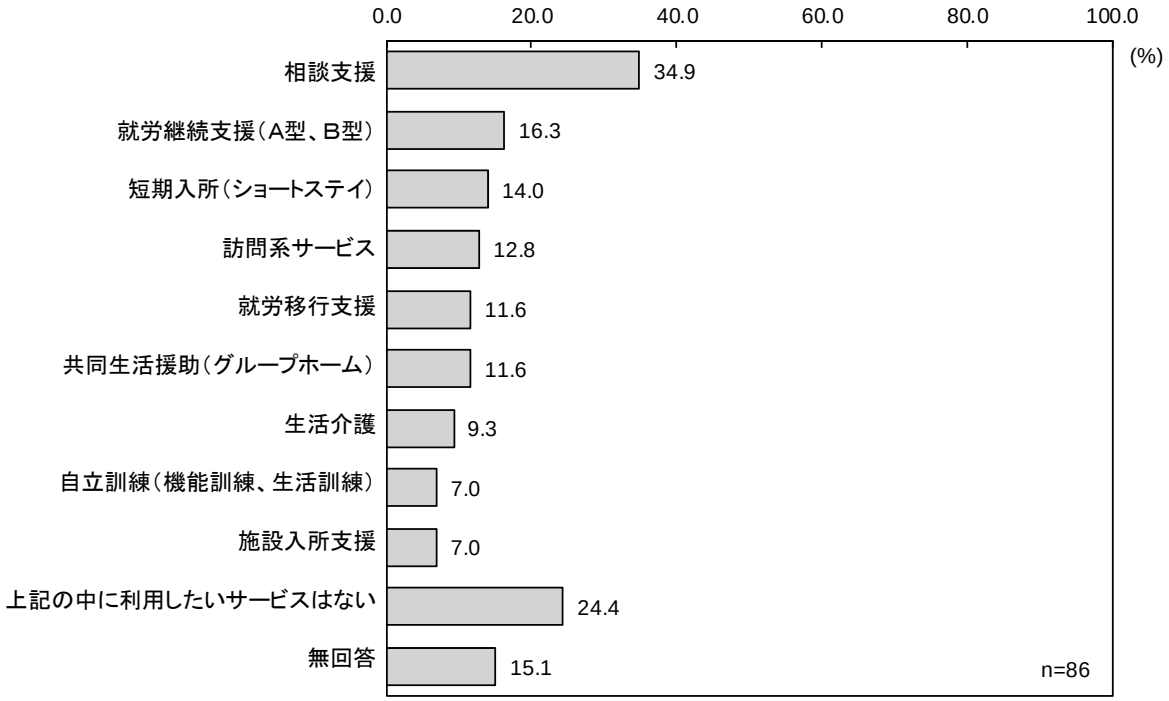
利用サービスを「十分利用できていない」と感じている人に、理由をたずねたところ、「自己負担が大きく、利用できないから」「使いたいサービスの定員がいっぱいだから」、「その他」がそれぞれ 26.7%である。「その他」として、・・・との記述があった。　**整理中**



	n=	自己負担が大きく、利用できないから	使いたいサービスの定員がいっぱいだから	サービス利用に予約が必要で、いつも予約がいっぱいだから	支給量が足りないから	通うのが大変だから	自分が利用したい時間や時期とあわないから	その他	わからない
TOTAL	15	26.7	26.7	20.0	13.3	13.3	13.3	26.7	26.7

問 39　あなたは、今後、どのようなサービスを引き続き、あるいは新たに利用したいと思いますか。（○はいくつでも）

引き続き、あるいは新たに利用したいサービスは、「相談支援」が 34.9%、「就労継続支援（Ａ型、Ｂ型）」が 16.3%、「短期入所（ショートステイ）」が 14.0%である。一方で、「上記の中に利用したいサービスはない」と回答した人は 24.4%となっている。

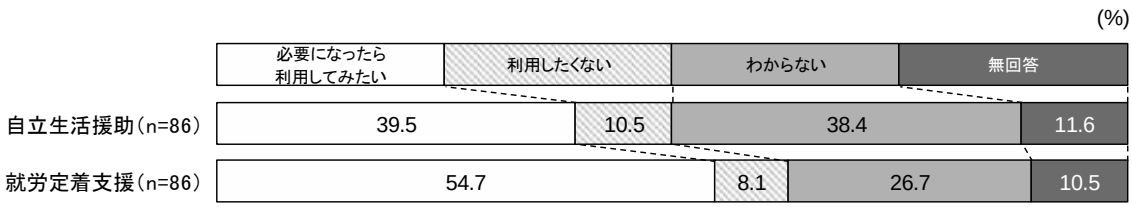


問 40　サービスをより利用しやすくするためには、どのような情報提供や相談先が必要ですか。また、サービスを利用するためにあるとよい支援はどのようなものですか。（自由記述）

整理中

問 41　障害者総合支援法の改正により、新たに導入される次のようなサービスをあなたは利用してみたいと思いますか。　※平成 30 年 4 月から創設される予定の新しいサービスです。サービスの詳細は変更する可能性もあります。

平成 30 年 4 月から導入予定のサービスの利用意向について、「必要になったら利用してみたい」と考えるサービスは、「自立生活支援」が 39.5%、「就労定着支援」が 54.7%である。



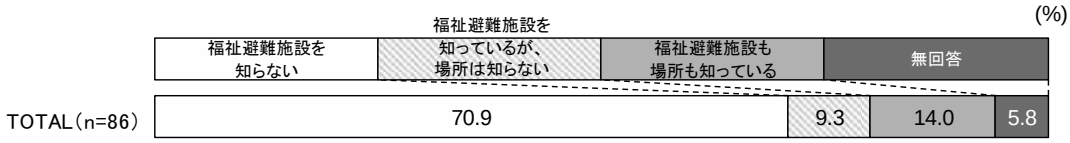
（10）災害対策について

問 42　あなたは、お住まいの地域の避難所を知っていますか。（○は１つ）

地域の避難場所を「知っている」人は 57.0%である。

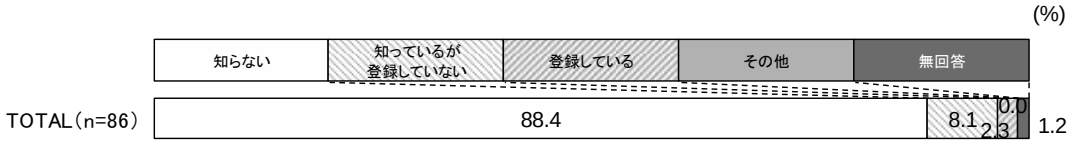
問 43　福祉避難施設とは、自宅や避難施設で生活している高齢者や障害者の方等に対し、状況に応じて介護等の必要なサービスを提供する社会福祉施設等のことです。西東京市には障害者総合支援センター「フレンドリー」をはじめ、約 30 ヶ所の福祉避難施設があります。あなたは、西東京市にある福祉避難施設を知っていますか。（○は１つ）

福祉避難施設については、70.9%が「知らない」と回答している。「福祉避難施設も場所も知っている」人は 14.0%である。



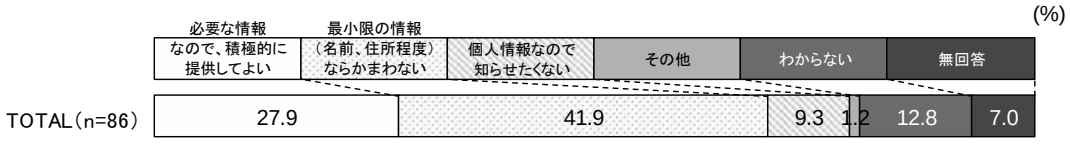
問 44　あなたは、災害時要援護者登録を知っていますか。（○は１つ）

災害時要援護者登録については、88.4%が「知らない」と回答している。「登録している」人は 2.3%である。



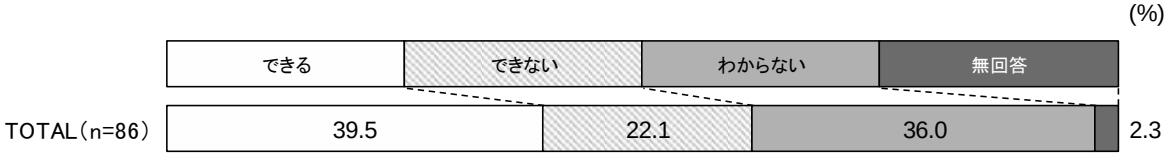
問 45　災害時に行政や地域などから支援を受けるため、あらかじめ個人情報（名前、住所、世帯の状況、障害の状況、緊急連絡先等）を市に提供することについて、どう思いますか。（○は１つ）

災害時の支援を受けるために個人情報を提供することについては、「必要な情報なので、積極的に提供してよい」が 27.9%、「最小限の（名前、住所程度）ならかまわない」が 41.9%である。



問 46　あなたは、地震や台風などの災害時にひとりで避難できますか。（○は１つ）

災害時にひとりで避難が「できる」人は 39.5%、「できない」人は 22.1%である。



問 47　地震や台風などの災害が起こった際の不安は何ですか。（○はいくつでも）

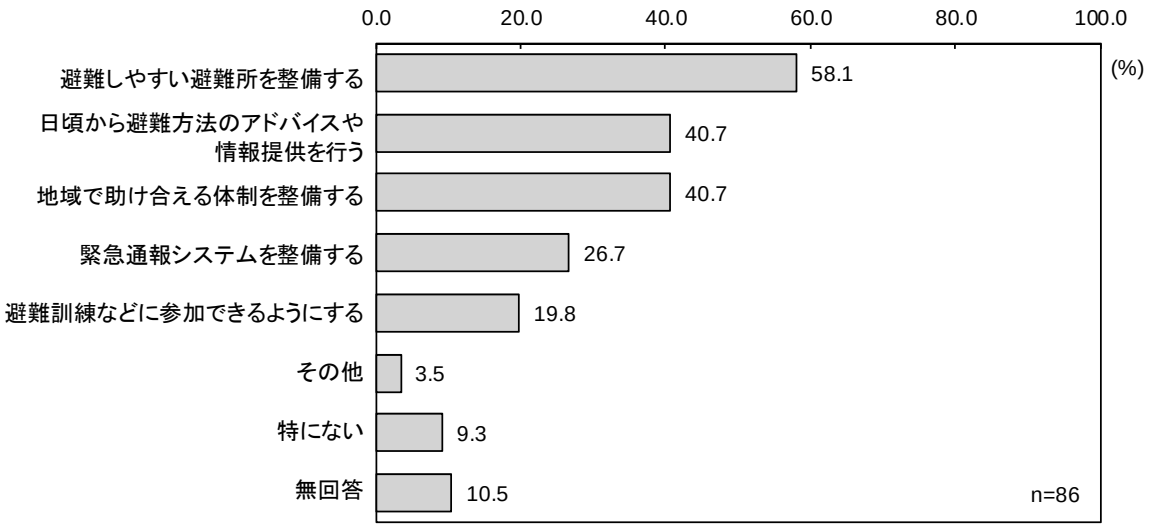
地震や台風などの災害が起こった際の不安としては、「避難先での不安」が 75.6%で最も高く、次いで「避難する際の不安」（58.1%）、「災害の状況が伝わってこない場合の不安」（46.5%）が続く。「その他」（15.1%）として、・・・・との記述があった　**整理中**

（%）

n=	災害の状況が伝わってこない場合の不安	避難する際の不安	避難先での不安	その他	特にない	わからない	無回答
86	46.5	58.1	75.6	15.1	4.7	4.7	3.5

問 48　災害に備えて、または災害時に、どのような対策が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

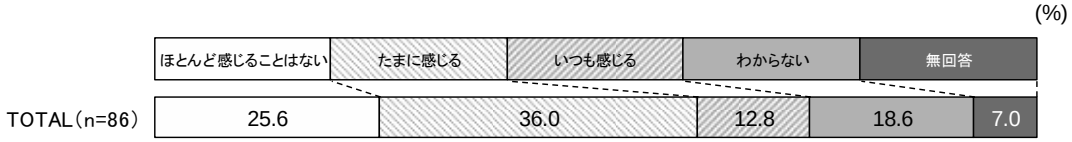
必要な災害対策としては、「避難しやすい避難所を整備する」ことをあげる人が 58.1%で最も高い。



（11）障害・障害者への理解

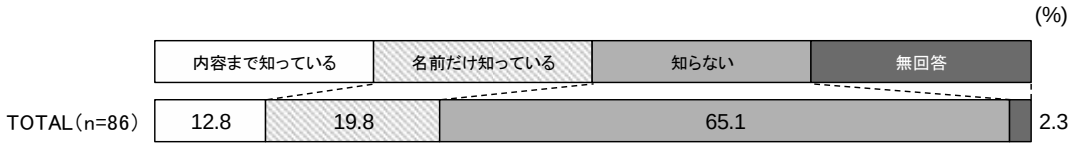
問 53　障害があることで、差別や人権侵害、虐待を受けていると感じることがありますか。（○は１つ）

差別や人権侵害、虐待については、25.6%の人は「ほとんど感じることはない」が、12.8%は「いつも感じる」、36.0%は「たまに感じる」と回答している



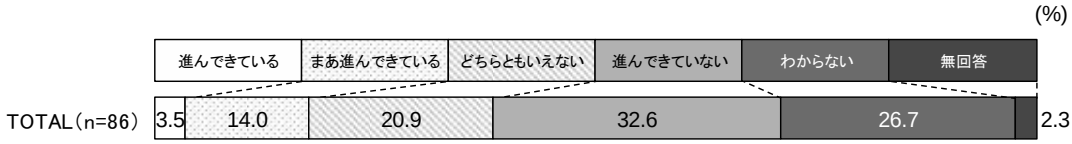
問 54　障害のある方々への差別をなくすことを目的として、平成 28 年４月１日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、このことを知っていますか。（○は１つ）

障害者差別解消法について、「内容まで知っている」人は 12.8%、「知らない」人は 65.1%である。



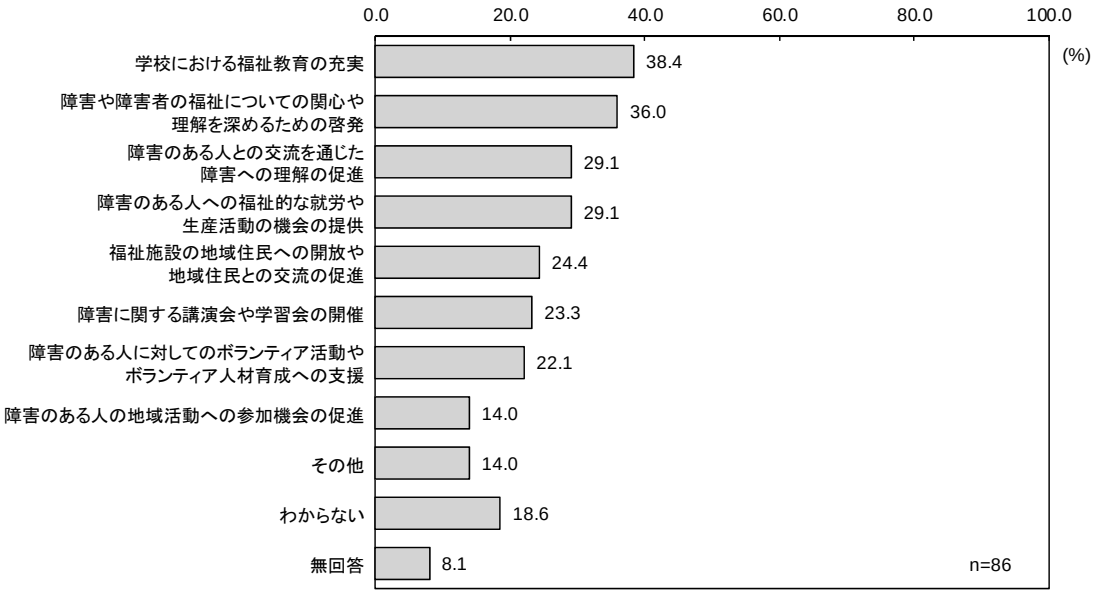
問 55　障害や障害のある方々に対する市民の理解は進んできていると思いますか。（○は１つ）

障害や障害のある人に対する市民の理解が「進んできている」と考えている人は 3.5%、「まあ進んできている」（14.0%）をあわせると、17.5%の人は市民の理解が進んできていると感じている。一方で 32.6%の人は「進んできていない」と感じている。



問 56　障害や障害のある市民への理解を深めるためには、何が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

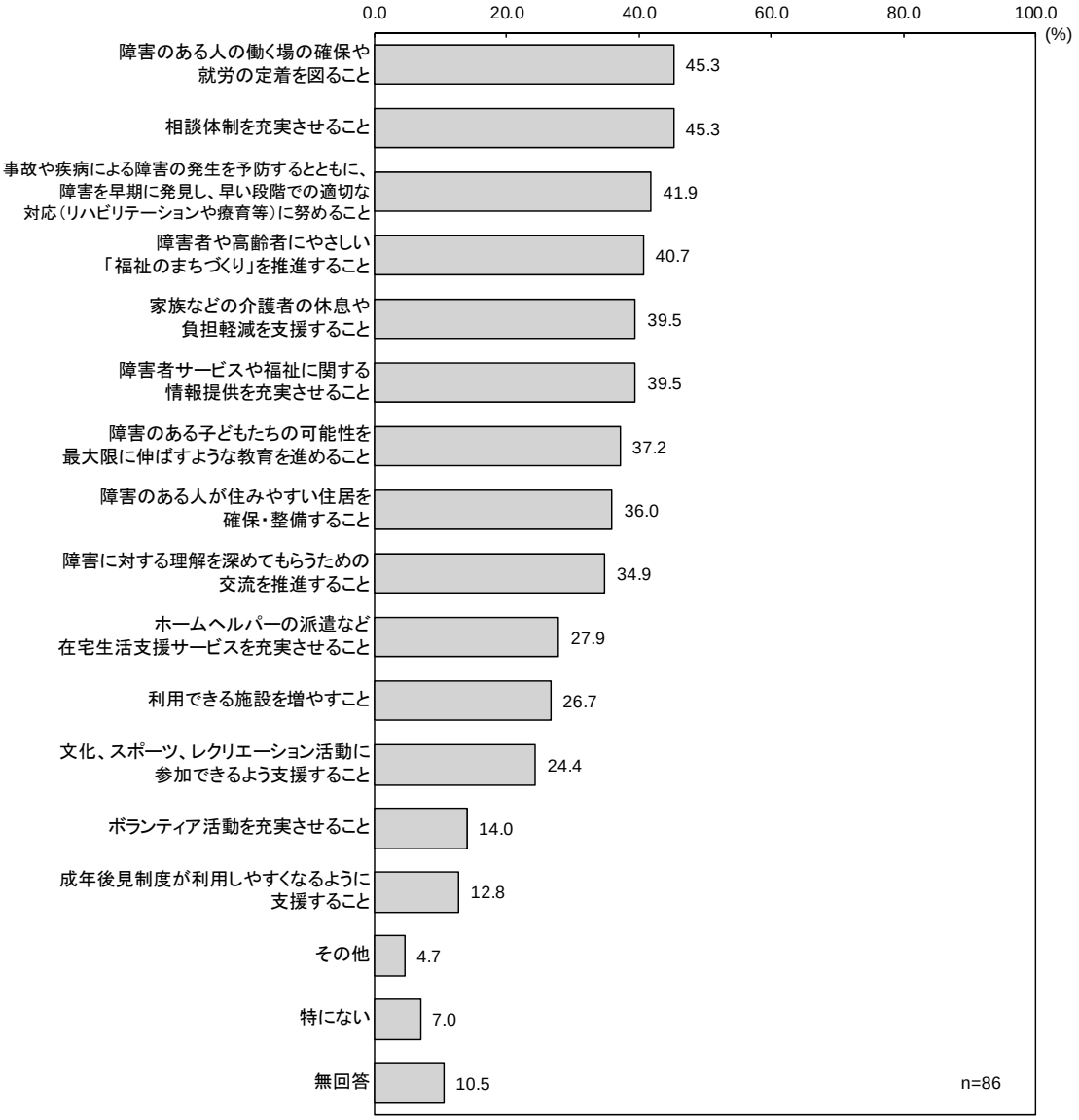
障害や障害のある人への理解に必要なこととして、「学校における福祉教育の充実」が 38.4%で最も高く、次いで、「障害や障害者の福祉についての関心や理解を深めるための啓発」（36.0%）、「障害のある人との交流を通じた障害への理解の促進」（29.1%）、「障害のある人への福祉的な就労や生産活動の機会の提供」（29.1%）が続いている。



（12）障害者施策、市への要望等

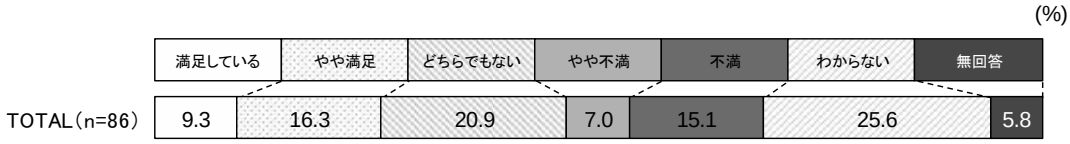
問 57　今後、障害者施策を進めていくにあたって、市は特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。（○はいくつでも）

今後、市が充実させていくべき障害者施策としては、「障害のある人の働く場の確保や就労の定着を図ること」、「相談体制を充実させること」がそれぞれ 45.3%で、次いで「事故や疾病による障害の発生を予防するとともに、障害を早期に発見し、早い段階での適切な対応に努めること」が 41.9%で続いている。



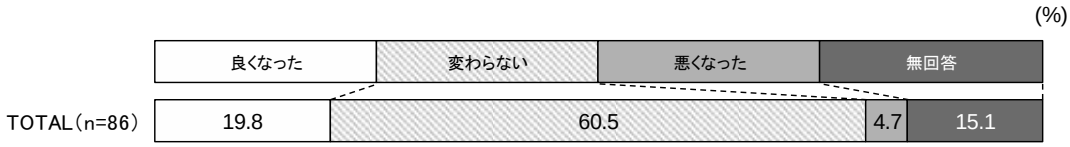
問 58　問 57 のような西東京市の障害者施策全般について、総合的に満足していますか。（○は１つ）

西東京市の障害者施策全般について、「満足している」人は 9.3%で、「やや満足」（16.3%）とあわせると、25.6%の人は満足していると感じている。



問 59　約５年前（平成 24 年）と比べて、障害者のサービスはどのように変わったと思いますか。（○は１つ）

５年前（平成 24 年）と比べて障害者サービスは「変わらない」（60.5%）と感じている人が多いが、「良くなった」が 19.8%で「悪くなった」（4.7%）を上回っている。

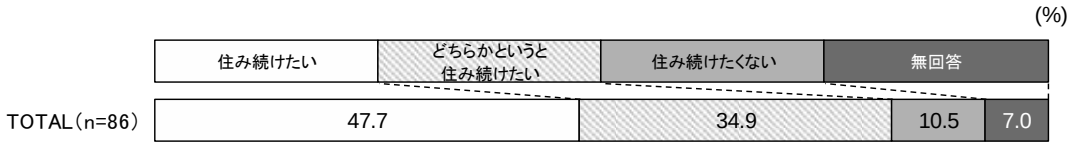


問 60　そのようにお答えになったのは、どのような理由からですか。（自由記述）

整理中

問 61　あなたは、今後も西東京市に住み続けたいと思いますか。（○は１つ）

47.7%の人が今後も西東京市に「住み続けたい」と回答している。



問 62　最後に、この調査を通じて、選択肢や自由記述欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望などがありましたら、自由にお書きください。（自由記述）

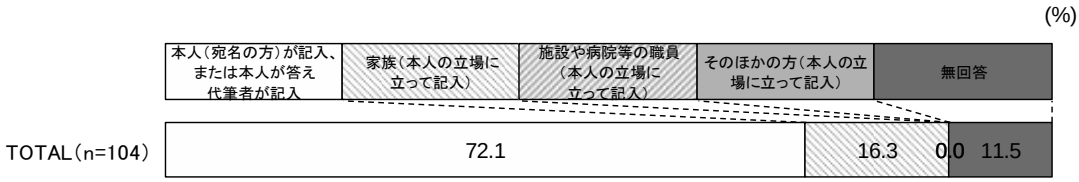
整理中

4　難病患者

（1）基本的な属性

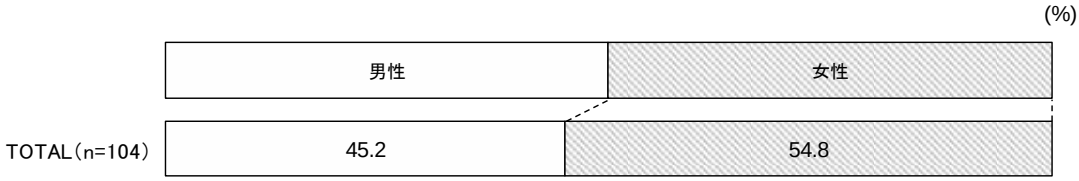
問1　この用紙（調査票）に記入されるのはどなたですか。（○は1つ）

調査票記入者は「本人（宛名の方）が記入、または本人が答え代筆者が記入」が 72.1%。

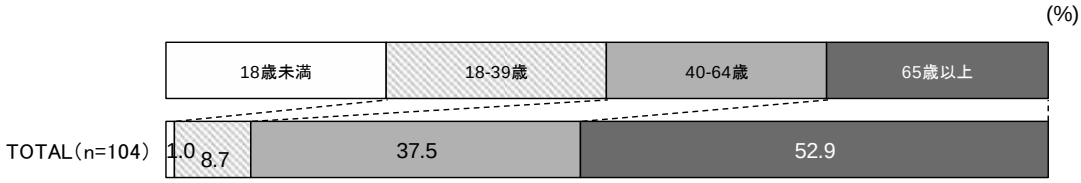


問2　あなたの性別をお答えください。（○は1つ）
問3　年齢（8月1日現在）を記入してください。

性別は、男性が 45.2%、女性が 54.8%。



年齢は、18-39 歳が 37.5%、65 歳以上が 52.9%で平均年齢は 62.9 歳。



（%）

n=	19 歳以下	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳以上	平均年齢
104	1.0	4.8	3.8	10.6	11.5	28.8	39.4	62.9 歳

問4　現在、あなたはどこで暮らしていますか。（○は1つ）

居住形態は、「持ち家（分譲マンションを含む）」が 55.8%で最も多く、次いで、賃貸住宅（アパート、賃貸マンション、借家）」が 40.4%である。

（%）

n=	持ち家（分譲マンションを含む）	賃貸住宅（アパート、賃貸マンション、借家）	グループホーム、ケアホーム、福祉ホーム	福祉施設（障害者支援施設、高齢者支援施設）	入院している	その他
104	55.8	40.4	0.0	0.0	3.8	0.0

問５　どなたと一緒に暮らしていますか。（○はいくつでも）

同居者は、「配偶者（夫または妻）」が 56.7%で最も高く、「子ども（子どもの配偶者含む）」が 38.5%で続いている。

年代別にみると、40 代以上では、「配偶者（夫または妻）」、「子ども（子どもの配偶者含む）」の割合が高い。60 代の 26.7%が「自分ひとりだけで暮らしている」と回答しており、他の年代に比べ高い。

（%）

	n=	自分ひとりだけで暮らしている	配偶者（夫または妻）	子ども（子どもの配偶者も含む）	父親	母親	祖父	祖母	兄弟、姉妹	その他の親せき	福祉施設の職員や仲間	その他	無回答
TOTAL	104	15.4	56.7	38.5	5.8	10.6	0.0	0.0	6.7	1.0	1.0	1.9	1.0
19 歳以下	1	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20 代	5	0.0	20.0	0.0	60.0	60.0	0.0	0.0	60.0	0.0	20.0	0.0	0.0
30 代	4	0.0	100.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40 代	11	9.1	54.5	54.5	18.2	18.2	0.0	0.0	9.1	9.1	0.0	9.1	0.0
50 代	12	8.3	75.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
60 代	30	26.7	50.0	40.0	0.0	3.3	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	3.3	3.3
70 歳以上	41	14.6	58.5	41.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0

（２）障害状況

問６　次のうち、あてはまるものに○をつけてください。（○はいくつでも）

障害者手帳について、「あてはまるものはない」が 55.8%だが、41.3%の人は「身体障害者手帳を持っている」。

年代別にみると、60 代以上では約半数が「身体障害者手帳を持っている」。

（%）

	n=	身体障害者手帳を持っている	愛の手帳（療育手帳）を持っている	精神障害者保健福祉手帳を持っている	高次脳機能障害と診断されたことがある	発達障害と診断されたことがある	上記に、あてはまるものはない	無回答
TOTAL	104	41.3	1.0	0.0	1.0	0.0	55.8	1.0
19 歳以下	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
20 代	5	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0
30 代	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
40 代	11	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	72.7	0.0
50 代	12	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0
60 代	30	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
70 歳以上	41	48.8	2.4	0.0	2.4	0.0	43.9	2.4

問７　あなたは、介護保険の介護認定を受けていますか。受けている場合、あてはまる要介護度に○をつけてください。（○は１つ）

＜回答対象者：40 歳以上＞

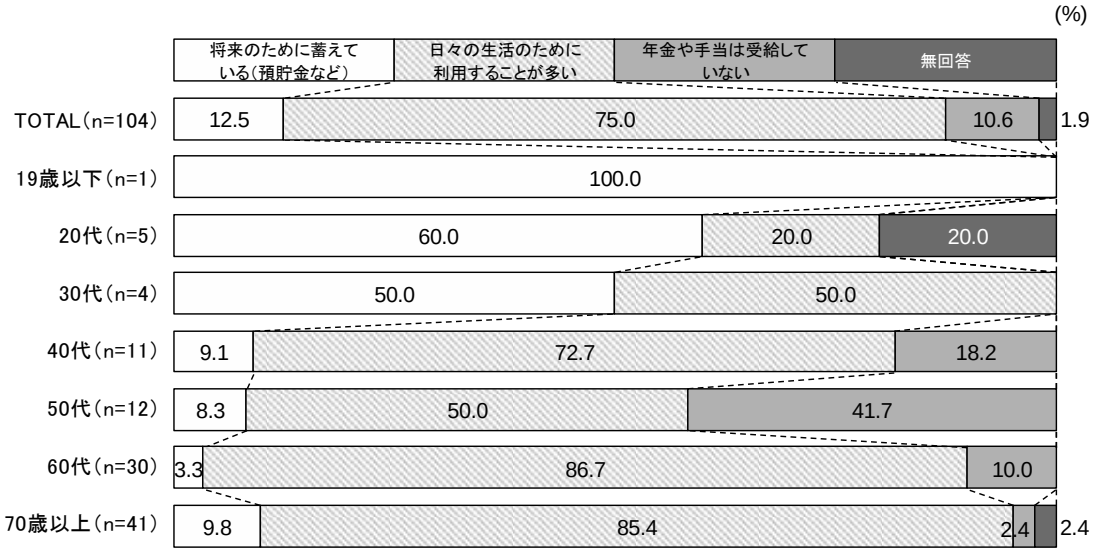
介護認定状況は、どの年代も「認定は受けていない」が最も高い。年代が高くになるにつれ、要支援・要介護の認定を受けている人の割合が高くなっている。

（%）

	n=	認定は受けていない	要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	わからない	無回答
TOTAL	94	66.0	4.3	5.3	7.4	8.5	3.2	1.1	2.1	1.1	1.1
40 代	11	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50 代	12	91.7	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
60 代	30	83.3	3.3	0.0	3.3	3.3	0.0	0.0	3.3	3.3	0.0
70 歳以上	41	36.6	7.3	12.2	14.6	14.6	7.3	2.4	2.4	0.0	2.4

問８　あなたは、難病者福祉手当や障害者支援の手当や年金を主にどのように利用していますか。（○は１つ）

障害者支援の手当てや年金の利用状況は、「将来のために蓄えている（預貯金など）」が 12.5%、「日々の生活のために利用することが多い」が 75.0%、「年金や手当は受給していない」が 10.6%である。



※0.0 は非表示

<＜Ⅱ　4　難病患者調査＞

（3）介助・援助の状況

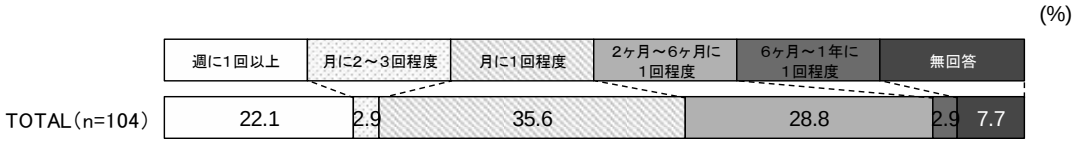
問９　差支えなければ、特定医療費受給者証に記載されている難病名をご記入ください。

特定医療費受給者証に記載の難病名は以下の通り。（複数記入あり）

慢性腎不全	16 人
潰瘍性大腸炎	10 人
パーキンソン病	9 人
重症筋無力症	4 人
原発性胆汁性胆管炎、ベーチェット病	各 3 人
サルコイドーシス、皮膚筋炎、多発性硬化症、多発性のう胞腎、全身性エリテマトーデス	各 2 人
網膜色素変性症、肥大型心筋症、特発性大腿骨頭壊死症、特発性拡張型心筋症、天疱瘡、脊髄小脳変性症、自己免疫性肝炎、好酸球性多発血管炎性肉芽腫病、顕微鏡的多発血管炎、結節性多発動脈炎、間質性肺炎、肝内結石症、拡張型心筋症、黄色靭帯骨化症、悪性関節リウマチ、細気管支炎、シェーグレン症候群、IgA 腎症、特発性骨頭壊死、気管支ぜんそく	各 1 人

問 10　難病治療のための通院頻度はどのくらいですか。（○は１つ）

通院頻度は、「週に１回以上」が 22.1%、「月に２～３回程度」が 2.9%、「月に１回程度」が 35.6%、「２ヵ月～６ヶ月に１回程度」が 28.8%、「6 ヶ月～１年に１回程度」が 2.9%である。



問 11　あなたは、現在、次のような医療ケアを受けていますか。（○はいくつでも）

「医療的ケアは受けていない」人が 39.4%だが、受けている医療的ケアとしては、「服薬管理」が 27.9%、「透析」が 22.1%である。

60 代の 33.3%、70 歳以上の 26.8%が「透析」を受けている。

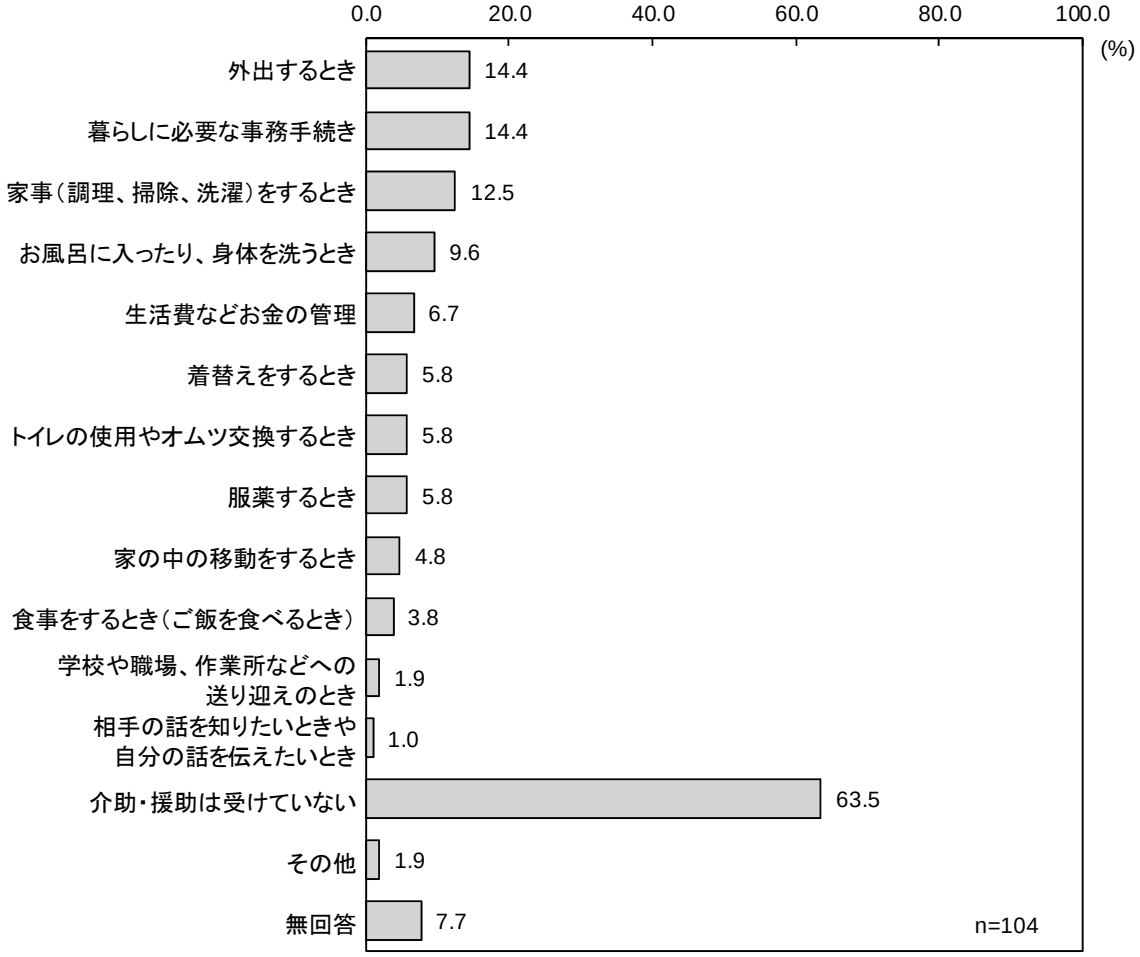
(%)

	n=	医療ケアは受けていない	気管切開	人工呼吸器（ネブライザー）	吸引	鼻腔経管栄養	透析	カテーテル留置	ストマ（人工肛門・人工膀胱）	服薬管理	その他	無回答
TOTAL	104	39.4	1.0	1.0	1.0	1.0	22.1	4.8	2.9	27.9	6.7	4.8
19 歳以下	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20 代	5	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	60.0	20.0	0.0
30 代	4	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
40 代	11	45.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	45.5	0.0	0.0
50 代	12	58.3	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	8.3	0.0	8.3	8.3
60 代	30	43.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	10.0	3.3	26.7	3.3	0.0
70 歳以上	41	29.3	0.0	0.0	0.0	0.0	26.8	4.9	0.0	26.8	9.8	9.8

※吸入、胃ろう・腸ろう、中心静脈栄養（IVH）は 0.0 のため、非表示

問 12　あなたは、どのようなときに介助・援助を受けていますか。（○はいくつでも）

63.5%が「介助・援助は受けていない」が、介助・援助を受けている場面としては、「外出するとき」、「暮らしに必要な事務手続き」がそれぞれ 14.4%で最も高く、次いで、「家事（調理、掃除、洗濯）をするとき」が 12.5%と続く。



<＝Ⅱ　4　難病患者調査＞

問 13　ふだん、あなたを主に介助・援助しているのはどなたですか。（○は１つ）

ふだん、主に介助・援助している人は「配偶者（夫、妻）」が 50.0%で最も高く、次いで、「子ども、子どもの配偶者」が 26.7%、「ホームヘルパー等の在宅サービス事業者」が 13.3%である。

年代別にみると、70 歳以上では「配偶者（夫、妻）」、「子ども、子どもの配偶者」がそれぞれ４割以上である。

（%）

	n=	配偶者（夫、妻）	子ども、子どもの配偶者	父親	母親	祖父	祖母	兄弟、姉妹	その他の親せき	近所の人、友人・知人	ホームヘルパー等の在宅サービス事業者	その他
TOTAL	30	50.0	26.7	0.0	3.3	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	13.3	3.3
20 代	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30 代	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40 代	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
60 代	6	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0
70 歳以上	20	45.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	5.0

（４）日中の過ごし方や外出の状況・社会参加状況

問 23　あなたは、平日（月曜日～金曜日）の日中を主にどのように過ごしていますか。（○は１つ）

平日の日中の過ごし方として、「自宅にいることが多い」が 42.3%、「働いている」が 25.0%である。

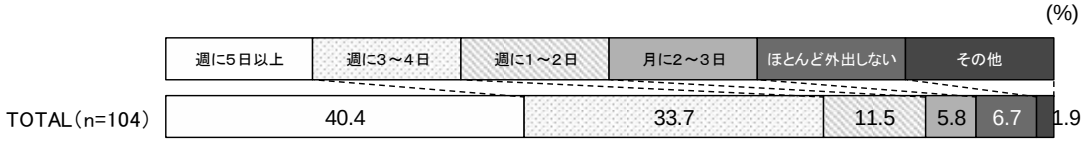
年代別にみると、60 代の 56.7%が「自宅にいることが多い」と回答しており、他の年代に比べ高い。

（%）

	n=	幼稚園や保育園、学校などに通っている	福祉施設、作業所などに通っている	病院などのデイケアに通っている	リハビリテーションを受けている	働いている	入所・入院している施設や病院などで過ごしている	自宅にいることが多い	その他	無回答
TOTAL	104	1.9	1.9	9.6	2.9	25.0	5.8	42.3	9.6	1.0
19 歳以下	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
20 代	5	40.0	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0
30 代	4	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40 代	11	0.0	0.0	0.0	0.0	45.5	9.1	36.4	9.1	0.0
50 代	12	0.0	0.0	8.3	0.0	58.3	0.0	33.3	0.0	0.0
60 代	30	0.0	3.3	3.3	0.0	23.3	3.3	56.7	6.7	3.3
70 歳以上	41	0.0	2.4	19.5	7.3	2.4	7.3	43.9	17.1	0.0

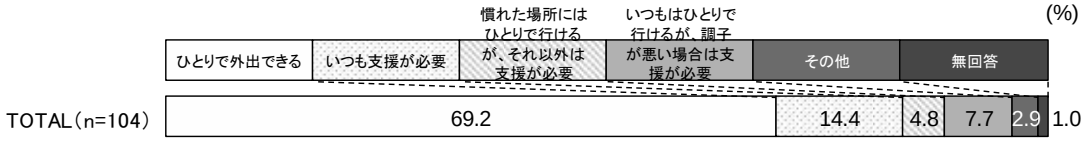
問 14　あなたは、どのくらい外出しますか。通所、通学、通勤、買い物、日常の散歩など、すべてを含めてお答えください。（○は１つ）

外出頻度は、「週に 5 日以上」が 40.4%、「週に 3 ～ 4 日」が 33.7%、「週に 1 ～2 日」が 11.5%、「月に 2 ～ 3 日」が 5.8%である。「ほとんど外出しない」と回答した人は 6.7%となっている。



問 15　あなたは、外出をするときに支援が必要ですか。（○は１つ）

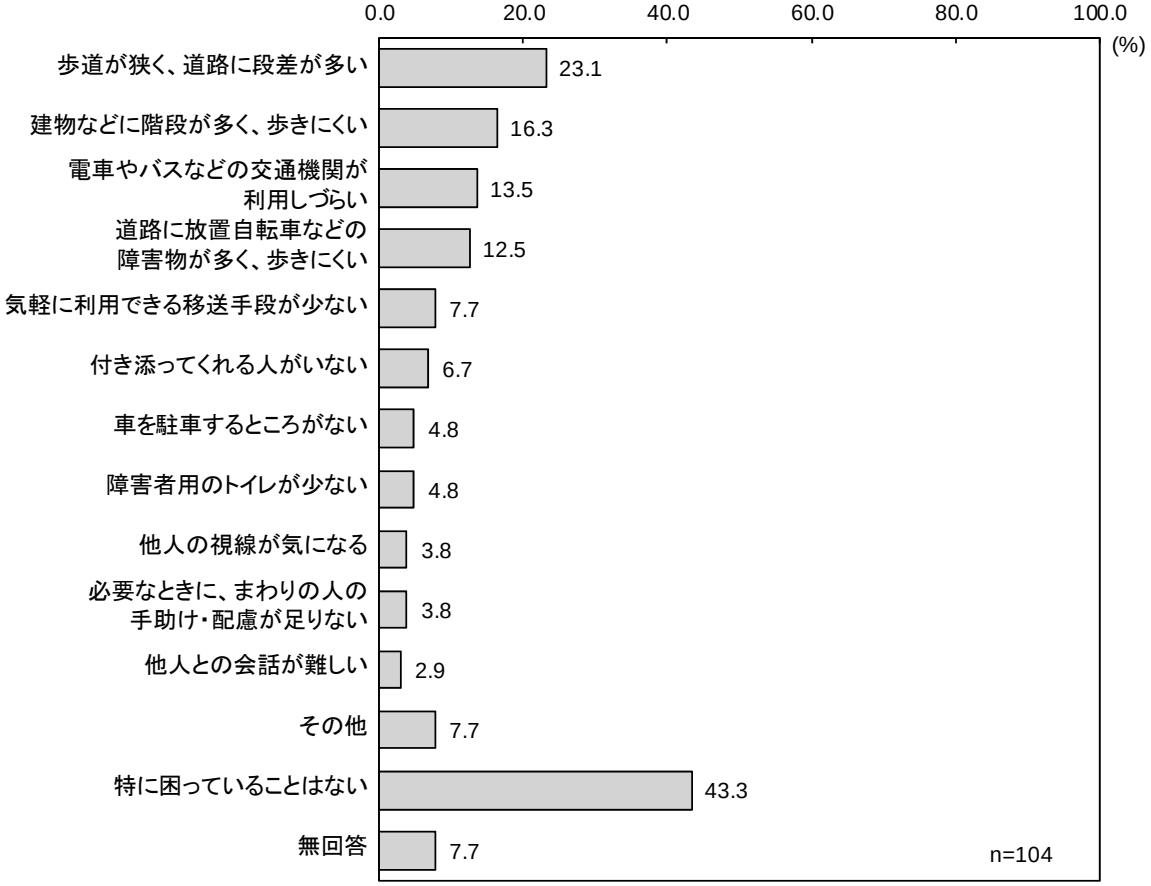
外出時の支援の必要性は、69.2%の人が「ひとりで外出できる」と回答している。「いつも支援が必要」は 14.4%である。



※0.0 は非表示

問 16　外出の際に困っていることはありますか。（○はいくつでも）

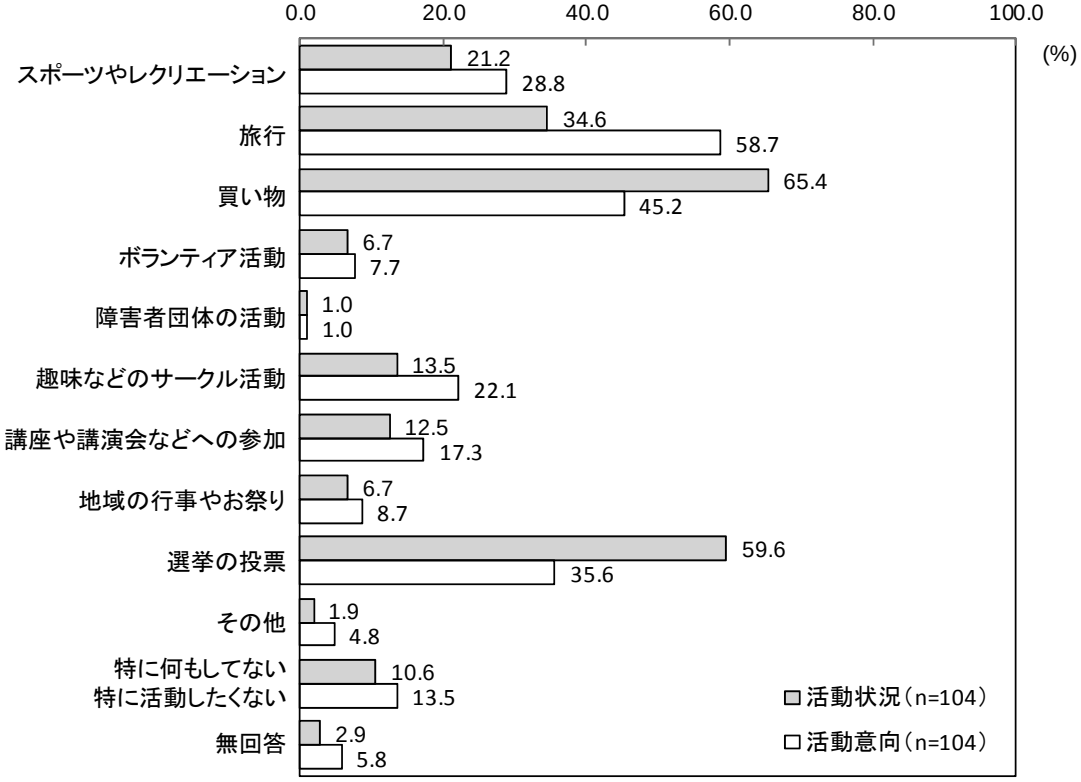
外出の際に困っていることとしては、「歩道が狭く、道路に段差が多い」との回答が 23.1%で最も高い。次いで、「建物などに段差が多く、歩きにくい」（16.3%）、「電車やバスなどの交通機関が利用しづらい」（13.5%）、「道路に放置自転車等の障害物が多く、歩きにくい」（12.5%）となっており、ハード面での困りごとが上位になっている。



問 17　あなたは、この１年くらいの間に、次のような活動をしましたか。（○はいくつでも）：活動状況
問 21　これからどのような活動をしたいと思いますか。（○はいくつでも）：活動意向

活動状況と活動意向を比べると、「旅行」は実際の活動状況が 34.6%、活動意向は 58.7%となっており、意向が約 24 ポイント高い。

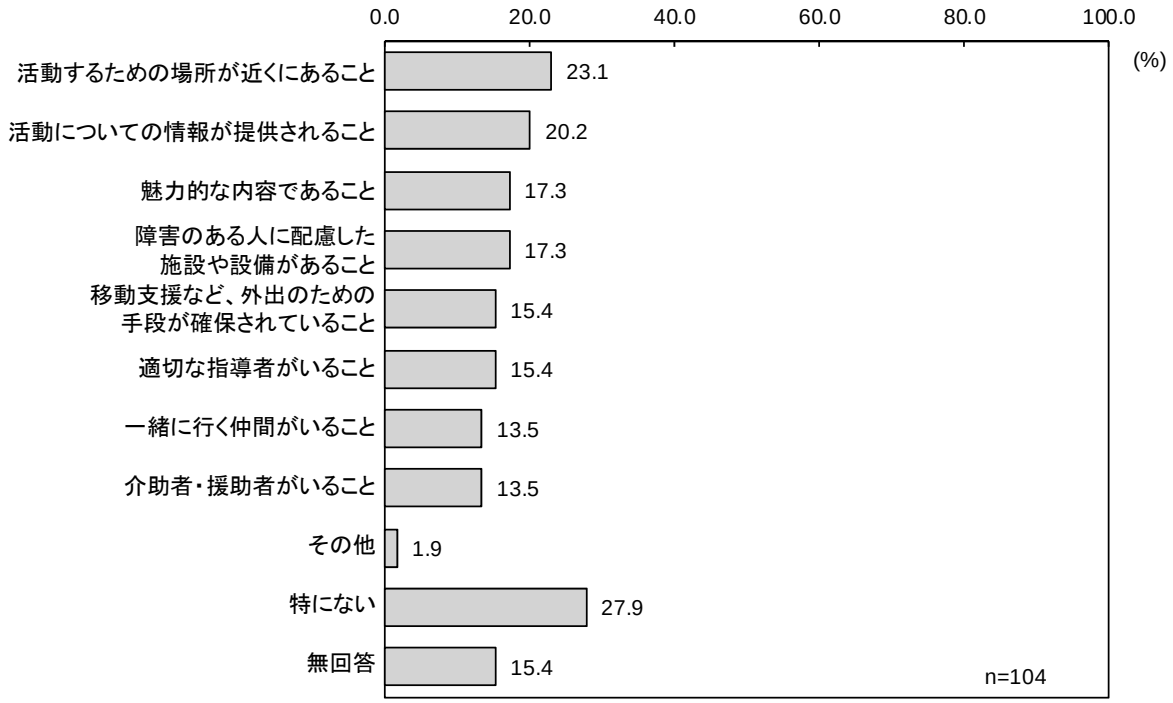
実際の活動状況では、「買い物」（65.4%）、「選挙の投票」（59.6%）が高く、活動意向では、「旅行」（58.7%）、「買い物」（45.2%）が高い。



<Ⅱ　4　難病患者調査>

問 22　問 21 のような活動をするために、どのような支援が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

活動のために必要な支援として、「活動するための場所が近くにあること」が 23.1%で最も高く、次いで、「活動についての情報が提供されること」（20.2%）、「魅力的な内容であること」（17.3%）、「障害のある人に配慮した施設や設備があること」（17.3%）が続いている。



問 18　選挙の投票の際、困ったことや改善してほしいことはありましたか。（自由記述）

<回答対象者：問 17 で「選挙の投票」と回答した人>

整理中

問 19　スポーツ活動をした方は、どのようなスポーツ活動をしましたか。あてはまるものに○をつけてください。（○はいくつでも）

<回答対象者：問 17 で「スポーツやレクリエーション」と回答した人>

スポーツ活動の内容は、以下の通りである。

（%）

n=	卓球	ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ	ボッチャ	ダンス	ボウリング	ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ	水泳	その他	無回答
22	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	13.6	77.3	4.5

「その他」（77.3%）として以下の記述があった。　**整理中**

問 20　活動のために外出する際に「同行援護」「行動援護」「移動支援」等のヘルパーを利用していますか。（○は１つ）

＜回答対象者：問 17 で何らかの活動をしている人＞

活動のためのヘルパー利用状況は、「ヘルパーを利用している」が 1.1%、「ヘルパーは利用していない」は 82.2%である。

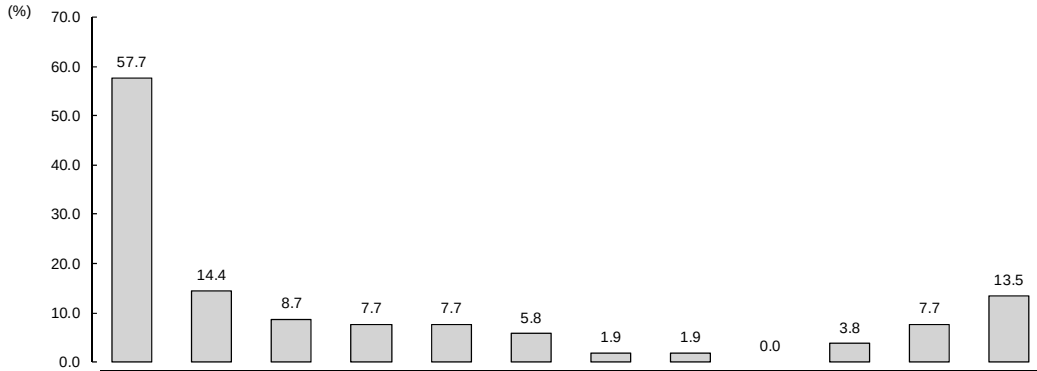
（５）将来の希望

問 53　あなたは、今後、どのように日中を過ごしたいと思いますか。（○はいくつでも）

今後、希望する日中の過ごし方は、「自宅でのんびり過ごしたい」が 57.7%で最も高く、次いで「一般企業などで働きたい」が 14.4%で続いている。

平日の日中の過ごし方別にみると、病院などのデイケアに通っている人の 70.0%が「自宅などでのんびり過ごしたい」と回答している。

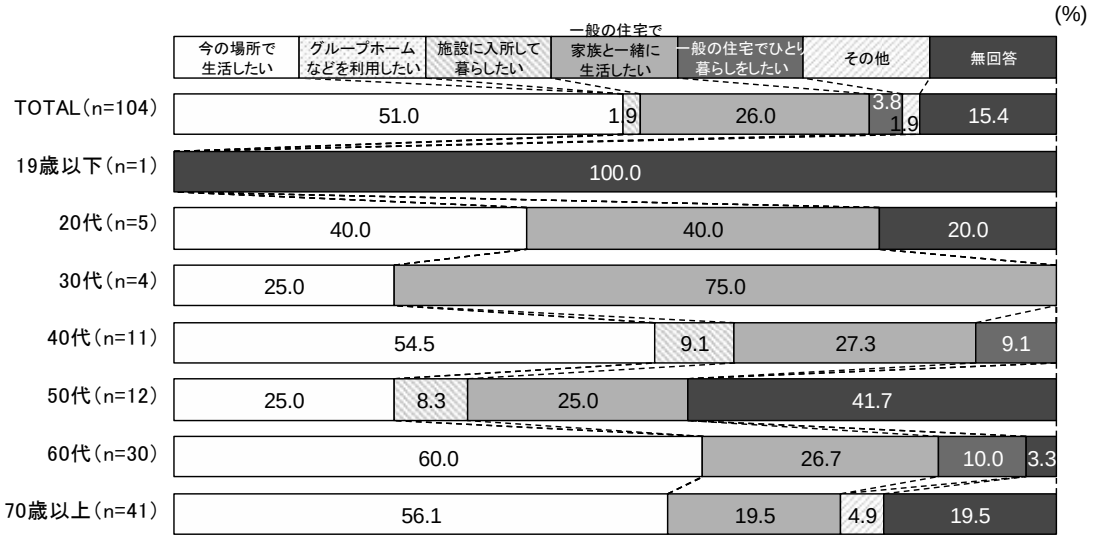
＜平日の日中の過ごし方別・今後、希望する過ごし方＞



	n=	自宅でのんびり過ごしたい	一般企業などで働きたい	医療機関で、機能訓練、看護、介護、日常生活の世話などを受けながら過ごしたい	自立した日常生活ができるよう、一定期間、身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を受けたい	創作活動や社会との交流などを行ったりするところで過ごしたい	学校に通いたい	一般企業等での就労は難しいと思うが働きたいと思うので、施設内で就労したり、生産活動をしながら過ごしたい	施設で、入浴、排せつ、食事の介護を受けながら、創作的活動などを行いたい	施設や企業で作業や実習などを行い、職場探しや職場定着のための支援を受けたい	その他	わからない	無回答
TOTAL	104	57.7	14.4	8.7	7.7	7.7	5.8	1.9	1.9	0.0	3.8	7.7	13.5
幼稚園や保育園、学校などに通っている	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
福祉施設、作業所などに通っている	2	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
病院などのデイケアに通っている	10	70.0	0.0	0.0	20.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
リハビリテーションを受けている	3	66.7	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3
働いている	26	38.5	38.5	3.8	0.0	7.7	3.8	0.0	3.8	0.0	7.7	15.4	11.5
入所・入院している施設や病院などで過ごしている	6	66.7	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
自宅にいることが多い	44	70.5	6.8	9.1	6.8	6.8	4.5	2.3	0.0	0.0	2.3	6.8	11.4
その他	10	30.0	0.0	20.0	10.0	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0	30.0
無回答	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 54　あなたは、将来、どこで生活したいと思いますか。（○は１つ）

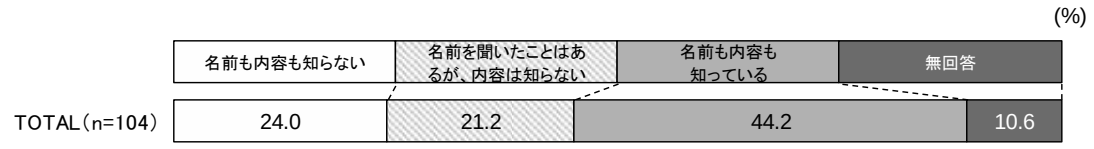
将来、生活したいところは、「今の場所で生活したい」が 51.0%、「施設に入所して暮らしたい」が 1.9%、「一般の住宅で家族といっしょに生活したい」が 26.0%、「一般の住宅でひとり暮らしをしたい」が 3.8%である。



※0.0 は非表示

問 55　成年後見制度とは、知的障害や精神障害などの理由により、判断能力が十分でない方の財産などの権利を守る制度です。あなたは、成年後見制度について知っていますか。（○は１つ）

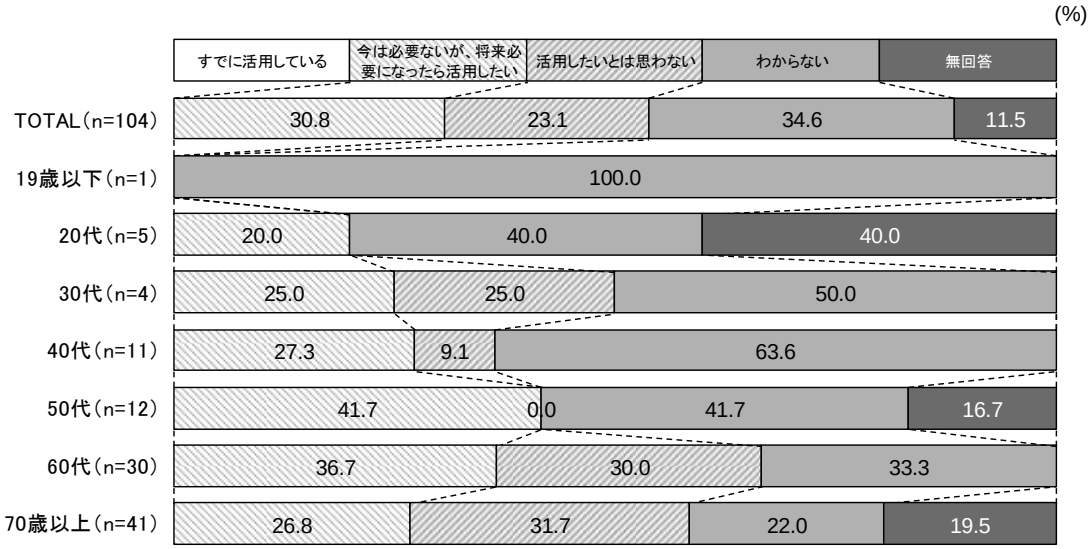
成年後見制度について、「名前も内容も知っている」人は 44.2%、「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」人は 21.2%である。24.0%の人が「名前も内容も知らない」と回答している。



問 56　あなたは、成年後見制度を活用したいと思いますか。（○は１つ）

成年後見制度について、「今は必要ないが、将来必要になったら活用したい」と考える人は 30.8%である。

年代別にみると、60 代以上では、「活用したいと思わない」人が 3 割で、他の年代に比べ高い。

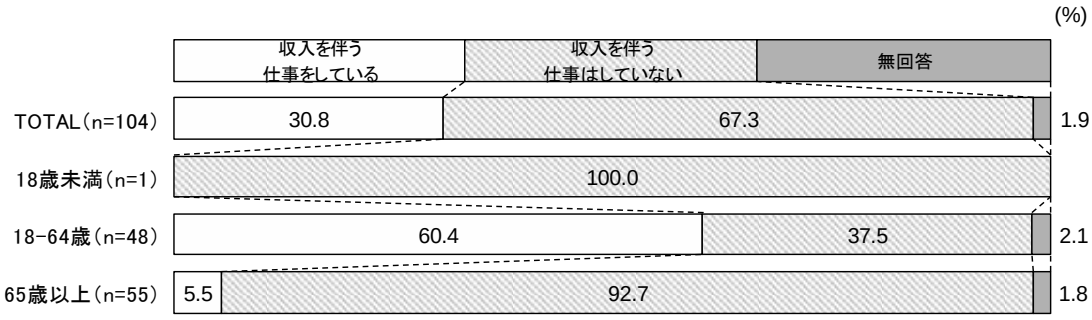


※0.0 は非表示

（6）雇用・就労について

問 24　現在、あなたは収入を伴う仕事をしていますか。（○は１つ）

収入を伴う仕事している人の割合は、18-64 歳で 60.4%、65 歳以上で 5.5%である。



※0.0 は非表示

<Ⅱ　4　難病患者調査>

<問 25～問 28 回答対象者：収入を伴う仕事をしている人>

問 25　どなたかの支援を受けて現在の仕事に就きましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

就労の際の支援については、81.3%の人が「支援は受けなかった」と回答しているが、支援とあげられた項目としては、「ハローワーク」が 12.5%と最も高くなっている。

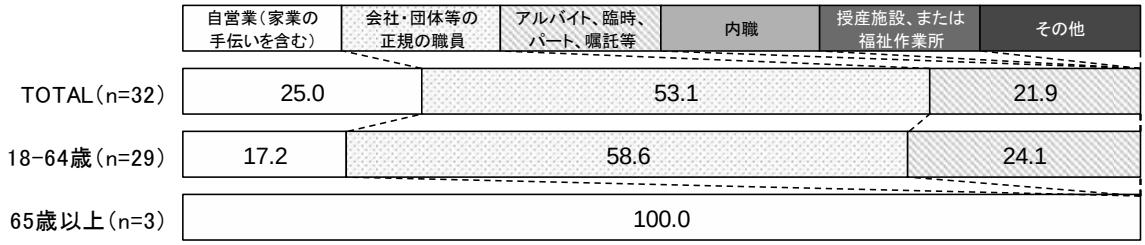
（%）

n=	ハローワーク	障害者就労支援センター（一歩）	就労移行支援事業所（さくらの園）	学校	家族	友人・知人	その他	支援は受けなかった	無回答
32	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	3.1	81.3	3.1

問 26　仕事の形態は次のうちどれですか。（○は１つ）

就労形態は、「自営業（家業の手伝いを含む）」が 25.0%、「会社・団体等の正規の職員」が 53.1%、「アルバイト、臨時、パート、嘱託等」が 21.9%である。

(%)

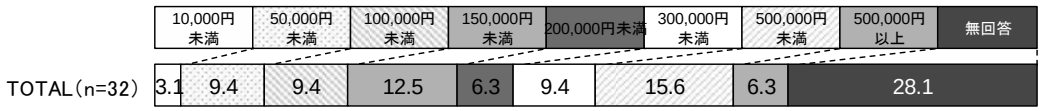


※0.0 は非表示

問 27　あなたご自身の１ヶ月当たりの平均的な給与・賃金・工賃はいくらですか。

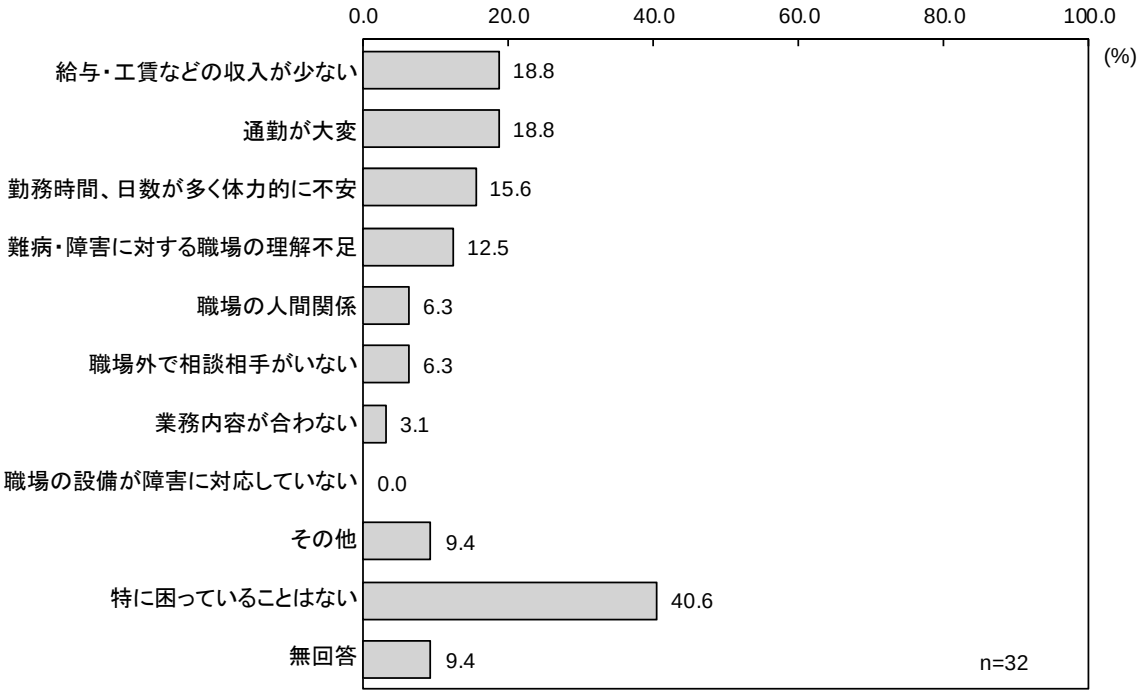
１ヶ月当たりの平均的な給与・賃金・工賃は、平均 199,131.7 円である。

(%)



問 28　仕事をする上で困っていることは何ですか。（○はいくつでも）

仕事をするうえで困っていることとして、「給与・工賃などの収入が少ない」、「通勤が大変」との回答がそれぞれ 18.8%で最も高い。次いで、「勤務時間、日数が多く体力的に不安」（15.6%）が続く。

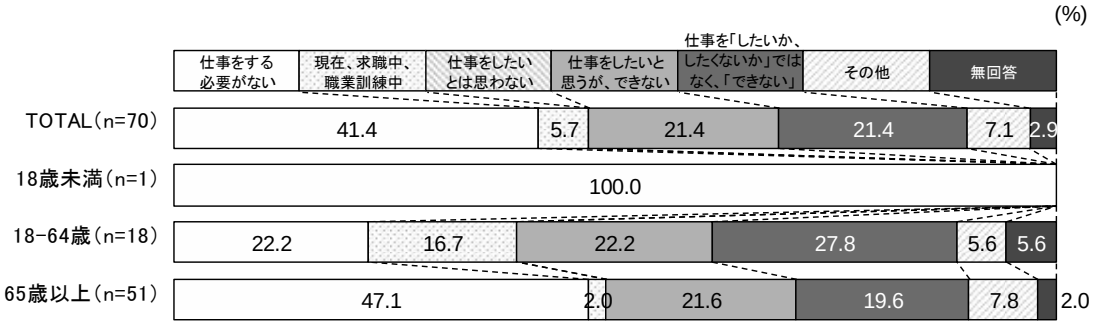


問 29　仕事をしていない主な理由は何ですか。（○は１つ）

＜回答対象者：収入を伴う仕事をしていない人＞

仕事をしていない主な理由として、「仕事をする必要がない」が 41.4%で最も高い。

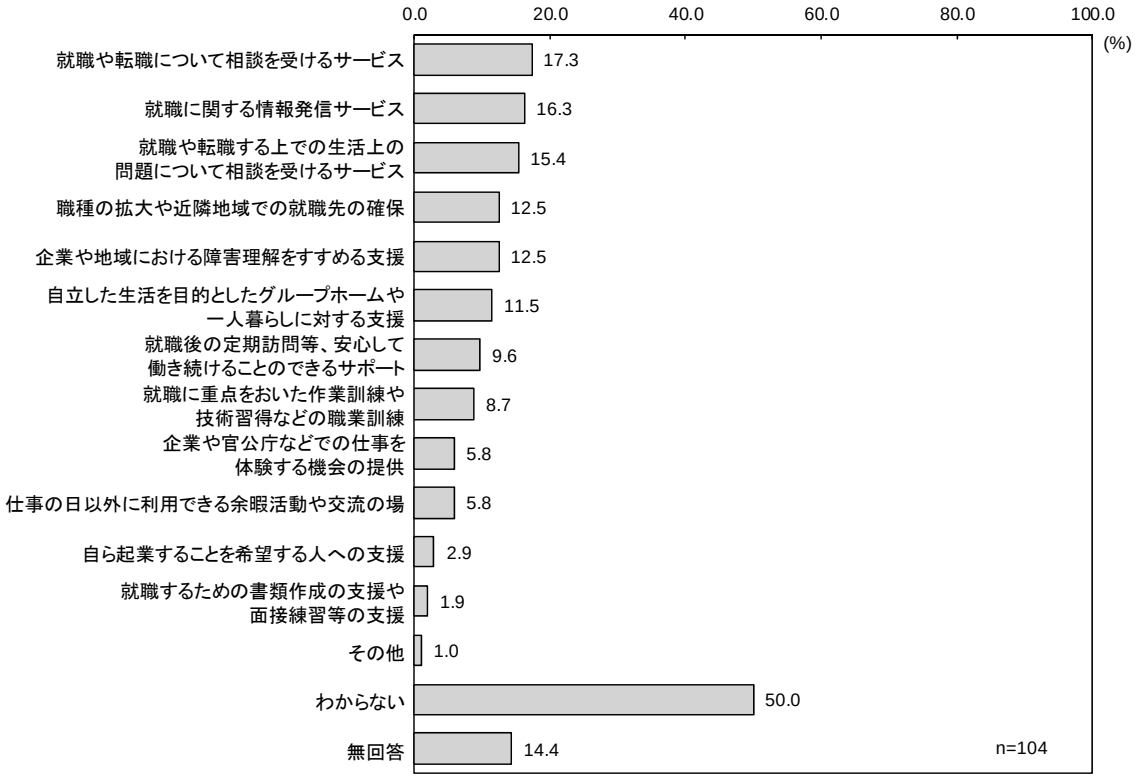
18-64 歳の 27.8%が「仕事が「したいか、したくないか」ではなく、「できない」」と回答している。



※0.0 は非表示

問 30　あなたは、障害のある方の雇用を促進するために、市内で不足していると思われるサービスや取組みは何だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

障害のある人の雇用促進のために、不足していると思われるサービスや取組みは、「就職や転職について相談を受けるサービス」が 17.3%で最も高く、次いで、「就職に関する情報発信サービス」が 16.3%、「就職や転職する上での生活上の問題について相談を受けるサービス」が 15.4%で続く。



（7）障害者施設・施策について

問 31　あなたは、西東京市の障害者総合支援センター「フレンドリー」を知っていますか。（○は１つ）
問 32　あなたは、西東京市にある次の施設を利用したことがありますか。また、知っていますか。

市内施設を利用したことがある人は、障害者総合支援センター「フレンドリー」が 3.8%である。知っているが利用したことはない施設として、障害者総合支援センター「フレンドリー」が 14.4%、相談支援センター・えぽっく、障害者就労支援センター・一歩、地域活動支援センター・ハーモニーがそれぞれ 6.7%、保谷障害者福祉センターが 12.5%、地域活動支援センター・ブルームが 5.8%である。

※0.0 は非表示

問 33　あなたは、次の講座や事業等を知っていますか。（○はいくつでも）

市開催の講座や事業等の認知状況は、以下の通りである。

（%）

n=	サポーター養成講座	ヘルプカード	スポーツ支援事業	障害者水泳教室	講座や事業等は知らない	無回答
104	9.6	26.0	5.8	3.8	54.8	12.5

（8）相談や情報入手方法

問 34　あなたは、悩みごとや心配ごとがあるとき、家族や親せき以外に、どのようなところに相談していますか。（○はいくつでも）

家族や親せき以外の相談先としては、「知人・友人」をあげる人が 27.9%と最も高く、次いで「病院・診療所」（26.0%）、「市役所の福祉相談窓口」（18.3%）と続いている。一方で、23.1%が「相談できるところは特にない」と回答している。

（%）

n=	友人・知人	病院・診療所	市役所の福祉相談窓口	福祉施設や作業所の職員	社会福祉協議会の職員	幼稚園・保育園・学校の先生や職場の仲間	相談支援センター・えぽっく	障害者就労支援センター・一歩	地域活動支援センター・ハーモニー	保谷障害者福祉センター
104	27.9	26.0	16.3	2.9	1.9	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0

地域活動支援センター・ブルーム	児童相談所	保健師	民生委員・児童委員	生活保護の担当職員	障害者団体	その他	誰かに相談することはまれである	相談できるところは特にない	無回答
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.8	18.3	23.1	6.7

問 35　相談できるところは特にないと回答した理由は何ですか。（○はいくつでも）

＜回答対象者：「相談できるところは特にない」と回答した人＞

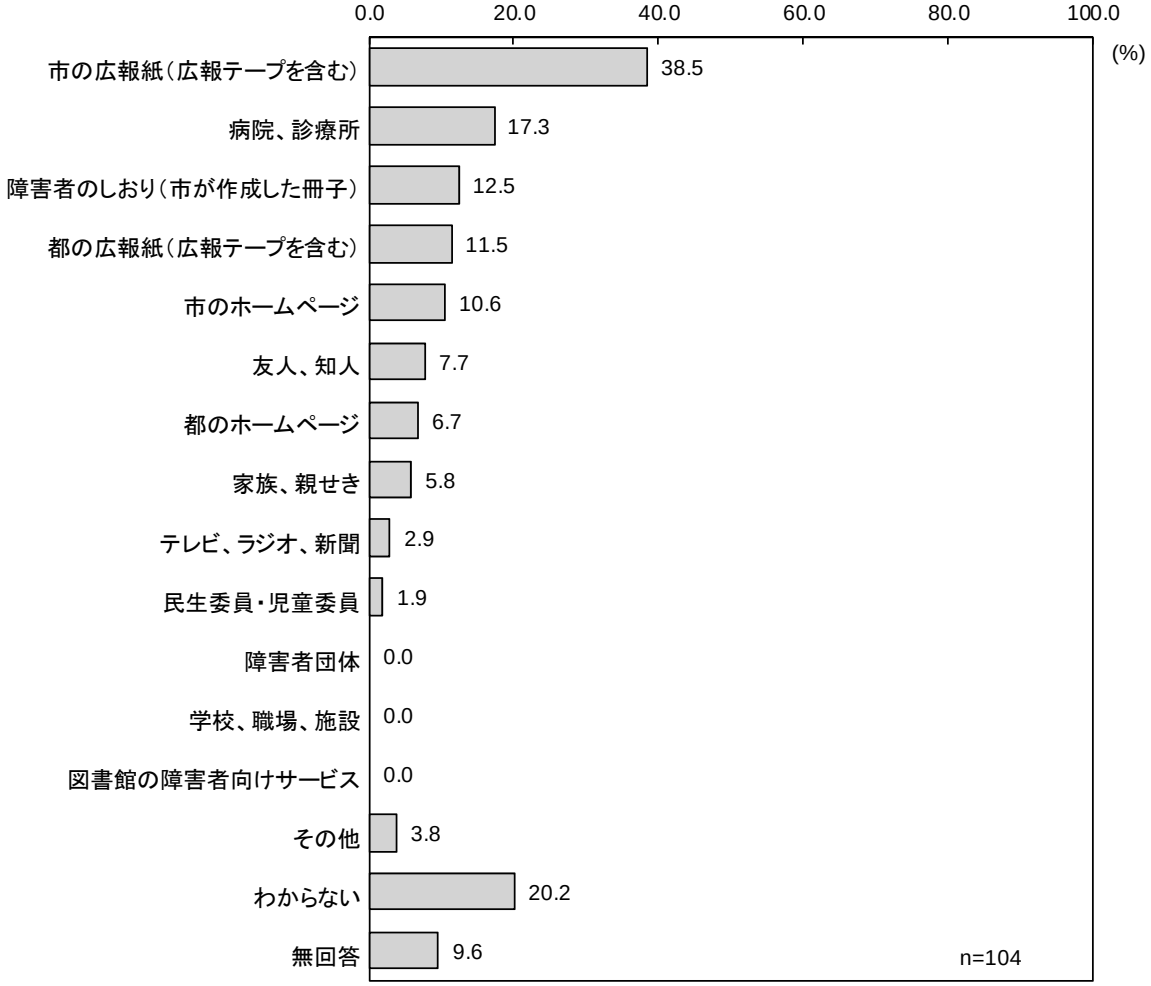
半数の人が「どこに相談したらよいかわからないから」と回答している。

（%）

n=	相談するほどでもない・必要がない	相談したくないから	どこに相談したらよいかわからないから	その他	無回答
24	41.7	12.5	50.0	4.2	4.2

問 36　あなたは、障害福祉サービスなどの情報を主にどこから得ていますか。（○はいくつでも）

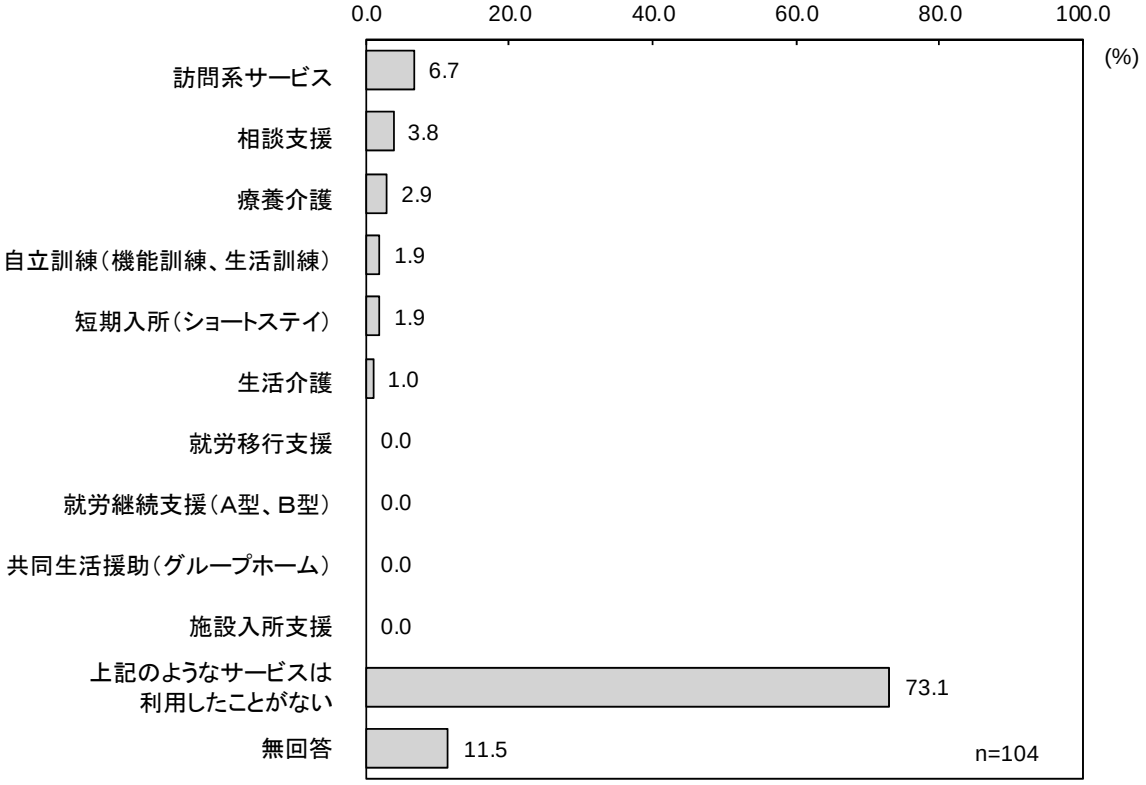
情報の入手先として、「市の広報紙（広報テープを含む）」が 38.5%で最も高く、次いで、「病院・診療所」（17.3%）、「障害者のしおり（市が作成した冊子）」（12.5%）と続いている。情報入手先が「わからない」と回答した人は 20.2%である。



（9）福祉サービス認知・利用状況

問 37　あなたは、次のような障害福祉サービスを、過去 1 年の間に利用したことがありますか。利用したことがあるサービスに○をつけてください。（○はいくつでも）

以下の障害福祉サービスのうち、過去 1 年間での利用経験が最も高いのは、「訪問系サービス」で 6.7%である。次いで、「相談支援」（3.8%）、「療養介護」(2.9%)が続く。「サービスは利用したことがない」人は 73.1%である。



問 38　サービスに対する、感想やご意見があれば自由にご記入ください。（自由記述）
※サービス名、利用の際に困っていること、サービス利用で改善してほしい点など。

＜回答対象者：何らかの障害福祉サービス利用経験者＞

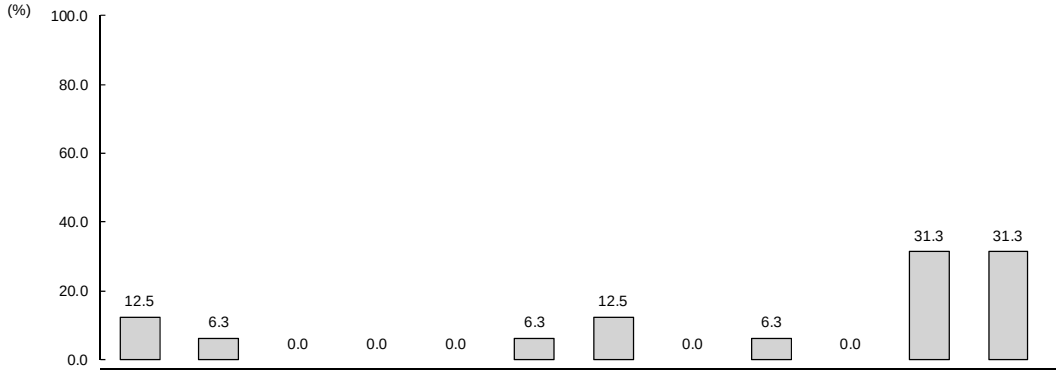
整理中

問 39　あなたが、「十分利用できていない」と思う障害福祉サービスはどのサービスですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

＜回答対象者：何らかの障害福祉サービス利用経験者＞

サービス利用経験者の 31.3%が「必要なサービスを利用できている」と回答しているが、「十分利用できていない」と思うサービスでは、「訪問系サービス」、「短期入所（ショートステイ）」をあげる人がそれぞれ 12.5%いる。

＜利用したことがあるサービス別・十分利用できていないサービス＞



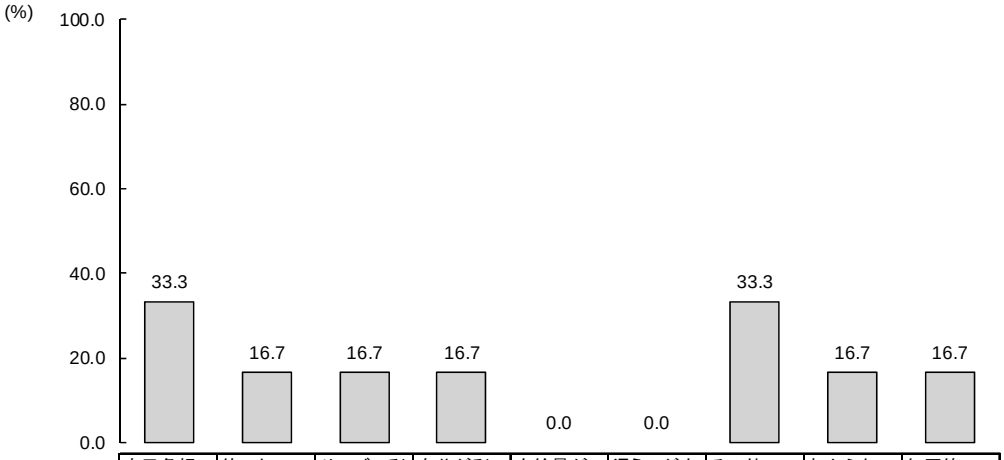
利用したことがあるサービス〉	n=	訪問系サービス	生活介護	自立訓練（機能訓練、生活訓練）	就労移行支援	就労継続支援（A型、B型）	療養介護	短期入所（ショートステイ）	共同生活援助（グループホーム）	施設入所支援	相談支援	必要なサービスを利用できている	無回答
TOTAL	16	12.5	6.3	0.0	0.0	0.0	6.3	12.5	0.0	6.3	0.0	31.3	31.3
訪問系サービス	7	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	14.3
生活介護	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自立訓練（機能訓練、生活訓練）	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
療養介護	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
短期入所（ショートステイ）	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
相談支援	4	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0

問 40　必要だと思うサービスを、十分、利用できていない理由は何ですか。（○はいくつでも）

＜回答対象者：障害福祉サービスを十分利用できていないと感じている人＞

利用サービスを「十分利用できていない」と感じている人に、理由をたずねたところ、「自己負担が大きく、利用できないから」が 33.3%で最も高く、次いで、「その他」が 33.3%、「使いたいサービスの定員がいっぱいだから」、「サービス利用に予約が必要で、いつも予約がいっぱいだから」、「自分が利用したい時間や時期とあわないから」がそれぞれ 16.7%で続く。「その他」として、･･･との記述があった。　**整理中**

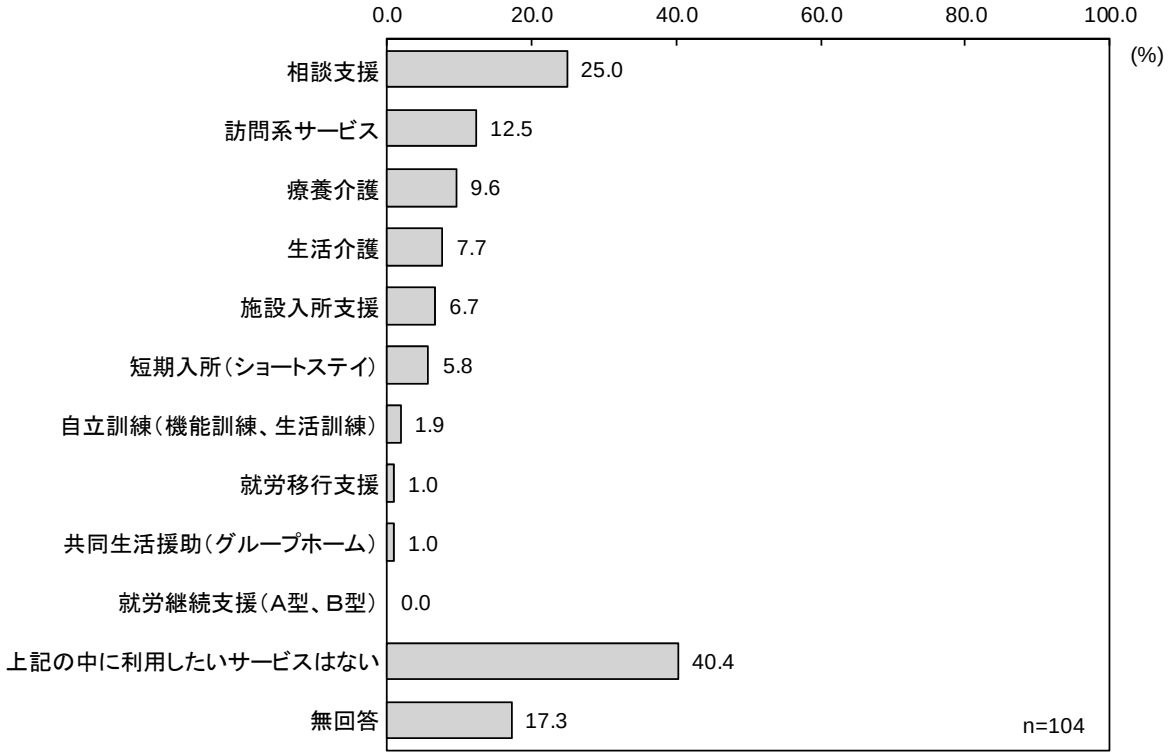
※サンプル数が少ないため参考値とされたい。



	n=	自己負担が大きく、利用できないから	使いたいサービスの定員がいっぱいだから	サービス利用に予約が必要で、いつも予約がいっぱいだから	自分が利用したい時間や時期とあわないから	支給量が足りないから	通うのが大変だから	その他	わからない	無回答
TOTAL	6	33.3	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	33.3	16.7	16.7

問 41　今後、どのような障害福祉サービスを引き続き、あるいは新たに利用したいと思いますか。（○はいくつでも）

引き続き、あるいは新たに利用したいサービスは、「相談支援」が 25.0%、「訪問系サービス」が 12.5%、「療養介護」が 9.6%である。



問 42　あなたは、次のような介護保険のサービスを、過去 1 年の間に利用したことがありますか。（○はいくつでも）

＜回答対象者：65 歳以上＞

65 歳以上の人に、利用したことがある介護保険のサービスをたずねたところ、27.3%の人が介護保険のサービスを利用したことがあり、通所介護（デイサービス）の利用が最も高い。

（%）

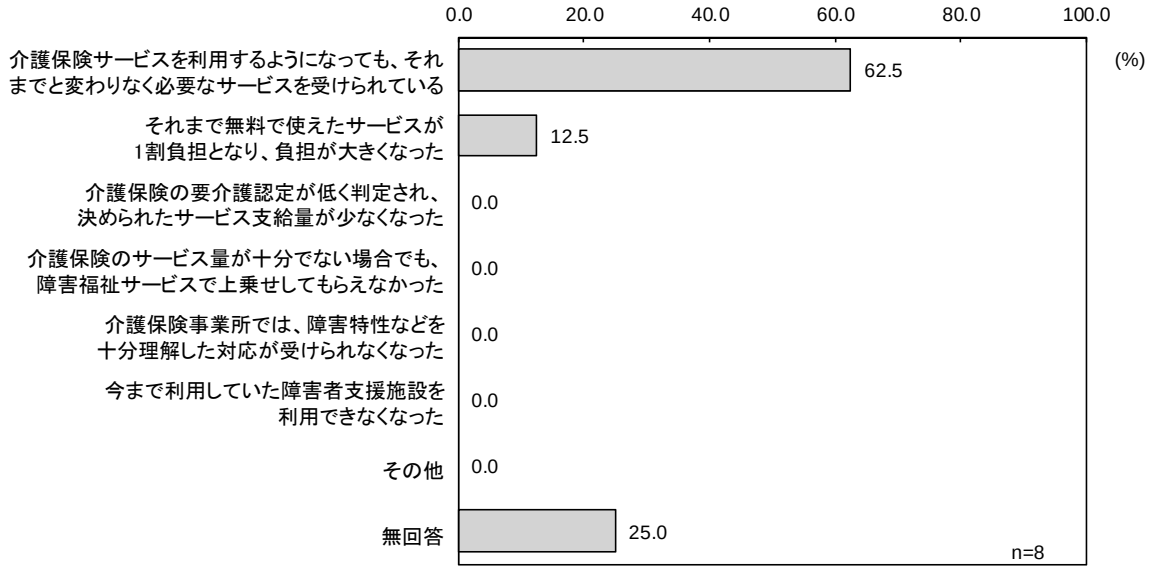
n=	介護保険のサービスは利用していない	訪問介護（ホームヘルパー）	通所介護（デイサービス）	短期入所（ショートステイ）	その他	無回答
55	41.8	9.1	14.5	5.5	3.6	30.9

<Ⅱ　4　難病患者調査>

問 43　現在、必要なサービス（障害福祉サービス、介護保険サービス）を受けることができていますか。（○はいくつでも）

<回答対象者：障害福祉サービスと介護保険サービス利用経験者>

障害福祉サービスの利用経験があり、介護保険サービスを利用している人に利用状況をたずねたところ、「介護保険サービスを利用するようになっても、それまでと変わりなく必要なサービスを受けられている」が 62.5%である。

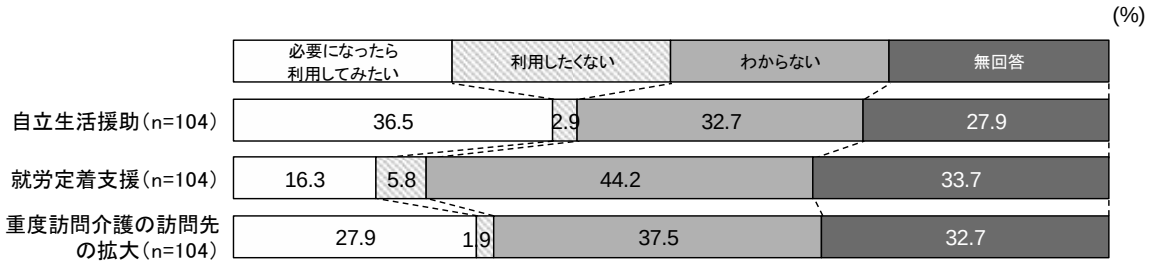


問 44　障害福祉サービスをより利用しやすくするためには、どのような情報提供や相談先が必要ですか。また、サービスを利用するためにあるとよい支援はどのようなものですか。（自由記述）

整理中

問 45　障害者総合支援法の改正により、新たに導入される次のようなサービスをあなたは利用してみたいと思いますか。　※平成 30 年 4 月から創設される予定の新しいサービスです。サービスの詳細は変更する可能性もあります。

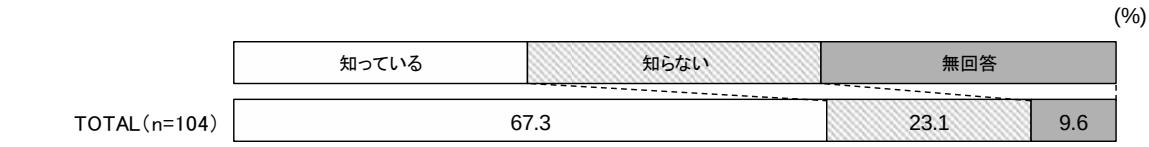
平成 30 年 4 月から導入予定のサービスの利用意向について、「必要になったら利用してみたい」と考えるサービスは、「自立生活支援」が 36.5%、「就労定着支援」が 16.3%、「重度訪問介護の訪問先の拡大」が 27.9%である。



（10）災害対策について

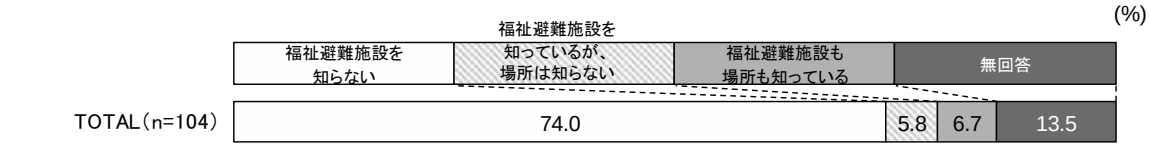
問 46　あなたは、お住まいの地域の避難所を知っていますか。（○は 1 つ）

地域の避難場所を「知っている」人は 67.3%である。



問 47　福祉避難施設とは、自宅や避難施設で生活している高齢者や障害者の方等に対し、状況に応じて介護等の必要なサービスを提供する社会福祉施設等のことです。西東京市には障害者総合支援センター「フレンドリー」をはじめ、約 30 ヶ所の福祉避難施設があります。あなたは、西東京市にある福祉避難施設を知っていますか。（○は 1 つ）

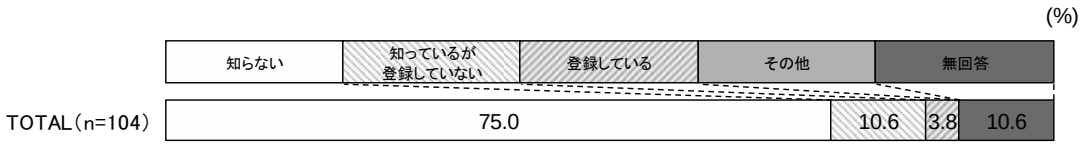
福祉避難施設については、74.0%が「知らない」と回答している。「福祉避難施設も場所も知っている」人は 6.7%である。



<Ⅱ　4　難病患者調査>

問 48　あなたは、災害時要援護者登録を知っていますか。（○は１つ）

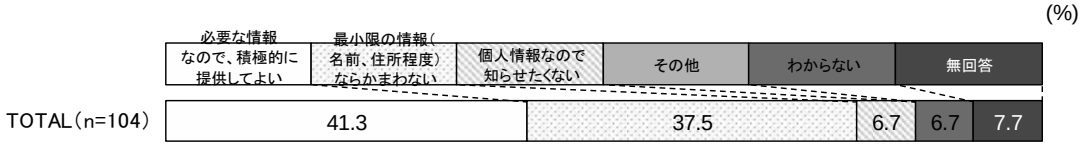
災害時要援護者登録については、75.0%が「知らない」と回答している。「登録している」人は 3.8%である。



※0.0 は非表示

問 49　災害時に行政や地域などから支援を受けるため、あらかじめ個人情報（名前、住所、世帯の状況、障害の状況、緊急連絡先等）を市に提供することについて、どう思いますか。（○は１つ）

災害時の支援を受けるために個人情報を提供することについては、「必要な情報なので、積極的に提供してよい」が 41.3%、「最小限の（名前、住所程度）ならかまわない」が 37.5%である。



※0.0 は非表示

問 50　あなたは、地震や台風などの災害時にひとりで避難できますか。（○は１つ）

災害時にひとりで避難が「できる」人は 45.2%、「できない」人は 25.0%である。

問 51　地震や台風などの災害が起こった際の不安は何ですか。（○はいくつでも）

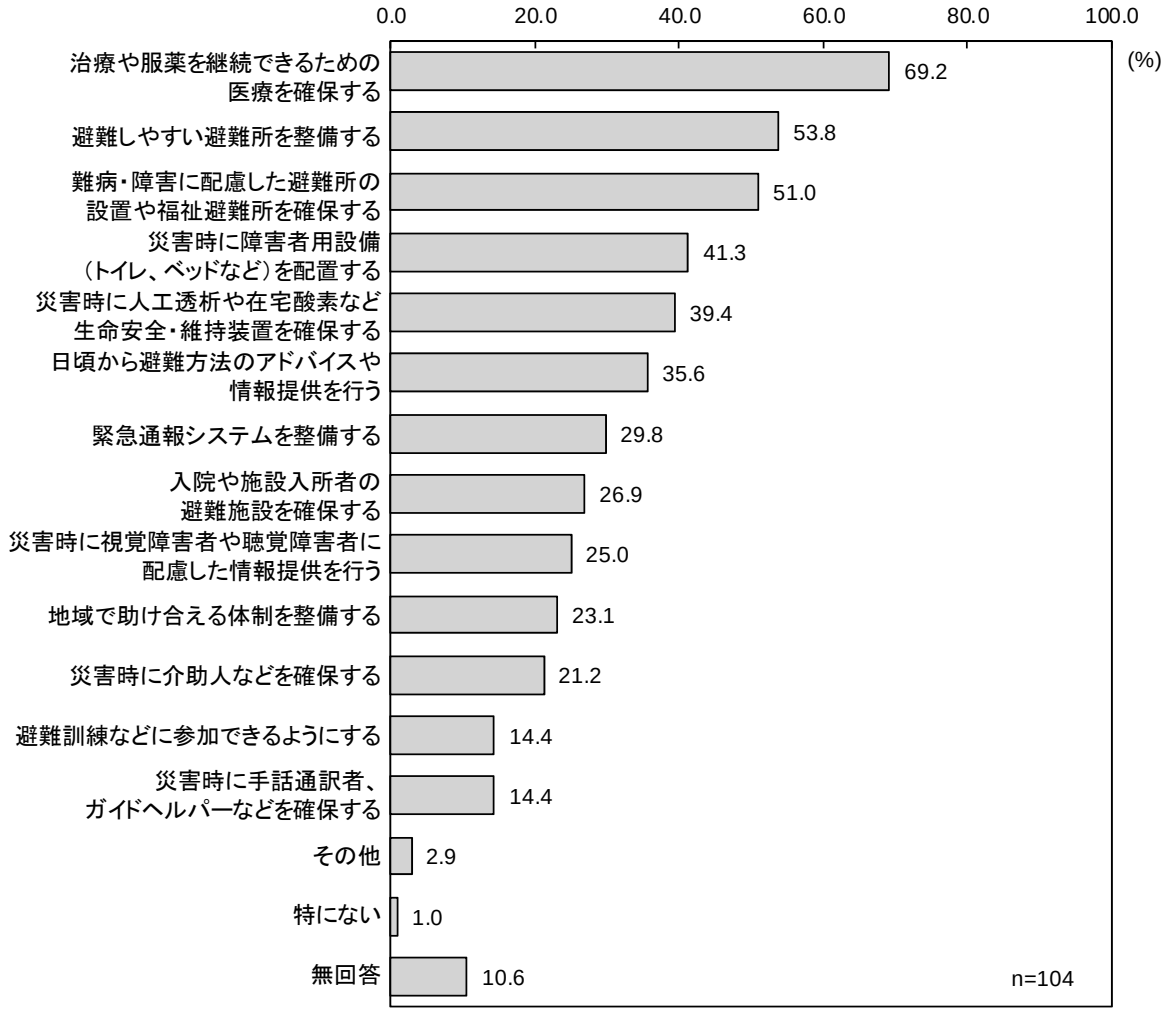
地震や台風などの災害が起こった際の不安としては、「避難先での不安」が 58.7%で最も高く、次いで、「災害の状況が伝わってこない場合の不安」（52.9%）、「避難する際の不安」（48.1%）が続く。「その他」（11.5%）として、･･･との記述があった。　**整理中**

（%）

n=	災害の状況が伝わってこない場合の不安	避難する際の不安	避難先での不安	その他	特にない	わからない	無回答
104	52.9	48.1	58.7	11.5	4.8	3.8	9.6

問 52　災害に備えて、または災害時に、どのような対策が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

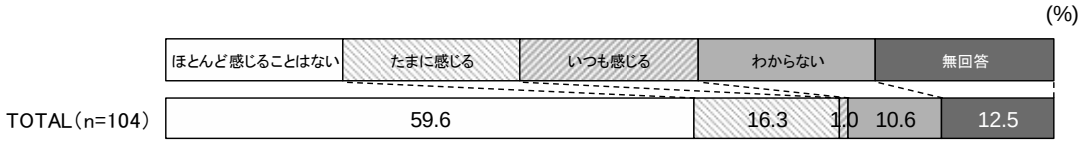
必要な災害対策としては、「治療や服薬を継続できるための医療を確保する」ことをあげる人が 69.2%で最も高い。次いで、「避難しやすい避難所を整備する」が 53.8%、「難病・障害に配慮した避難所の整備や福祉避難所を確保する」が 51.0%で続いている。



<Ⅱ　4　難病患者調査>

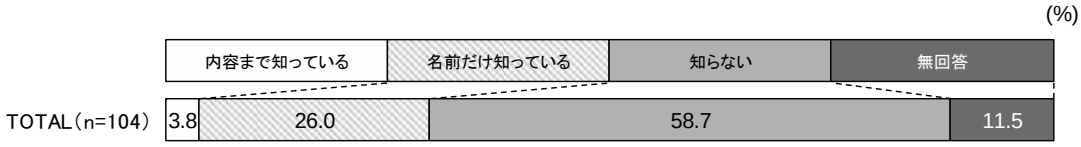
問 57　障害があることで、差別や人権侵害、虐待を受けていると感じることがありますか。（○は１つ）

差別や人権侵害、虐待については、59.6%の人は「ほとんど感じることはない」が、1.0%は「いつも感じる」、16.3%は「たまに感じる」と回答している。



問 58　障害のある方々への差別をなくすことを目的として、平成 28 年４月１日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、このことを知っていますか。（○は１つ）

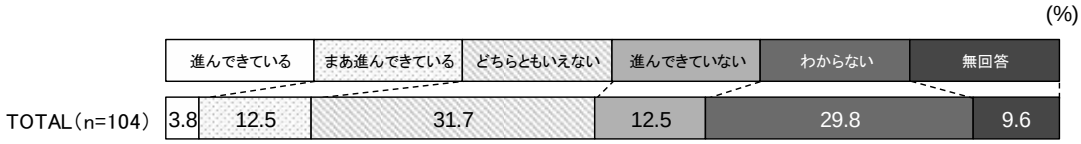
障害者差別解消法について、「内容まで知っている」人は 3.8%、「知らない」人は 58.7%である。



（11）障害・障害者への理解

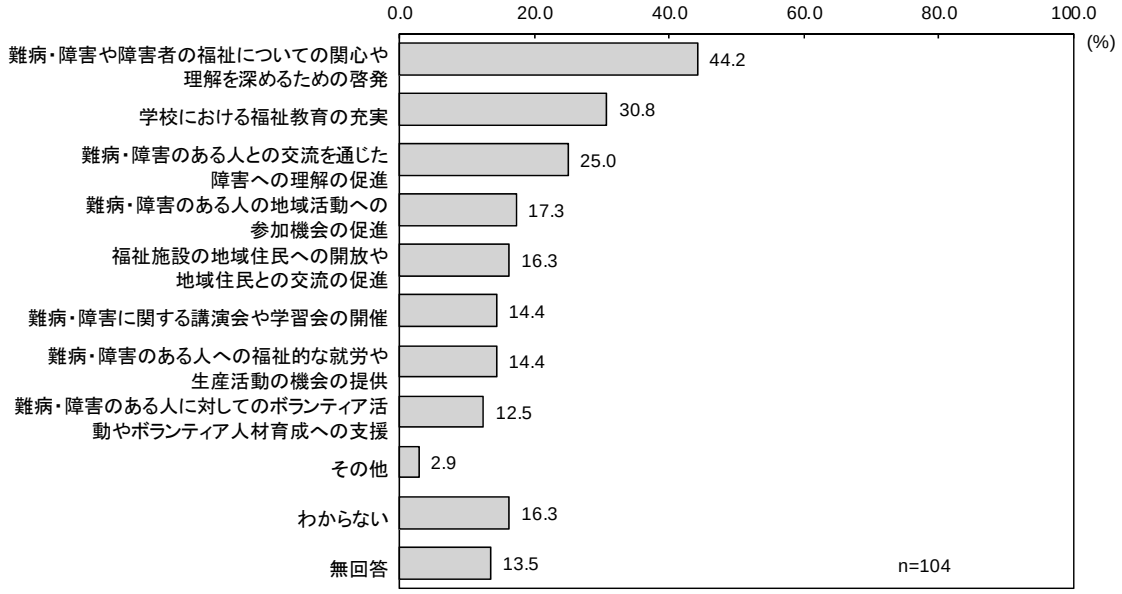
問 59　障害や障害のある人に対する市民の理解は進んできていると思いますか。（○は１つ）

障害や障害のある人に対する市民の理解が「進んできている」と考えている人は 3.8%、「まあ進んできている」（12.5%）をあわせると、16.3%の人は市民の理解が進んできていると感じている。



問 60　難病・障害や障害のある市民への理解を深めるためには、何が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

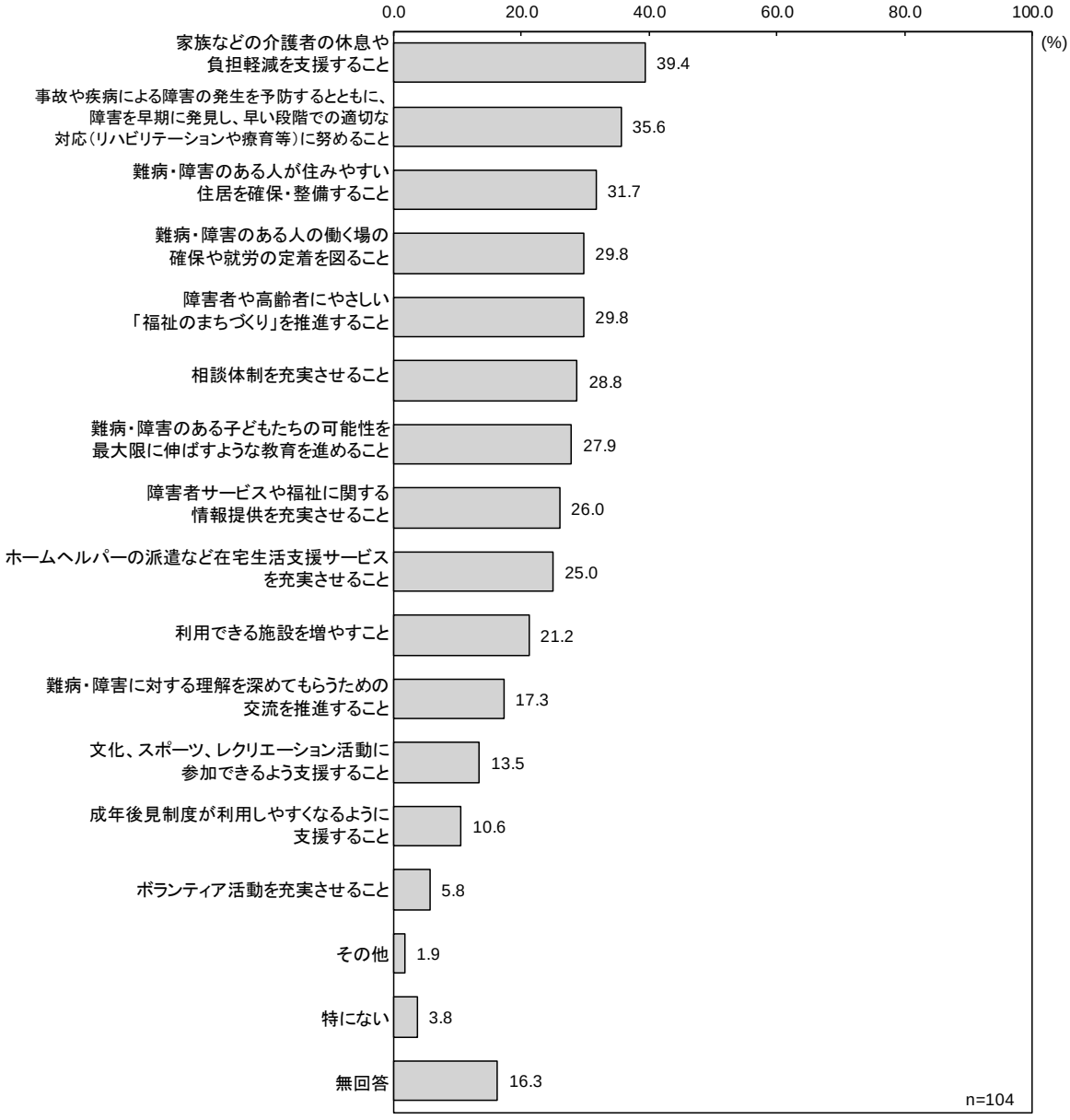
難病・障害や障害のある人への理解に必要なこととして、「難病・障害や障害者の福祉についての関心や理解を深めるための啓発」が 44.2%で最も高く、次いで、「学校における福祉教育の充実」（30.8%）、「難病・障害のある人との交流を通じた障害への理解の促進」（25.0%）が続いている。



（12）障害者施策、市への要望等

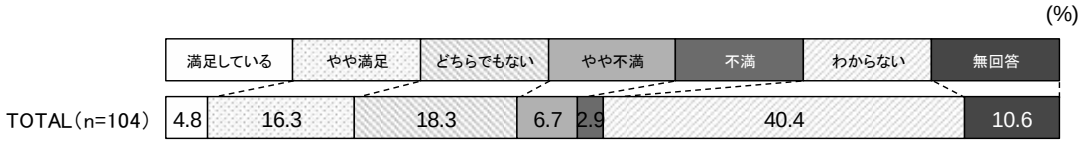
問 61　今後、障害者施策を進めていくにあたって、市は特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。（○はいくつでも）

今後、市が充実させていくべき障害者施策としては、「家族などの介護者の休息や負担軽減を支援すること」が 39.4%と最も高く、次いで「事故や疾病による障害の発生を予防するとともに、障害を早期に発見し、早い段階での適切な対応に努めること」が 35.6%、「難病・障害のある人が住みやすい住居を確保・整備すること」が 31.7%で続いている。



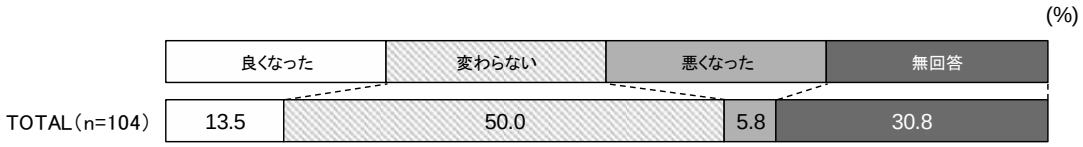
問 62　問 61 のような西東京市の障害者施策全般について、総合的に満足していますか。（○は１つ）

西東京市の障害者施策全般について、「満足している」人は 4.8%で、「やや満足」（16.3%）とあわせると、21.1%の人は満足していると感じている。



問 63　約５年前（平成 24 年）と比べて、障害者のサービスはどのように変わったと思いますか。（○は１つ）

５年前（平成 24 年）と比べて障害者サービスは「変わらない」（50.0%）と感じている人が多いが、「良くなった」が 13.5%で「悪くなった」（5.8%）を上回っている。

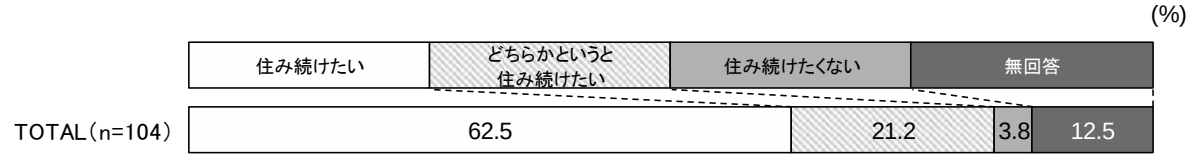


問 64　そのようにお答えになったのは、どのような理由からですか。（自由記述）

整理中

問 65　あなたは、今後も西東京市に住みつづけたいと思いますか。（○は１つ）

62.5%の人が今後も西東京市に「住み続けたい」と回答している。



問 66　最後に、この調査を通じて、選択肢や自由記述欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望などがありましたら、自由にお書きください。（自由記述）

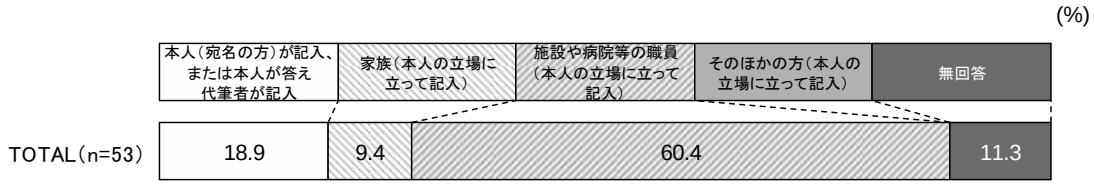
整理中

5　施設入所者

（1）基本的な属性

問1　この用紙（調査票）に記入されるのはどなたですか。（○は1つ）

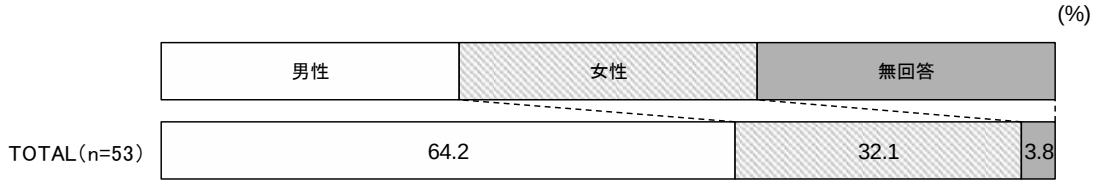
調査票記入者は「本人（宛名の方）が記入、または本人が答え代筆者が記入」が 18.9%、「家族（本人の立場に立って記入）」が 9.4%、「施設や病院等の職員（本人の立場に立って記入）」が 60.4%。



問2　あなたの性別をお答えください。（○は1つ）

問3　年齢（8月1日現在）を記入してください。

性別は、男性が 64.2%、女性が 32.1%。



年齢は、40 代、50 代がそれぞれ 34.0%で平均年齢は 53.1 歳。

（%）

n=	19 歳以下	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳以上	無回答	平均年齢
53	0.0	1.9	5.7	34.0	34.0	7.5	11.3	5.7	53.1 歳

<＝Ⅱ　5　施設入所者調査＞

（2）障害・入所状況

問4　次のうち、あてはまるものに○をつけてください。（○はいくつでも）

86.8%が「愛の手帳（療育手帳）を持っている」と回答している。

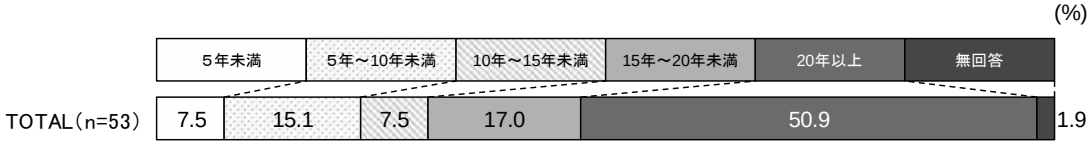
40 代の 16.7%、50 代の 22.2%が「身体障害者手帳を持っている」、「発達障害と診断されたことがある」と回答している。

（%）

	n=	身体障害者手帳を持っている	愛の手帳（療育手帳）を持っている	精神障害者保健福祉手帳を持っている	国または東京都が指定する難病医療費等助成対象疾病を患っている	高次脳機能障害と診断されたことがある	発達障害と診断されたことがある	あてはまるものはない	無回答
TOTAL	53	18.9	86.8	0.0	1.9	0.0	15.1	0.0	11.3
20 代	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30 代	3	66.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40 代	18	16.7	83.3	0.0	5.6	0.0	16.7	0.0	16.7
50 代	18	22.2	88.9	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	5.6
60 代	4	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
70 歳以上	6	16.7	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
無回答	3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3

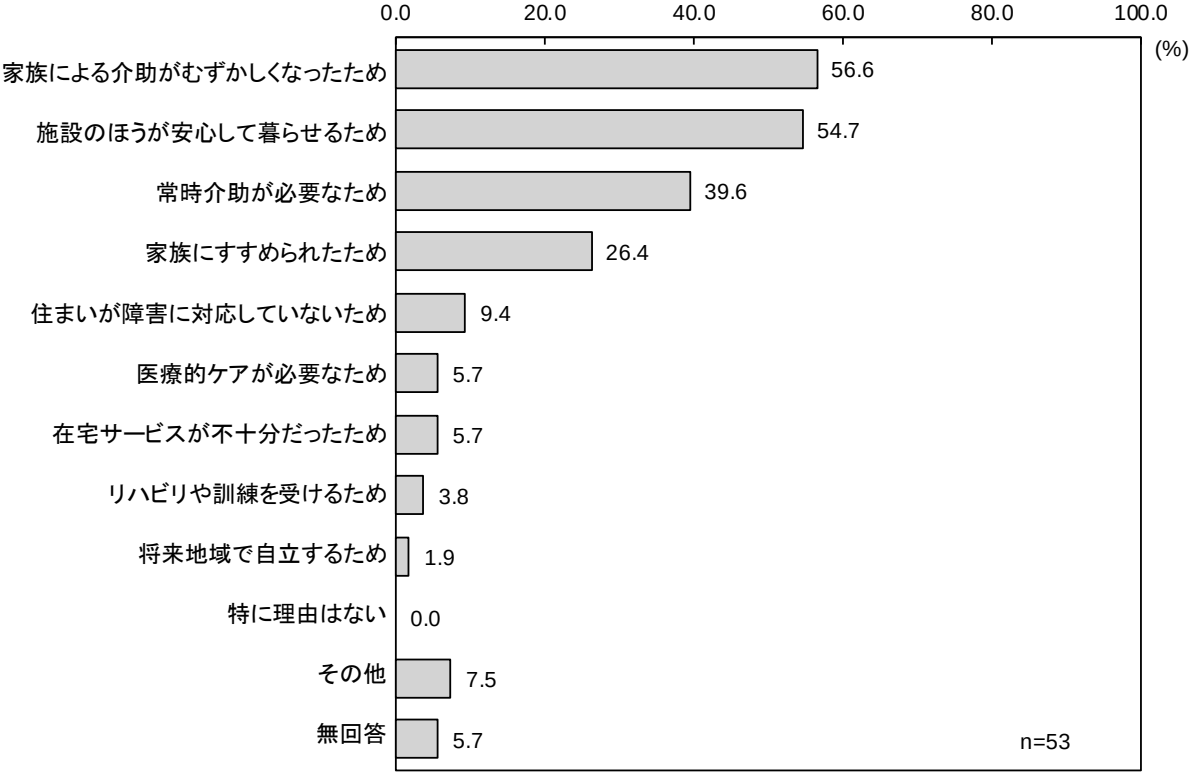
問5　あなたが、現在の施設に入所してからの期間をお答えください。（○は１つ）

入所者の 50.9%が「20 年以上」である。



問６　あなたが、現在の施設へ入所することを決めた理由はなんですか。（○はいくつでも）

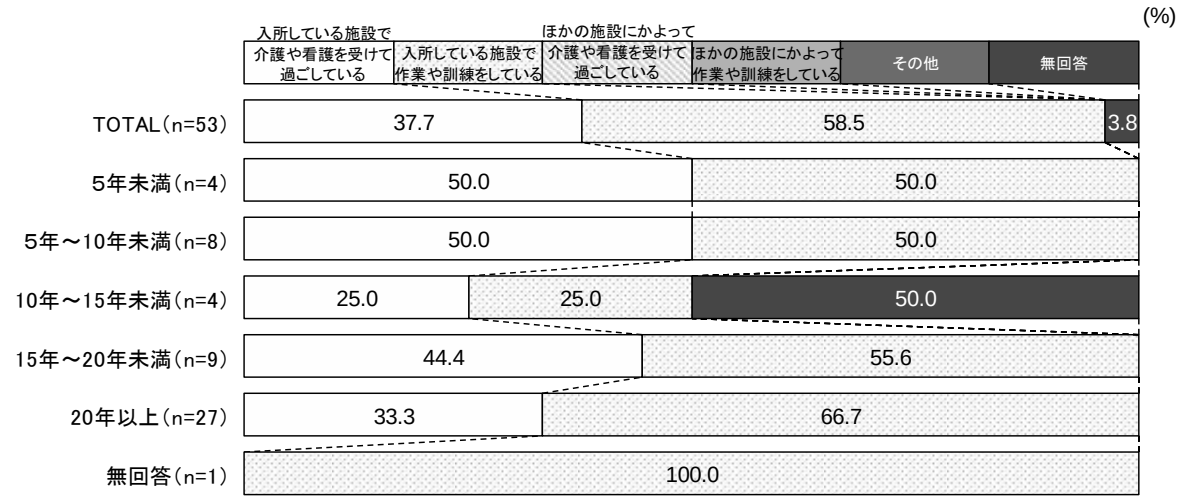
施設への入所理由は、「家族による介助がむずかしくなったため」が 56.6%で最も高く、次いで「施設のほうが安心して暮らせるため」（54.7%）、「常時介助が必要なため」（39.6%）が続く。



（３）日中の過ごし方や外出の状況・社会参加状況

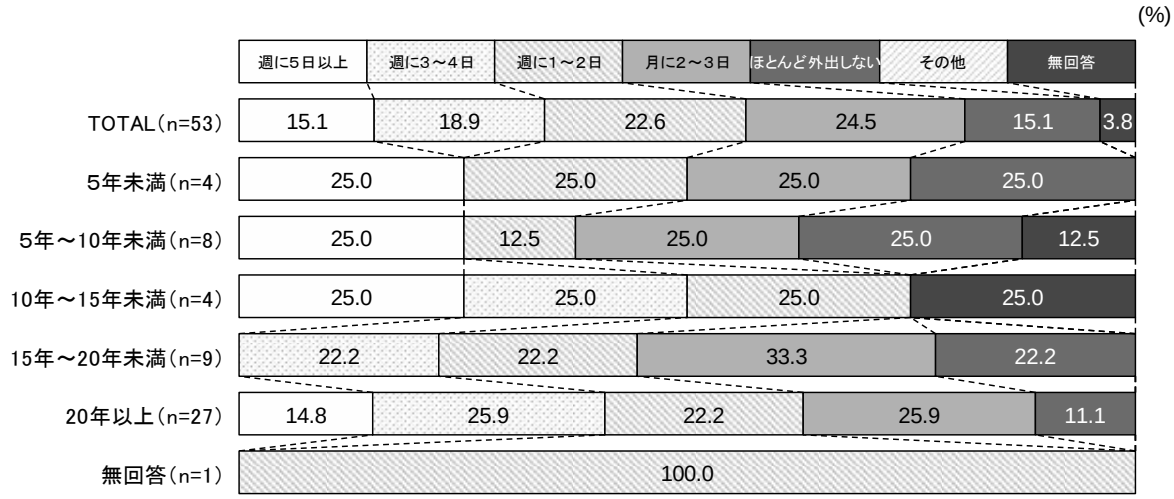
問 14　あなたは、日中を主にどのように過ごしていますか。（○は１つ）

平日の日中の過ごし方として、「入所している施設で介護や看護を受けて過ごしている」37.7%、「入所している施設で作業や訓練をしている」が 58.5%である。



問７　あなたは、どのくらい外出しますか。買い物、日常の散歩など、すべてを含めてお答えください。（○は１つ）

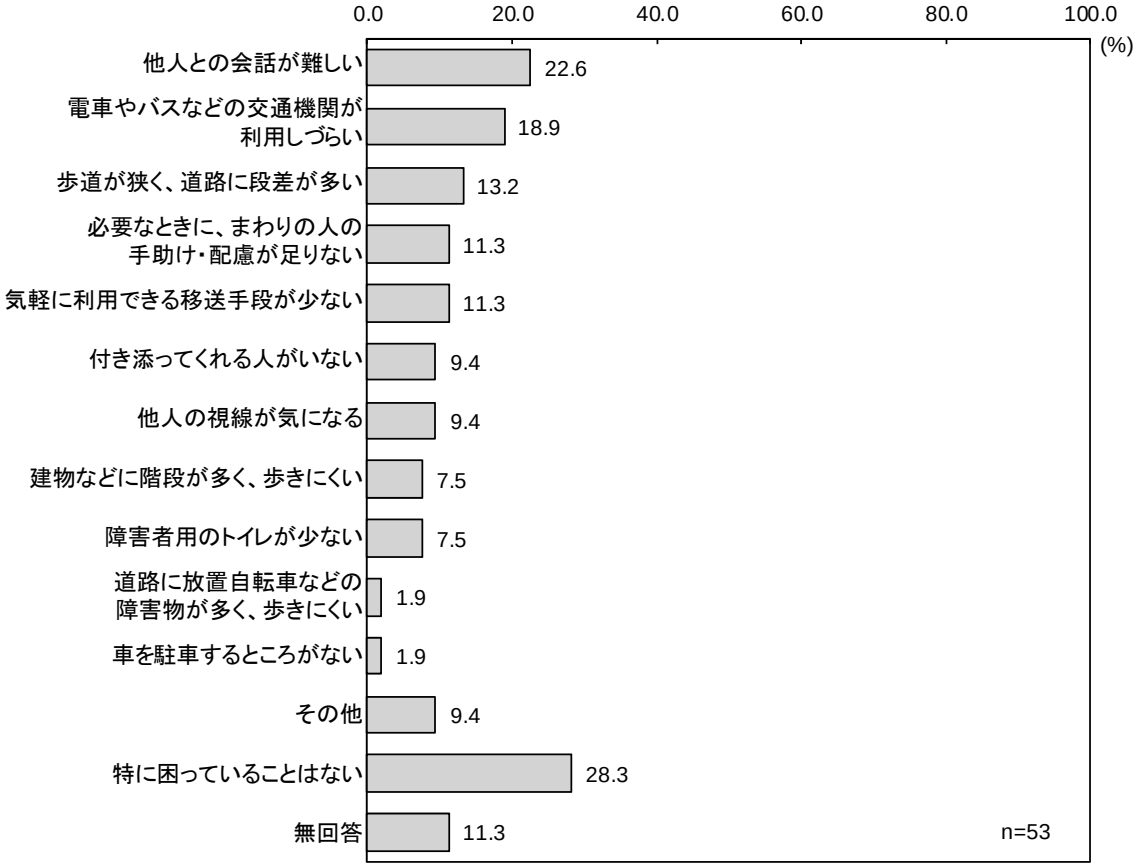
外出頻度は、「週に 5 日以上」が 15.1%、「週に 3 ～ 4 日」が 18.9%、「週に 1 ～2 日」が 22.6%、「月に 2～3 日」が 24.5%である。「ほとんど外出しない」と回答した人は 15.1%となっている。



※0.0 は非表示

問８　外出の際に困っていることはありますか。（○はいくつでも）

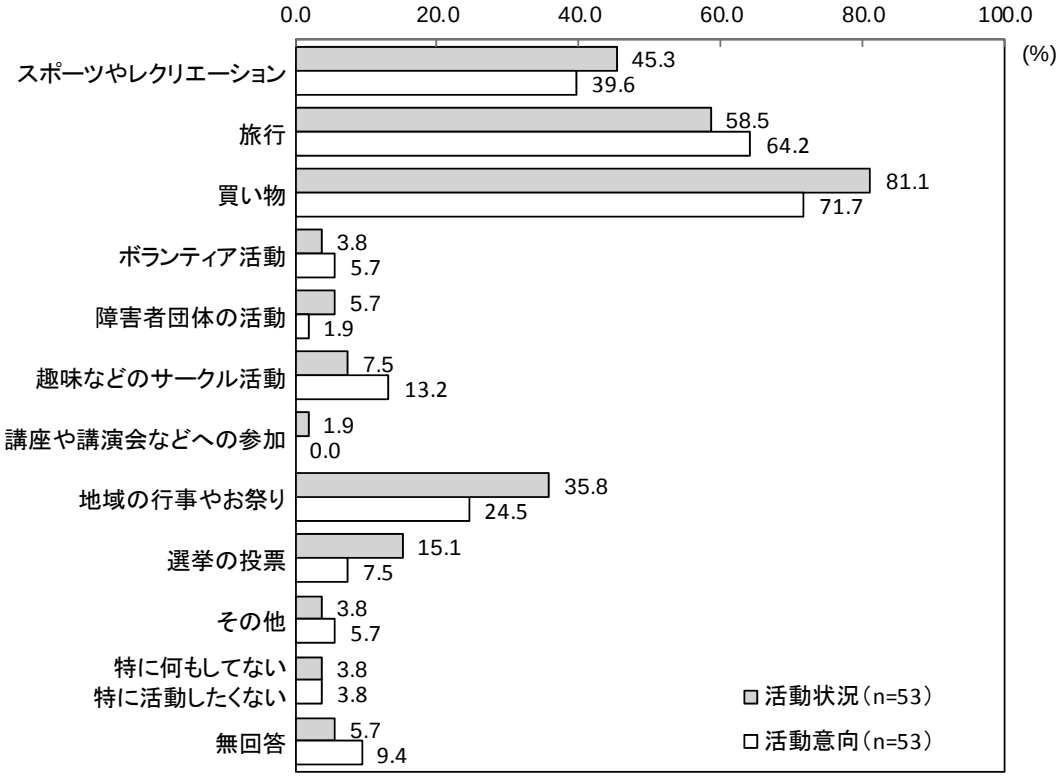
「特に困っていることはない」が 28.3%だが、外出の際に困っていることとして、「他人との会話が難しい」が 22.6%で最も高く、次いで、「電車やバスなどの交通機関が利用しづらい」が 18.9%、「歩道が狭く、道路の段差が多い」が 13.2%と続く。



問９　あなたは、この１年くらいの間に、次のような活動をしましたか。（○はいくつでも）：活動状況
問 12　これからどのような活動をしたいと思いますか。（○はいくつでも）：活動意向

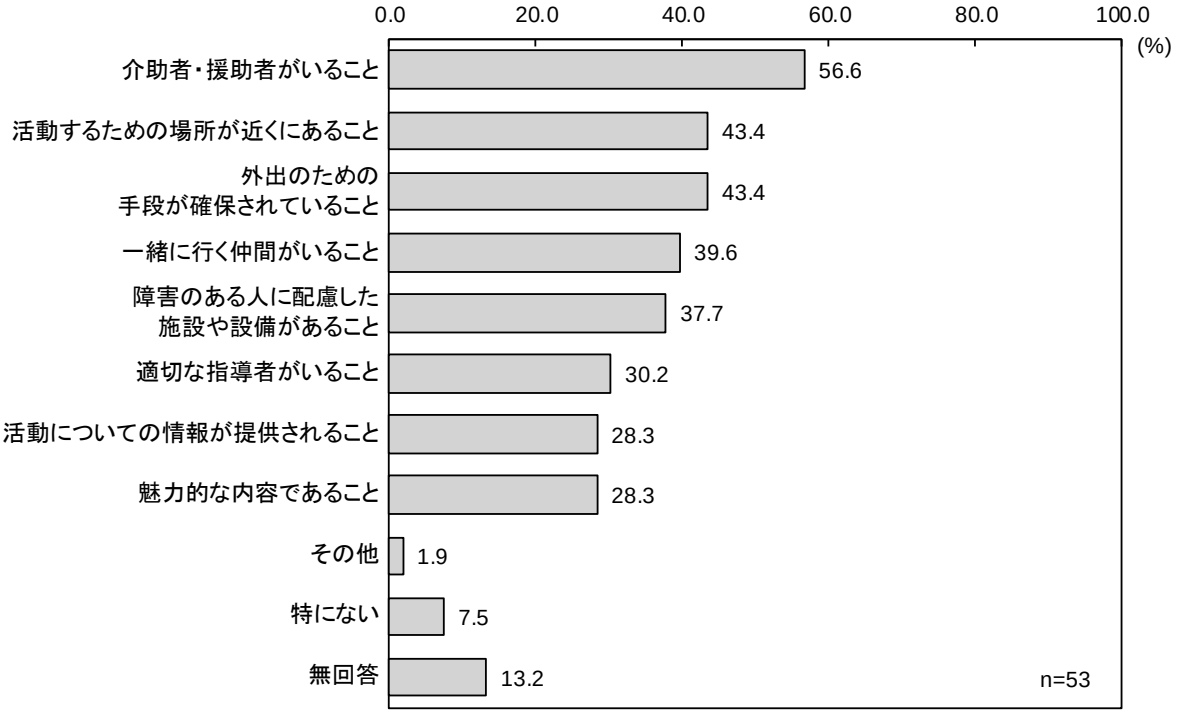
活動状況と活動意向を比べると、「趣味などのサークル活動」は実際の活動状況が 7.5%、活動意向は 13.2%となっており、意向が約６ポイント高い。

実際の活動状況では、「買い物」（81.1%）、「旅行」（58.5%）が高く、活動意向でも、「買い物」（71.7%）、「旅行」（64.2%）が高い。



問 13　問 12 のような活動をするために、どのような支援が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

活動のために必要な支援として、「介助者・援助者がいること」が 56.6%で最も高く、次いで、「活動するための場所が近くにあること」、「外出のための手段が確保されていること」がそれぞれ 43.4%で続いている。



問 10　選挙の投票の際、困ったことや改善してほしいことはありましたか。（自由記述）

<回答対象者：問９で「選挙の投票」と回答した人>

整理中

問 11　スポーツ活動をした方は、どのようなスポーツ活動をしましたか。あてはまるものに○をつけてください。（○はいくつでも）

<回答対象者：問９で「スポーツやレクリエーション」と回答した人>

スポーツ活動の内容は、以下の通りである。

（%）

n=	卓球	ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ	ボッチャ	ダンス	ボウリング	ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ	水泳	その他	無回答
24	0.0	0.0	8.3	12.5	16.7	4.2	20.8	41.7	12.5

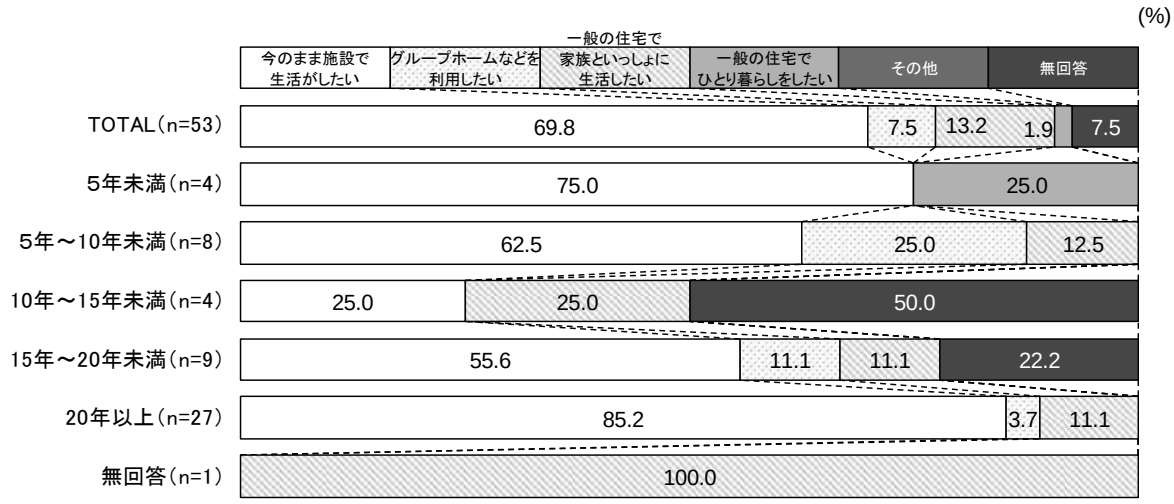
「その他」（58.4%）として以下の記述があった。　**整理中**

<＜Ⅱ　5　施設入所者調査＞

（4）将来の希望

問 20　あなたは将来、地域で生活したいと思いますか。（○は１つ）

地域での生活について、13.2%が「一般の住宅で家族と一緒に生活したい」、1.9%が「一般の住宅でひとり暮らしをしたい」と回答しているが、69.8%は「今のまま施設で生活したい」と考えている。「グループホームなどを利用したい」と回答した人は 7.5%である。



※0.0 は非表示

問 21　退所後の生活を考えたときに、どのような不安がありますか。（○はいくつでも）

＜回答対象者：退所意向者＞

退所意向がある人に退所後の生活についての不安をたずねたところ、「住まいのこと」をあげる人は 50.0%で最も高い。次いで、「病気のこと」、「日用品などの買い物のこと」、「通院や外出のこと」が 41.7%と続く。

n=	生活費のこと	仕事や職場の人間関係	住まいのこと	病気のこと	家族や親せきのこと
12	33.3	33.3	50.0	41.7	33.3

隣近所との関係	毎日の食事のこと	掃除や片づけ、洗濯のこと	日用品などの買い物のこと	現金や貯金通帳の管理のこと
33.3	33.3	16.7	41.7	33.3

通院や外出のこと	服薬や健康管理のこと	相談相手のこと	自由時間（余暇）の過ごし方	その他	無回答
41.7	25.0	16.7	16.7	0.0	25.0

問 22　退所後に必要と思う支援がありましたら、自由にお書きください。（自由記述）

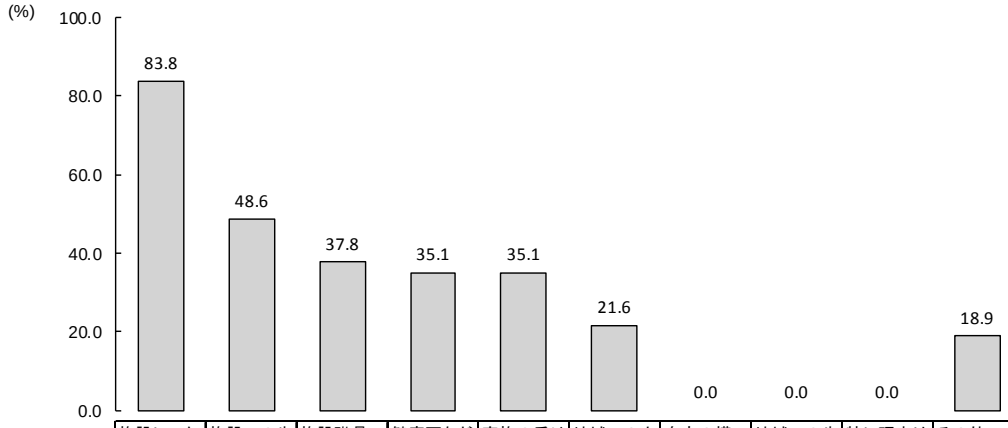
＜回答対象者：退所意向者＞

整理中

問 23　今のまま施設で生活がしたいと思う理由はなんですか。（○はいくつでも）

＜回答対象者：施設生活継続希望者＞

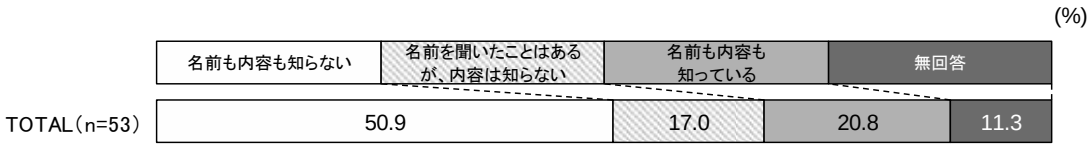
施設での生活を継続したい人に、継続理由をたずねたところ、83.8%の人が「施設にいたほうが安心できるから」と回答している。「その他」（18.9%）として、・・・との記述があった。　**整理中**



	n=	施設にいたほうが安心できるから	施設での生活が自分にあっているから	施設職員やほかの入所者との関係がうまくいっているから	健康面などで不安があるから	家族の受け入れ態勢が整っていないから	地域での十分な介助が受けられるか不安だから	自宅の構造が障害に対応していないから	地域での生活に魅力を感じないから	特に理由はない	その他
TOTAL	37	83.8	48.6	37.8	35.1	35.1	21.6	0.0	0.0	0.0	18.9
5年未満	3	100.0	0.0	0.0	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3
5年～10年未満	5	60.0	60.0	20.0	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10年～15年未満	1	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
15年～20年未満	5	100.0	40.0	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0
20年以上	23	82.6	52.2	47.8	39.1	30.4	13.0	0.0	0.0	0.0	13.0

問 24　成年後見制度とは、知的障害や精神障害などの理由により、判断能力が十分でない方の財産などの権利を守る制度です。あなたは、成年後見制度について知っていますか。（○は１つ）

成年後見制度について、「名前も内容も知っている」人は 20.8%、「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」人は 17.0%である。50.9%の人が「名前も内容も知らない」と回答している。



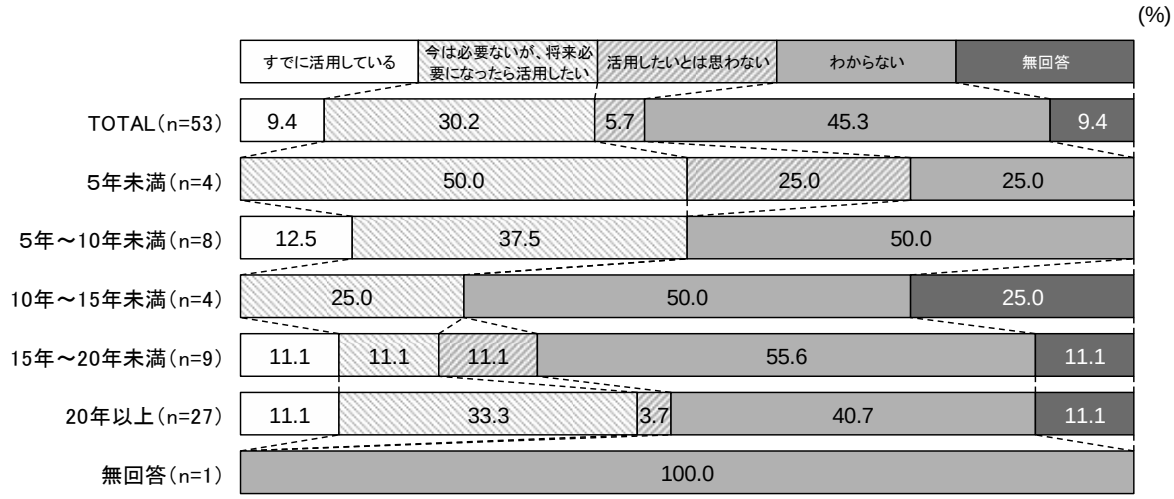
※0.0 は非表示

<Ⅱ　5　施設入所者調査>

問 25　あなたは、成年後見制度を活用したいと思いますか。（○は１つ）

成年後見制度を「すでに活用している」人は 9.45 である。「今は必要ないが、将来必要になったら活用したい」と考える人は 30.2%である。

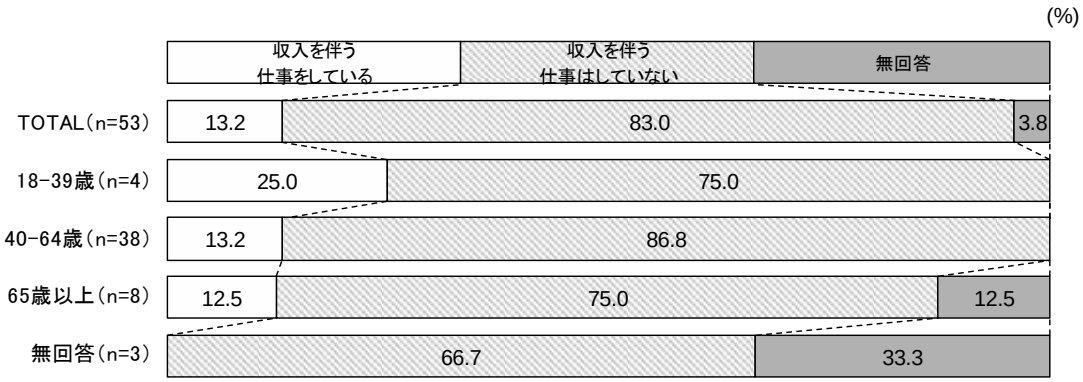
入所期間別にみると、「すでに活用している」のは、5 年～10 年未満、15 年以上の人である



（5）雇用・就労について

問 15　現在、あなたは収入を伴う仕事をしていますか。（○は１つ）

収入を伴う仕事している人は 13.2%、収入を伴う仕事はしていない人は 83.0%ある。



問 16　今後、お金をもらう仕事をしたいと思いますか。（○は１つ）

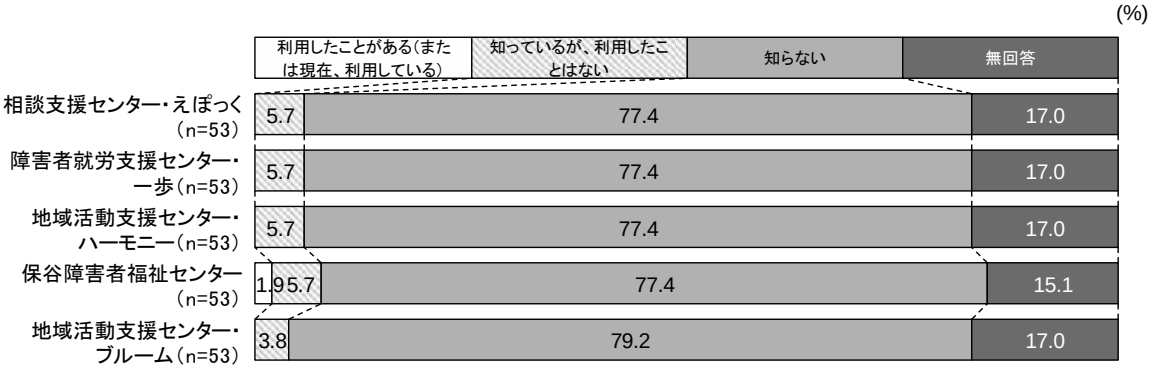
今後の就労について、「したいと思う」人は 2.3%、「したいとは思わない、できない」人は 90.9%である。

※0.0 は非表示

（6）障害者施設・施策について

問 17　あなたは、西東京市にある次の施設を利用したことがありますか。また、知っていますか。

市内施設を利用したことがある人は、保谷障害者福祉センターが 1.9%である。「知っているが、利用したことがない」施設として、障害者総合支援センター「フレンドリー」、障害者就労支援センター・一歩、相談支援センター・えぽっく、地域活動支援センター・ハーモニーがそれぞれ 5.7%、地域活動支援センター・ブルームが 3.8%である。



問 18　あなたは、次の講座や事業等を知っていますか。（○はいくつでも）

市開催の講座や事業等の認知状況は、以下の通りである。

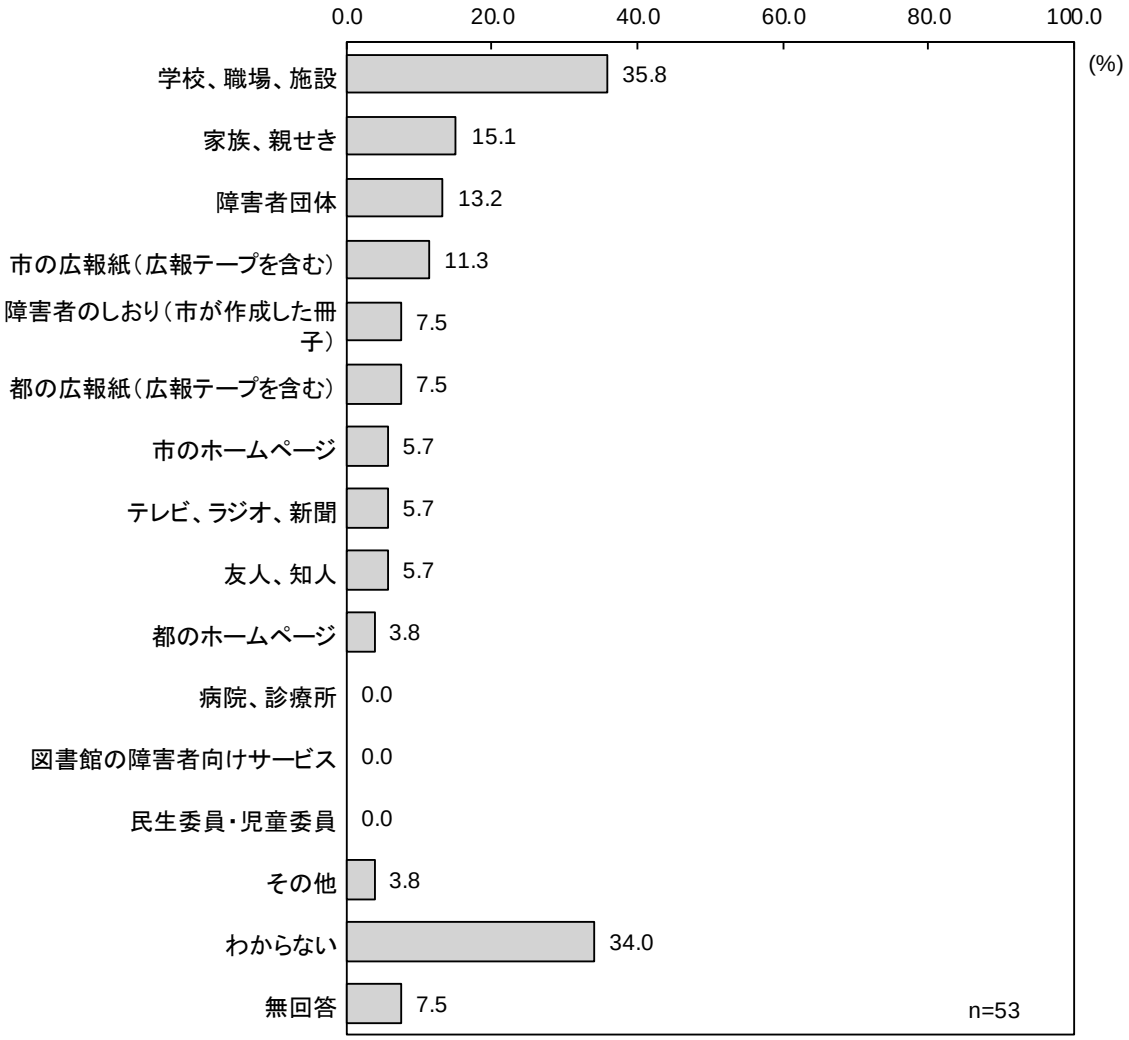
（%）

n=	サポーター養成講座	ヘルプカード	スポーツ支援事業	障害者水泳教室	講座や事業等は知らない	無回答
53	3.8	9.4	5.7	1.9	54.7	30.2

（7）相談や情報入手方法

問 19　あなたは、障害福祉サービスなどの情報を主にどこから得ていますか。（○はいくつでも）

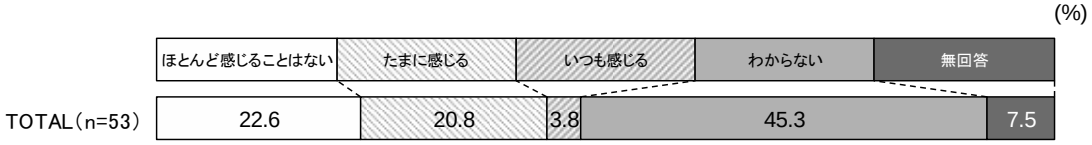
情報の入手先として、「学校、職場、施設」が 35.8%で最も高く、次いで、「家族、親せき」（15.1%）、「障害者団体」（13.2%）と続いている。情報入手先が「わからない」と回答した人は 34.0%である。



（8）障害・障害者への理解

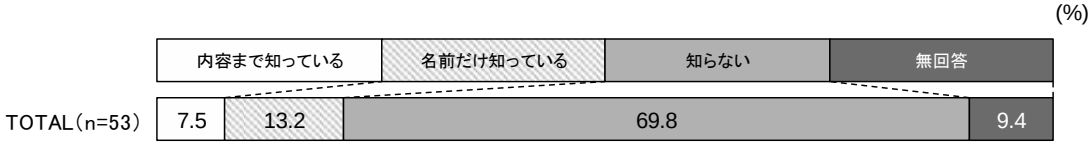
問 26　障害があることで、差別や人権侵害、虐待を受けていると感じることがありますか。（○は１つ）

差別や人権侵害、虐待については、22.6%の人は「ほとんど感じることはない」が、3.8%は「いつも感じる」、20.8%は「たまに感じる」と回答している



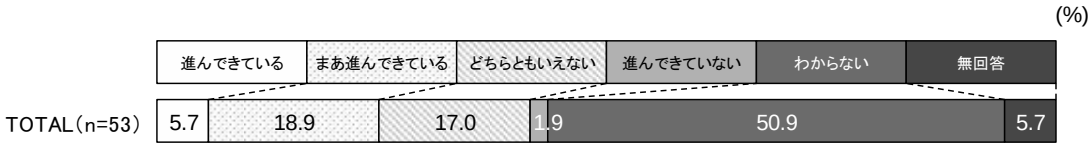
問 27　障害のある方々への差別をなくすことを目的として、平成 28 年４月１日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、このことを知っていますか。（○は１つ）

障害者差別解消法について、「内容まで知っている」人は 7.5%、「知らない」人は 69.8%である。



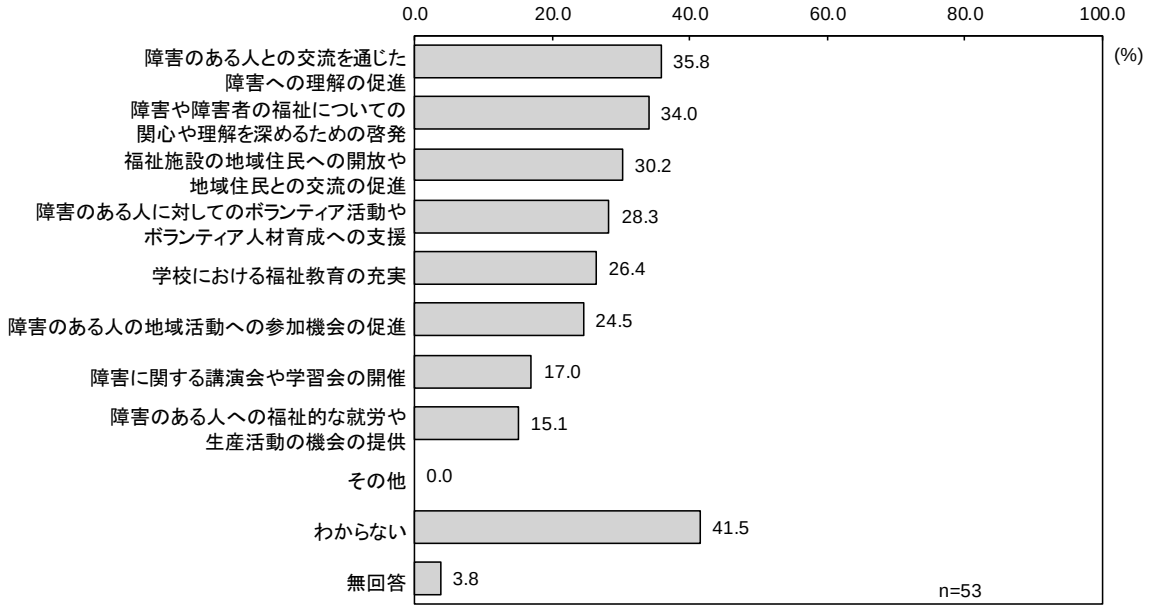
問 28　障害や障害のある方々に対する市民の理解は進んできていると思いますか。（○は１つ）

障害や障害のある人に対する市民の理解が「進んできている」と考えている人は 5.7%、「まあ進んできている」（18.9%）をあわせると、24.6%の人は市民の理解が進んできていると感じている。



問 29　障害や障害のある市民への理解を深めるためには、何が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

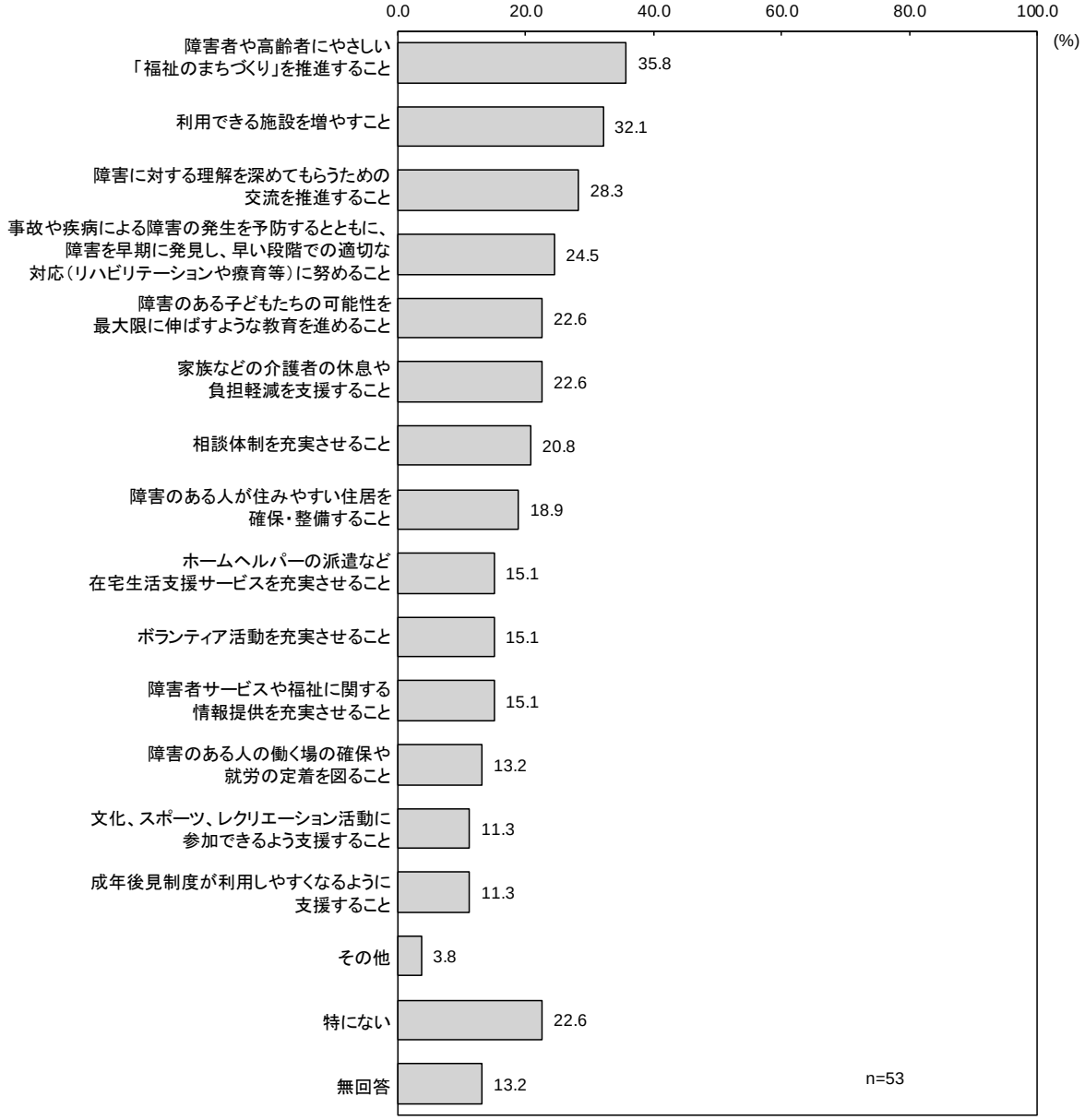
障害や障害のある人への理解に必要なこととして、「障害のある人との交流を通じた障害への理解の促進」が 35.8%で最も高く、次いで、「障害や障害者の福祉についての関心や理解を深めるための啓発」（34.0%）、「福祉施設の地域住民への開放や地域住民との交流の促進」（30.2%）が続いている。



（9）障害者施策、市への要望等

問 30　今後、障害者施策を進めていくにあたって、市は特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

今後、市が充実させていくべき障害者施策としては、「障害者や高齢者にやさしい「福祉のまちづくり」を推進すること」が 35.8%と最も高く、次いで「利用できる施設を増やすこと」が 32.1%、「障害に対する理解を深めてもらうための交流を促進すること」が 28.3%で続いている。

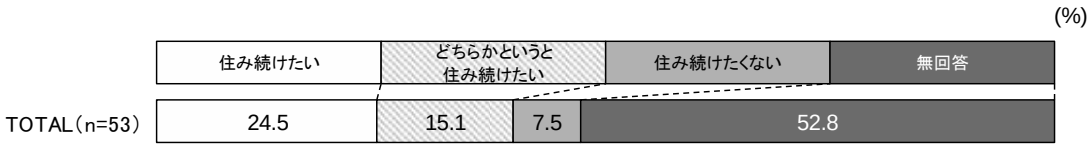


<Ⅱ　5　施設入所者調査>

問 31　あなたは、今後も西東京市に住みつづけたいと思いますか。（○は１つ）

24.5%の人が今後も西東京市に「住み続けたい」と回答している。

※調査対象者に市外施設入所者も含まれるため、無回答が多くなっている。



問 32　最後に、この調査を通じて、選択肢や自由記述欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望などがありましたら、自由にお書きください。（自由記述）

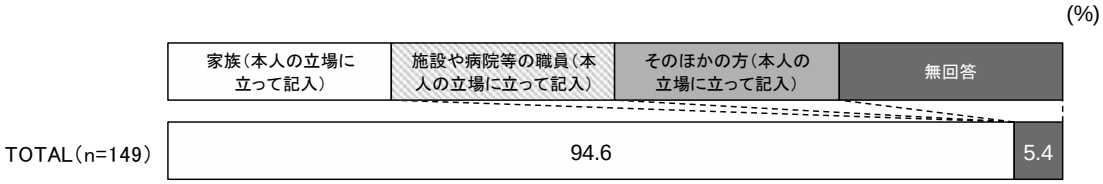
整理中

6　児童

（1）基本的な属性

問1　この用紙（調査票）に記入されるのはどなたですか。（○は1つ）

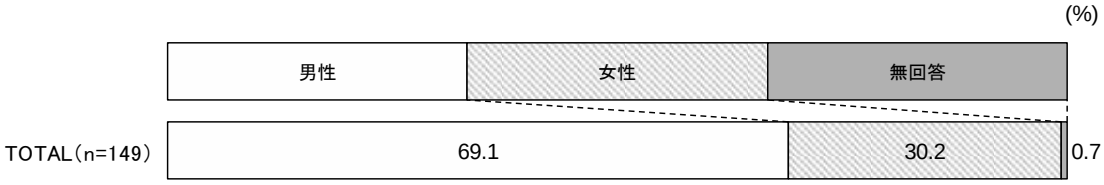
調査票記入者は「家族（本人の立場に立って記入）」が 94.6%。



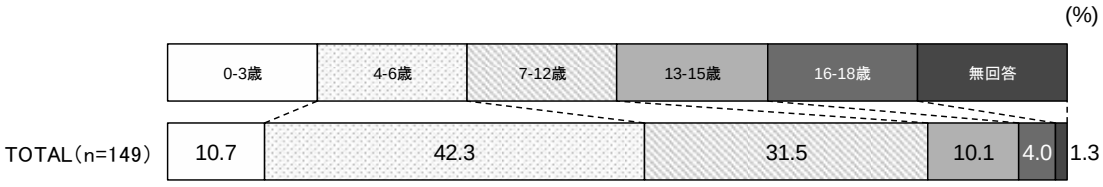
問2　お子さまの性別をお答えください。（○は1つ）

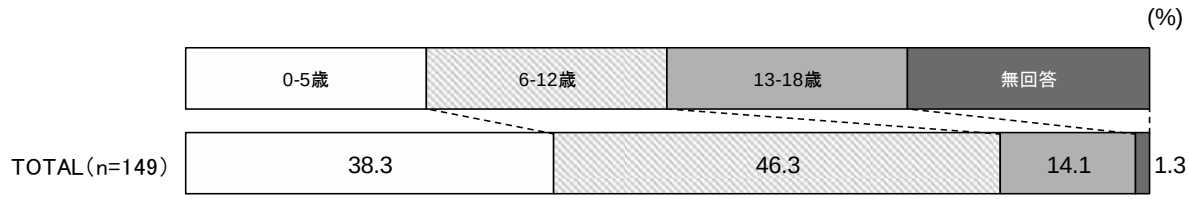
問3　お子さまの年齢（8月1日現在）を記入してください。

性別は、男性が 69.1%、女性が 30.2%。



平均年齢は 7.3 歳。





<Ⅱ　6　児童調査>

問４　現在、お子さまはどこで暮らしていますか。（○は１つ）

居住形態は、「持ち家（分譲マンションを含む）」が 69.8%で最も多く、次いで、賃貸住宅（アパート、賃貸マンション、借家）」が 28.9%である。

（%）

n=	持ち家（分譲マンションを含む）	賃貸住宅（アパート、賃貸マンション、借家）	グループホーム、ケアホーム、福祉ホーム	福祉施設（障害者支援施設、高齢者支援施設）	入院している	その他	無回答
149	69.8	28.9	0.0	0.0	0.7	0.7	149

問５　お子さまはどなたと一緒に暮らしていますか。お子さまからみた間柄でご回答ください。（○はいくつでも）

同居者は、「父親」が 89.9%、「母親」が 96.6%、「兄弟、姉妹」が 64.4%との回答が高い。

（%）

	n=	宛名の方ひとりだけで暮らしている	父親	母親	祖父	祖母	兄弟、姉妹	その他の親せき	福祉施設の職員や仲間	その他	無回答
TOTAL	149	0.0	89.9	96.6	4.7	7.4	64.4	1.3	0.0	0.7	0.7
0-5 歳	57	0.0	98.2	100.0	3.5	5.3	64.9	0.0	0.0	0.0	0.0
6-12 歳	69	0.0	85.5	97.1	4.3	10.1	62.3	1.4	0.0	1.4	0.0
13-18 歳	21	0.0	85.7	90.5	9.5	4.8	76.2	4.8	0.0	0.0	0.0
無回答	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

（2）障害状況

問6　次のうち、お子さまにあてはまるものに○をつけてください。（○はいくつでも）
　　手帳をお持ちの方は、等級・程度に○をつけてください。

身体障害者手帳を持っている人は 27.5%、愛の手帳（療育手帳）を持っている人は 42.3%、精神障害者保健福祉手帳を持っている人は 3.4%、国または東京都が指定する難病医療費等助成対象疾病を患っている人は 8.1%、発達障害と診断されたことがある人は 40.3%である。

（%）

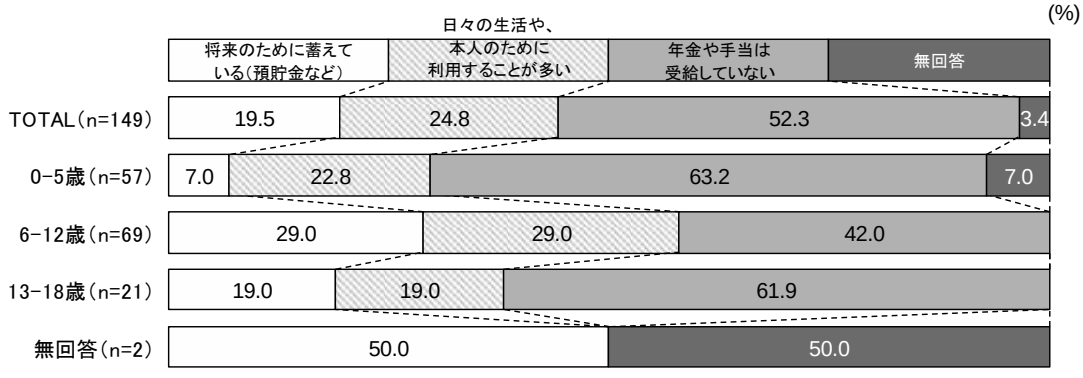
n=	身体障害者手帳を持っている	愛の手帳（療育手帳）を持っている	精神障害者保健福祉手帳を持っている	国または東京都が指定する難病医療費等助成対象疾病を患っている	高次脳機能障害と診断されたことがある	発達障害と診断されたことがある	訪問看護などの医療的ケアを受けている	上記に、あてはまるものはない	無回答
149	27.5	42.3	3.4	8.1	0.7	40.3	4.7	12.8	0.7

（%）

	n=	1級（1度）	2級（2度）	3級（3度）	4級（4度）	5級	6級	等級不明
身体障害者手帳	41	43.9	26.8	12.2	7.3	4.9	2.4	2.4
愛の手帳（療育手帳）	63	3.2	20.6	33.3	41.3	―	―	1.6
精神障害者保健福祉手帳	5	0.0	40.0	60.0	―	―	―	0.0

問7　お子さまの障害者支援の手当や年金を主にどのように利用していますか。（○は1つ）

障害者支援の手当や年金の利用状況は、「将来のために蓄えている（預貯金など）」が 19.5%、「日々の生活のために利用することが多い」が 24.8%、「年金や手当は受給していない」が 52.3%である。

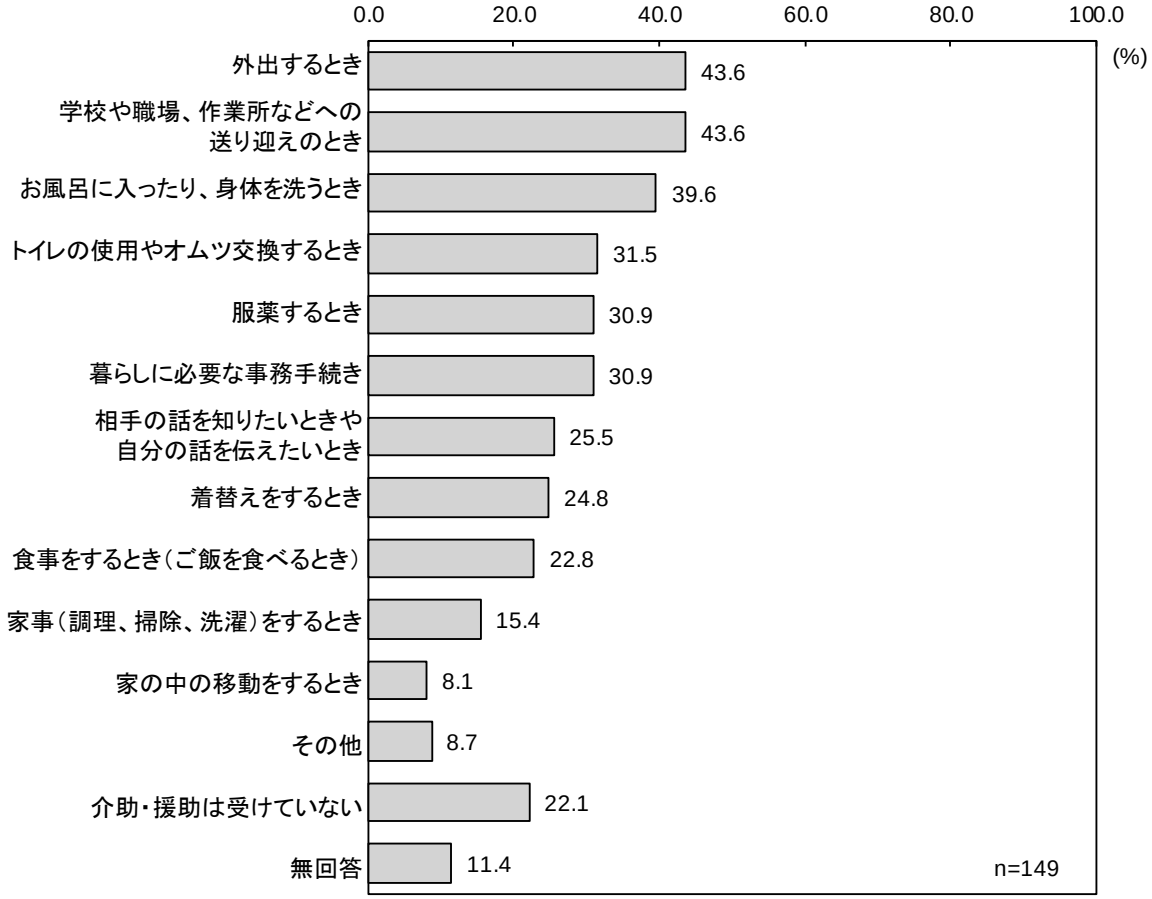


※0.0 は非表示

（3）介助・援助の状況

問8　お子さまは、どのようなときに介助・援助を受けていますか。（○はいくつでも）

介助・援助を受けている場面としては、「外出するとき」、「学校や職場、作業所などへの送り迎えのとき」がそれぞれ43.6%で、次いで、「お風呂に入ったり、身体を洗うとき」が39.6%である。



問9　ふだん、お子さまを主に介助・援助しているのはどなたですか。お子さまからみた続柄でご回答ください。（○は1つ）

ふだん、おもに介助・援助している人は「母親」が92.9%で最も高い。

(%)

	n=	父親	母親	祖父	祖母	兄弟、姉妹	その他の親せき	近所の人、友人・知人	ホームヘルパー等の在宅サービス事業者	その他
TOTAL	99	6.1	92.9	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0

（4）日中の過ごし方や外出の状況・社会参加状況

問 17　お子さまは、平日（月曜日～金曜日）の日中を主にどのように過ごしていますか。（○は１つ）

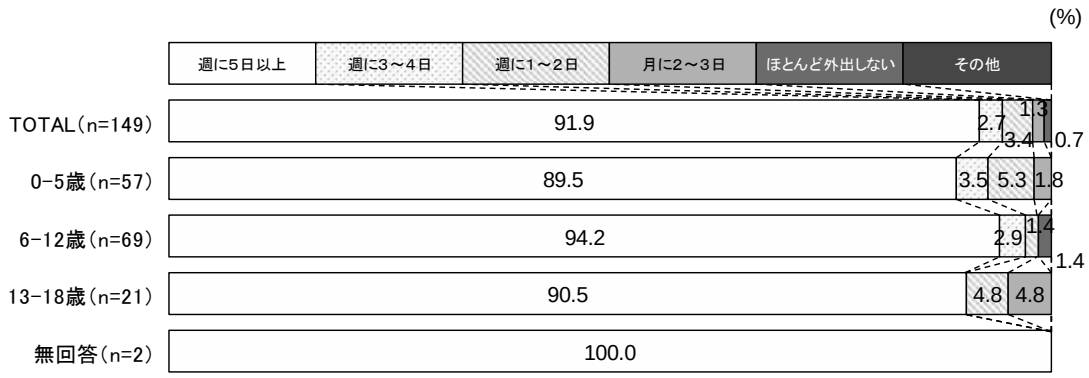
平日の日中の過ごし方として、「幼稚園や保育園、学校などに通っている」が 84.6%、「児童発達支援にかよっている」が 8.7%、「自宅にいることが多い」が 2.7%である。

（%）

	n=	幼稚園や保育園、学校などに通っている	児童発達支援にかよっている	病院などのデイケアにかよっている	リハビリテーションを受けている	働いている	入所・入院している施設や病院などで過ごしている	自宅にいることが多い	その他	無回答
TOTAL	149	84.6	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	0.7	3.4
0-5 歳	57	77.2	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	1.8	0.0
6-12 歳	69	87.0	5.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	5.8
13-18 歳	21	95.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8
無回答	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 10　お子さまは、どのくらい外出しますか。通所、通学、通勤、買い物、日常の散歩など、すべてを含めてお答えください。（○は１つ）

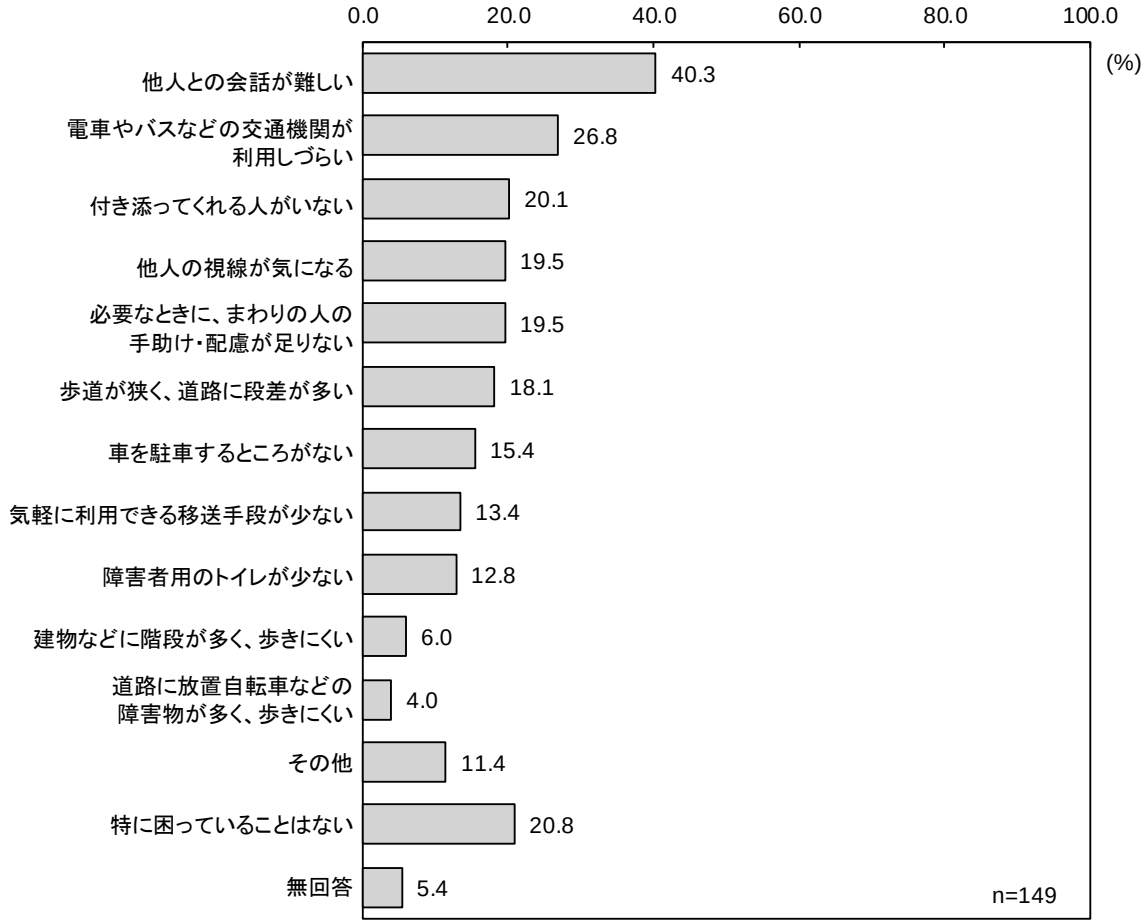
外出頻度は、「週に５日以上」が 91.9%、「週に３～４日が 2.7%、「週に１～2 日」3.4%、「月に２～３日」が 1.3%である。「ほとんど外出しない」と回答した人は 0.7%となっている。



※0.0 は非表示

問 11　お子さまが、外出の際に困っていると思われることはありますか。（○はいくつでも）

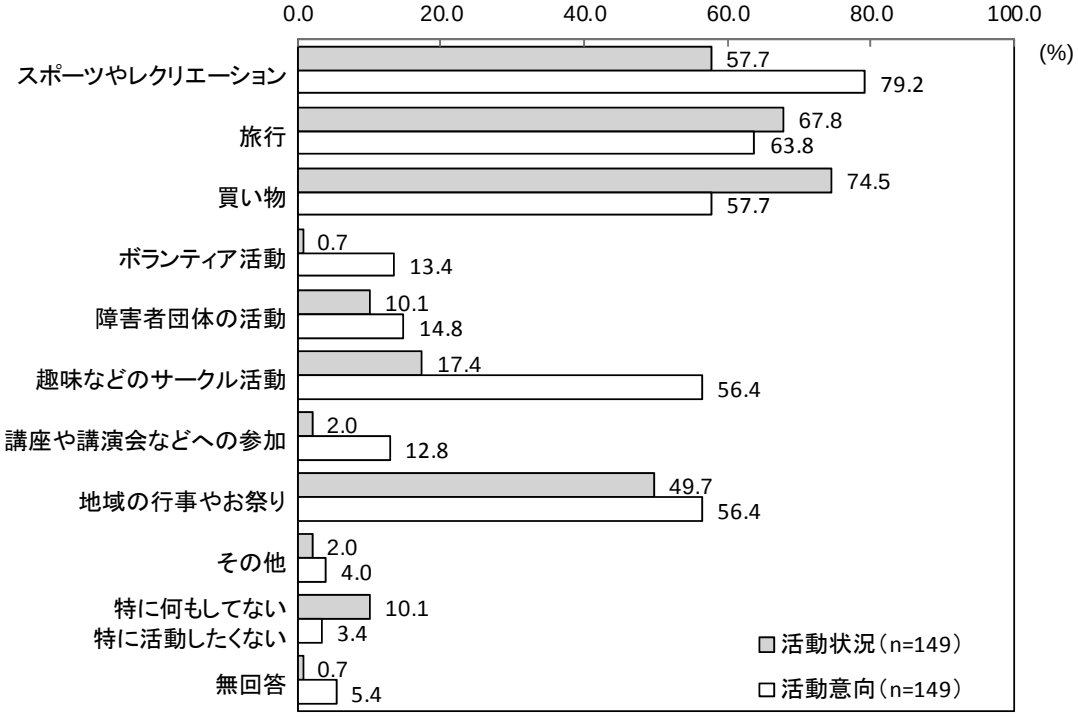
外出の際困っていることとしては、「他人との会話が難しい」との回答が 40.3%で最も高い。次いで、「電車やバスなどの交通機関が利用しづらい」（26.8%）、「付き添ってくれる人がいない」（20.1%）、が続く。「その他」（11.4%）として、・・・との記述があった。　**整理中**



問 12　お子さまは、この１年くらいの間に、次のような活動をしましたか。（○はいくつでも）：活動状況
問 15　お子さまは、これからどのような活動をしたい（してほしい）と思いますか。（○はいくつでも）：活動意向

活動状況と活動意向を比べると、「趣味などのサークル活動」は実際の活動状況が 17.4%、活動意向は 56.4%となっており、意向が約 39 ポイント高い。

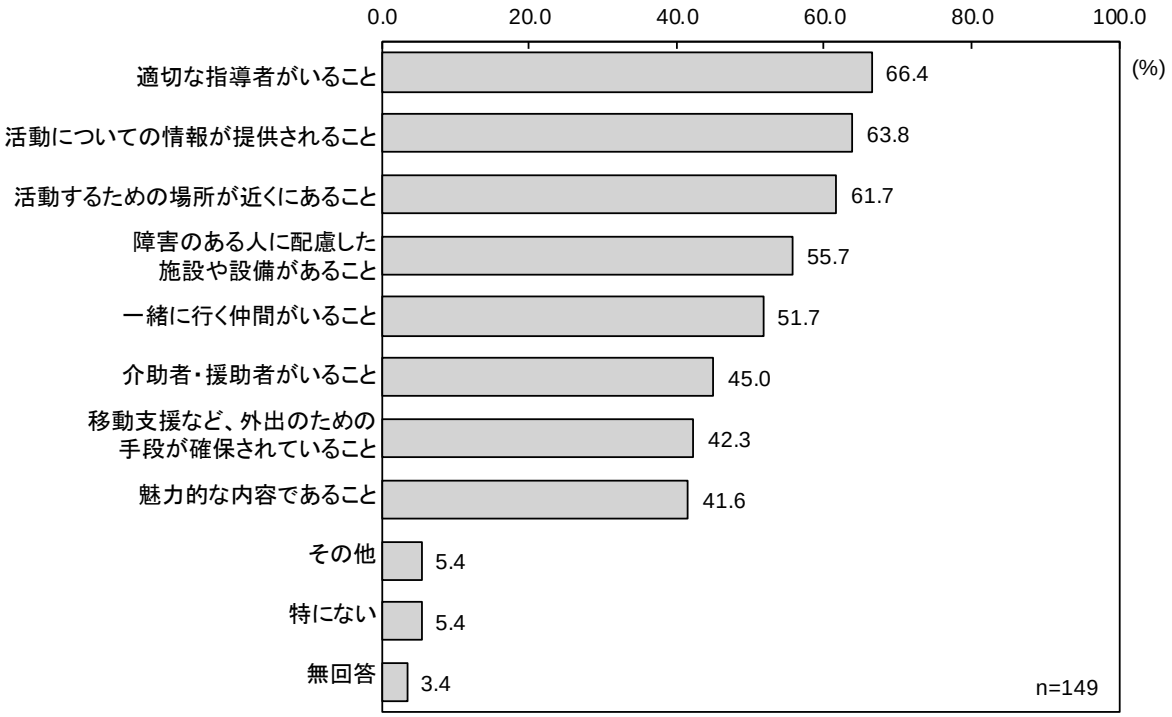
実際の活動状況では、「買い物」（74.5%）、「旅行」（67.8%）、「スポーツやレクリエーション」（57.7%）が高く、活動意向では、「スポーツやレクリエーション」（79.2%）、「旅行」（63.8%）が高い。



<＜Ⅱ　6　児童調査＞

問 16　問 15 のような活動をするために、どのような支援が必要だと思いますか。
（○はいくつでも）

活動のために必要な支援として、「適切な指導者がいること」が 66.4%で最も高く、次いで、「活動についての情報が提供されること」（63.8%）、「活動するための場所が近くにあること」（61.7%）が続いている。



問 13　スポーツ活動をした方は、どのようなスポーツ活動をしましたか。あてはまるものに○をつけてください。（○はいくつでも）

<回答対象者：問 12 で「スポーツやレクリエーション」選択者>

ススポーツ活動の内容は、以下の通りである。

（%）

n=	卓球	ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ	ボッチャ	ダンス	ボウリング	ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ	水泳	その他	無回答
86	3.5	3.5	3.5	15.1	4.7	2.3	72.1	31.4	3.5

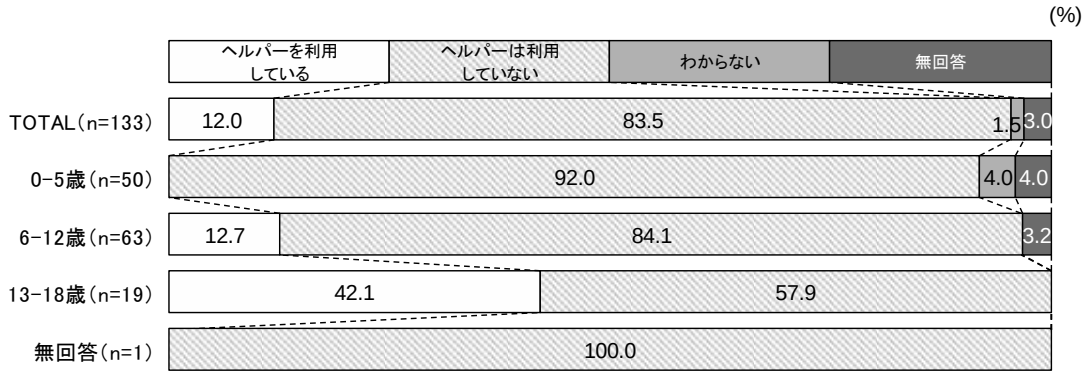
「その他」（31.4%）として以下の記述があった。　**整理中**

問 14　活動のために外出する際に「同行援護」「行動援護」「移動支援」等のヘルパーを利用していますか。（○は１つ）

＜回答対象者：問 12 で何らかの活動をしている人＞

活動のためのヘルパー利用状況は、「ヘルパーを利用している」が 12.0%、「ヘルパーは利用していない」83.5%である。

年齢別にみると、13－18 歳では、19 人中８人（42.1%）が「ヘルパーを利用している」。



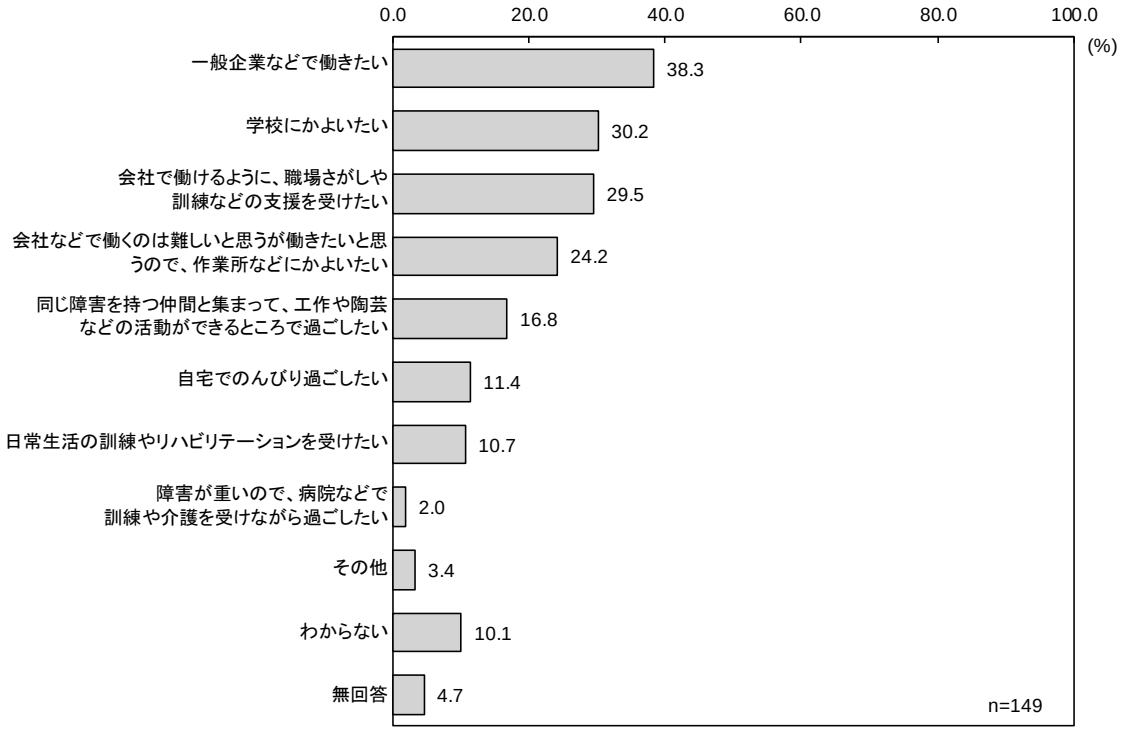
※0.0 は非表示

（5）将来の希望

《 次の問 47、問 48 は宛名のお子さまにお聞きします。お子さまが回答できない場合は、ご本人の気持ちを考えてお答えください。》

問 47　あなた（お子さま）は、今後、どのように日中を過ごしたいと思いますか。おおむね、高等学校卒業後のことを考えてお答えください。（○はいくつでも）

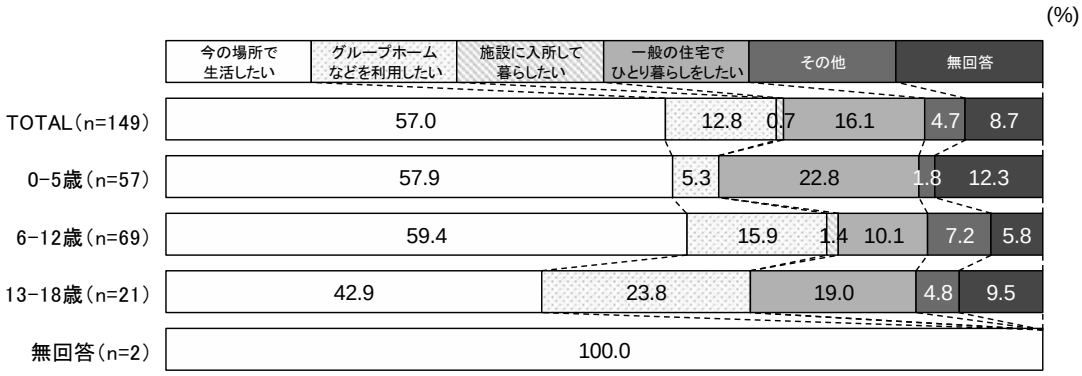
今後、希望する日中の過ごし方は、「一般企業などで働きたい」が 38.3%で最も高く、次いで「学校に通いたい」が 30.2%、「会社などで働けるように、職場さがしや訓練などの支援を受けたい」が 29.5%で続いている。



問 48　あなた（お子さま）は、将来（成人後）、どのように暮らしたいと思いますか。（○は１つ）

将来、生活したいところは、「今の場所で生活したい」が 57.0%、「グループホームなどを利用したい」が 12.8%、「施設に入所して暮らしたい」が 0.7%、「一般の住宅でひとり暮らしをしたい」が 16.1%である。

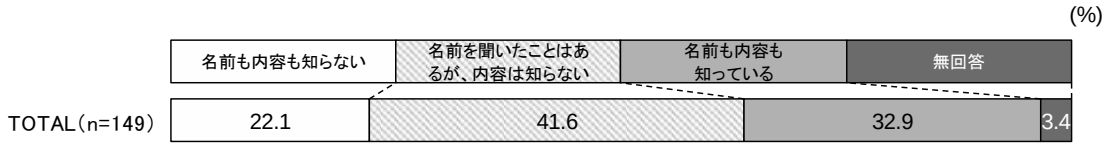
年齢別にみると、13－18 歳では、21 にｔん中５人（23.8%）が、「グループホームなどをりようしたい」と回答している。



※0.0 は非表示

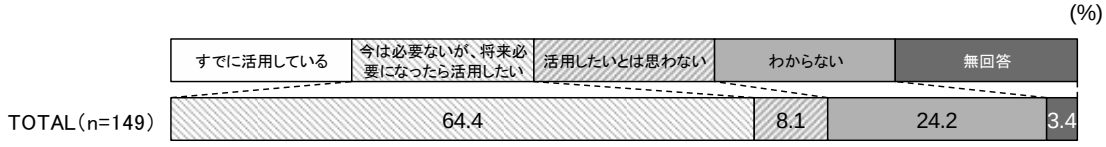
問 49　成年後見制度とは、知的障害や精神障害などの理由により、判断能力が十分でない方の財産などの権利を守る制度です。お子さまのご家族（介護やお世話をしている方）は、成年後見制度について知っていますか。（○は１つ）

成年後見制度について、「名前も内容も知っている」人は 32.9%、「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」人は 41.6%である。22.1%の人が「名前も内容も知らない」と回答している。



問 50　お子さまのご家族（介護やお世話をしている方）は、お子さまのために成年後見制度を活用したいと思いますか。（○は１つ）

成年後見制度を「今は必要ないが、将来必要になったら活用したい」と考える人は 64.4%である。



（6）通園・通学等について

《 問 18～問 24 は、幼稚園や保育園、学校などに通っている人にお聞きします。 》

問 18　お子さまが通っているのは次のうちどれですか。（○は１つ）

「幼稚園、保育園」が 36.5%、「小学校、中学校、高校（通常の学級）」が 8.7%、「小学校、中学校（通常の学級のほか通級指導学級または特別支援教室を利用）」が 6.3%、「小学校、中学校、高校（固定制の特別支援学級）」が 19.0%、「小学校、中学校、高校（特別支援学校）」が 24.6%である。

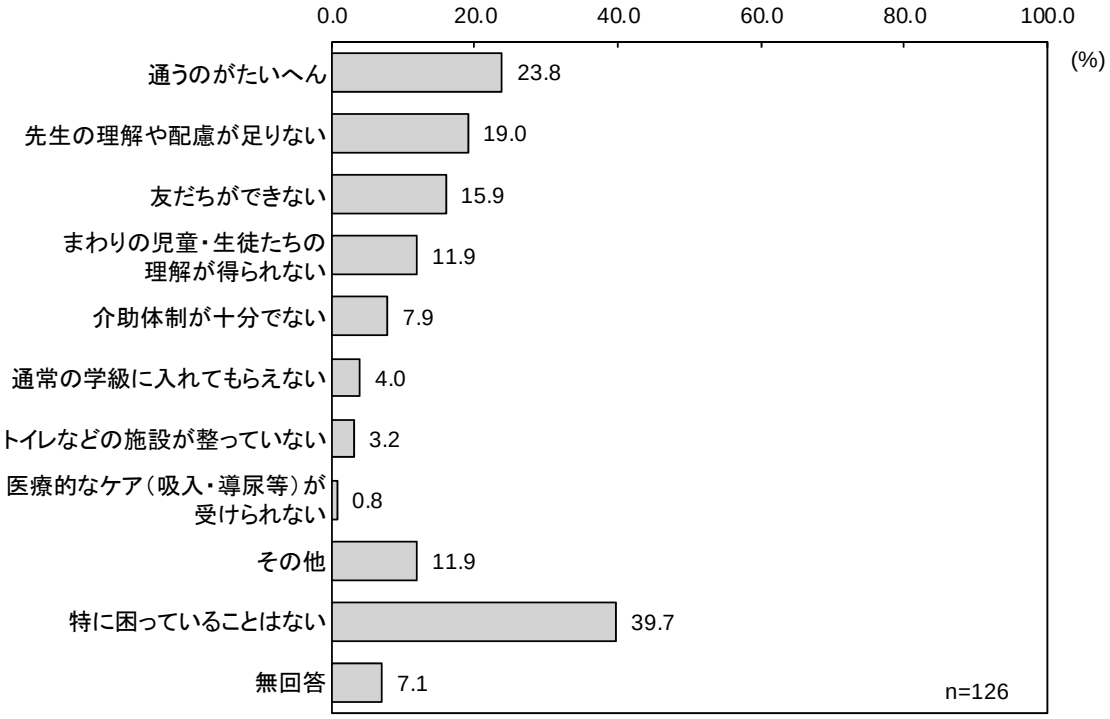
（%）

	n=	幼稚園、保育園	小学校、中学校、高校（通常の学級）	小学校、中学校（通常の学級のほか通級指導学級または特別支援教室を利用）	小学校、中学校、高校（固定制の特別支援学級）	小学校、中学校、高校（特別支援学校）	大学、専門学校	その他	無回答
TOTAL	126	36.5	8.7	6.3	19.0	24.6	0.0	1.6	3.2
0-5 歳	44	93.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	2.3
6-12 歳	60	6.7	15.0	10.0	35.0	28.3	0.0	0.0	5.0
13-18 歳	20	0.0	10.0	5.0	15.0	70.0	0.0	0.0	0.0
無回答	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 19　幼稚園・学校などに通っていて困っていることはありますか。（○はいくつでも）

39.7%が「特に困っていることはない」と回答しているが、学校生活で困っていることとして、23.8%が「通うのがたいへん」と回答しており、最も高い。次いで、「先生の理解や配慮が足りない」（19.0%）、「友だちができない」（15.9%）と続いている。「その他」（11.9%）として、・・・との記述があった。

整理中



問 20　お子さま、またご家族（介護やお世話をしている方）は、学童クラブを利用していますか。（○は１つ）

＜回答対象者：6 歳以上 12 歳以下＞

学童クラブを「利用している」が 20.8%、「利用していない」が 75.5%である。

※0.0 は非表示

<Ⅱ　6　児童調査>

問 21　学童クラブの利用について、困ることはありますか。（○はいくつでも）

<回答対象者：6 歳以上 12 歳以下の学童クラブ利用者>

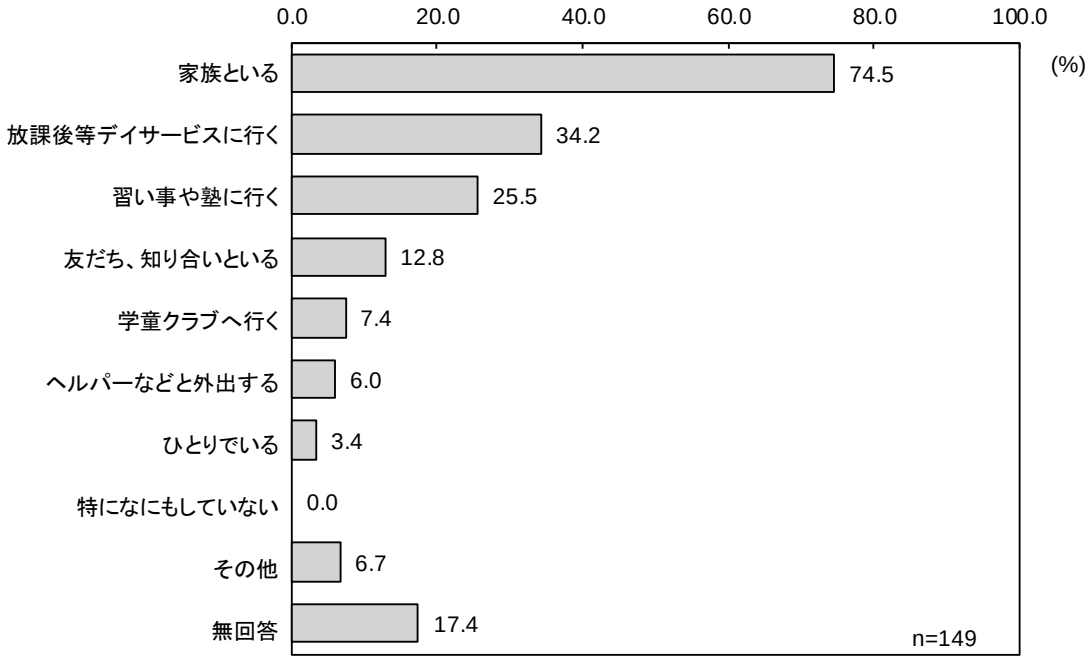
学童クラブの利用で困っていることとしては、「終わりが遅くとも午後 6 時までと限られる」、「学校休業日は、始まりが午前 8 時 30 分からと限られる」がそれぞれ 18.2%である。「その他」（36.4%）として、・・・との記述があった。　**整理中**

（%）

n=	終わりが遅くとも午後６時までと限られる	学校休業日は、始まりが午前８時 30 分からと限られる	土曜日の利用には条件がある	費用が高い	その他	無回答
11	18.2	18.2	0.0	0.0	36.4	45.5

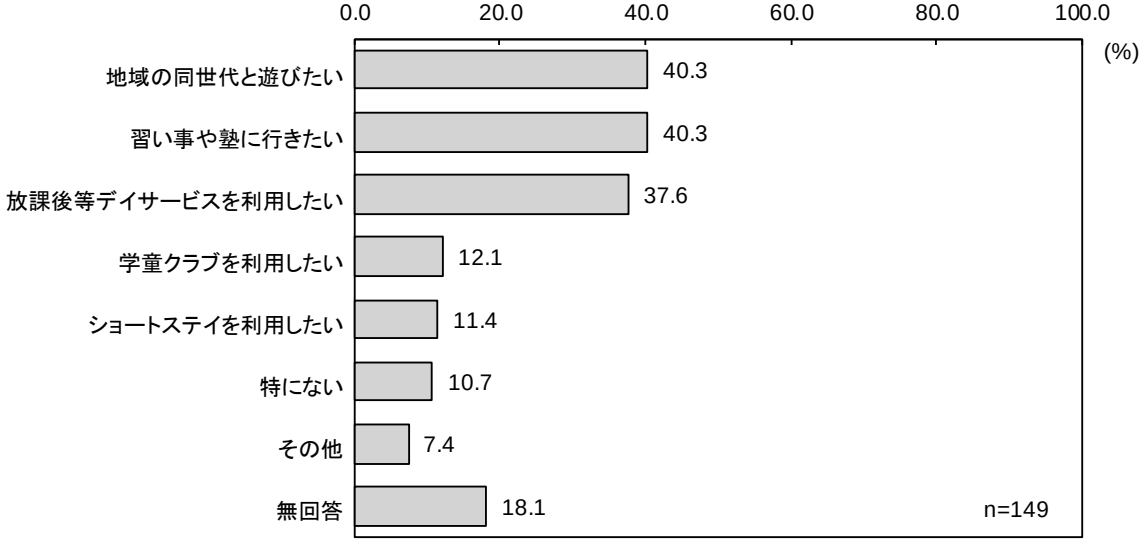
問 22　お子さまは、放課後や長期休暇中（夏休み）など、幼稚園や保育園、学校などにいる以外の時間は、どのように過ごしていますか。（○はいくつでも）

放課後や長期休暇の過ごし方は、「家族といる」が 74.5%で最も高く、次いで「放課後等デイサービスに行く」（34.2%）、「習い事や塾に行く」（25.5%）と続いている。



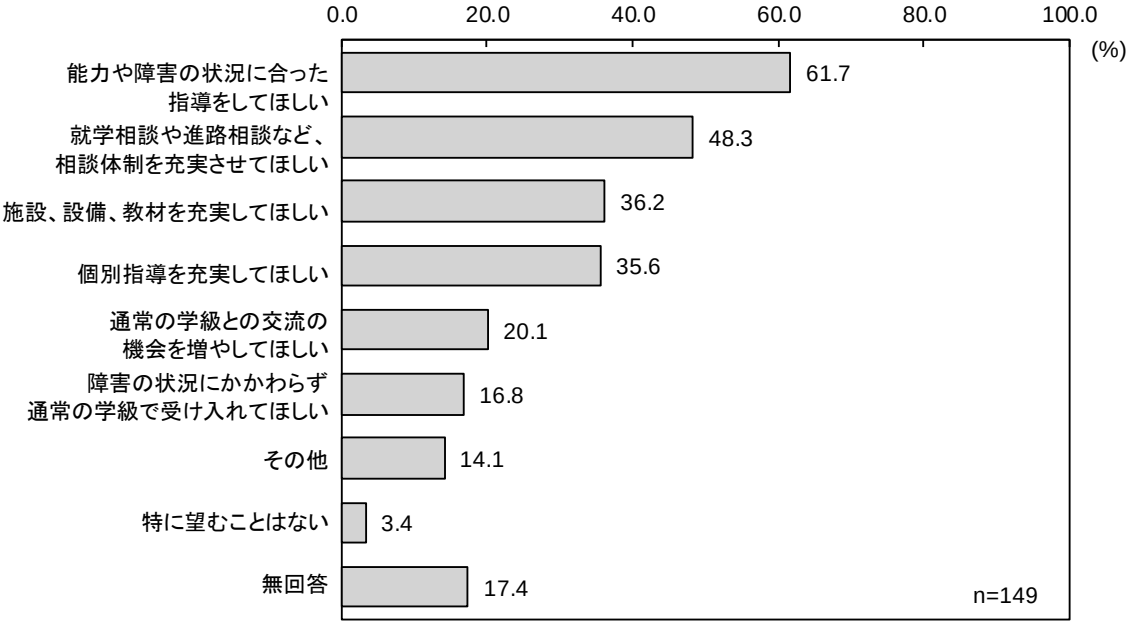
問 23　放課後や長期休暇中（夏休み）など、幼稚園や保育園、学校などにいる以外の時間は、どのように過ごすことを希望していますか。（○はいくつでも）

希望する長期休暇中の過ごし方としては、「地域の同世代と遊びたい」、「習い事や塾に行きたい」がそれぞれ 40.3%で最も高く、次いで、「放課後等デイサービスを利用したい」が 37.6%で続いている。



問 24　ご家族（介護やお世話をしている方）として、学校教育に望むことはどのようなことですか。（○はいくつでも）

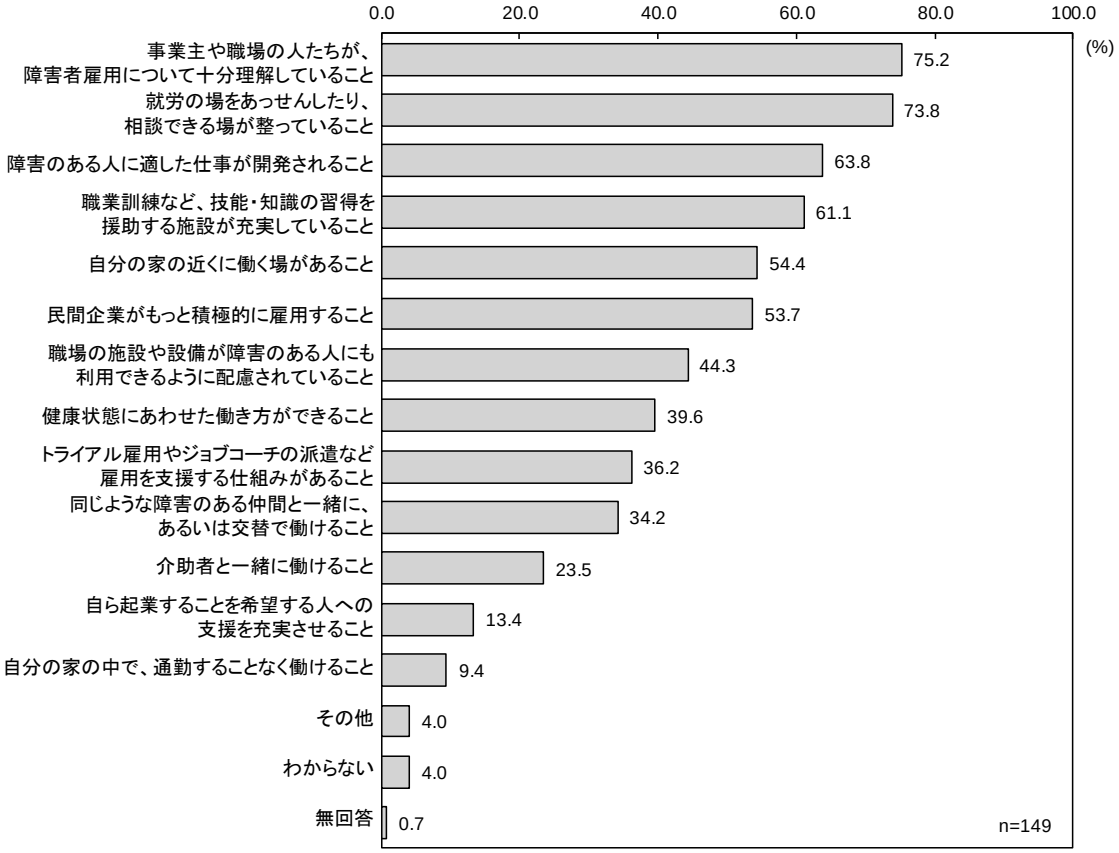
学校教育に望むこととして、「能力や障害の状況に合った指導をしてほしい」が 61.7%で最も高く、次いで、「就学相談や進路相談など、相談体制を充実してほしい」（48.3%）、「施設、設備、教材を充実してほしい」が 36.2%で続く。



（7）雇用・就労について

問 25　ご家族（介護やお世話をしている方）として、お子さまが今後社会に出たときに、働くためにはどのような環境が整っていることが大切だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

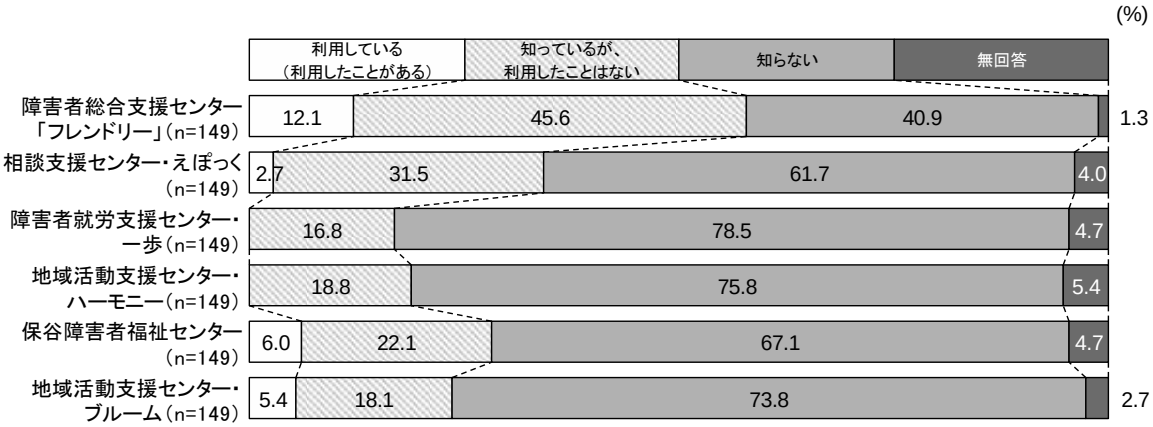
障害のある人が働くために整っていることが大切と思うこととして、「事業主や職場の人たちが、障害者雇用について十分理解していること」が 75.2%で最も高く、次いで「就労の場をあっせんしたり、相談できる場が整っていること」が 73.8%、「障害のある人に適した仕事が開発されること」が 63.8%で続く。



（8）障害者施設・施策について

問 26　お子さま、またはご家族（介護やお世話をしている方）は、西東京市の障害者総合支援センター「フレンドリー」を知っていますか。（○は１つ）
問 27　お子さま、またはご家族（介護やお世話をしている方）は、西東京市にある次の施設を利用したことがありますか。また、知っていますか。（○は１つ）

市内施設を利用したことがある人は、障害者総合支援センター「フレンドリー」が 12.1%、相談支援センター・えぽっくが 2.7%、保谷障害者福祉センターが 6.0%、地域活動支援センター・ブルームが 5.4%である。「知っているが、利用したことがない」施設として、障害者就労支援センター・一歩が 16.8%、地域活動支援センター・ハーモニーが 18.8%である。



※0.0 は非表示

問 28　お子さま、またはご家族（介護やお世話をしている方）は、次の講座や事業等を知っていますか。（○はいくつでも）

市開催の講座や事業等の認知状況は、以下の通りである。

（%）

n=	サポーター養成講座	ヘルプカード	スポーツ支援事業	障害者水泳教室	講座や事業等は知らない	無回答
149	28.2	64.4	18.1	33.6	28.2	3.4

<Ⅱ　6　児童調査>

（9）相談や情報入手方法

問 29　お子さま、またご家族（介護やお世話をしている方）は、悩みごとや心配ごとがあるとき、家族や親せき以外に、どのようなところに相談していますか。（○はいくつでも）

家族や親せき以外の相談先としては、「幼稚園・保育園・学校の先生や職場の仲間」をあげる人が 61.7%と最も高く、次いで「病院・診療所」（48.3%）、「友人・知人」（47.7%）と続いている。一方で、2.7%が「相談できるところは特にない」と回答している。「その他」（26.2%）として、・・・との記述があった。　**整理中**

（%）

n=	幼稚園・保育園・学校の先生や職場の仲間	病院・診療所	友人・知人	市役所の福祉相談窓口	福祉施設や作業所の職員	地域活動支援センター・ブルーム	児童相談所	保健師	障害者団体	相談支援センター・えぽっく
149	61.7	48.3	47.7	16.1	8.7	4.0	4.0	3.4	3.4	2.7
	保谷障害者福祉センター	**生活保護の担当職員**	**障害者就労支援センター・一歩**	**地域活動支援センター・ハーモニー**	**民生委員・児童委員**	**社会福祉協議会の職員**	**その他**	**誰かに相談することはまれである**	**相談できるところは特にない**	**無回答**
	1.3	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	26.2	8.1	2.7	1.3

問 30　相談できるところは特にないと回答した理由は何ですか。（○はいくつでも）

<回答対象者：「相談できるところは特にない」と回答した人>

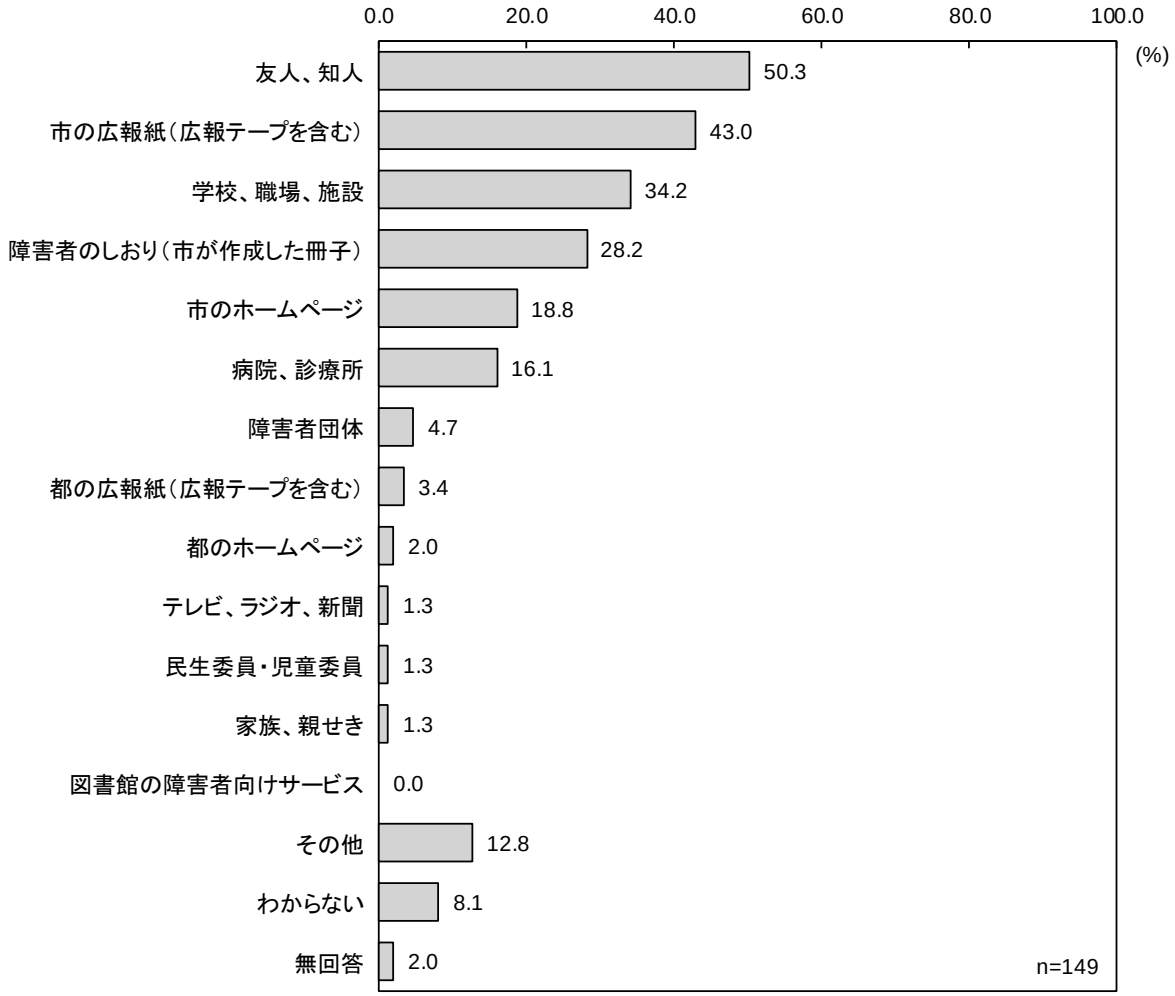
「相談できるところは特にない」と回答した 4 人のうち 2 人は、「どこに相談したらよいかわからないから」（50.0%）と回答している。

（%）

n=	相談するほどでもない・必要がない	相談したくないから	どこに相談したらよいかわからないから	その他
4	25.0	0.0	50.0	25.0

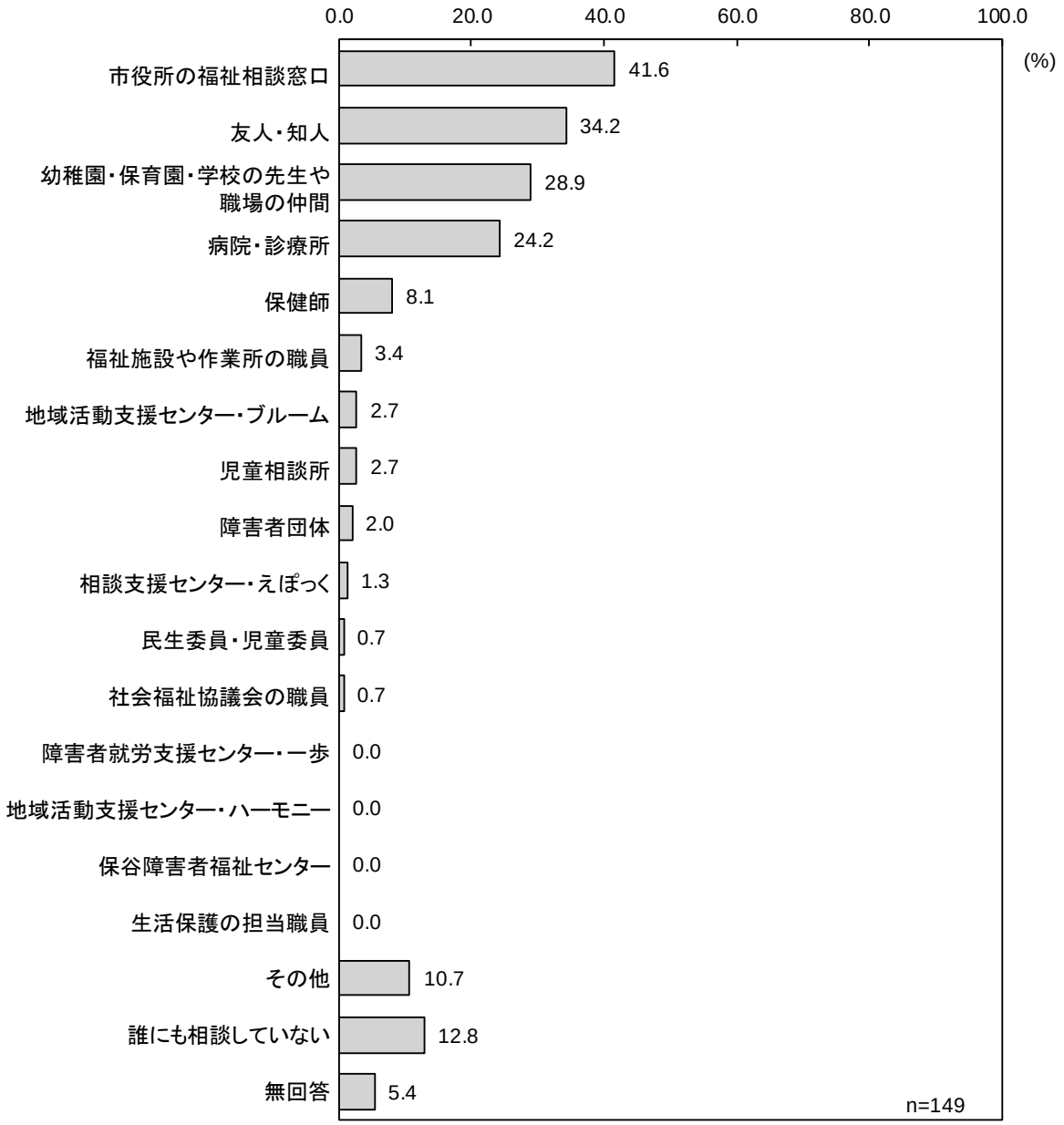
問 31　お子さま、またご家族（介護やお世話をしている方）は、障害福祉サービスなどの情報を主にどこから得ていますか。（○はいくつでも）

情報の入手先として、「友人・知人」が 50.3%で最も高く、次いで、「市の広報紙（広報テープを含む）」（43.0%）、「学校、職場、施設」（34.2%）と続いている。情報入手先が「わからない」と回答した人は 8.1%である。



問 32　ご家族（介護やお世話をしている方）は、障害福祉サービスを利用するときにどなたかに相談しましたか。（○はいくつでも）

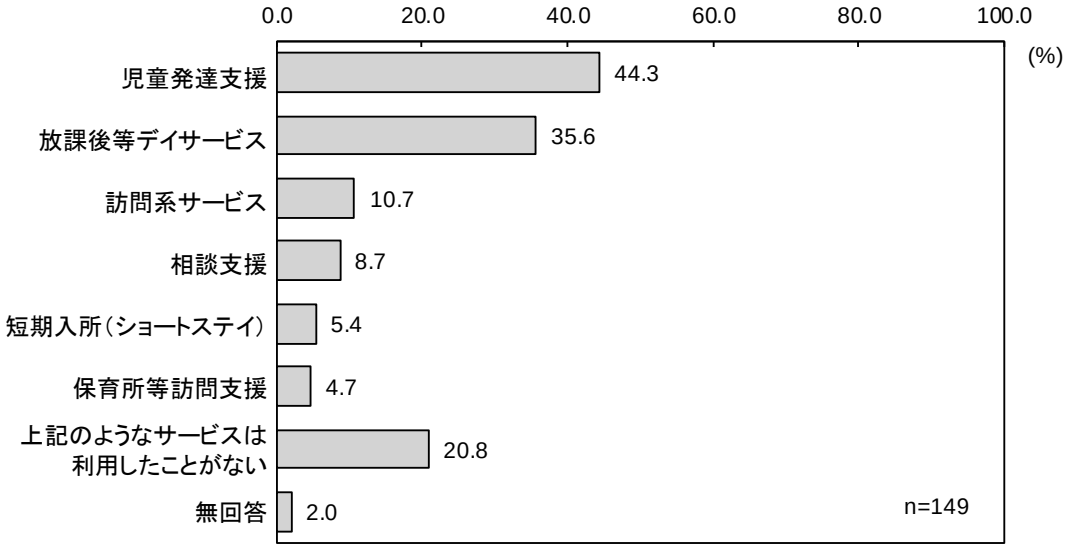
障害福祉サービスを利用する際の相談先として、「市の福祉相談窓口」が 41.6%で最も高く、次いで、「友人・知人」（34.2%）、「幼稚園・保育園・学校の先生や職場の仲間」（28.9%）と続いている。「誰にも相談していない」と回答した人は 12.8%である。



（10）福祉サービス認知・利用状況

問 33　お子さま、またご家族（介護やお世話をしている方）は、次のような障害福祉サービスを過去１年の間に利用したことがありますか。利用したことがあるサービスに○をつけてください。（○はいくつでも）

以下の障害福祉サービスのうち、過去 1 年間での利用経験が最も高いのは、「児童発達支援」で 44.3%である。次いで、「放課後等デイサービス」（35.6%）、「訪問系サービス」（10.7%）が続く。



【児童発達支援を利用した方にお聞きします】

問 33（付問）児童発達支援において作成される「個別支援計画」は、保育園にも共有されていると思いますか。（○は１つ）

＜回答対象者：児童発達支援利用経験者＞

28.8%が保育園に「共有されている」と思うと回答している。

（%）

n=	共有されている	共有されていない	わからない	保育園は利用していない	無回答
66	28.8	4.5	24.2	37.9	4.5

問 34　サービスに対する、感想やご意見があれば自由にご記入ください。（自由記述）
※サービス名、利用の際に困っていること、サービス利用で改善してほしい点など。

＜回答対象者：何らかの障害福祉サービス利用経験者＞

整理中

<＜Ⅱ　6　児童調査＞

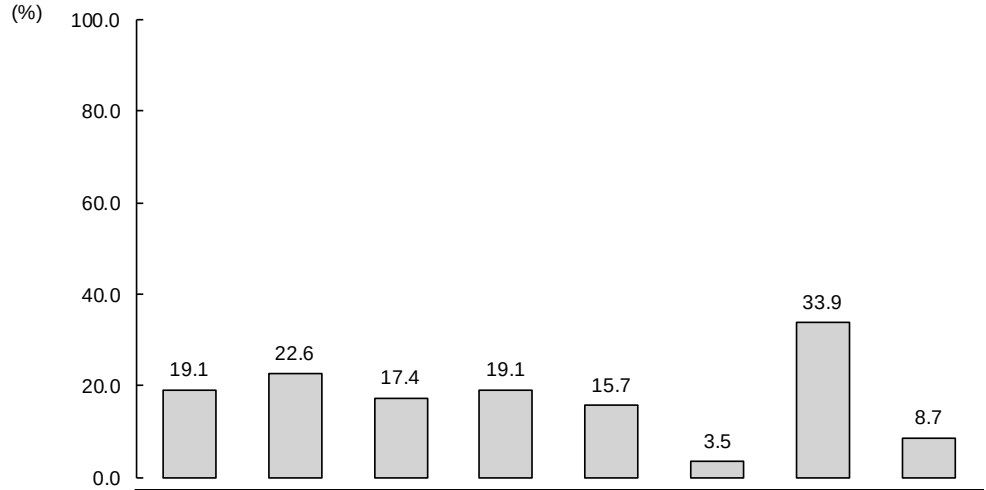
問 35　お子さま、またご家族（介護やお世話をしている方）が、「十分利用できていない」と思うサービスはどのサービスですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

＜回答対象者：何らかの障害福祉サービス利用経験者＞

サービス利用経験者の 33.9%が「必要なサービスを利用できている」と回答しているが、「十分利用できていない」と思うサービスでは、「短期入所（ショートステイ）」が 22.6%で最も高く、次いで、「訪問系サービス」、「児童発達支援」をあげる人がそれぞれ 19.1%いる。

利用したことがあるサービス別に十分利用できていないサービスをみると、訪問系サービス利用者の 43.8%、放課後等デイサービス利用者の 35.8%の人が「短期入所（ショートステイ）」をあげている。

＜利用したことがあるサービス別・十分利用できていないサービス＞



利用したことがあるサービス〉	n=	訪問系サービス	短期入所（ショートステイ）	相談支援	児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	必要なサービスを利用できている	無回答
TOTAL	115	19.1	22.6	17.4	19.1	15.7	3.5	33.9	8.7
訪問系サービス	16	56.3	43.8	12.5	0.0	25.0	0.0	18.8	6.3
短期入所（ショートステイ）	8	62.5	37.5	12.5	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0
相談支援	13	38.5	38.5	0.0	7.7	30.8	0.0	30.8	0.0
児童発達支援	66	9.1	10.6	12.1	21.2	7.6	3.0	45.5	9.1
放課後等デイサービス	53	26.4	35.8	24.5	18.9	20.8	5.7	24.5	9.4
保育所等訪問支援	7	0.0	0.0	28.6	14.3	0.0	0.0	42.9	14.3

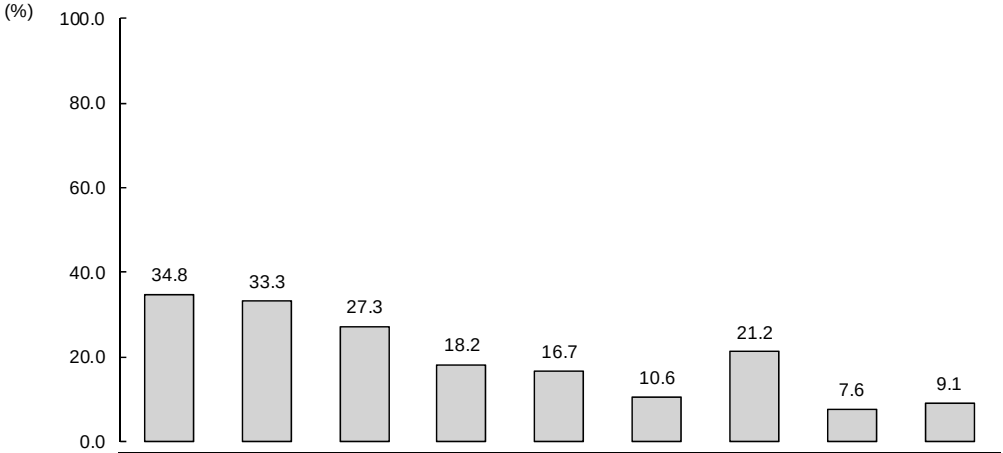
問 36　必要だと思うサービスを、十分、利用できていない理由は何ですか。（○はいくつでも）

<回答対象者：障害福祉サービスを十分利用できていないと感じている人>

利用サービスを「十分利用できていない」と感じている人に、理由をたずねたところ、「自分が利用したい時間や時期とあわないから」が 34.8%で最も高く、次いで、「サービス利用に予約が必要で、いつも予約がいっぱいだから」（33.3%）、「使いたいサービスの定員がいっぱいだから」（27.3%）が続く。「その他」（21.2%）として、・・・との記述があった。　**整理中**

十分利用できていないと思うサービス別にみると、「自分が利用したい時間や時期とあわないから」との回答は、短期入所（ショートステイ）で 42.3%、相談支援で 45.0%、放課後等デイサービスで 55.6%である。「サービス利用に予約が必要で、いつも予約がいっぱいだから」との回答は、短期入所（ショートステイ）で 57.7%、相談支援で 50.0%である。

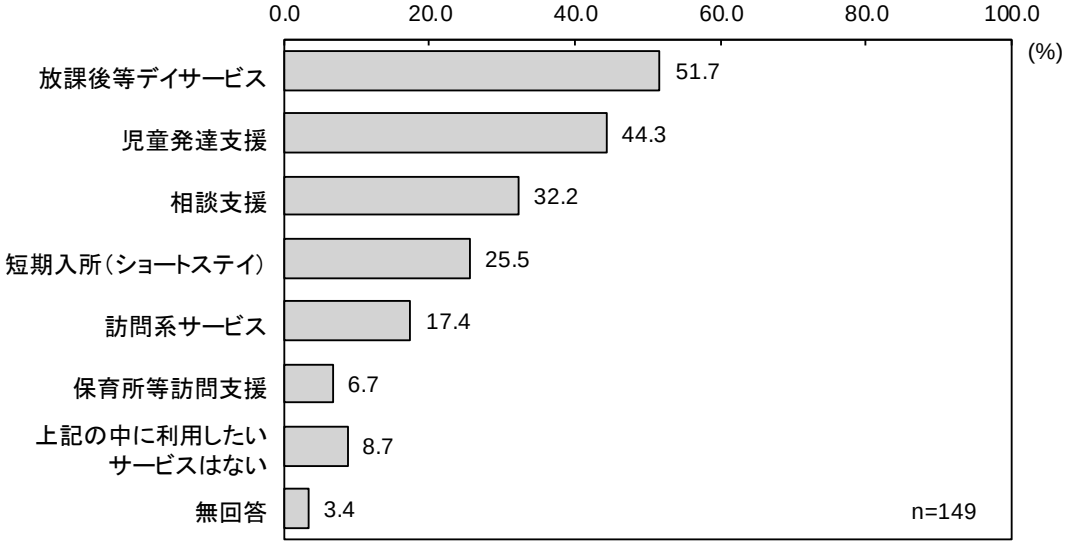
<十分利用できていないと思うサービス別・十分利用できていない理由>



十分利用できていないと思うサービス	n=	自分が利用したい時間や時期とあわないから	サービス利用に予約が必要で、いつも予約がいっぱいだから	使いたいサービスの定員がいっぱいだから	通うのが大変だから	支給量が足りないから	自己負担が大きく、利用できないから	その他	わからない	無回答
TOTAL	66	34.8	33.3	27.3	18.2	16.7	10.6	21.2	7.6	9.1
訪問系サービス	22	31.8	36.4	27.3	9.1	22.7	9.1	31.8	9.1	0.0
短期入所（ショートステイ）	26	42.3	57.7	42.3	11.5	19.2	11.5	26.9	3.8	3.8
相談支援	20	45.0	50.0	30.0	15.0	5.0	25.0	25.0	10.0	5.0
児童発達支援	22	22.7	18.2	31.8	31.8	18.2	13.6	22.7	4.5	13.6
放課後等デイサービス	18	55.6	38.9	44.4	27.8	27.8	16.7	22.2	5.6	5.6
保育所等訪問支援	4	25.0	25.0	50.0	25.0	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0

問 37　お子さま、またご家族（介護やお世話をしている方）は、今後、どのようなサービスを引き続き、あるいは新たに利用したいと思いますか。（○はいくつでも）

引き続き、あるいは新たに利用したいサービスは、「放課後等デイサービス」が 51.7%、「児童発達支援」が 44.3%、「相談支援」が 32.2%である。

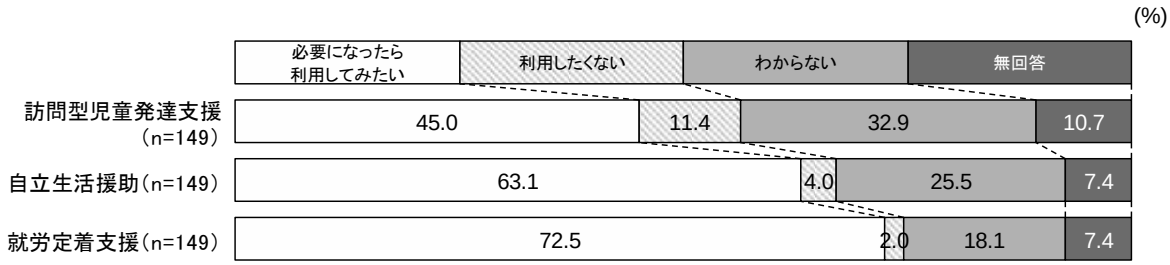


問 38　お子さま、またご家族（介護やお世話をしている方）は、どのような情報提供や相談先が必要ですか。また、サービスを利用するためにあるとよい支援はどのようなものですか。（自由記述）

整理中

問 39　障害者総合支援法の改正により、新たに導入される次のようなサービスをお子さま、またご家族（介護やお世話をしている方）は、利用してみたいと思いますか。　※平成 30 年 4 月から創設される予定の新しいサービスです。サービスの詳細は変更する可能性もあります。

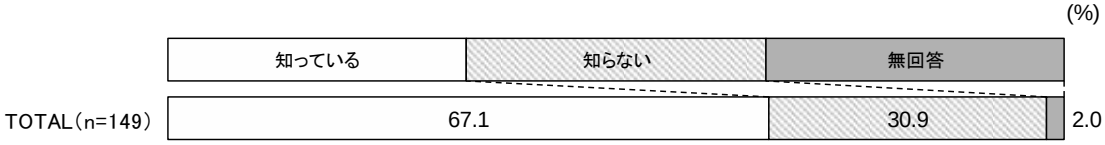
平成 30 年 4 月から導入予定のサービスの利用意向について、「必要になったら利用してみたい」と考えるサービスは、「訪問型児童発達支援」が 45.0%、「自立生活援助」が 63.1%、「就労定着支援」が 72.5%である。



（11）災害対策について

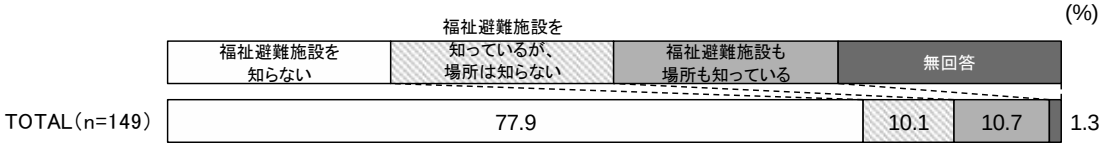
問 40　お子さま、またご家族（介護やお世話をしている方）は、お住まいの地域の避難所を知っていますか。（○は１つ）

地域の避難場所を「知っている」人は 67.1%である。



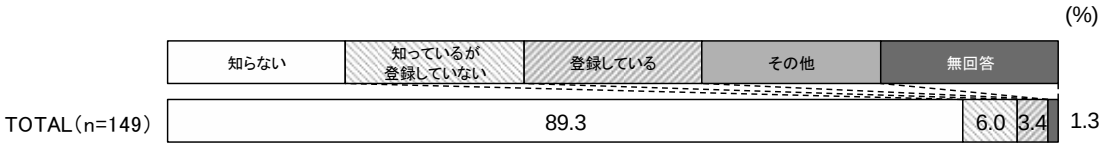
問 41　福祉避難施設とは、自宅や避難施設で生活している高齢者や障害者の方等に対し、状況に応じて介護等の必要なサービスを提供する社会福祉施設等のことです。西東京市には障害者総合支援センター「フレンドリー」をはじめ、約 30 ヶ所の福祉避難施設があります。あなたは、西東京市にある福祉避難施設を知っていますか。（○は１つ）

福祉避難施設については、77.9%が「知らない」と回答している。「福祉避難施設も場所も知っている」人は 10.7%である。



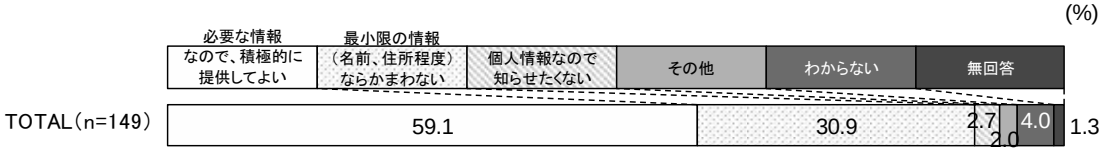
問 42　お子さま、またご家族（介護やお世話をしている方）は、災害時要援護者登録を知っていますか。（○は１つ）

災害時要援護者登録については、89.3%が「知らない」と回答している。



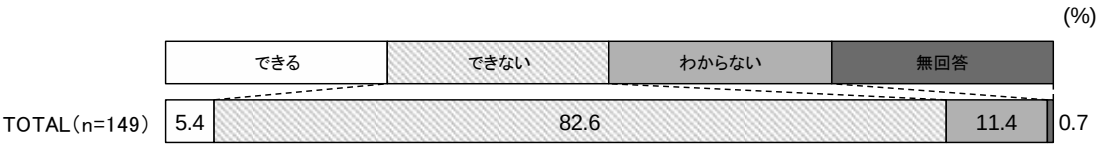
問 43　災害時に行政や地域などから支援を受けるため、あらかじめ個人情報（名前、住所、世帯の状況、障害の状況、緊急連絡先等）を市に提供することについて、どう思いますか。（○は１つ）

災害時の支援を受けるために個人情報を提供することについては、「必要な情報なので、積極的に提供してよい」が 59.1%、「最小限の（名前、住所程度）ならかまわない」が 30.9%である。



問 44　お子さまは、地震や台風などの災害時にひとりで避難できますか。（○は１つ）

災害時にひとりで避難が「できる」人は 5.4%、「できない」人は 82.6%である。



問 45　地震や台風などの災害が起こった際に、お子さま、またご家族（介護やお世話をしている方）の不安は何ですか。（○はいくつでも）

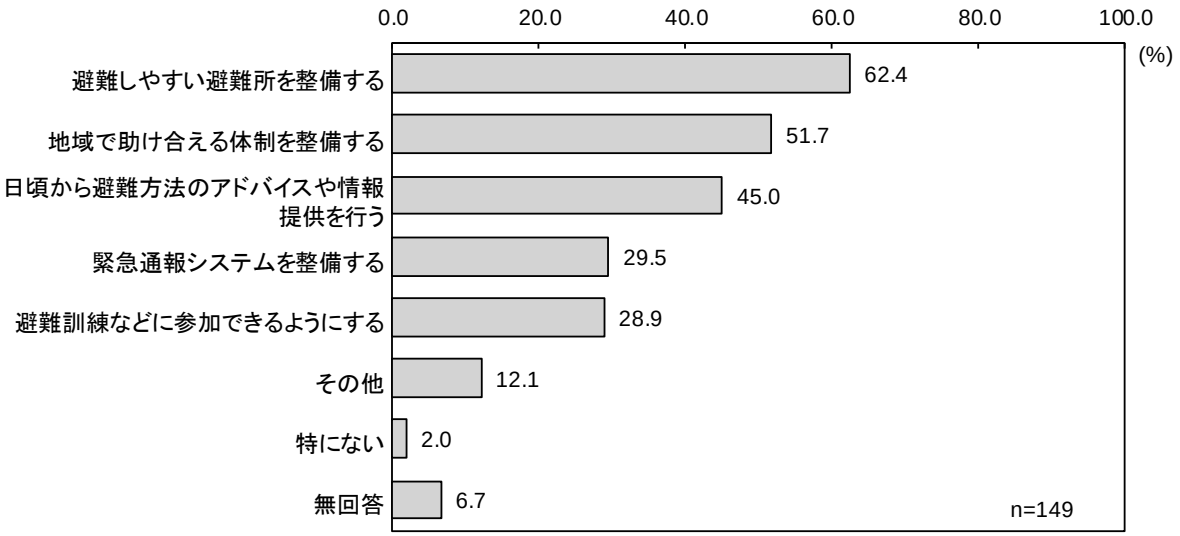
地震や台風などの災害が起こった際の不安としては、「避難先での不安」が 79.9%で最も高く、次いで「避難する際の不安」（64.4%）、「災害の状況が伝わってこない場合の不安」（43.6%）が続く。「その他」（18.1%）として、・・・との記述があった。　**整理中**

（%）

n=	災害の状況が伝わってこない場合の不安	避難する際の不安	避難先での不安	その他	特にない	わからない	無回答
149	43.6	64.4	79.9	18.1	2.7	1.3	4.0

問 46　災害に備えて、または災害時に、どのような対策が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

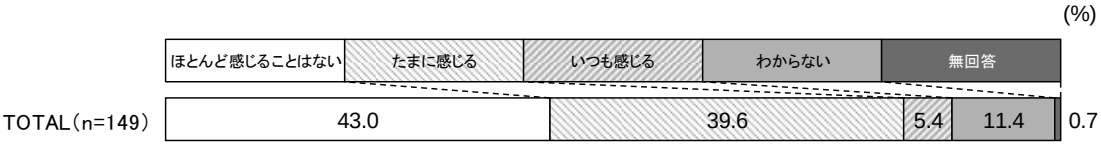
必要な災害対策としては、「避難しやすい避難所を整備する」ことをあげる人が 62.4%で最も高い。「その他」（12.1%）として、・・・との記述があった。　**整理中**



（12）障害・障害者への理解

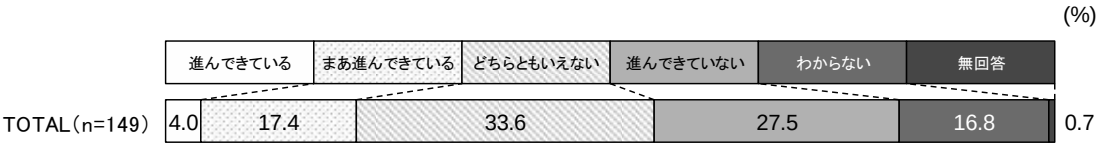
問 51　お子さまやご家族（介護やお世話をしている方）は、お子さまに障害があることで、差別や人権侵害、虐待を受けていると感じることがありますか。（○は１つ）

差別や人権侵害、虐待については、43.0%の人は「ほとんど感じることはない」が、5.4%は「いつも感じる」、39.6%は「たまに感じる」と回答している



問 52　お子さまやご家族（介護やお世話をしている方）は、障害や障害のある方々に対する市民の理解は進んできていると思いますか。（○は１つ）

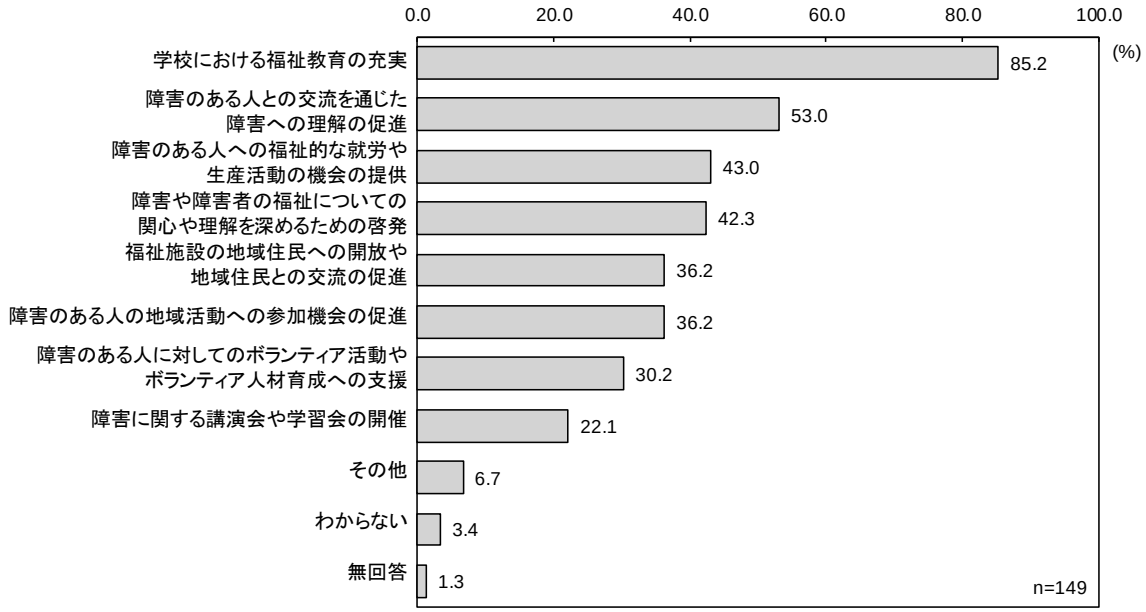
障害や障害のある人に対する市民の理解が「進んできている」と考えている人は 4.0%、「まあ進んできている」（17.4%）をあわせると、21.4%の人は市民の理解が進んできていると感じている。一方で、「進んできていない」と考えている人は 27.5%である。



《 問 53 から問 59 はご家族（介護やお世話をしている方）の立場でお答えください。》

問 53　障害や障害のある市民への理解を深めるためには、何が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

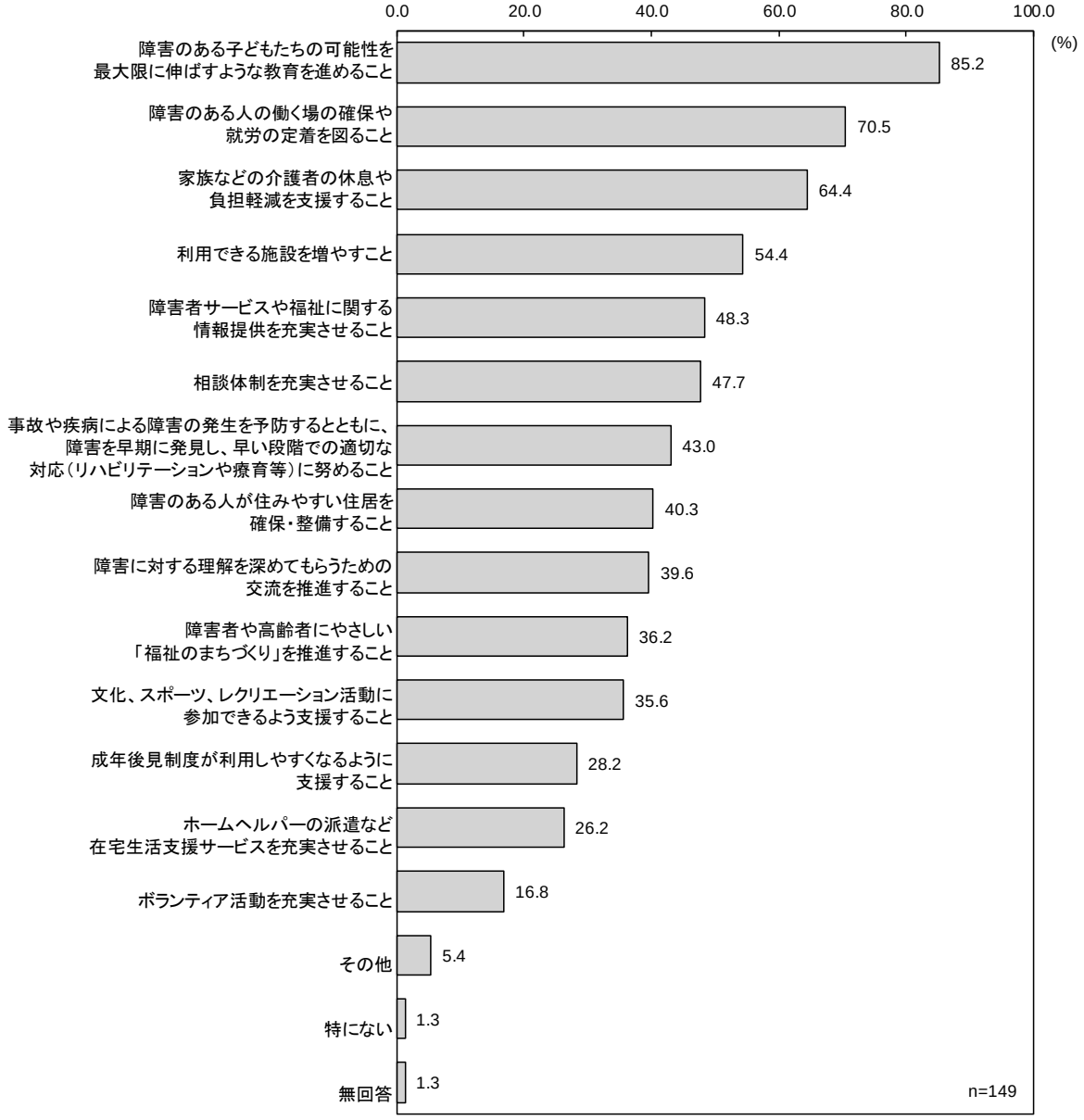
障害や障害のある人への理解に必要なこととして、「学校における福祉教育の充実」が 85.2%で最も高く、次いで「障害のある人との交流を通じた障害への理解の促進」（53.0%）、「障害のある人への福祉的な就労や生産活動の機会の提供」（43.0%）が続いている。



（13）障害者施策、市への要望等

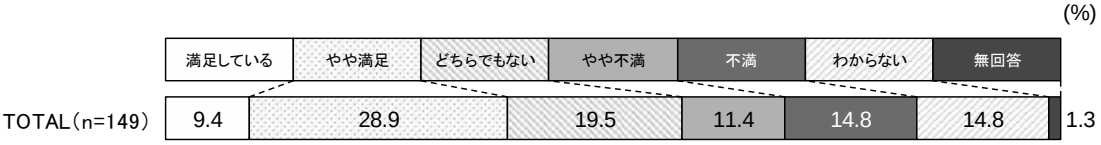
問 54　今後、障害者施策を進めていくにあたって、市は特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。（○はいくつでも）

今後、市が充実させていくべき障害者施策としては、「障害のある子どもたちの可能性を最大限に伸ばすような教育を進めること」が 85.2%と最も高く、次いで「障害のある人の働く場の確保や就労の定着を図ること」が 70.5%、「家族などの介護者の休息や負担軽減を支援すること」が 64.4%で続いている。



問 55　問 54 のような西東京市の障害者施策全般について、総合的に満足していますか。（○は１つ）

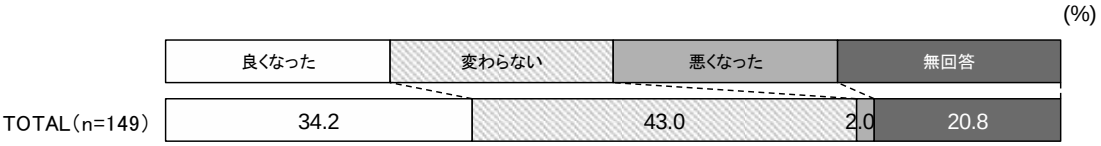
西東京市の障害者施策全般について、「満足している」人は 9.4%で、「やや満足」（28.9%）とあわせると、38.3%の人は満足していると感じている。



※0.0 は非表示

問 56　約５年前（平成 24 年）と比べて、障害者のサービスはどのように変わったと思いますか。（○は１つ）

５年前（平成 24 年）と比べて障害者サービスは「変わらない」（43.0%）と感じている人が多いが、「良くなった」が 34.2%で「悪くなった」（2.0%）を上回っている。

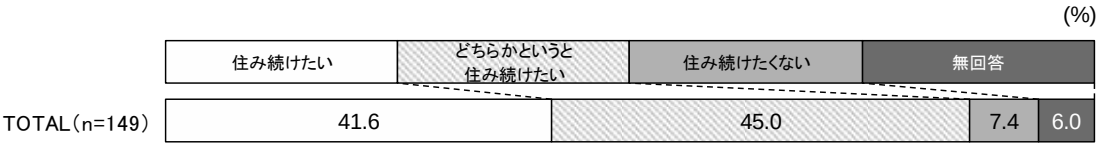


問 57　そのようにお答えになったのは、どのような理由からですか。（自由記述）

整理中

問 58　お子さま、またはご家族（介護やお世話をしている方）は、今後も西東京市に住み続けたいと思いますか。（○は１つ）

41.6%の人が今後も西東京市に「住み続けたい」と回答している。



問 59　最後に、この調査を通じて、選択肢や自由記述欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望などがありましたら、自由にお書きください。（自由記述）

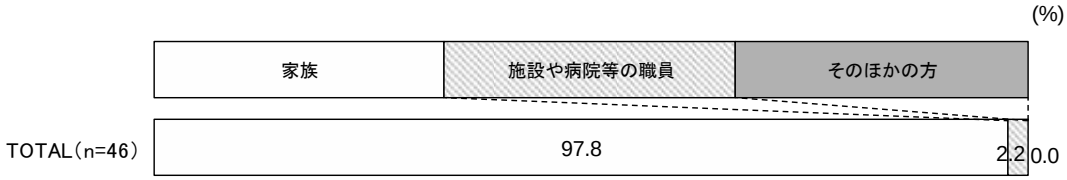
整理中

7　特別支援教室・通級指導学級

（1）基本的な属性

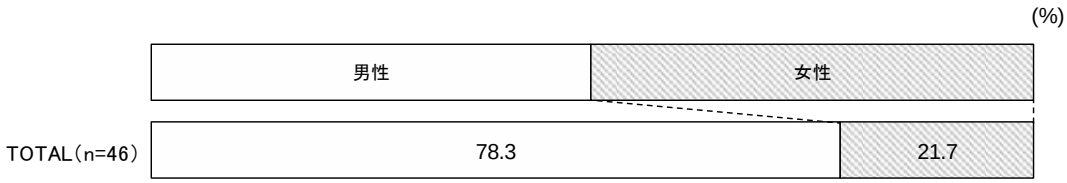
問1　この用紙（調査票）に記入されるはどなたですか。（○は1つ）

調査票記入者は「家族」が 97.8%。

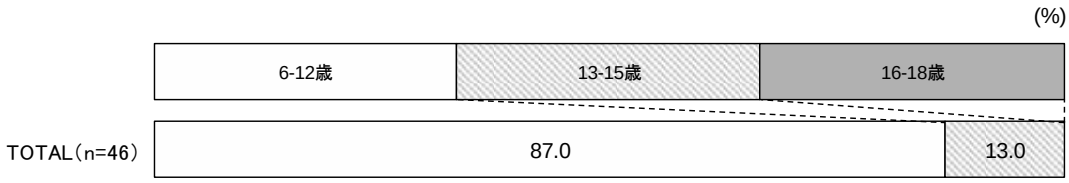


問2　お子さまの性別を答えくだい。（○は1つ）
問3　お子さまの年齢（8月1日現在）を記入してください。

性別は、男性が 78.3%、女性が 21.7%。

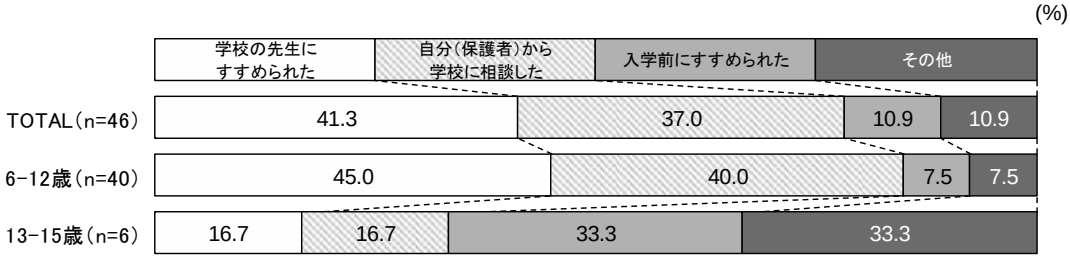


年齢は、6-12 歳が 87.0%で平均年齢は 9.7 歳。



問4　お子さまが特別支援教室(L 教室・教室・S 教室)、通級指導学に通うようになった主なきっかけをお答えください。（○は1つ）

特別支援教室(L 教室・教室・S 教室)、通級指導学に通うようになった主なきっかけは、「学校の先生にすすめられた」が 41.3%、「自分（保護者）から学校に相談した」が 37.0%、「入学前にすすめられた」が 10.9%である。



（2）障害状況

問5　次のうち、お子さまにあてはまるものに○をつけてください。（○はいくつでも）

障害状況について、「あてはまるものはない」が 58.7%だが、41.3%が「発達障害と診断されたことがある」と回答している。

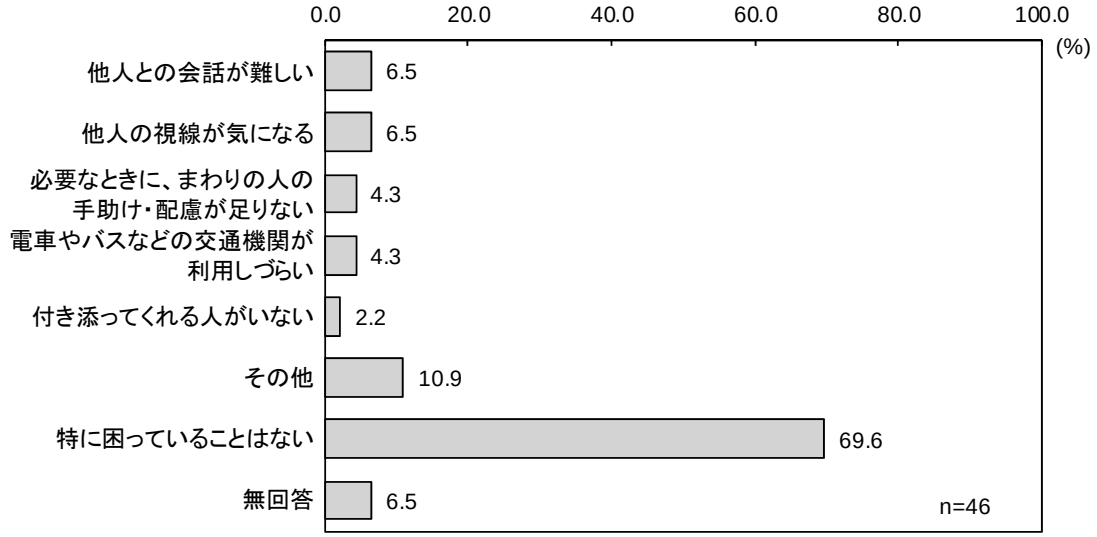
（%）

	n=	身体障害者手帳を持っている	愛の手帳（療育手帳）を持っている	精神障害者保健福祉手帳を持っている	国または東京都が指定する難病医療費等助成対象疾病を患っている	高次脳機能障害と診断されたことがある	発達障害と診断されたことがある	あてはまるものはない
TOTAL	46	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	41.3	58.7
6－12 歳	40	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	60.0
13－15 歳	6	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	50.0	50.0

（3）外出の状況・社会参加状況

問6　お子さまが、外出の際に困っていると思われることはありますか。（○はいくつでも）

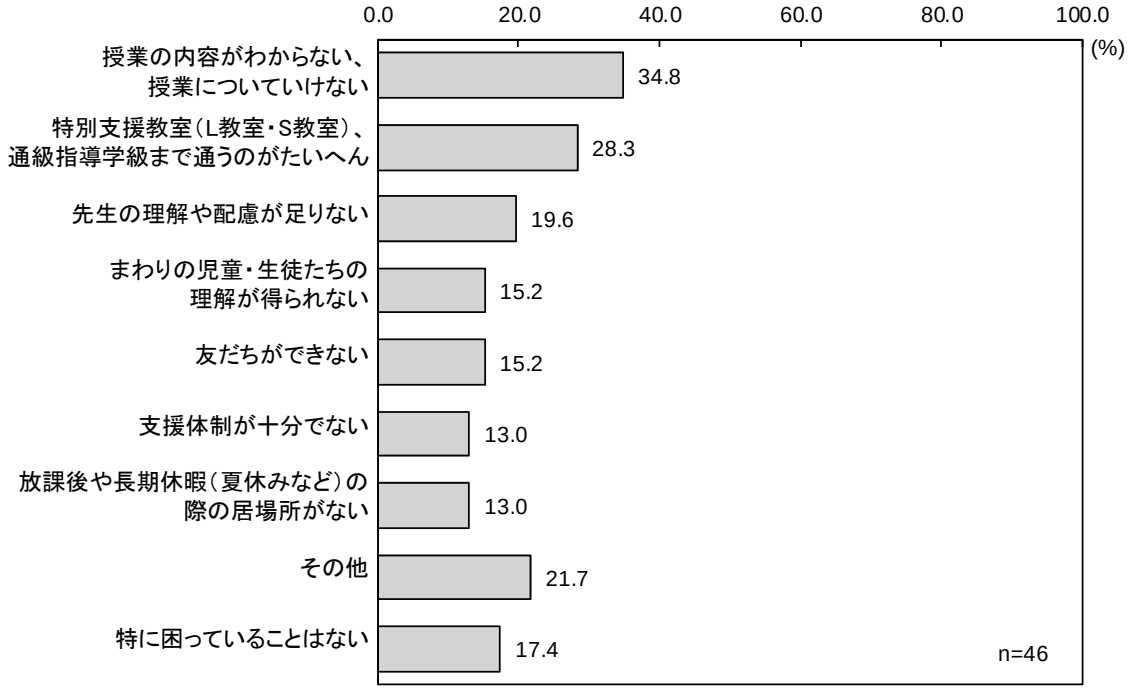
「特に困っていることはない」が 69.6%だが、外出の際困っていることとしては、「他人との会話が難しい」、「他人の視線が気になる」がそれぞれ 6.5%である。



（4）通園・通学等について

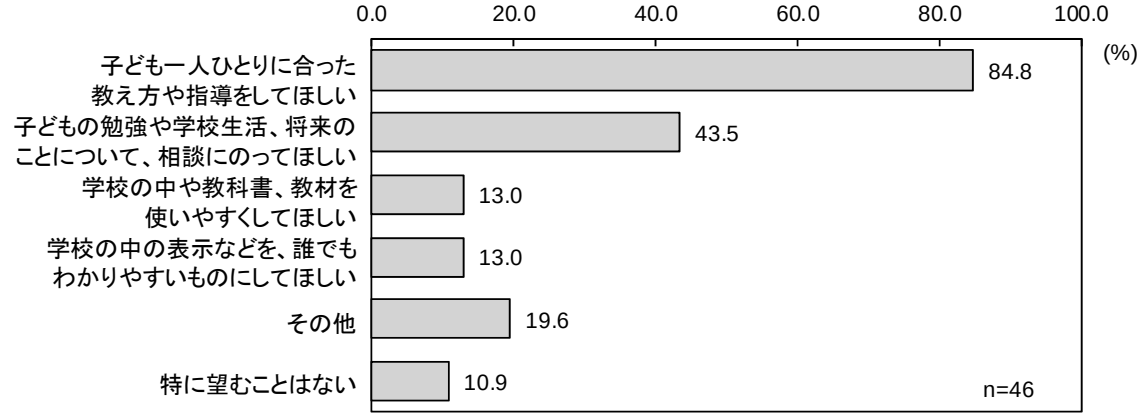
問7　学校生活の中で、お子さんが困っていると思われることはありますか。（○はいくつでも）

学校生活で困っていることは、「授業の内容がわからない、授業についていけない」との回答が 34.8%で最も高い。次いで、「特別支援教室（L 教室・S 教室）、通級指導教室まで通うのが大変」（28.3%）、「先生の理解や配慮が足りない」（19.6%）が続く。「特に困っていることはない」との回答は 17.4%である。



問8　ご家族等（お世話等をしている方）として、学校教育に望むことはどのようなことですか。（○はいくつでも）

学校教育に望むこととしては、「子ども一人ひとりに合った教え方や指導をしてほし」との回答が84.8%で最も高い。次いで、「子どもの勉強や学校生活、将来のことについて、相談にのってほしい」が 43.5%である。「その他」（19.6%）として、・・・・・などの記述があった。　**整理中**

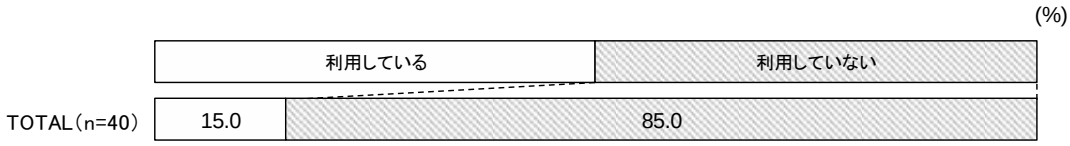


<Ⅱ　7　特別支援教室・通級指導学級調査>

問9　お子さまは、学童クラブを利用していますか。（○は１つ）

<回答対象者：6 歳以上 12 歳以下>

学童クラブを「利用している」が 15.0%、「利用していない」が 85.0%である。



問 10　学童クラブの利用について、困ることはありますか。（○はいくつでも）

<回答対象者：6 歳以上 12 歳以下の学童クラブ利用者>

学童クラブの利用で困っていることとしては、「学校休業日は、始まりが午前 8 時 30 分からと限られる」との回答が 50.0%で最も高い。6 人中 2 人は「終わりが遅くとも午後 6 時までと限られる」（33.3%）と回答しており、時間に関しての困りごとが上位になっている。

（%）

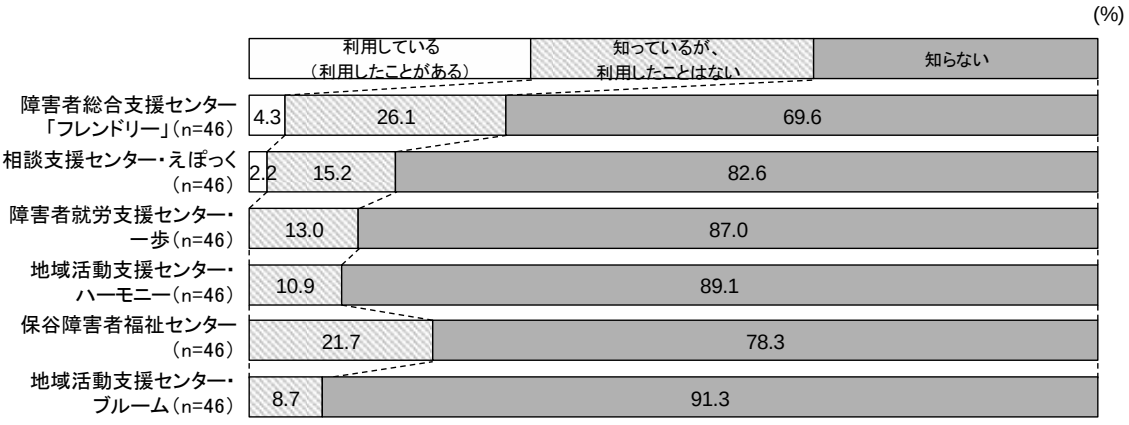
n=	終わりが遅くとも午後６時までと限られる	学校休業日は、始まりが午前８時 30 分からと限られる	土曜日の利用には条件がある	費用が高い	その他	無回答
6	33.3	50.0	0.0	16.7	0.0	33.3

（５）障害者施設・施策について

問 11　ご家族等（お世話等をしている方）は、西東京市の障害者総合支援センター「フレドリー」を知っていますか。（○は１つ）

問 12　お子さま、またはご家族等（お世話等をしている方）は、西東京市にある次の施設を知っていますか。また、利用したことがありますか。（○は１つ）

市内施設を利用したことがある人は、障害者総合支援センター「フレンドリー」が 4.3%、相談支援センター・えぽっくが 2.2%である。「知っているが利用したことがない」施設として、障害者就労支援センター・一歩が 13.0%、地域活動支援センター・ハーモニーが 10.9%、保谷障害者福祉センターが 21.7%、地域活動支援センター・ブルームが 8.7%である。



問 13　お子さま、またはご家族等（お世話等をしている方）は、次の講座や事業等を知っていますか。（○はいくつでも）

市開催の講座や事業等の認知状況は、以下の通りである。

（%）

n=	サポーター養成講座	ヘルプカード	スポーツ支援事業	障害者水泳教室	講座や事業等は知らない
46	19.6	39.1	19.6	28.3	56.5

（6）相談や情報入手方法

問 14　ご家族等（お世話等をしている方）は、お子さまの子育て等の悩みごとや心配ごとがあるとき、家族や親せき以外に、どのようなところへ相談していますか。（○はいくつでも）

家族や親せき以外の相談先としては、「学校の先生」をあげる人が 58.7%と最も高く、次いで「知人・友人」（50.0%）、「教育相談」（41.3%）と続いている。一方で、8.7%が「相談できるところは特にない」と回答している。

「その他」（15.2%）として、・・・との記述があった。　**整理中**

（%）

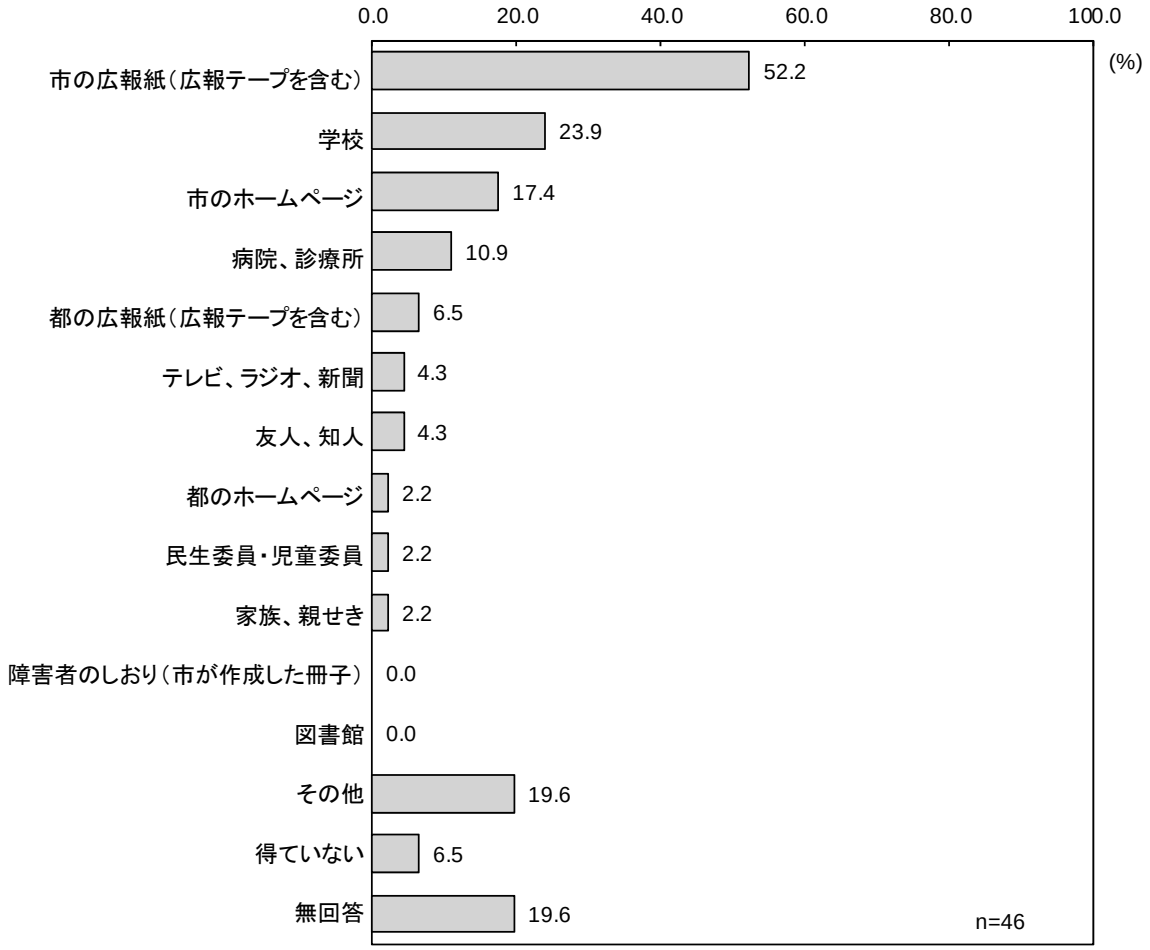
n=	学校の先生	友人・知人	教育相談	病院・診療所	こどもの発達センター・ひいらぎ	子ども家庭支援センター・のどか	児童相談所	相談支援センター・えぽっく
46	58.7	50.0	41.3	26.1	10.9	6.5	4.3	2.2
	家族会や障害者団体	市役所の福祉相談窓口	保健センター（保健師など）	民生委員・児童委員	社会福祉協議会の職員	その他	誰かに相談することはまれである	相談できるところは特にない
	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	15.2	4.3	8.7

問 15　ご家族等（お世話等をしている方）は、お子さまの子育て等の悩みごとや心配ごとを、家族や親せき以外に、どのようなところへ相談したいですか。また、相談するためには、どのような体制が整っているとよいと思いますか。（自由記述）

整理中

問 16　ご家族等（お世話等をしている方）は、福祉サービスなどの情報を主にどこから得ていますか。（○はいくつでも）

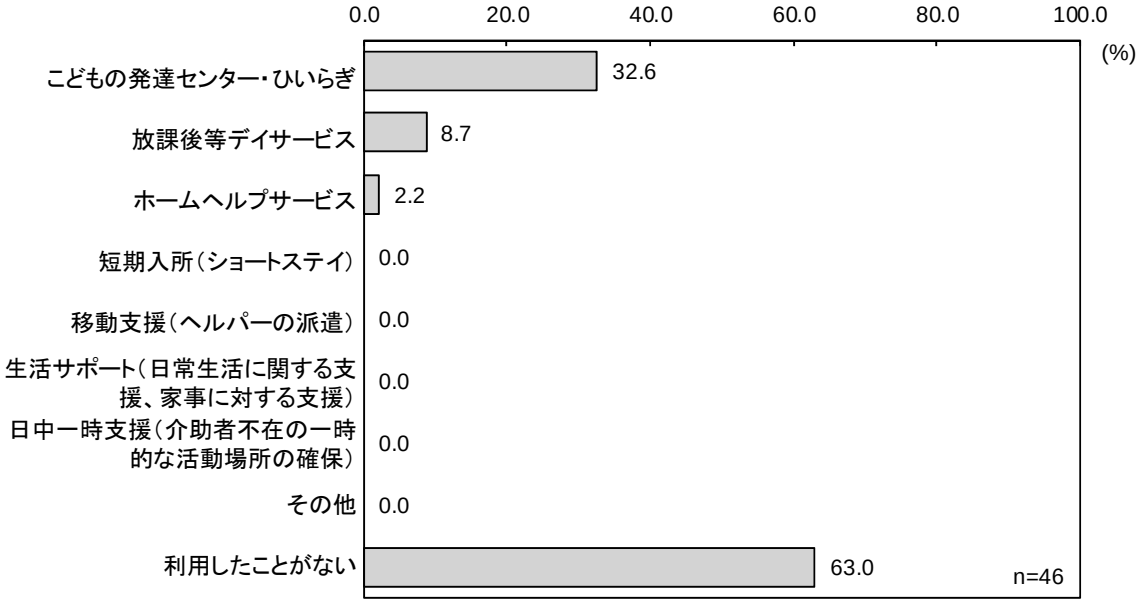
情報の入手先として、「市の広報紙（広報テープを含む）」が 52.2%で最も高く、次いで、「学校」（23.9%）、「その他」（19.6%）と続いている。「その他」として、・・・・との記述があった。　**整理中**　情報を「得ていない」と回答した人は 6.5%である。



（7）福祉サービス認知・利用状況

問 17　お子さま、またはご家族等（お世話等をしている方）は、今までに次のサービス等を利用したことがありますか。利用したことがあるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

以下の障害福祉サービスのうち、利用経験が最も高いのは、「こどもの発達センター・ひいらぎ」で 32.6%である。次いで、「放課後等デイサービス」が 8.7%である。「利用したことがない」人は 63.0%である。

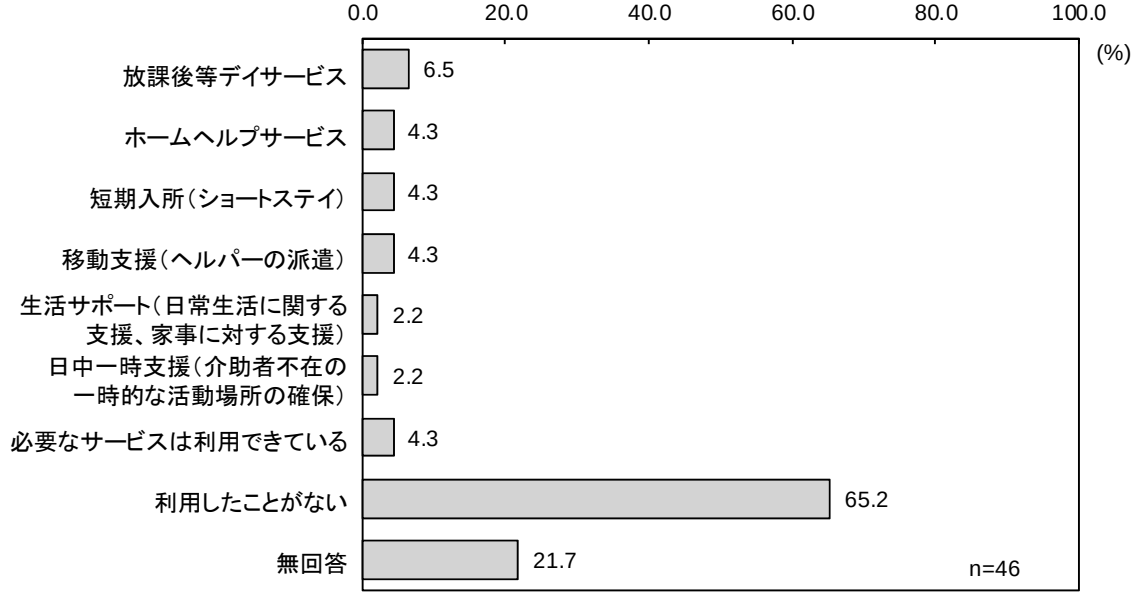


問 18　サービスに対する、感想やご意見があればご自由にご記入ください。（自由記述）

整理中

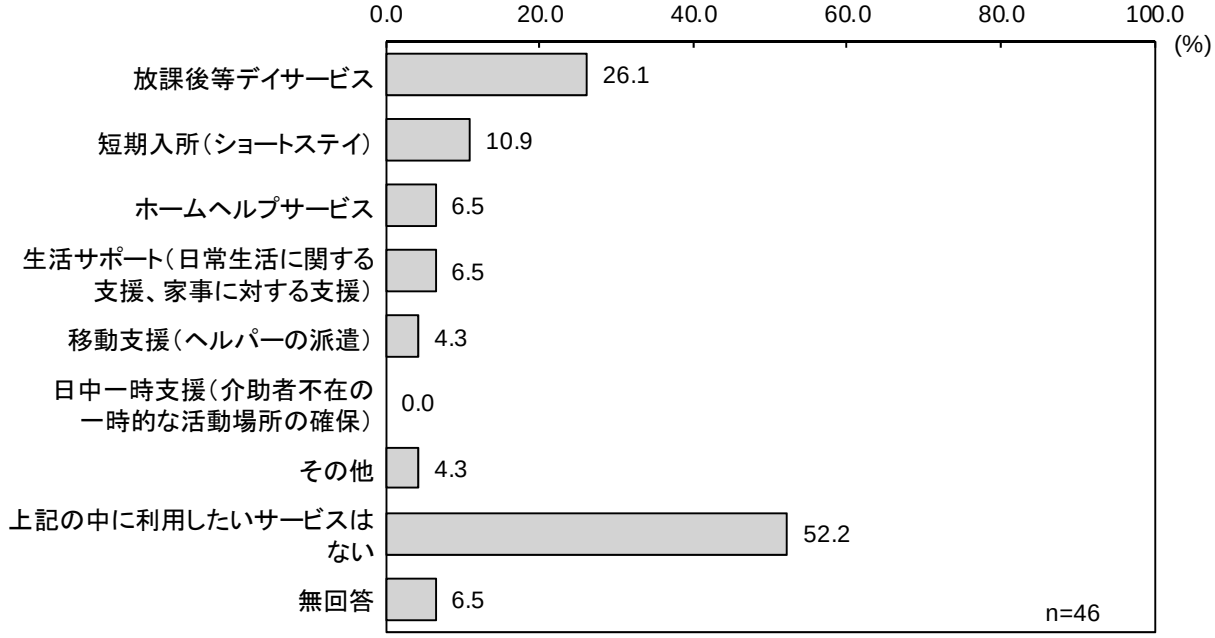
問 19　お子さま、またはご家族等（お世話等をしている方）が、「十分利用できていない」と思うサービスはどのサービスですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

65.2%が「利用したことがない」と回答しているが、「十分利用できていない」と思うサービスでは、「放課後等デイサービス」が 6.5%、「ホームヘルプサービス」、「短期入所（ショートステイ）」、「移動支援（ヘルパーの派遣）」がそれぞれ 4.3%である。



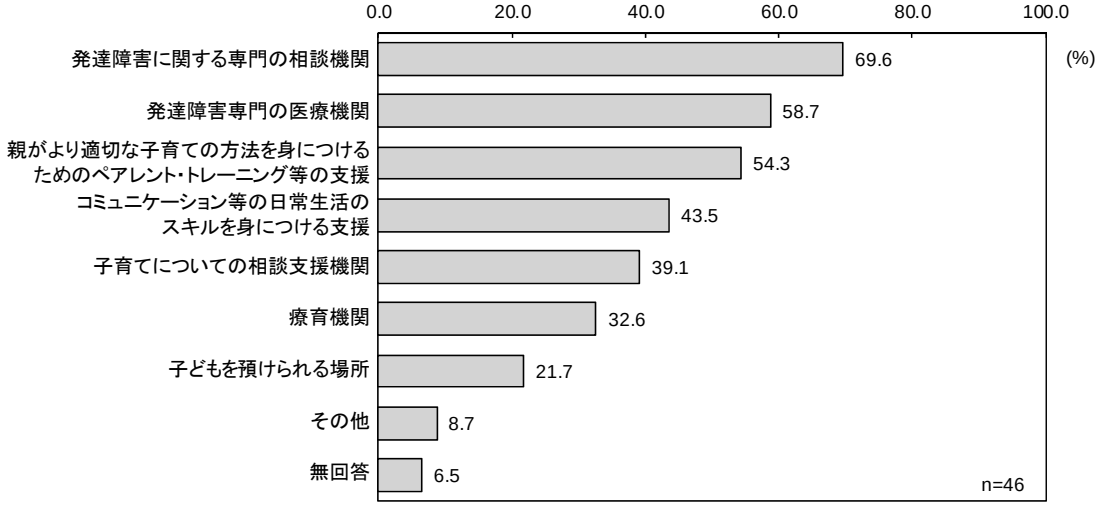
問 20　お子さま、またはご家族等（お世話等をしている方）は、次のサービス等の中で、今後も引き続き利用したい、あるいは今後利用したいと思うサービスはありますか。利用したいものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

今後、利用したいサービスは「放課後等デイサービス」が 26.1%で最も高く、次いで、「短期入所（ショートステイ」（10.9%）、「ホームヘルプサービス」（6.5%）、「生活サポート（日常生活に関する）支援、家事に対する支援」」（6.5%）が続く。一方で、「利用したいサービスはない」は 52.2%である。



問 21　お子さま、またはご家族等（お世話等をしている方）は、今後どのようなサービスを充実させてほしいと思いますか。（○はいくつでも）

今後、充実させてほしいサービスとして、「発達障害に関する専門の相談機関」が 69.6%で最も高く、次いで、「発達障害専門の医療機関」（58.7%）、「親がより適切な子育ての方法を身につけるためのペアレント・トレーニング等の支援」（54.3%）、「コミュニケーション等の日常生活のスキルを身につける支援」（43.5%）が続く。



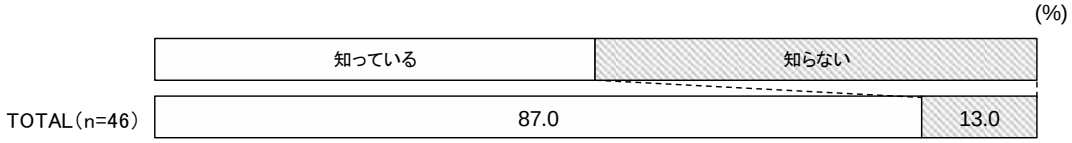
問 22　お子さま、またはご家族等（お世話等をしている方）が、サービスをより利用しやすくするためには、どのような情報提供や相談先が必要ですか。また、サービスを利用するためにあるとよい支援はどのようなものですか。（自由記述）

整理中

（8）災害対策について

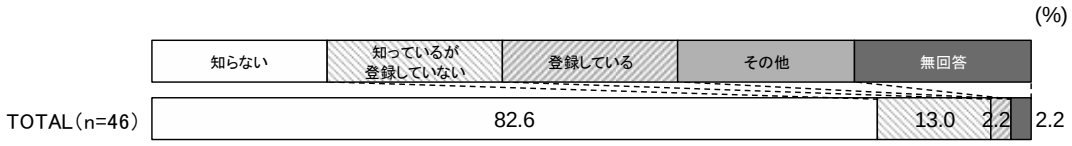
問 23　お子さま、またはご家族等（お世話等をしている方）は、お住まいの地域の避難所を知っていますか。（○は１つ）

地域の避難場所を「知っている」人は 87.0%である。



問 24　ご家族等（お世話等をしている方）は、災害時要援護者登録を知っていますか。（○は１つ）

災害時要援護者登録については、82.6%が「知らない」と回答している。



問 25　お子さまは、地震や台風などの災害時にひとりで避難できますか。（○は１つ）

災害時にひとりで避難が「できる」人は 37.0%、「できない」人は 13.0%である。50.0%が「わからない」と回答している。

問 26　地震や台風などの災害が起こった際に、お子さまやご家族等（お世話等をしている方）が不安に感じていることは何ですか。（○はいくつでも）

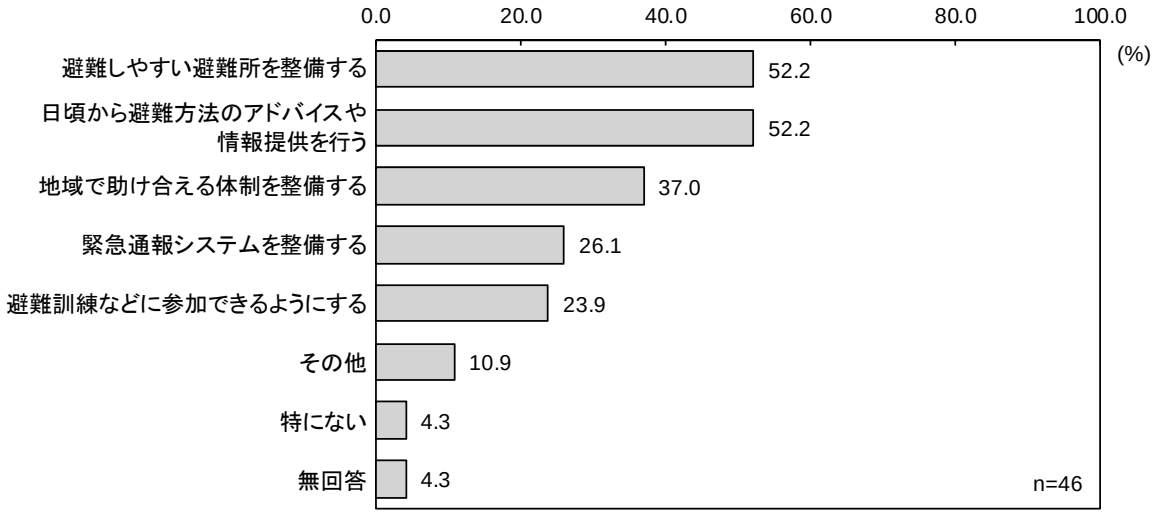
地震や台風などの災害が起こった際の不安としては、「避難先での不安」が 58.7%で最も高く、次いで「災害の状況が伝わってこない場合の不安」、「避難する際の不安」がそれぞれ 56.5%と続く。

（%）

n=	災害の状況が伝わってこない場合の不安	避難する際の不安	避難先での不安	その他	特にない	わからない	無回答
46	56.5	56.5	58.7	6.5	6.5	13.0	2.2

問 27　災害に備えて、または災害時に、どのような対策が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

必要な災害対策としては、「避難しやすい避難所を整備する」、「日頃から避難方法のアドバイスや情報提供を行う」ことをあげる人がそれぞれ 52.2%で最も高い。「その他」（10.9%）として、・・・との記述があった。　**整理中**



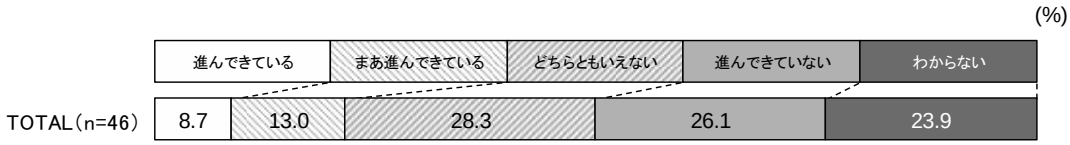
（9）障害・障害者への理解

問 28　お子さま、またはご家族等（お世話等をしている方）は、お子さまの状態や言動で差別や人権侵害を受けていると感じることがありますか。（○は１つ）

差別や人権侵害、虐待については、43.5%の人は「ほとんど感じることはない」が、6.5%は「いつも感じる」、23.9%は「たまに感じる」と回答している

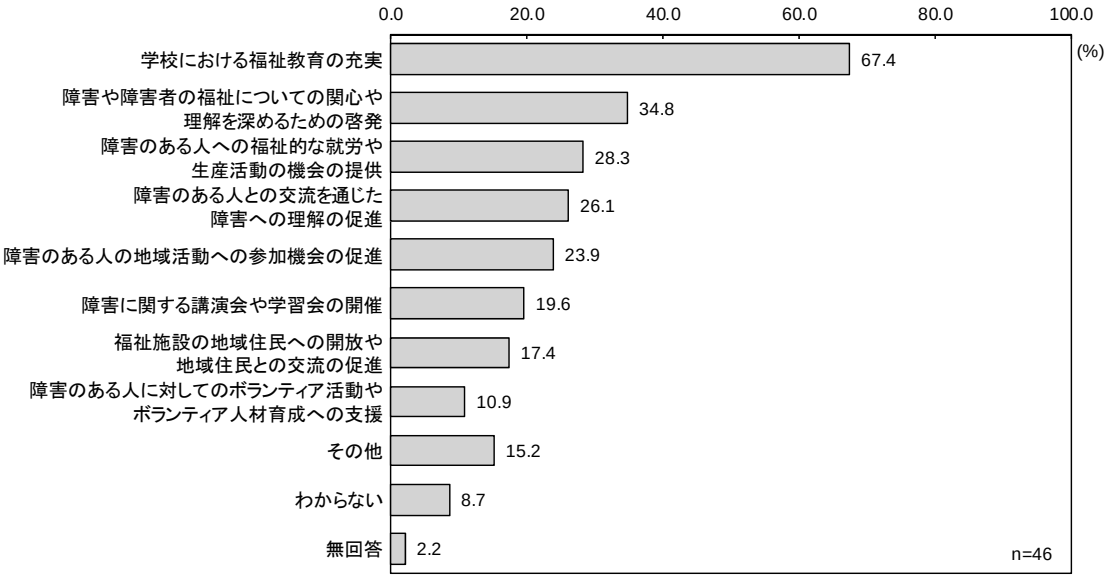
問 29　お子さま、またはご家族等（お世話等をしている方）は、障害や障害のある方々に対する市民の理解は進んできていると思いますか。（○は１つ）

障害や障害のある人に対する市民の理解が「進んできている」と考えている人は 8.7%、「まあ進んできている」（13.0%）をあわせると、21.7%の人は市民の理解が進んできていると感じている。一方で、「進んできていない」と考える人は 26.1%である。



問 30　障害や障害のある市民への理解を深めるためには、何が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

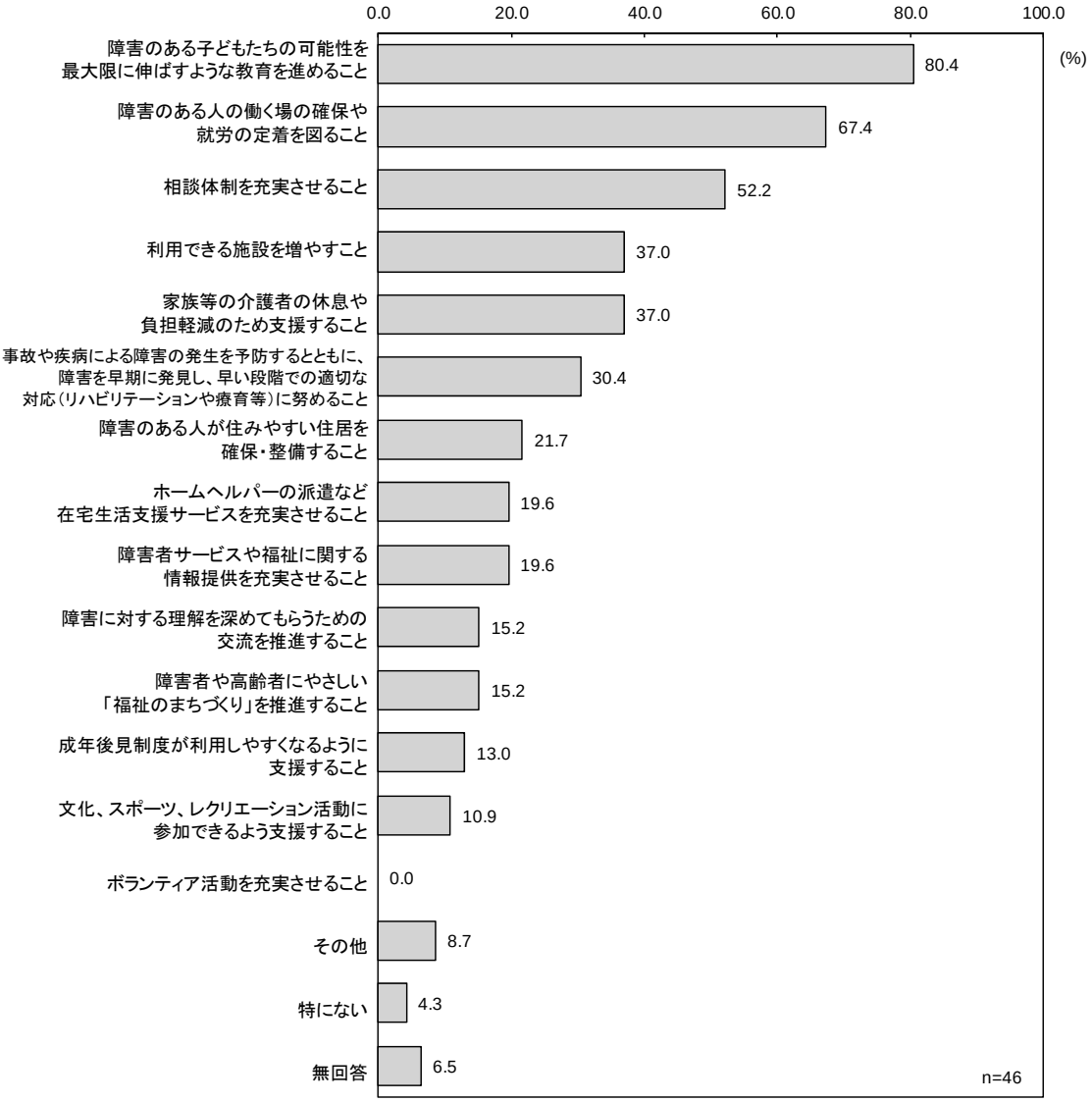
障害や障害のある人への理解に必要なこととして、「学校における福祉教育の充実」が 67.4%で最も高く、次いで「障害や障害者の福祉についての関心や理解を深めるための啓発」（34.8%）、「障害のある人への福祉的な就労や生産活動の機会の提供」（28.3%）が続いている。



（10）障害者施策、市への要望等

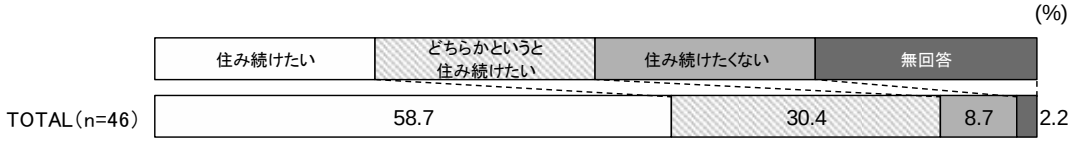
問 31　今後、障害者施策を進めていくにあたって、市は特どのようなこと充実させていけばよいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

今後、市が充実させていくべき障害者施策としては、「障害のある子どもたちに可能性を最大限に伸ばすような教育を進めること」が 80.4%と最も高く、次いで、「障害のある人の働く場の確保や就労の定着を図ること」が 67.4%、「相談体制を充実させること」が 52.2%で続いている。



問 32　お子さま、または家族等（お世話等をしている方）は、今後も西東京市に住み続けたいと思いますか。（○は１つ）

58.7%の人が今後も西東京市に「住み続けたい」と回答している。



問 33　最後に、この調査を通じて、選択肢や自由記述欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・要望、計画に盛り込みたいことなどがありましたら、自由お書きください。（自由記述）

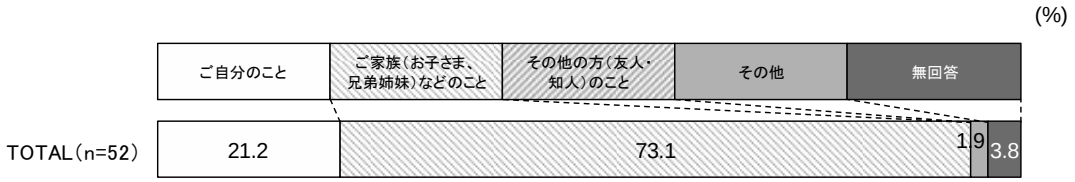
整理中

8　相談支援機関利用者

（1）基本的な属性

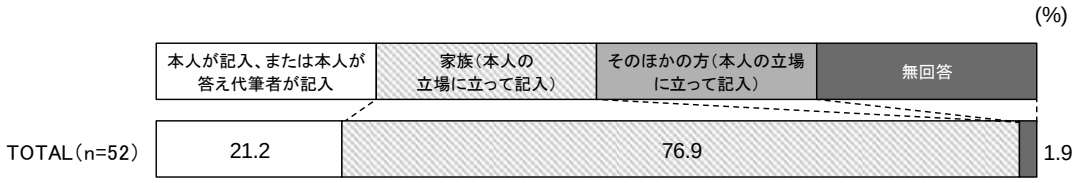
問1　どなたのことでご相談にいらっしゃいましたか。（○は1つ）

相談支援機関での、相談対象者は「ご自分のこと」が 21.2%、「ご家族（お子さま、兄弟姉妹）などのこと」が 73.1%、「その他」が 1.9%。



問2　この用紙（調査票）に記入されるのはどなたですか。（○は1つ）

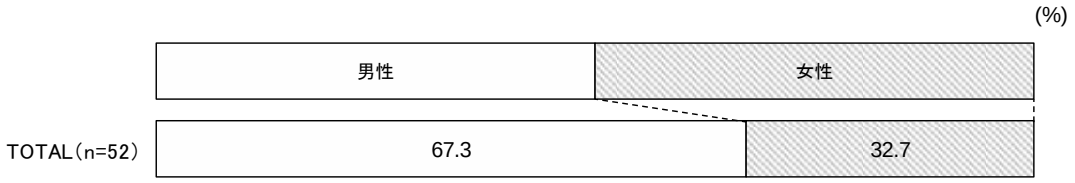
調査票記入者は「本人（宛名の方）が記入、または本人が答え代筆者が記入」が 21.2%、「ご家族（本人の立場に立って記入）」が 76.9%。



※0.0 は非表示

問3　対象の方の性別をお答えください。（○は1つ）
問4　対象の方の年齢（8月1日現在）を記入してください。

相談対象者の性別は、男性が 67.3%、女性が 32.7%。



年齢は、10 代が 23.1%、20 代が 30.8%で平均年齢は 27.2 歳。

（%）

TOTAL	9 歳以下	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳以上	無回答	平均年齢
52	11.5	23.1	30.8	5.8	17.3	5.8	3.8	0.0	1.9	27.2 歳

（2）障害状況

問5　次のうち、対象の方にあてはまるものに○をつけてください。（○はいくつでも）

相談対象者の 67.3%が「愛の手帳（療育手帳）を持っている」で最も高く、次いで「身体障害者手帳を持っている」が 32.7%、「精神障害者保健福祉手帳を持っている」が 13.5%と続く。

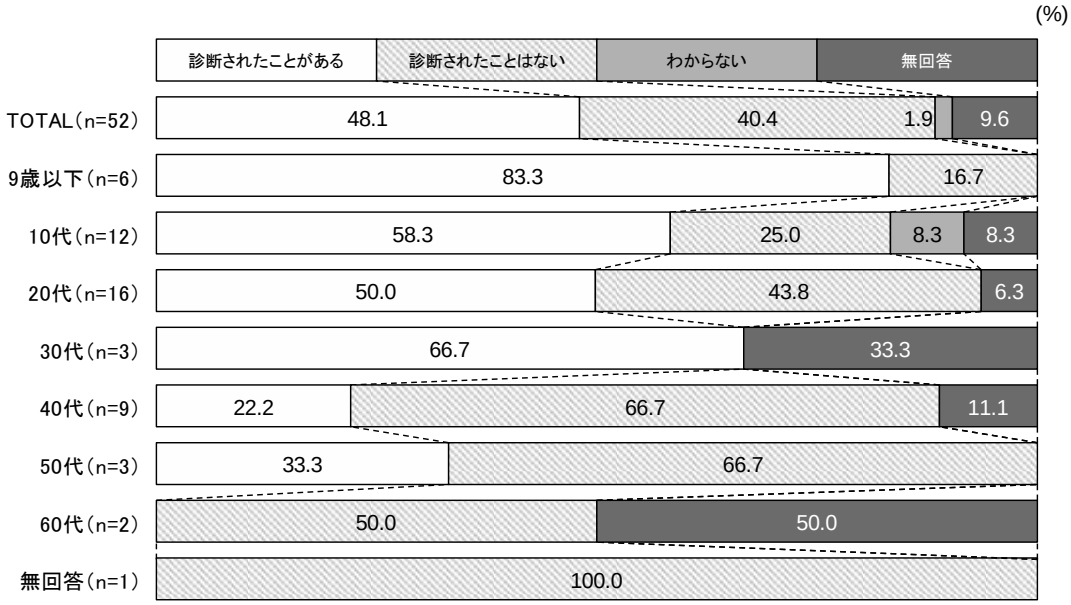
（%）

	n=	身体障害者手帳を持っている	愛の手帳(療育手帳)を持っている	精神障害者保健福祉手帳を持っている	国または東京都が指定する難病医療費等助成対象疾病を患っている	高次脳機能障害と診断されたことがある	訪問看護などの医療的ケアを受けている	あてはまるものはない	わからない・知らない	無回答
TOTAL	52	32.7	67.3	13.5	9.6	1.9	5.8	5.8	1.9	3.8
9 歳以下	6	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	16.7
10 代	12	25.0	83.3	8.3	8.3	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0
20 代	16	37.5	87.5	6.3	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0
30 代	3	0.0	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40 代	9	33.3	66.7	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1
50 代	3	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
60 代	2	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	1	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

問６　対象の方は、これまでに「発達障害（自閉症、アスペルガー症候群、学習障害、注意欠陥多動性障害等）」と診断されたことがありますか。（○は１つ）

48.1%の人が発達障害と診断されたことが「ある」と回答している。

年代別にみると、30 代以下で診断されたことがある人の割合が高い。



※0.0 は非表示

問７　日常生活を送る上でどのような支障がありますか。（自由記述）

＜回答対象者：発達障害と診断されたことがある人＞

整理中

問８　上記のようなときに、どのような支援があるとよいと思いますか。（自由記述）

＜回答対象者：発達障害と診断されたことがある人＞

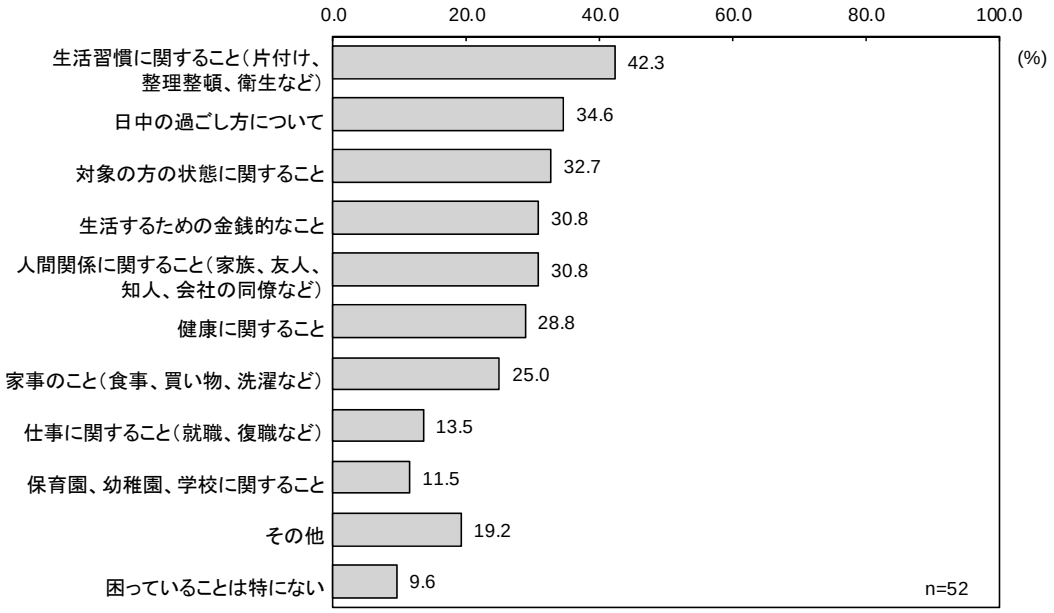
整理中

（3）介助・援助の状況

問9　対象の方が日常生活で困っていることはどのようなことですか。（○はいくつでも）

日常生活で困っていることとしては、「生活習慣に関すること」との回答が 42.3%で最も高い。次いで、「日中の過ごし方について」（34.6%）、「対象の方の状態に関すること」（32.7%）と続いている。

「その他」（19.2%）として、・・・との記述があった。**整理中**



（4）日中の過ごし方や外出の状況・社会参加状況

問 14　対象の方は、平日（月曜日～金曜日）の日中を主にどのように過ごしていますか。（○は１つ）

平日の日中の過ごし方として、「福祉施設、作業所などに通っている」が 57.7%、「幼稚園や保育園、学校などに通っている」が 19.2%、「働いている」が 11.5%である。

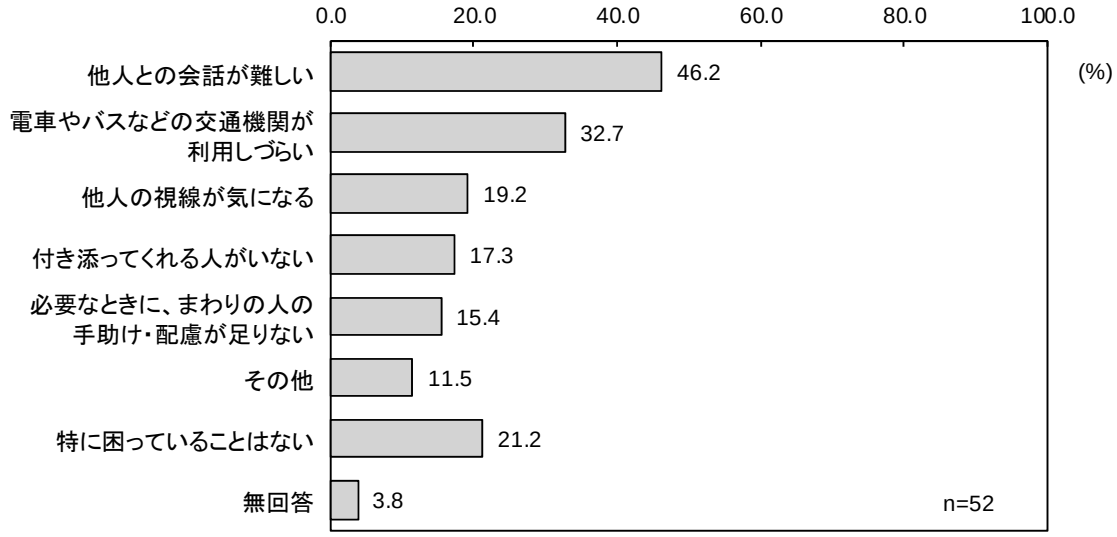
年代別にみると、20 代の 81.3%が「福祉施設、作業所などに通っている」と回答している。

（%）

	n=	幼稚園や保育園、学校などに通っている	福祉施設、作業所などに通っている	病院などのデイケアに通っている	リハビリテーションを受けている	働いている	入所・入院している施設や病院などで過ごしている	自宅にいることが多い
TOTAL	52	19.2	57.7	0.0	1.9	11.5	1.9	5.8
9 歳以下	6	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10 代	12	58.3	25.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0
20 代	16	0.0	81.3	0.0	0.0	18.8	0.0	0.0
30 代	3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40 代	9	0.0	77.8	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1
50 代	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3
60 代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
無回答	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

問 10　対象の方は、外出の際に困っていることはありますか。（○はいくつでも）

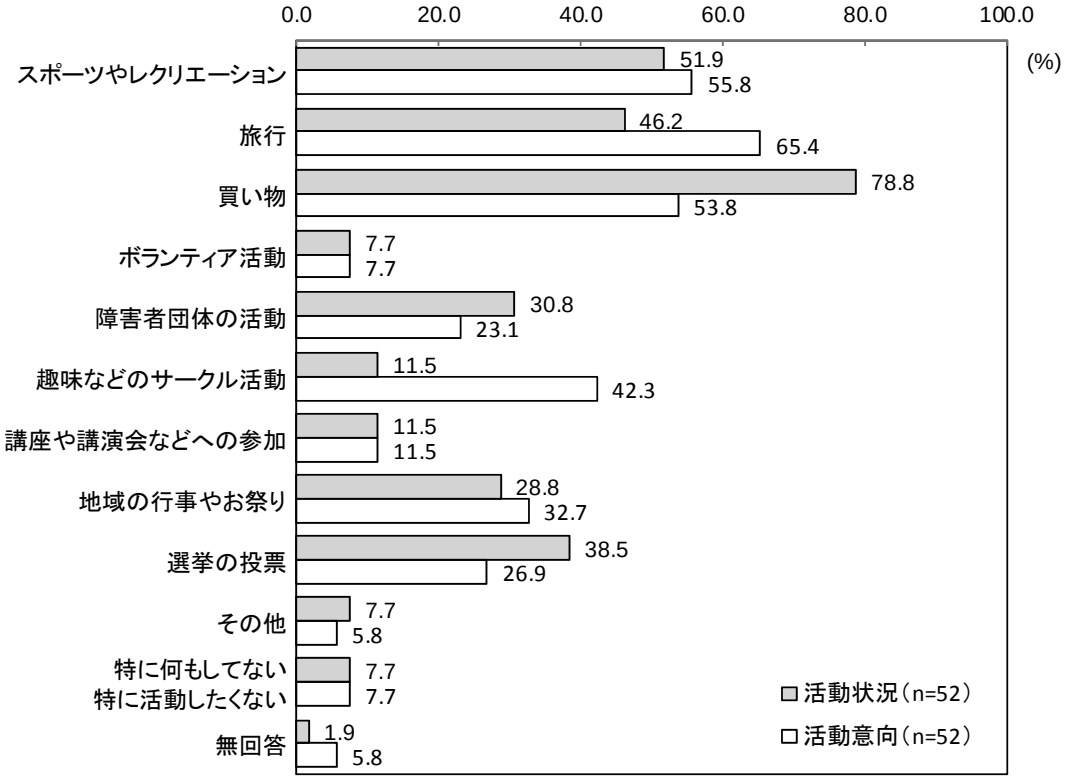
「特に困っていることはない」が 21.2%だが、外出の際困っていることとしては、「他人との会話が難しい」との回答が 46.2%で最も高い。次いで、「電車やバスなどの交通機関が利用しづらい」（32.7%）、「他人の視線が気になる」（19.2%）、「付き添ってくれる人がいない」（17.3%）と続く。



問 11　対象の方は、この１年くらいの間に、次のような活動をしましたか。（○はいくつでも）：活動状況
問 12　対象の方は、これからどのような活動をしたいと思いますか。（○はいくつでも）：活動意向

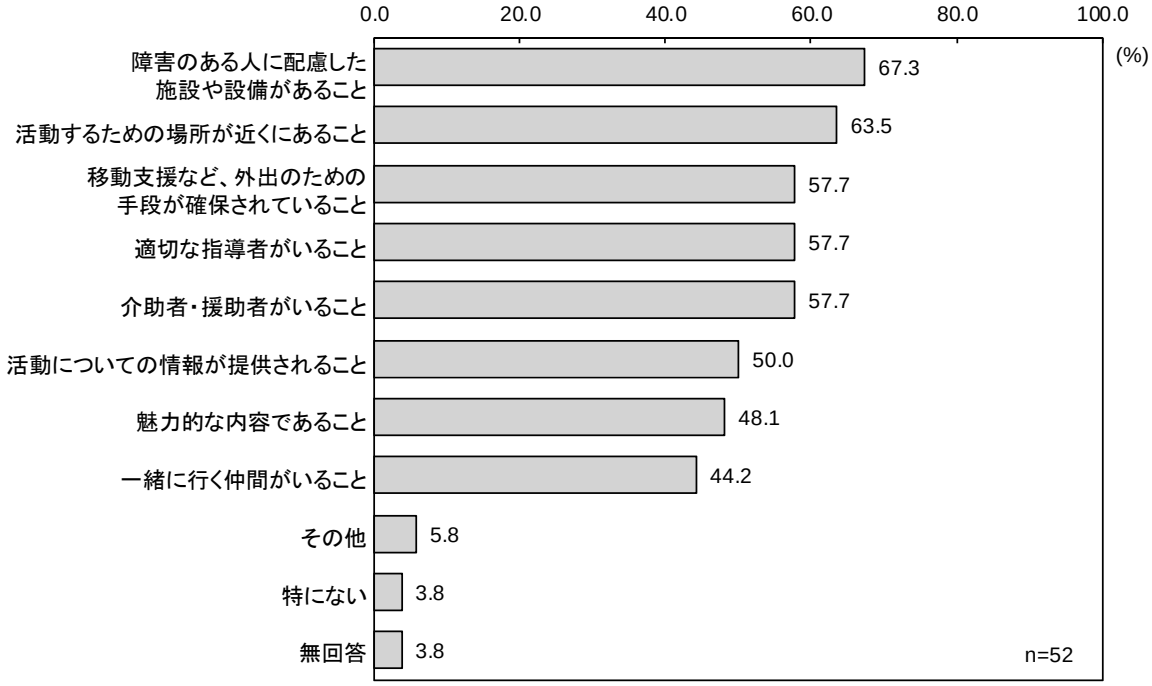
活動状況と活動意向を比べると、「旅行」は実際の活動状況が 46.2%、活動意向は 65.4%となっており、意向が約 19 ポイント高い。

実際の活動状況では、「買い物」（78.8%）、「スポーツやレクリエーション」（51.9%）が高く、活動意向では、「旅行」（65.4%）が高い。



問 13　対象の方が、問 12 のような活動をするために、どのような支援が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

活動のために必要な支援として、「障害のある人に配慮した施設や設備が近くにあること」が 67.3%で最も高く、次いで、「活動するための場所が近くにあること」（63.5%）、「移動支援など、外出のための手段が確保されていること」（57.7%）、「適切な指導者がいること」（57.7%）、「介助者・援助者がいること・（57.7%）が続いている。



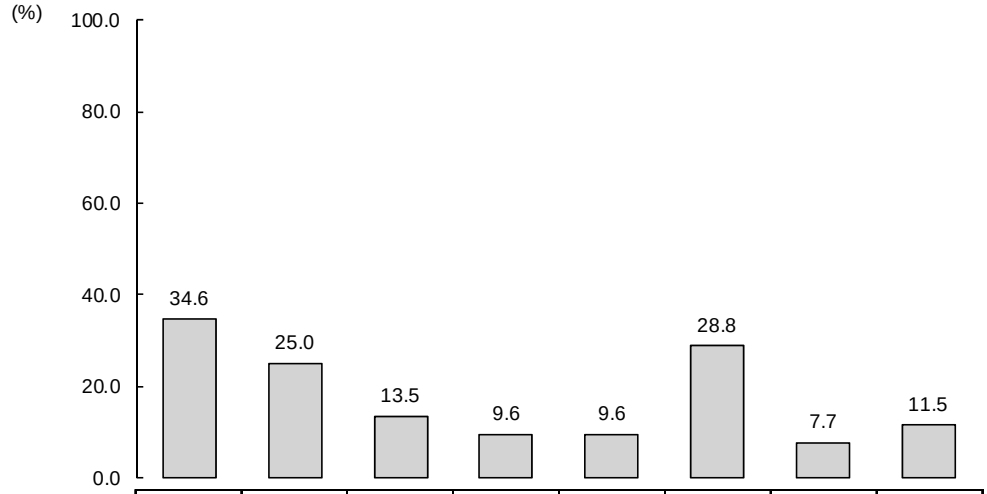
（5）将来の希望

問 34　対象の方は、今後、どのように日中を過ごしたいと思いますか。※対象の方が未成年のお子さまの場合おおむね、高等学校卒業後のことを考えてお答えください。（○はいくつでも）

今後、希望する日中の過ごし方は、「会社などで働きたい」が 34.6%、「会社で働けるように、職場探しや訓練などの支援を受けたい」が 25.0%となっており、「その他」として、・・・・などの記述があった。　**整理中**

平日の日中の過ごし方別にみると、福祉施設、作業所などに通っている人では「会社などで働きたい」、「その他」がそれぞれ 23.3%である。

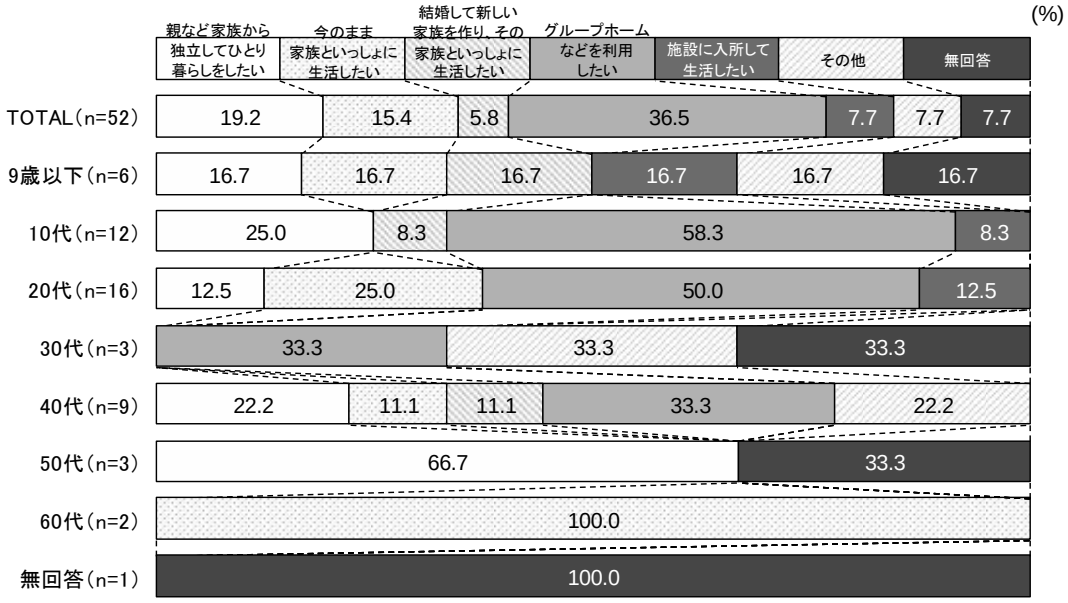
＜平日の日中の過ごし方別・今後、希望する過ごし方＞



	n=	会社などで働きたい	会社で働けるように、職場さがしや訓練などの支援を受けたい	日常生活の訓練やリハビリテーションを受けたい	大学、専門学校などに通いたい	自宅でのんびり過ごしたい	その他	わからない	無回答
TOTAL	52	34.6	25.0	13.5	9.6	9.6	28.8	7.7	11.5
幼稚園や保育園、学校などに通っている	10	80.0	60.0	0.0	10.0	0.0	20.0	0.0	0.0
福祉施設、作業所などに通っている	30	23.3	16.7	23.3	10.0	13.3	23.3	10.0	16.7
リハビリテーションを受けている	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
働いている	6	50.0	16.7	0.0	16.7	16.7	33.3	0.0	0.0
入所・入院している施設や病院などで過ごしている	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
自宅にいることが多い	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0
その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

問 35　対象の方は、将来、どのように暮らしたいと思いますか。※対象の方が未成年のお子さまの場合、成人後とお考えください。（○は１つ）

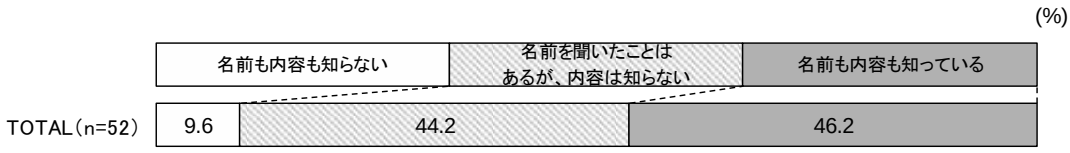
将来の暮らし方として、「親など家族から独立してひとり暮らしをしたい」が 19.2%、「今のまま家族といっしょに暮らしたい」が 15.4%、「結婚して新しい家族を作り、その家族といっしょに暮らしたい」が 5.8%、「グループホームなどを利用したい」が 36.5%、「施設に入所して生活したい」が 7.7%である。



※0.0 は非表示

問 40　成年後見制度とは、知的障害や精神障害などの理由により、判断能力が十分でない方の財産などの権利を守る制度です。対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）は、成年後見制度について知っていますか。（○は１つ）

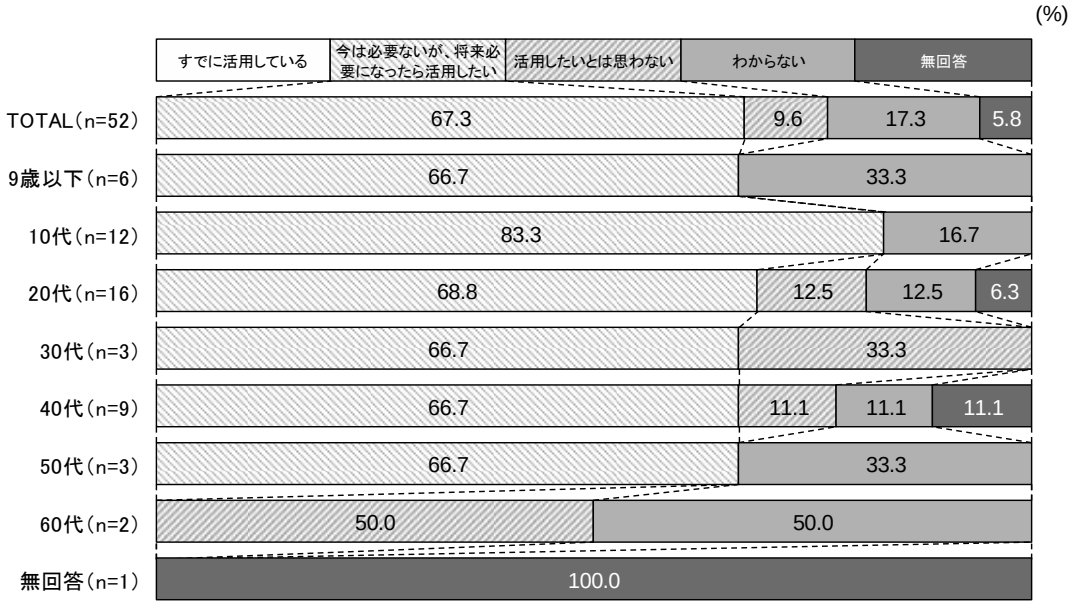
成年後見制度について、「名前も内容も知っている」人は 46.2%、「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」人は 44.2%である。9.6%の人が「名前も内容も知らない」と回答している。



<Ⅱ　8　相談支援機関利用者調査>

問 41　対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）は、対象の方のために成年後見制度を活用したいと思いますか。（○は１つ）

成年後見制度について、「今は必要ないが、将来必要になったら活用したい」と考える人は 67.3%である。



※0.0 は非表示

（６）通園・通学等について

問 15　対象の方が、通っているのは次のうちどれですか。（○は１つ）

<回答対象者：幼稚園や保育園、学校などに通っている人>

50.0%が「小学校、中学校（固定制の特別支援学級)」と回答している。「小学校、中学校（通常の学級)」、「小学校、中学校（特別支援学校)」がそれぞれ 20.0%、「小学校、中学校（通常の学級のほか通級指導学級または特別支援教室を利用)」が 10.0%である。

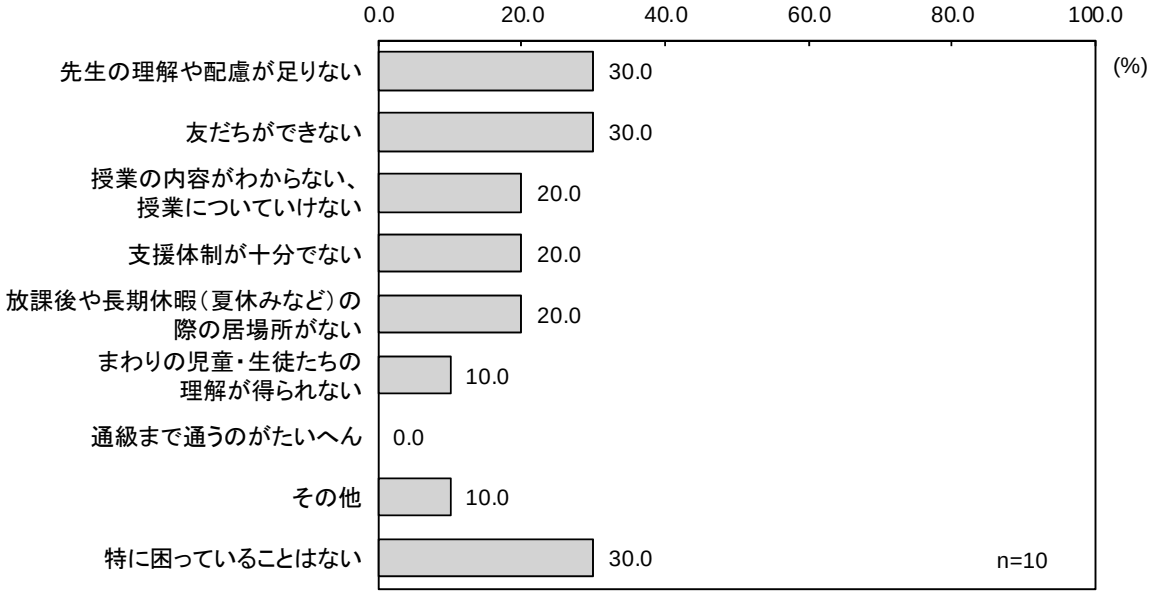
（%）

	n=	幼稚園、保育園	小学校、中学校、高校（通常の学級）	小学校、中学校（通常の学級のほか通級指導学級または特別支援教室を利用）	小学校、中学校、高校（固定制の特別支援学級）	小学校、中学校、高校（特別支援学校）	大学、専門学校	その他
TOTAL	10	0.0	20.0	10.0	50.0	20.0	0.0	0.0
9 歳以下	3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
10 代	7	0.0	14.3	0.0	57.1	28.6	0.0	0.0

問 16　対象の方は、幼稚園・保育園、学校などに通っていて困っていることはありますか。（○はいくつでも）

＜回答対象者：幼稚園や保育園、学校などに通っている人＞

学校生活で困っていることとしては、「先生の理解や配慮が足りない」、「友だちができない」ことをあげる人がそれぞれ 30.0%と多く、次いで「授業の内容がわからない、授業についていけない」、「支援体制が十分でない」、「放課後や長期休暇（夏休みなど）の際の居場所がない」の３項目がそれぞれ 20.0%で続いている。



問 17　対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）が、学校教育に望むことはどのようなことですか。（○はいくつでも）

＜回答対象者：幼稚園や保育園、学校などに通っている人＞

学校に望むことについては、90.0%の人が「子ども一人ひとりに合った教え方や指導をしてほしい」と回答している。

（%）

n=	子どもの勉強や学校生活、将来のことについて、相談にのってほしい	子ども一人ひとりに合った教え方や指導をしてほしい	学校の設備や教科書、教材を使いやすくしてほしい	学校の中の表示などを、誰でもわかりやすいものにしてほしい	その他	特に望むことはない
10	80.0	90.0	40.0	40.0	40.0	10.0

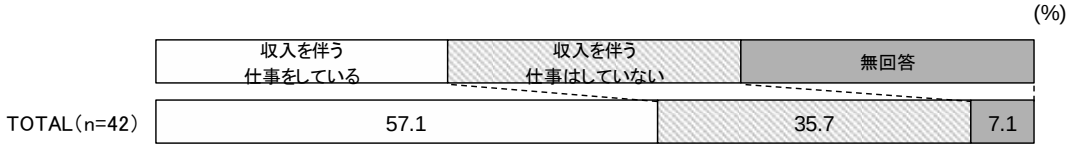
<Ⅱ　8　相談支援機関利用者調査>

（7）雇用・就労について

問 18　現在、対象の方は収入を伴う仕事をしていますか。（○は 1 つ）

<回答対象者：問 14 で「幼稚園や保育園、学校などに通っている」と回答した人以外>

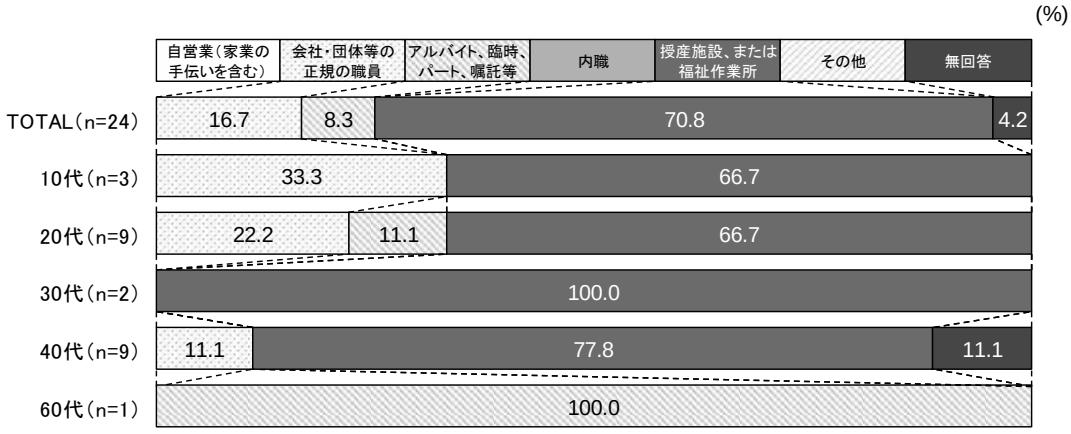
収入を伴う仕事している人は 57.1%、収入を伴う仕事をしていない人は 35.7%である。



<問 19～問 21 回答対象者：収入を伴う仕事をしている人>

問 19　対象の方の仕事の形態は次のうちどれですか。（○は 1 つ）

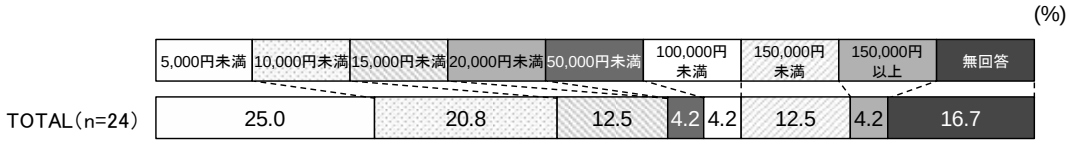
就労形態は、「授産施設、または福祉作業所」が 70.8%、「会社・団体等の正規の職員」が 16.7%、「アルバイト、臨時、パート、嘱託等」が 8.3%である。



※0.0 は非表示

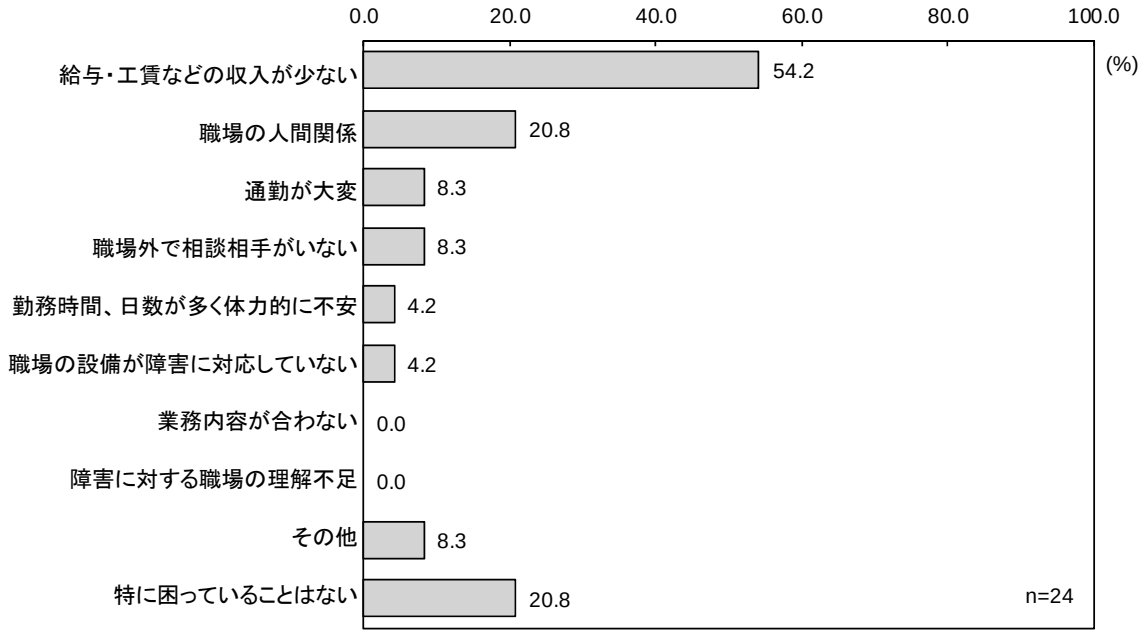
問 20　対象の方の 1 ヶ月当たりの平均的な給与・賃金・工賃はいくらですか。

1 ヶ月当たりの平均的な給与・賃金・工賃は、平均 38,257.5 円である。



問 21　対象の方が、仕事をする上で困っていることは何ですか。（○はいくつでも）

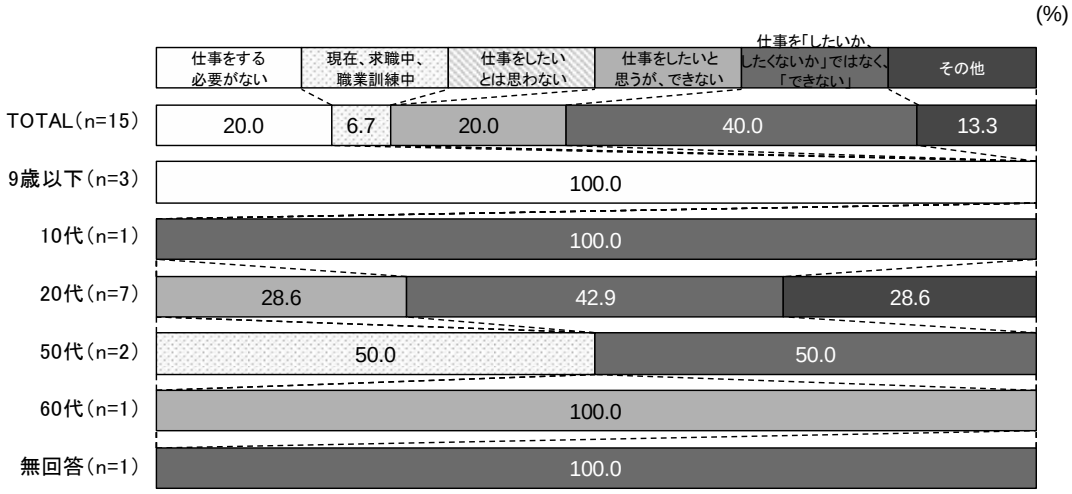
「特に困っていることはない」が 20.8%だが、仕事をするうえで困っていることとは、「給与・工賃などの収入が少ない」との回答が 54.2%と最も高い。次いで、「職場の人間関係」が 20.8%と続く。



問 22　対象の方が、仕事をしていない主な理由は何ですか。（○は１つ）

＜回答対象者：収入を伴う仕事をしていない人＞

仕事をしていない主な理由として、「仕事を「したいか、したくないか」ではなく、「できない」」が 40.0%で最も高い。

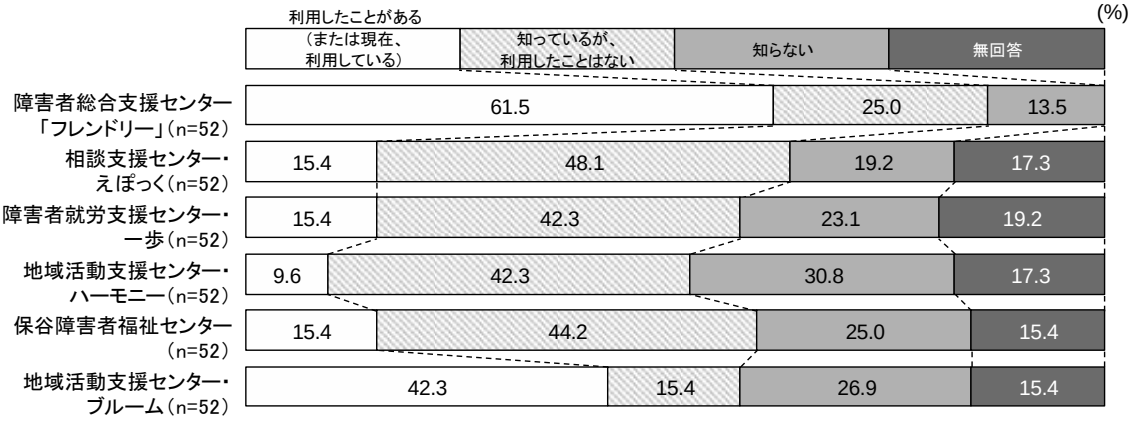


※0.0 は非表示

（8）障害者施設・施策について

問 23　対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）は、西東京市の障害者総合支援センター「フレンドリー」を知っていますか。（○は１つ）
問 24　対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）は、西東京市にある次の施設を利用したことがありますか。また、知っていますか。（○は１つ）

市内施設を利用したことがある人は、障害者総合支援センター「フレンドリー」が 61.5%、相談支援センター・えぽっく、障害者就労支援センター・一歩がそれぞれ 15.4%、地域活動支援センター・ハーモニーが 9.6%、保谷障害者福祉センターが 15.4%、地域活動支援センター・ブルームが 42.3%である。



※0.0 は非表示

問 25　対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）は、次の講座や事業等を知っていますか。（○はいくつでも）

市開催の講座や事業等の認知状況は、以下の通りである。

（%）

n=	サポーター養成講座	ヘルプカード	スポーツ支援事業	障害者水泳教室	講座や事業等は知らない	無回答
52	38.5	73.1	36.5	34.6	15.4	7.7

（9）相談や情報入手方法

問 26　対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）は、悩みごとや心配ごとがあるとき、家族や親せき以外に、どのようなところに相談していますか。（○はいくつでも）

家族や親せき以外の相談先としては、「福祉施設や作業所の職員」をあげる人が 59.6%と最も高く、次いで「友人・知人」（42.3%）、「市役所の福祉相談窓口」（36.5%）と続いている。「相談できるところは特にない」と回答した人は 1.9%である。

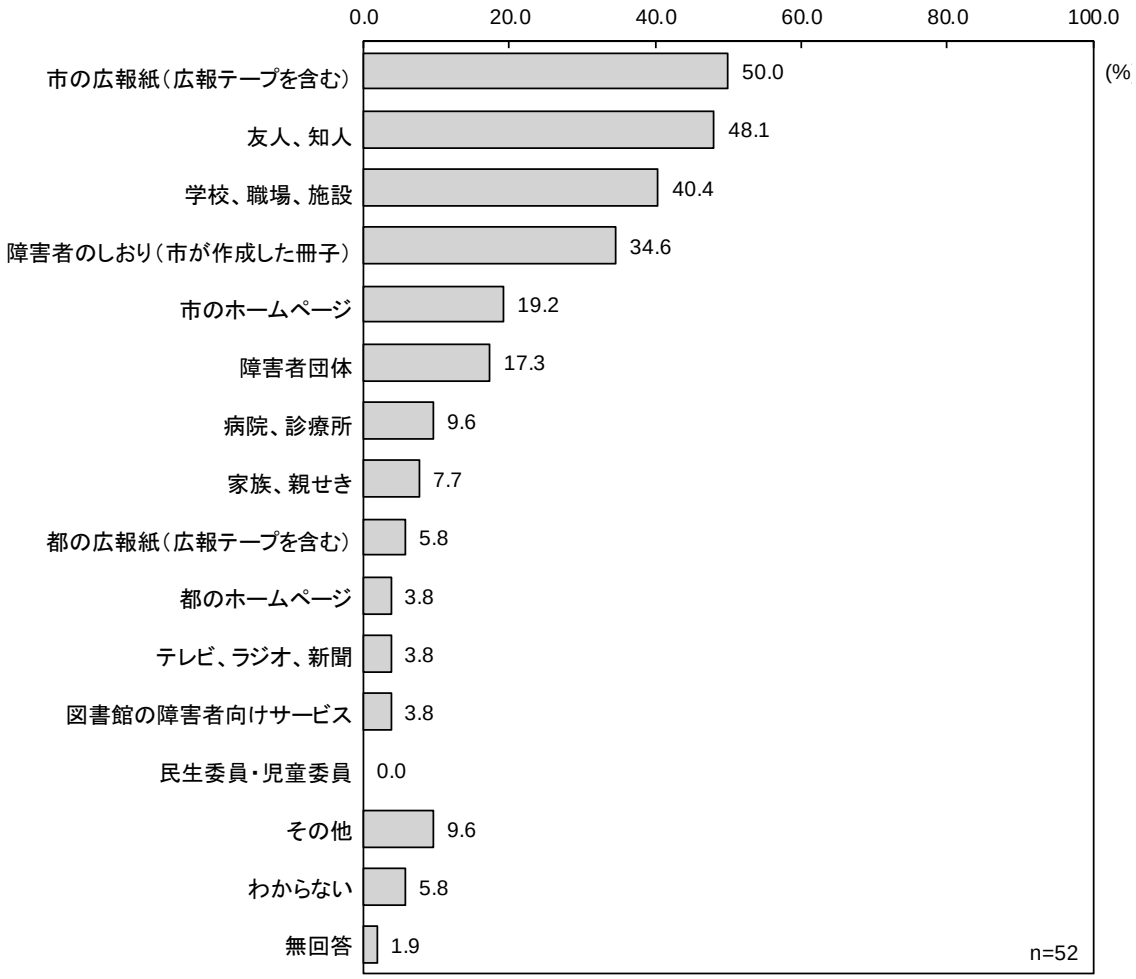
（%）

n=	福祉施設や作業所の職員	友人・知人	市役所の福祉相談窓口	病院・診療所	地域活動支援センター・ブルーム	幼稚園・保育園・学校の先生や職場の仲間	障害者団体	相談支援センター・えぽっく	障害者就労支援センター・一歩	保谷障害者福祉センター
52	59.6	42.3	36.5	34.6	26.9	19.2	15.4	11.5	11.5	7.7

地域活動支援センター・ハーモニー	生活保護の担当職員	児童相談所	保健師	民生委員・児童委員	社会福祉協議会の職員	その他	誰かに相談することはまれである	相談できるところは特にない
3.8	3.8	1.9	1.9	0.0	0.0	7.7	1.9	1.9

問 27　対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）は、福祉サービスなどの情報を主にどこから得ていますか。（○はいくつでも）

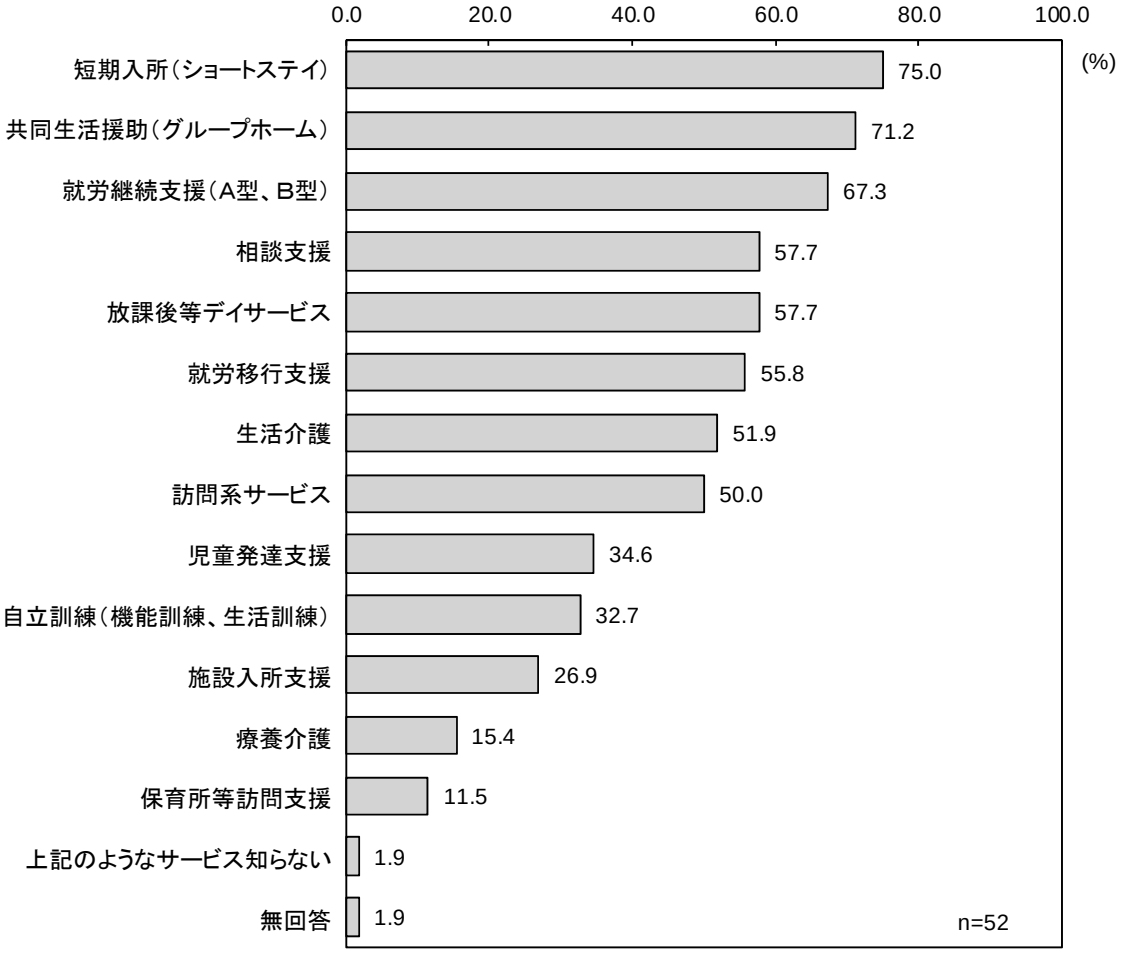
情報の入手先として、「市の広報紙（広報テープを含む）」が 50.0%で最も高く、次いで、「友人・知人」（48.1%）、「学校、職場、施設」（40.4%）と続いている。情報入手先が「わからない」と回答した人は 5.8%である。



（10）福祉サービス認知・利用状況

問 28　対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）は、次のような障害福祉サービスがあることを知っていますか。（○はいくつでも）

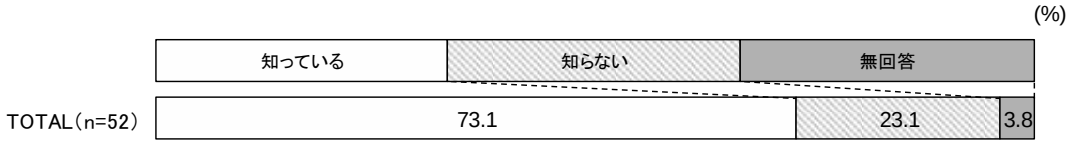
以下の障害福祉サービスのうち、知っている福祉障害サービスは、「短期入所（ショートステイ）」が75.0%で最も高く、次いで、「共同生活援助（グループホーム）」（71.2%）、「就労継続支援（A 型、B 型）」(67.3%)、「相談支援」（57.7%）、「放課後等デイサービス」（57.7%）が続く。



（10）災害対策について

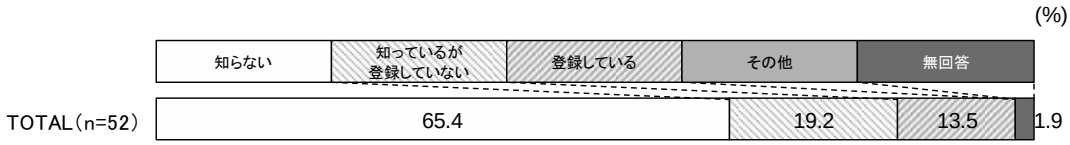
問 29　対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人）は、お住まいの地域の避難所を知っていますか。（○は１つ）

地域の避難場所を「知っている」人は 73.1%である。



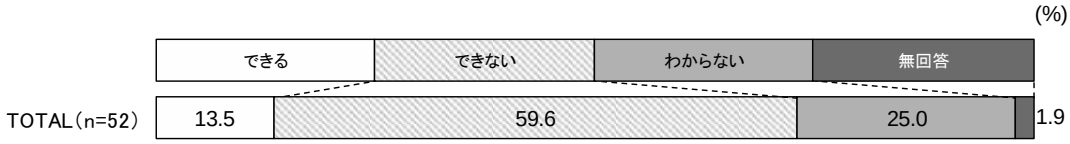
問 30　対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）は、災害時要援護者登録を知っていますか。（○は１つ）

災害時要援護者登録については、65.4%が「知らない」と回答している。



問 31　対象の方は、地震や大風などの災害時にひとりで避難できますか。（○は１つ）

災害時にひとりで避難が「できる」人は 13.5%、「できない」人は 59.6%である。



問 32　地震や台風などの災害が起こった際に、対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）の不安は何ですか。（○はいくつでも）

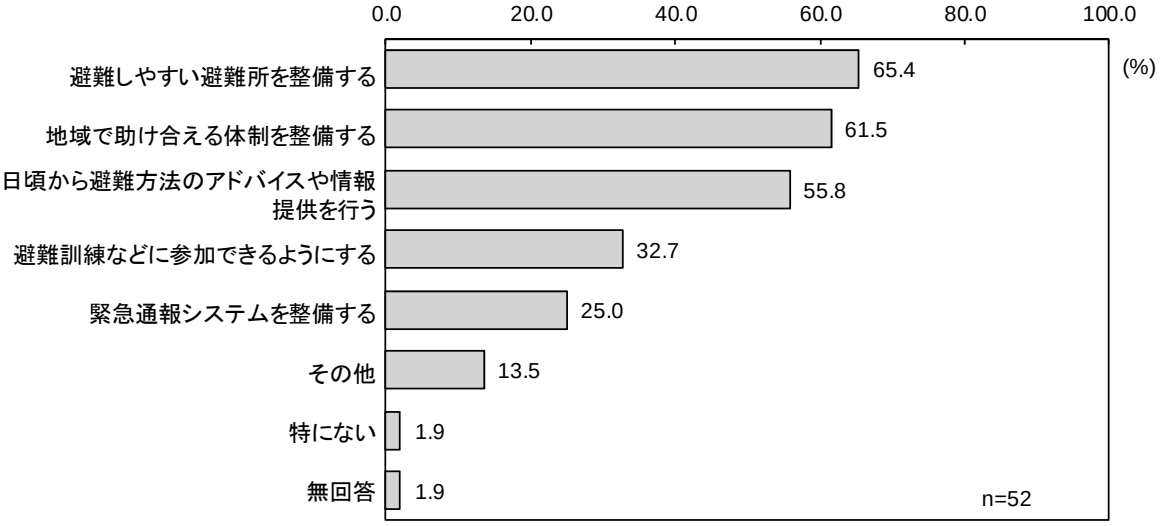
地震や台風などの災害が起こった際の不安としては、「避難先での不安」が 78.8%で最も高く、次いで「避難する際の不安」（67.3%）、「災害の状況が伝わってこない場合の不安」（61.5%）が続く。

（%）

n=	災害の状況が伝わってこない場合の不安	避難する際の不安	避難先での不安	その他	特にない	わからない	無回答
52	61.5	67.3	78.8	11.5	3.8	3.8	5.8

問 33　対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）として、災害に備えて、または災害時に、どのような対策が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

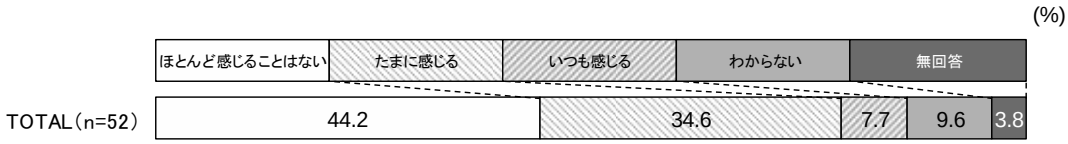
必要な災害対策としては、「避難しやすい避難所を整備する」ことをあげる人が 65.4%で最も高い。



（11）障害・障害者への理解

問 36　対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）は、対象の方の症状や言動などで、差別や人権侵害、虐待を受けていると感じることがありますか。（○は１つ）

差別や人権侵害、虐待については、44.2%の人は「ほとんど感じることはない」が、7.7%は「いつも感じる」、34.6%は「たまに感じる」と回答している。

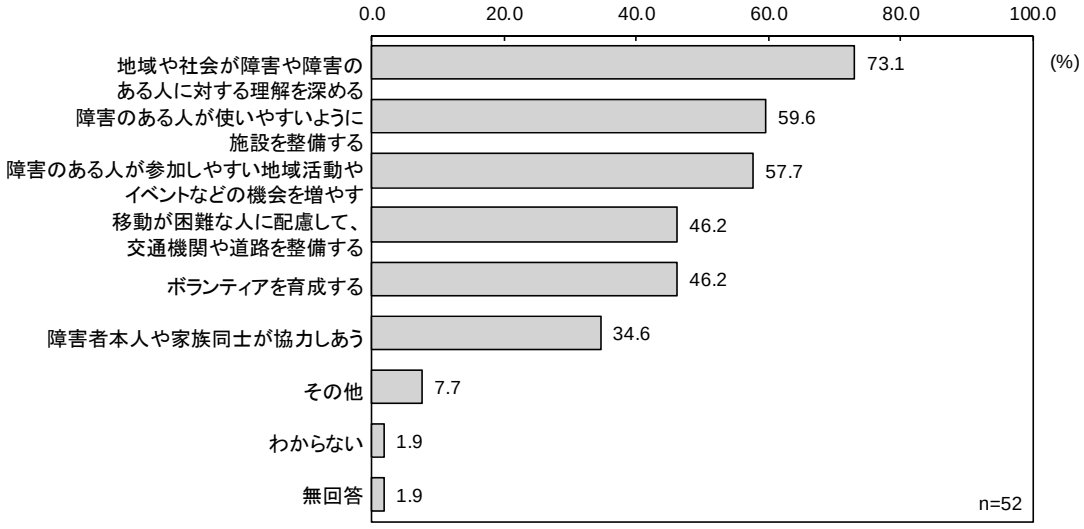


問 37　対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）は、障害や障害のある方々に対する市民の理解は進んできていると思いますか。（○は１つ）

障害や障害のある人に対する市民の理解が「進んできている」と考えている人は 7.7%、「まあ進んできている」（28.8%）をあわせると、36.5%の人は市民の理解が進んできていると感じている。

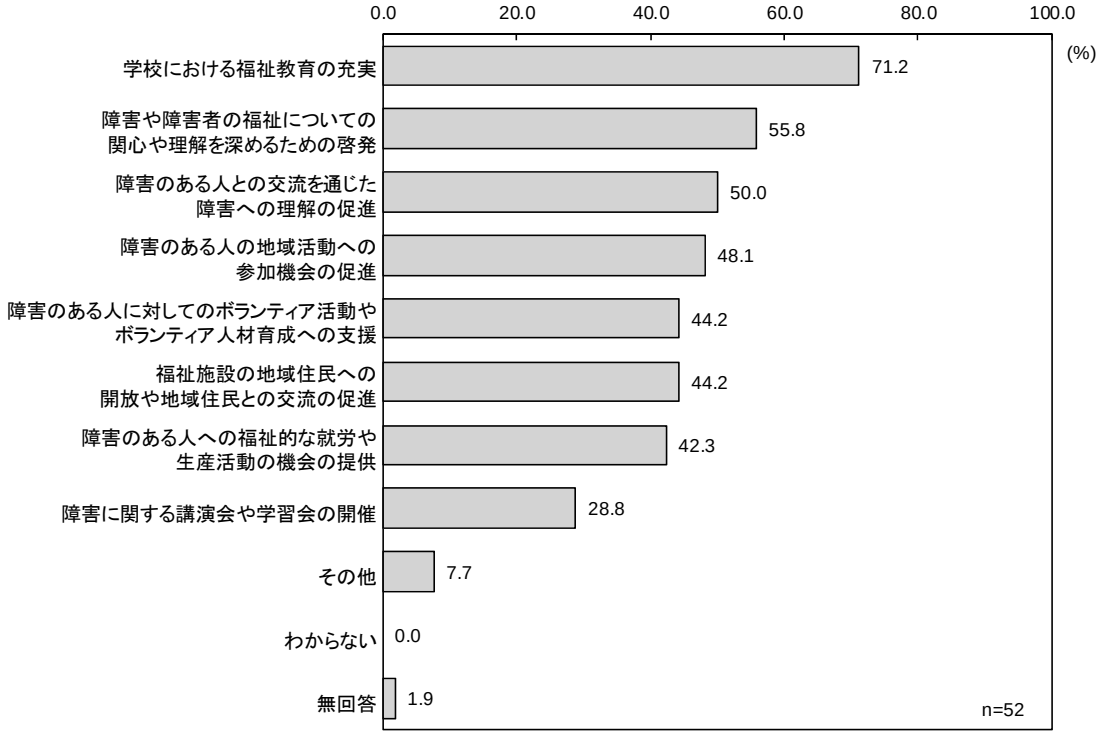
問 38　対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）は、障害のある方々が地域や社会に積極的に参加するために、特に大切なことは何だと思いますか。（○はいくつでも）

障害のある方々が地域や社会に積極的に参加するために大切なこととして、「地域や社会が障害や障害のある人に対する理解を深める」が 73.1%で最も高く、次いで、「障害のある人が使いやすいように施設を整備する」（59.6%）、「障害のある人が参加しやすい地域活動やイベントなどの機会を増やす」（57.7%）が続いている。



問 39　対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）は、障害や障害のある市民への理解を深めるためには、何が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

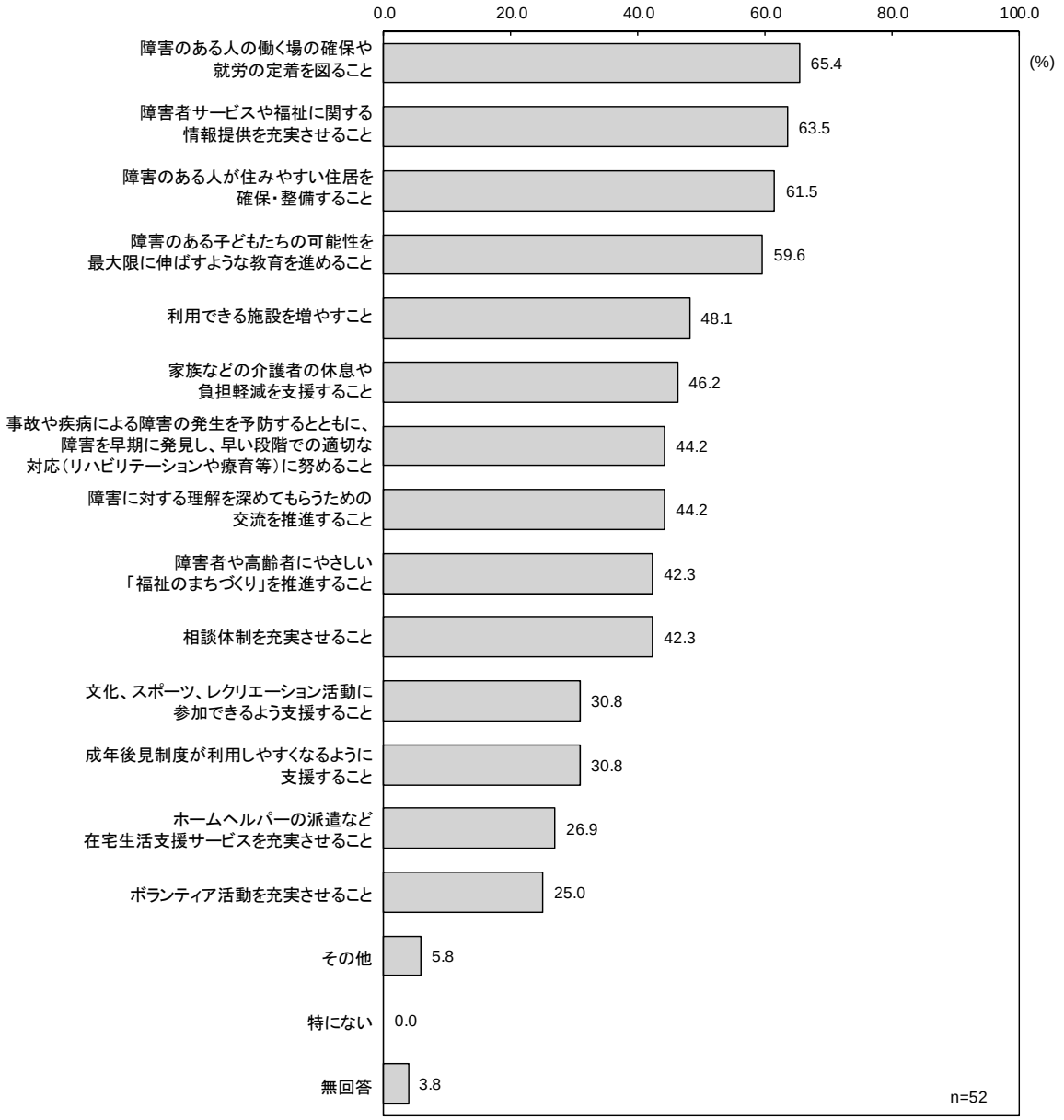
障害や障害のある人への理解に必要なこととして、「学校における福祉教育の充実」が 71.2%で最も高く、次いで「障害や障害者の福祉についての関心や理解を深めるための啓発」（55.8%）、「障害のある人との交流を通じた障害への理解の促進」（50.0%）が続いている。



（12）障害者施策、市への要望等

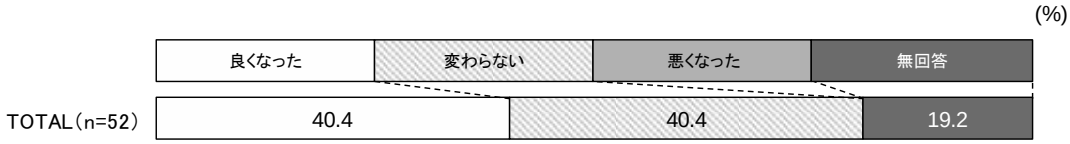
問 42　対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）は、今後、障害者施策を進めていくにあたって、市は特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。（○はいくつでも）

今後、市が充実させていくべき障害者施策としては、「障害のある人の働く場の確保や就労の定着を図ること」が 65.4%と最も高く、次いで「障害サービスや福祉に関する情報提供を充実させること」が 63.5%、「障害のある人が住みやすい住居を確保・整備すること」が 61.5%で続いている。



問 43　対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）は、約 5 年前（平成 24 年）と比べて、障害者のサービスはどのように変わったと思いますか。（○は 1 つ）

5 年前（平成 24 年）と比べて障害者サービスは「良くなった」、「変わらない」と感じている人がそれぞれ 40.4%である。



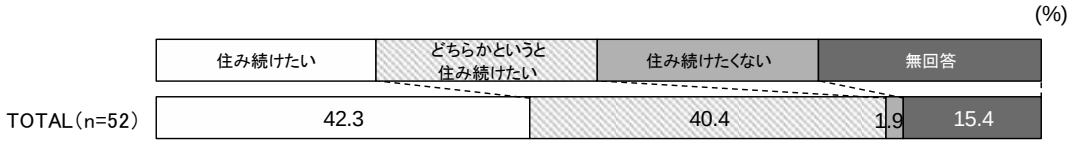
※0.0 は非表示

問 44　そのようにお答えになったのは、どのような理由からですか。（自由記述）

整理中

問 45　対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）は、今後も西東京市に住み続けたいと思いますか。（○は 1 つ）

42.3%の人が今後も西東京市に「住み続けたい」と回答している。



問 46　最後に、この調査を通じて、選択肢や自由記述欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望などがありましたら、自由にお書きください。（自由記述）

整理中

Ⅲ　事業所・団体ヒアリング結果

整理中

Ⅳ　資料